

KEIO UNIVERSITY



GUIDEBOOK
2024

学問のすゝめ

✕ KEIO UNIVERSITY



明治期を代表するベストセラーの一つ『学問のすゝめ』。
慶應義塾の創業者である福澤諭吉が著した本です。

一人の人間が二つの人生を経験するような、
と形容された激動の時代の中で、
この本は学問の大切さを謳いました。
一人ひとりが自立すれば国も確立していく、
自立した人を育むものが学問だという考え方は、
人々を驚かせ、また大いに奮い立たせました。

学問とは、知識を得るだけの受身の学びではありません。
世の中で起こっている問題にまっすぐに向き合い、
答えを見つけ出そうとする、勇気や使命感に満ちたものです。
自らを信じ、ぶつかることをおそれずに
人と交流することで、学問はより深まり、
社会を変える原動力になっていきます。



日吉キャンパス 記念館

このような学問への志に等しく応えたいという思いを、慶應義塾は創立以来ずっと大切にしてきました。時代は今また、大きな変化のときを迎えています。まわりに流されず、自分自身で考えて歩いていくために、私たちは、学問をすゝめます。

C O N T E N T S

学問のすゝめ	
慶應義塾の歴史	2
慶應義塾の理念	4
数字で知る慶應義塾	5
学部紹介	6
学部インデックス	8
文学部	10
経済学部	18
法学部	26
商学部	34
医学部	42
理工学部	50
総合政策学部	62
環境情報学部	66
看護医療学部	74
薬学部	82
医療系三学部合同教育	90
研究所・センター	91
キャンパス紹介	92
三田キャンパス	94
日吉キャンパス	96
矢上キャンパス	98
信濃町キャンパス	100
湘南藤沢キャンパス	102
芝共立キャンパス	104
メディアセンター（図書館）	106
ミュージアム	108
学生生活	110
クラブ・サークル	112
留学・海外研修	114
学生寮	118
学生相談室・保健管理センター	119
学費・奨学金	120
就職・進路	124
就職・進路	126
大学院	132
入学試験案内	136
入学試験制度・募集人員	138
一般選抜	139
一般選抜 試験日程	139
一般選抜 試験教科・科目	140
一般選抜 データ	142
一般選抜に関するQ&A	146
総合型選抜	148
その他の選抜方法	158
学校推薦型選抜	159
学園祭・KEIO NAVI・受験生向けアプリ	160
アクセス	161

表紙の絵は鮮やかな色彩が魅力的なイラストレーター・小林ラン氏による、日吉キャンパスの記念館とイチヨウ並木をモチーフにした作品です。多様性溢れる塾生たちがグローバルに活躍していく、慶應義塾の学びを表現しています。

慶應義塾の歴史

1835

西暦1835年1月10日(天保5年12月12日)、福澤諭吉が大坂玉江橋北詰中津藩蔵屋敷に生まれる。

1858

福澤諭吉、江戸築地鉄砲洲の中津藩中屋敷内に蘭学塾を開く。慶應義塾の起源。

1863

蘭学塾より英学塾に転向。

1868

時の年号をとって塾名を「慶應義塾」と定める。

1871

三田に移転。

1872

福澤の著書『学問のすゝめ』の初編が刊行される。

1875

日本初の演説会堂である三田演説館が開館。

1881

日本初の外国人留学生の受け入れとなる。慶應義塾に入学。

1890

大学部の発足。アメリカ・ハーバード大学の協力により大学部が設置され、文学・理財・法律の三科を置く。

1892

体育会を創設。

1899

私学初の海外留学生派遣。慶應義塾出身の教員を育てるため、欧米の大学に留学させる。

1901

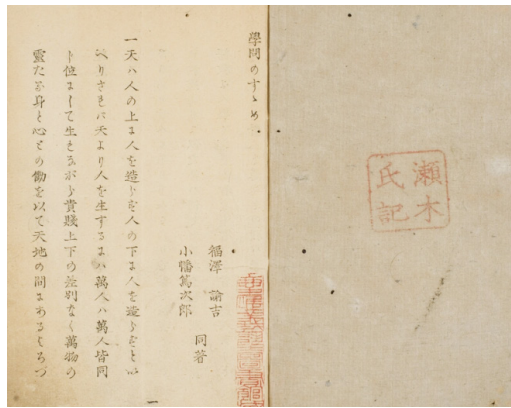
2月3日、福澤が三田慶應義塾内の自邸にて長逝(現在その地には「福澤諭吉終焉之地」の記念碑が建つ)。

1903

第1回早慶戦。

1907

創立50年記念式典。



1858

福澤諭吉、蘭学塾を開く

江戸築地鉄砲洲、中津藩奥平家中屋敷の邸内に福澤が蘭学塾を開く。慶應義塾の起源。

1872

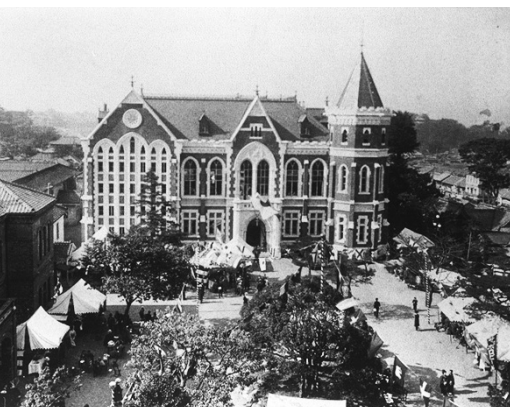
『学問のすゝめ』初編の刊行

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と云へり」で始まる福澤諭吉の代表的著作。

1875

日本初の演説会堂開館

議会政治や裁判に欠かせない演説や討論を日本に紹介するため「三田演説会」を前年に発会。日本初の演説会堂・三田演説館(p.95参照)を開館し演説の普及に努める。



1912

創立50年記念図書館開館

三田山上の図書館(旧館)(p.95参照)は、曾禰達蔵・中條精一郎の設計によるゴシック式れんが造りの壮麗な構築で、1969年3月には重要文化財に指定された。

1917

医学教育の出発

1873年から1880年まで塾内には医学所が開かれていたこともあり、創立60年にあたって医学科が開設された。初代学部長は北里柴三郎。

1934

日吉キャンパス開設

三田が手狭な状態となり、日吉に新校地を定めることを決定。この年、第1校舎が竣工した。

1912

創立50年記念図書館
(現在の図書館旧館)が開館。

1917

北里柴三郎を学部長に迎え、
大学部に医学科を開設。

1920

文・経済・法・医の4学部からなる
総合大学へ。

1934

日吉キャンパスを開設。

1944

工学部開設(藤原工業大学の寄付)。

1946

男女共学を実施。

1957

商学部を開設。

1958

創立100年記念式典。

1972

工学部を小金井から矢上に移転。

1981

工学部を理工工学部に改組。

1990

湘南藤沢キャンパス(SFC)に
総合政策学部・環境情報学部を開設。

2001

湘南藤沢キャンパス(SFC)に
看護医療学部を開設。

2008

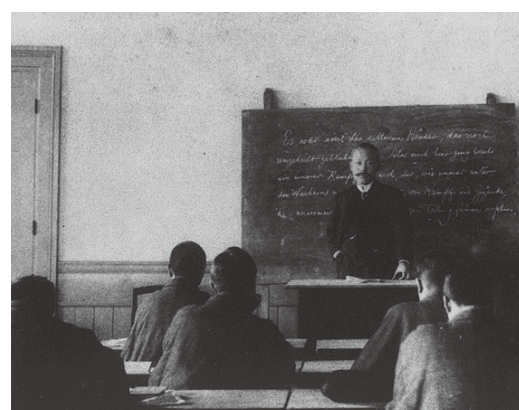
創立150年記念式典。
薬学部を開設(共立薬科大学と合併)。

2020

大学部開設130年。

2021

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館が開館。



1890

大学部発足

文学、理財、法律の三科を置く。修業年限3年。私立として最初の総合大学である。



1903

第1回早慶戦

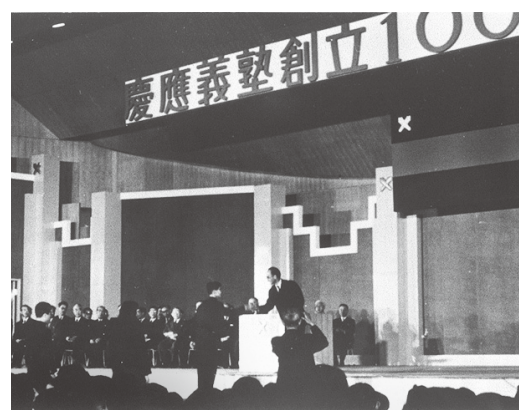
早稲田からの挑戦を受けて、三田綱町グラウンドで行われた野球の試合。結果は11-9で慶應義塾の勝利。



1907

創立50年記念式典

三田大講堂で開催。記念事業として図書館の建設が計画された。



1958

創立100年記念式典

創立100年を記念して新設された日吉記念館において、盛大に挙行された。国内外からおよそ5,000名が参列し、世間の注目を集めた。



1990

SFCの開設

総合政策学部・環境情報学部の設立に伴い、テクノロジーと自然が調和する郊外型キャンパスとして、神奈川県藤沢市に開設された。両学部は2020年に創設30年を迎えた。



2008

創立150年記念式典

日吉の協生館と陸上競技場をメイン会場として、国内外から約8,300名が参列して盛大に挙行された。三田・SFC・大阪の中継会場にも約4,500名が集まり、創立150年を祝した。

慶應義塾の理念

1858年、慶應義塾の起源となる蘭学塾を開いた福澤諭吉は、欧米諸国を見聞して帰国後、古いしきたりや慣習にとらわれない教育を実践しました。その基礎となった数々の理念は、現在に脈々と受け継がれています。

独立自尊

自立した人を、学問で育む

何者にも屈せず、誰にもおごらず、慣習や常識などにとらわれず、自分の良識と信念に基づいて考え行動する。同時に、他人もまた独立した個人として尊重する。福澤は、そのような「独立自尊」の人を育むことを学問の狙いとししました。それは彼が、「一身独立して一国独立す」と『学問のすゝめ』に記したように、人をつくれれば自ずと国も成熟していく、という考え方に通じています。

実学

“自分の頭で考える”学びへ

福澤は、「実学」に「サイヤンス」とフリガナをふりました。つまり「実学」とは、単なる実用の学ではなく「科学」のこと。問題を発見し、仮説を立てて検証し、結論を導いていくという、“自分の頭で考える”プロセスに通じる「実証科学」のことを意味しています。まだ誰も答えを見つけていないテーマを設定し、“自分の頭で考える”力を養うことは、慶應義塾における学びの柱です。

半学半教

学びつつ教え、教えて学ぶ

学ぶことは、教えることに通じる。そして、教えることは、学ぶことに通じる。慶應義塾では、学ぶ者と教える者を区別せず、教員と学生、先輩と後輩などの立場を越え、学び合い教え合いともに成長する「半学半教」の精神が大切にされています。それはまた、奥の深い学問にゴールはなく、社会をリードする立場になっても学び続けなくてはならない、というメッセージでもあります。

自我作古

前人未踏に、挑む意志

「自我作古」は「われより古いにしえを作なす」と読み、前人未踏の新しい領域に挑み、目標に向かって前進し続ける志と使命感を表しています。日本の近代化において、いくつもの重要な事業をリードしてきた慶應義塾の先人たちは、身をもってこの精神を実践してきました。困難にくじけることなく、自ら先頭に立って未来へ。慶應義塾は、気概のあるチャレンジを愛し、支える学塾でもあります。

人間交際

人との交流が、人間力を培う

慶應義塾には、「じんかんこうさい人間交際」を大切にしている伝統が息づいています。それは、“あらゆる学問は、人と人との交流のためにある。人と人との交流の中で、総合的な人間力が培われる”という福澤の考え方に基づくものです。忘れられない言葉、かけがえのない体験、深まる信頼関係…。人の心を動かすのは、人です。「人間交際」は、心を大きく豊かに育むための学びでもあります。

社中協力

人のつながりを、未来への力に

「社中」とは、学生・教職員・卒業生など、慶應義塾に関係する人たちの総称。目的を共有する者の集まりという意味が込められた「社中」の協力体制は、パブリックスクール(義塾)として150年以上にわたり成長を重ねてきた原動力です。その精神は、学びの志を経済面から支える奨学制度や、さまざまな分野が柔軟に連携する総合大学としての研究環境にも活かされています。

慶應義塾のシンボル



ペンマーク

ペンマークは、教科書の一節「ペンは剣に勝る力あり」から、学生たちにより考案されました。学びの尊さを表現する、慶應義塾のルーツ的なマークでもあります。



エンブレム

エンブレムは、オーストラリアのクイーンズランド大学の要請をきっかけに作成されました。図書館旧館記念室の壁面に刻まれていた形状が原型と言われています。



三色旗

三色旗は、慶應義塾の塾旗として位置づけられています。各種の祝賀行事で使われ始め、今日では主にスポーツや塾生・塾員の会合の場で使用されています。

数字で知る慶應義塾



1858年
創立

福澤諭吉により創立された慶應義塾大学は、江戸時代から続く日本最古の私立総合大学です。



奨学金基金
240億円

奨学金を目的とする基金の総額は国内最大規模。運用益は、返済不要の給付型奨学金に使われています。



科学研究費
第1位

科学研究費の獲得は私立大学で第1位です。充実した研究環境が整っています。



公認会計士合格者48年連続
第1位

2022年の公認会計士試験の合格者数は187名。大学別合格者数は48年連続第1位です。



司法試験合格者
第1位

2022年の司法試験の合格者は104名。法科大学院等別最終合格者数は私立大学第1位です。



上場企業の社長数
第1位

最も就職に強い大学の一つとしての高い実績。一部上場企業の社長輩出大学第1位です。



英語による授業
940+

英語による授業(語学を除く)が941あり、また英語による学位課程も開設されています。



海外協定校・機関数
340

創立以来の伝統を受け継ぎ、国際交流が活発に行われています。多くの塾生が留学や海外研修を体験し、年間約400名が海外で学んでいます。



国・地域からの留学生の受け入れ
82

82の国や地域から約2,000名の留学生を受け入れています。



体育会・サークル(公認学生団体)
約400

体育会、文化団体連盟をはじめ、約400の公認学生団体が、文化・スポーツなどの様々な分野において活動しています。



学生寮数
11

全国各地の学生に対する積極的な支援を目指し、キャンパスへのアクセスが良い11の学生寮を用意しています。



蔵書数
約526万冊

図書館の蔵書数は日本最大規模。大学図書館費は日本の大学で1位(年間)です。



学部紹介



学部インデックス

学部	学科・専攻	キャンパス						人数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
文学部 p.10	人文社会学科 哲学系(専攻:哲学、倫理学、美学美術史学) 史学系(専攻:日本史学、東洋史学、西洋史学、民族学考古学) 文学系(専攻:国文学、中国文学、英米文学、独文学、仏文学) 図書館・情報学系(専攻:図書館・情報学) 人間関係学系(専攻:社会学、心理学、教育学、人間科学)	日吉	三田					教員数(専任者)……………144名 1学年定員/一般選抜募集人員…800名/580名 大学院等進学者数(含他大学院)……………66名 学生男女比  男44% 女56%
経済学部 p.18	経済学科	日吉	三田					教員数(専任者)……………133名 1学年定員/一般選抜募集人員…1,200名/630名 大学院等進学者数(含他大学院)……………52名 学生男女比  男75% 女25%
法学部 p.26	法律学科 政治学科	日吉	三田					教員数(専任者)……………107名 1学年定員/一般選抜募集人員…1,200名/460名 大学院等進学者数(含他大学院)……………149名 学生男女比  男58% 女42%
商学部 p.34	商学科	日吉	三田					教員数(専任者)……………111名 1学年定員/一般選抜募集人員…1,000名/600名 大学院等進学者数(含他大学院)……………24名 学生男女比  男71% 女29%
医学部 p.42	医学科	日吉 信濃町※1	信濃町					教員数(専任者)……………213名 1学年定員/一般選抜募集人員…110名/66名 大学院等進学者数(含他大学院)……………2名 学生男女比  男73% 女27%
理工学部 p.50	機械工学科 電気情報工学科 応用化学科 物理情報工学科 管理工学科 数理科学科 物理学科 化学科 システムデザイン工学科 情報工学科 生命情報学科	日吉	矢上					教員数(専任者)(有期除く)……………261名 1学年定員/一般選抜募集人員…932名/650名 大学院等進学者数(含他大学院)……………625名 学生男女比  男79% 女21%
総合政策学部 p.62	総合政策学科	湘南藤沢 (SFC)					教員数(専任者)……………44名 1学年定員/一般選抜募集人員…425名/225名 大学院等進学者数(含他大学院)……………43名 学生男女比  男59% 女41%	
環境情報学部 p.66	環境情報学科	湘南藤沢 (SFC)					教員数(専任者)……………46名 1学年定員/一般選抜募集人員…425名/225名 大学院等進学者数(含他大学院)……………74名 学生男女比  男63% 女37%	
看護医療学部 p.74	看護学科	湘南藤沢 (SFC)	信濃町	湘南藤沢 (SFC)/ 信濃町			教員数(専任者)……………30名 1学年定員/一般選抜募集人員…100名/70名 大学院等進学者数(含他大学院)……………4名 学生男女比  男5% 女95%	
薬学部 p.82	薬学科 (6年制) 薬科学科 (4年制)	日吉 芝共立※2	芝共立					教員数(専任者)……………65名 1学年定員/一般選抜募集人員…210名/150名 大学院等進学者数(含他大学院)……………53名 学生男女比  男45% 女55%

学部の特徴	関連資格・試験	入学試験制度(2024年度)
文化や社会のあり方、人間の本質を追究 多くの逸材を輩出してきた、長い歴史と伝統 多様な学問分野で、統合的な思考力を養成 教育環境を高めるファカルティ・ディベロップメント	公務員試験、図書館司書(図書館・情報学専攻)、司書教諭、学芸員、 中学校・高等学校教員免許(国語、社会、地理歴史、公民、英語、 独語、仏語、中国語、情報)、国立国会図書館職員採用試験 など	一般選抜 自主応募制による推薦入学者選考 帰国生入試 外国人留学生入試
世界をリードする、次代の経済人を育成 確かな基礎知識に基づく、応用・実践力の養成 情報の時代の要請にしっかりと応える人材育成 一歩先を行くための積極的なカリキュラム改革	公務員試験、 公認会計士試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、地理歴史、公民) など	一般選抜 PEARL入試 帰国生入試 外国人留学生入試
複雑な社会現象を考察する、法律学科と政治学科 多彩な専任教員と、社会の変化に対応した専門科目 現代社会が求める個性派・国際派学生の育成 大学院教育の充実で、より高度な社会ニーズに対応	司法試験(弁護士、裁判官、検察官)、 公務員試験、 公認会計士試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、地理歴史、公民) など	一般選抜 FIT入試 指定校による推薦入試 帰国生入試 国際バカロレア(IB)入試 外国人留学生入試
「実学」の精神で、未来の組織リーダーを育成 現代の産業社会全般を科学する4つの視点 時代の進展に応える多様で、柔軟なカリキュラム グローバル人材を育てる、英語によるプログラム	公務員試験、 公認会計士試験、 税理士試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、地理歴史、公民、商業) など	一般選抜 指定校による推薦入試 帰国生入試 外国人留学生入試
人類の福祉に貢献する、高い倫理観と実践力を養成 良き医療人としてのMedical Professionalismの修得 リサーチ・マインドをもつ臨床医の育成 医療系三学部合同教育と研究医養成プログラム	医師国家試験、 特別職国家公務員試験(厚生労働省) など	一般選抜 帰国生入試 外国人留学生入試
先進的教育研究体制で切り拓く、次代の最先端 未知なる科学技術の扉を開くキーワード「創発」 「次」を見据えた専門教育と、総合的な人間教育 「学門制」で広がる、学びの自由度と可能性	公務員試験、 中学校・高等学校教員免許(数学、理科、工業、情報)、 電気主任技術者、 無線技術士、 建築士 など	一般選抜 AO入試 指定校による推薦入試 帰国生入試 外国人留学生入試
往来自由・文理融合の総合政策学部と環境情報学部 「研究を教員と学生がとむ」という教育スタイル 「政策を考え、未来を考える」学問を追究する 「実践知」を理念とした「創り、動かす人」を育成	公務員試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、公民)、 建築士 など	一般選抜 AO入試 帰国生入試 外国人留学生入試
往来自由・文理融合の総合政策学部と環境情報学部 「研究を教員と学生がとむ」という教育スタイル 不確実性の高い時代の先導者たらん 地球、自然、生命、人間、社会を理解し、未来社会に貢献する人材を育成	公務員試験、 高等学校教員免許(情報)、 建築士 など	一般選抜 AO入試 帰国生入試 外国人留学生入試
保健・医療・福祉を一体化できる、先導者を育成 看護医療の可能性を拓く、時代や世界への視点 自由な発想を育てる少人数制教育 医療系三学部のグループアプローチによる医療実践	看護師、 保健師、 助産師の各国家試験 など (選択コースにより異なる)	一般選抜 AO入試 帰国生入試 外国人留学生入試
科学者の視点で未来医療を先導する薬学人の育成 実践型学習や研究を重視した先進の薬学教育 他学部との連携で領域を広げ、薬学の新しい知を創造 グローバルに活躍する薬剤師・薬学研究者の養成	薬剤師国家試験(薬学科のみ)、 公務員試験、 放射線取扱主任者試験 など	一般選抜 指定校による推薦入試 帰国生入試 外国人留学生入試

※教員数・大学院等進学者数・学生男女比は2022年5月1日現在のものです。
 ※上記の入試制度のほか、慶應義塾が設置する高等学校からの塾内進学があります。
 ※1 医学部1年生は、週1回信濃町キャンパスの授業を受講します。
 ※2 薬学部1年生は、週1回芝共立キャンパスの授業を受講します。

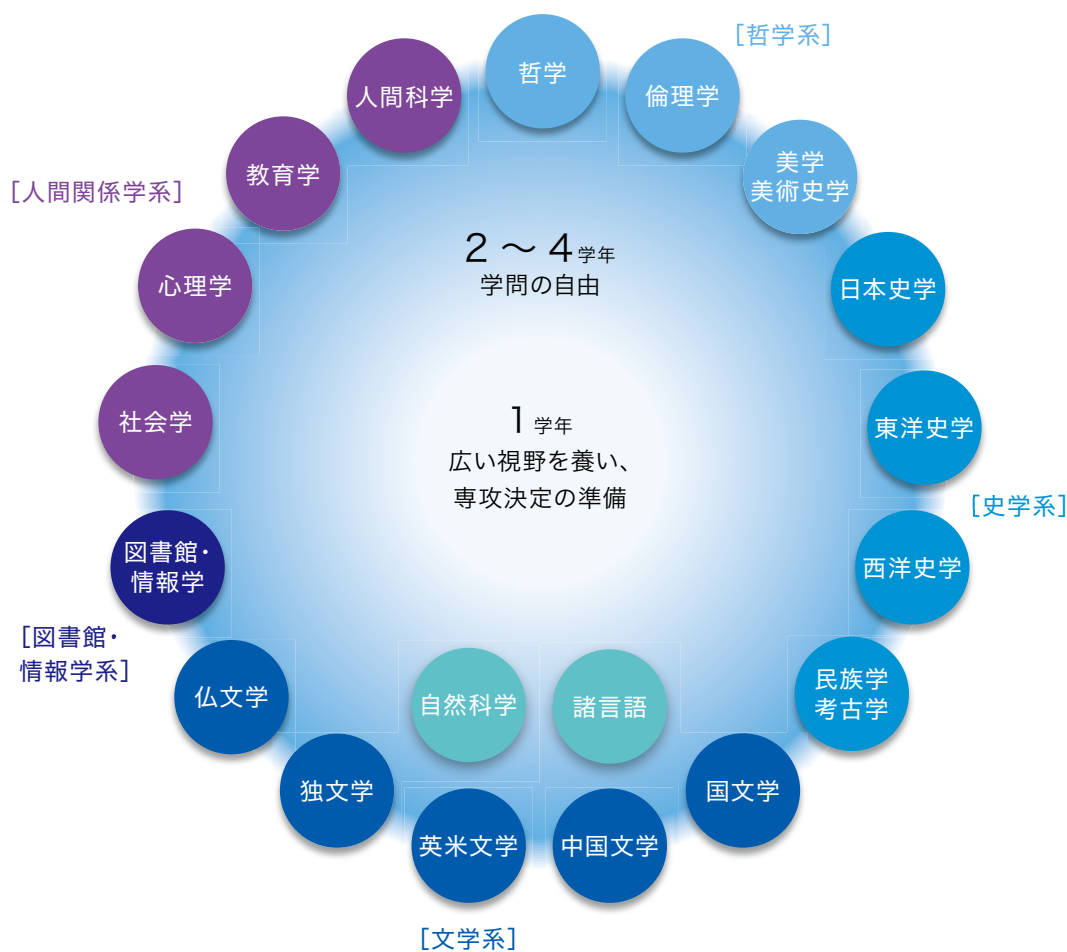


文学部

Faculty of Letters

人文社会学科

文化や社会のあり方、人間の本質を追究する



17専攻+2部門という 幅広く横断的な専攻分野

めまぐるしく変化する現代社会では、
“人間”と“人間が生み出した文化”の本質に目を向け、
幅広い教養と深い専門性を追究する学問の重要性が
従来にも増して高まっています。

<https://www.flet.keio.ac.jp/>



4年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

幅広い視野と教養を培う
総合教育科目

豊富な語種が特色
必修語学科目

自分の専門分野を深く追求
専門教育科目

1

学年

総合教育科目、必修語学科目を中心に学び、進むべき専攻を考えながら幅広く勉強していく。

2

学年

自分の所属する専攻が決まり、専門領域を学び始める。

日吉キャンパス

系列科目

人文科学系列

社会科学系列

自然科学系列

系列外科目

基礎情報処理科目、総合教育セミナーなど特定の系列に属さない科目

語学科目 必修語学科目のうち必修として履修しない科目 / 必修語学以外の語種(ギリシア語など)の科目 /

体育研究所、国際センター、教養研究センター、外国語教育研究センター、

他学部設置の総合教育科目相当科目

英語

ドイツ語

フランス語

中国語

韓国語

ロシア語

スペイン語

イタリア語

※2語種を必修選択

※留学生の必修語学は原則として英語と日本語

※東洋史学専攻では第2学年からアラビア語、ペルシア語、トルコ語も選択可

哲学専攻

倫理学専攻

民族学
考古学専攻

国文学専攻

図書館・
情報学専攻

社会学専攻

第1学年では視野を広げ 専攻を決める

文学部の学生が日吉キャンパスで過ごすのは第1学年のみです。

日吉での1年間は、さまざまな学問に接することによって

視野を広げる期間であるとともに、第2学年になってから進む

専攻を決めるための準備期間でもあります。

3 専攻によって開始時期は異なるが、研究会(ゼミ)に所属し、具体的なテーマをもって研究を進める。

学年

4 研究会での勉学の集大成として、卒業論文を作成する。社会学・人間科学の2専攻には非卒業論文コースもある。

学年

三田キャンパス

インテンシブ・会話など特殊な形態の語学科目

福澤研究センター、保健管理センターなどの設置科目

美学美術史学専攻

日本史学専攻

東洋史学専攻

西洋史学専攻

中国文学専攻

英米文学専攻

独文学専攻

仏文学専攻

心理学専攻

教育学専攻

人間科学専攻

- 各専攻設置の専門教育科目 ●全専攻共通科目
- 教職課程センター、国際センター、日本語・日本文化教育センター、斯道文庫、メディア・コミュニケーション研究所、研究連携推進本部、言語文化研究所、福澤研究センターなどの設置科目
- 他学部設置の専門教育科目相当科目

※ほとんどの学生が第3、4学年に各専攻の研究会に所属。第4学年に卒業試験。

取得できる学位

- 哲学専攻、倫理学専攻：学士(哲学)
- 美学美術史学専攻：学士(美学)
- 日本史学専攻、東洋史学専攻、西洋史学専攻、民族学考古学専攻：学士(史学)
- 国文学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻、独文学専攻、仏文学専攻：学士(文学)
- 図書館・情報学専攻：学士(図書館・情報学)
- 社会学専攻、心理学専攻、教育学専攻、人間科学専攻：学士(人間関係学)

専攻選択は 2年次からという 学問の自由

1年次は単一学科の学生として入学し、1年かけて自分が進むべき専攻をじっくりと見極めることができます。そこには学問を自分自身のものとして成長するための自由があります。

論文作成へ 向けて 専門分野を追究

専攻によってカリキュラムは異なりますが、所属専攻以外の科目も自由に履修できるよう配慮し、幅広い視野で複眼的、統合的に考える能力を培います。また、学習、研究の集大成として、ほとんどの学生が卒業論文を作成します。

研究分野紹介

	専攻	専門領域	
哲学系	哲学	西洋哲学が中心です。主な分野は古代・中世哲学、現象学、論理学、言語哲学、科学哲学、心の哲学、知識論、形而上学で、諸学問のなかで最も長い伝統を有する哲学を、先人の学問的蓄積を利用しつつ、新しい材料や観点を取り入れて研究しています。その研究領域は広く自由で、人文科学、社会科学、自然科学を含め、いろいろな分野に関連する哲学的問題や、既成の分野に制約されない境界領域を選ぶことができます。	科学哲学 現象学 言語哲学 現代哲学 論理学・論理哲学 古代ギリシア哲学 中世哲学 宗教の哲学 西洋近世・近代哲学
	倫理学	倫理学は人間の生き方を探究する学問ですが、この専攻では、2つの道に分けて研究を行っています。ひとつは、古今東西の思想家との対話を通じて、人間存在の根底に迫る道です。これは、思想家の活動の舞台である文化の本質や特性を考える道に通じています。もうひとつは、現代の社会で生じている身近な問題を手がかりにして、近代の自然観や生命観、人間観や社会観を検討し、その修正や転換を探る道です。	西洋近代・現代倫理学 倫理想史 応用倫理学 社会哲学 宗教哲学
	美学美術史学	美学、芸術学、西洋美術史、東洋・日本美術史、音楽学、アーツ・マネジメント等、芸術に関する学問領域の教育と研究を行う専攻です。これらは、私たちの感性やイメージの働きを解明しようとする学問であり、作品の制作や楽器の演奏技術の習得と直接結びつくものではありません。美と芸術に関する体系的・理論的考察、中世・ルネサンスから現代に至る西洋美術史・音楽史、古代から近代までの日本・東洋美術史および日本の近代音楽について等の講義があります。なお、履修の仕方により学芸員資格も取得できます。	美学・芸術学 西洋美術史 東洋・日本美術史 西洋音楽史 映像論・舞台芸術論 アーツ・マネジメント
史学系	日本史学	古代から近現代にかけての日本の歴史を実証的に研究する専攻です。歴史を学ぶためには多くのことを知る必要があり、国際的な視野に立っての幅広い考察が重要となってきています。また、通時代的な知識に加え、古文書学や史資料の取り扱いに関わる知識も修得しながら、通説にまどわされず、自ら真実を明らかにしていく姿勢を養っていきます。	古代仏教史 近代日本 古代法制史 経済史・経営史 中世史 日本植民地史 キリストン史 近世史 近世近代日本経済史
	東洋史学	アジア・アフリカ諸地域の歴史的研究に挑んでいる専攻です。実証的な歴史研究の上に隣接科学の視座も加えた地域研究を行っています。対象となる地域が広く、歴史の年輪も深いため、本学の他学部や研究所、他大学から専門家を講師として招き、できるかぎり多様な対応を試みています。未開拓な研究課題もまだまだ多く残っており、自己の才能を生かせる発展性をもった魅力的な専攻領域であると言えるでしょう。	東アジア近現代史 地中海交流史 食の文化交流史 トルコ社会史 都市史 オスマン帝国史 歴史民俗学 ジェンダー史 中東近現代史 アラブ社会史 中国古代・ 近世・近現代史
	西洋史学	古代から近現代にかけての欧米世界の歴史現象を実証的に探究している専攻です。したがって外国語の原書を読むことも多く、英語の他に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語による演習のうち、いずれかを3年次に履修することになっています。扱う現象が伝統的な政治史から社会経済史、社会史、文化史等へと広がり、デジタルで海外の史資料にアクセスしやすくなり、研究のフロンティアが広がっています。	古代ローマ史 イギリス中世史 西洋中世教会史・文化史 スイス宗教改革史・農民社会史 スペイン(カタルーニャ)近代社会・文化史 ドイツ現代史
	民族学考古学	文献よりも物的資料(モノ)を中心に人類の歴史・文化を探究するのが、この専攻です。大正期から行われてきた発掘調査・民族調査によって国宝を含む約20万点の資料・標本類が蓄積されてきており、レプリカではなく本物に触れる機会があります。専攻教員が国内外で実施するフィールド・ワークに参加して、貴重な資料の発掘や収集を体験することも可能です。	考古学研究法 聖書考古学 先史考古学 オセアニア 歴史考古学 民族学・考古学 近現代考古学 歴史人類学 動物考古学 自然人類学 民族考古学 文化財行政学 西アジア考古学
文学系	国文学	日本の文学・言語を中心に、学芸・芸能・民俗など広く日本文化を考えてゆくことを目的とする専攻です。特定の分野や時代にとらわれず、大きく人間を取り巻く環境や社会の状況までを視野に入れて、広く学び、深く考えてゆこうというのが、本学国文学専攻の伝統的な気風となっています。書誌学や歴史学的方法に強いのも、ひとつの大きな特色です。	古典文学 (和歌文学、物語文学、日記文学、説話文学) 近代日本文学 日本漢文学 中日比較文学 日本語学
	中国文学	中国における「文学」とは、もともと学問・文芸全般を指す言葉であり、狭義の文学のみならず、広く言語を媒体とする文化全体を言います。当専攻は、「中国語学」「古典文学」「現代文学」の3つを柱としながらも、研究の対象はこれらに限ることなく、歴史・思想・芸能などを含めて、古代から現代まで、あらゆるジャンルにおける中国の文化を対象としています。	中国語学 (語法論・語彙論・中国語教育学) 中国古典文学 (詩文・小説・受容史) 中国現代文学 中国現代文化論(映画、演劇など)

		専攻	専門領域	
文学系	英米文学	英語学・英米および英語圏文学を学問として研究することを目的とする専攻です。英語学では、文法、意味論、社会言語学、英語史、翻訳論など、英文学では中世から現代までの作品が、また米文学では17世紀から現代までの作品が研究できます。文化研究、神話研究、絵画や映画と文学、音楽と文学、比較文学も研究対象の一部です。	英語史・英語学 言語学 (意味論、社会言語学) 中世英文学 書物史 近代・現代英文学 (小説・詩・演劇)	近代・現代米文学 (小説・詩・演劇) アメリカ文化史 現代批評理論 英米女性文学
	独文学	ドイツ語圏の言語と文学はもちろんのこと、思想、音楽、演劇、美術、メディア学といった隣接諸領域をも含んだドイツ語圏の人文学領域を広く扱うのが独文学専攻です。ドイツ語学も、理論言語学、社会言語学、中世語研究など、広がりを持って学ぶことができます。文学研究・言語研究は優れて領域横断的な研究領域ですが、本専攻ではドイツ語力を高めながら、それぞれの関心の赴く方向に勉学を深めていくことができます。	ドイツ演劇史 現代演劇理論 中世ドイツの文学と思想 近代・現代ドイツ文学 言語学 ドイツ語学 表象文化論	メディア論 スポーツ史 18～20世紀ドイツ文化史 映画史
	仏文学	フランスの言語と文学を中心に、広く社会や文化、芸術、思想なども研究する専攻です。言語の研究では、統語論、意味論、語用論、レトリック、日仏対照研究、翻訳学などが主要な領域です。文学の研究では、フランスの中世・ルネサンスから近代・現代までの広い範囲にわたる作家や作品、文学史上の諸問題などを対象とします。関連分野として、文化史、美術批評、仏語圏文学、日仏演劇交流なども扱われます。	近世から現代までのフランス文学 (小説・詩・演劇・批評) フランス語圏の文学 フランスの文化と社会 近代フランス文学史・思想 フランス語学 (統語論・意味論・語用論・対照研究)	
図書館・情報学系	図書館・情報学は、知識と情報を扱う学問分野です。科学的知識や専門的知識を積み重ねることにより文明は発展し、情報を交換することにより社会生活は成り立っています。なぜ人は知識や情報を求めるのか、どのように探すのか、保存するのかといった問題を探究します。なお、一定の条件に合った履修をすると図書館司書や司書教諭の資格、教科「情報」などの教員免許の取得ができます。	図書館経営 図書館活動 情報メディア 情報行動 情報サービス 学術コミュニケーション データベース管理	情報検索 情報組織化 情報処理技術 デジタルアーカイブ 書誌学	
人間関係学系	社会学	社会学専攻は現代世界に生きる人間を心理・文化・社会の3つの側面から総合的に理解することを目的としています。したがって、社会学とともに社会心理学、文化人類学の分野を含んでいます。各分野の理論や歴史を学ぶだけでなく、家族、都市、感情、文化、宗教、教育、医療、メディア、環境、ゲーミング、普及などのさまざまな事象を通して、人間に対する探求を深めていきます。学生の皆さんは多様な科目の中から自分の関心に沿ってカリキュラムを組み立てて学習を進めることができます。	社会調査 知識社会学 家族社会学 日本社会学 都市社会学 ライフストーリー研究 記憶と継承の社会学 文化社会学 社会心理学	普及学 教育社会学 文化人類学 コミュニケーション学 宗教社会学 環境行動論 比較文化論 世界社会学 医療社会学
	心理学	心理学専攻では知覚、認知、行動、学習、発達、生物、神経など諸領域の実験心理学に重点が置かれています。実験科学としての特徴を備えているという意味で文学部の中では異色の専攻であると言えるでしょう。1学年の適正人数を少数に設定しており、各学生が自身のテーマに沿った心理学実験を計画、実施して、実証的な卒業論文を作成することができます。	知覚心理学 認知心理学 行動・学習心理学 発達心理学 生理・神経心理学	
	教育学	学校での教育活動に限定されない、豊かな人間形成的営為の可能性を再発見し再評価するための探究を展開しています。また、学校教育の諸問題に対しても、さまざまな学問的アプローチを試みています。研究領域としては教育哲学・教育史・比較教育学・教育心理学の4領域を基軸とし、研究方法としては文献研究や調査研究から実験・実証研究に至る多彩なアプローチを駆使しながら、教育の根源と本質を探究しています。	教育哲学 人間形成論 西洋教育思想史 芸術教育思想研究 日本教育史 フランス教育史・ 教育思想史 社会教育史	比較文化史・大学論 高等教育思想史 アメリカ教育史 教育心理学 パーソナリティ心理学 発達心理学
	人間科学	心理学・社会心理学・社会学・文化人類学などの伝統的な学問領域をベースとしながら、人間を総合的に理解していくことをめざす学際的な専攻です。特色としては、データを用いた実証的な研究を重視し、統計学を中心とした計量的なデータ分析法や測定法、実験的方法、また、フィールドワークを中心とした民族誌的なデータを得るための調査法など、方法論的な科目が複数配置されていることがあげられます。	社会心理学 進化心理学 社会階層論 法社会学 理論社会学 家族社会学 社会福祉学	数理社会学 医療人類学 文化人類学
自然科学	文学部には、自然科学や諸言語教育を担当している教員が配置されており、各専門課程の教育や研究を補うことができる体制が整備されています。人類学の教員が民族考古学専攻の講義を担当したり、韓国語の教員が社会学専攻の授業やゼミを担当することなどをはじめ、研究内容に応じてさまざまな専攻の教員と共同研究を行うこともあります。	生物学 (発生生物学、 免疫生物学)	化学(触媒化学) 自然人類学 心理学	
自然科学 諸言語		ギリシア語 ラテン語 西洋古典学 韓国語 文化人類学 ロシア語 ロシア文学・文化	スペイン語 スペイン語圏の 文学・文化 スペイン美術史 イタリア語 イタリア文学・文化 比較文学	



統合的な思考力を養成する取り組み

創設130年を迎えた文学部

文学部の歩みは、1890(明治23)年、慶應義塾の大学部の発足にあたり理財科・法律科とともに文学科が設置されたことに始まります。2020年に創設130年を迎えた本学部は、以下の試みを通して長きにわたる歴史と伝統を振り返りつつ、新たな時代に向かって邁進します。

- 文学部の将来像を考えるためのシンポジウムや公開講座等の開催
- 文学部の足跡や業績を記録する貴重な史・資料の収集・公開
- 文学部の研究・教育成果の国際的な発信
- 文学部、大学院文学研究科・社会学研究科にかかわる若手研究者の奨励・支援(「井筒俊彦学術賞」「西脇順三郎学術賞」)

多彩な形式の授業を展開

さまざまな形式の授業は文学部の特色のひとつです。特に文学部生全体に開かれた講義科目では、「アート・マネジメント講座」「人の尊厳」「孤独と共生」など、

ユニークで多彩なオムニバス形式の授業が展開されています。

また、文化財研究における新視点を提起する「博物館資料保存論」「博物館学特論」、音楽に関心をもつ学生に人気の「遠山記念音楽学講座」なども開かれています。

言語学関係の科目をまとめた「言語学関係講座」というカリキュラムも設けられています。

積極的な研究活動を支える学会と研究雑誌

文学部では専門分野ごとに学会が組織されており、専門研究雑誌が刊行されています。

1921年創刊という日本屈指の伝統を有する『史学』（三田史学会刊）をはじめ、

『哲学』（1926年、三田哲学会刊）、『藝文研究』（1951年、藝文学会刊）、

Library and Information Science（1963年、三田図書館・情報学会刊）などがそれで、教員はもとより、卒業生、大学院生、場合によっては学部生も積極的に研究の成果を公表できる環境にあります。

自主応募制による推薦入学者選考制度

高等学校の最終学年1学期または前期までの「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、

文学部入学を第一志望とする現役の生徒が対象です。

指定校制ではありませんので、自分の意思で応募することができます。

一般の学力考査とは異なった視点・尺度を導入することによって、さまざまな資質をもち、

文学部への志望動機が明確で意欲的なみなさんに入学への道を開くことを目的としています（p.148参照）。





経済学部

Faculty of Economics

経済学科

世界をリードする、次代の経済人を育成

経済理論

環境・社会

経済学とは？

個人や企業、地域、国、世界が直面する
経済的な諸問題を、過去に学びながら、
地域間の違いに留意しつつ、
いかに解決していくかを考え、
提案する実践的学問です。
地球環境への対応も含めた持続可能な社会の構築に
経済学は大きく貢献しています。

歴史

世界経済

経済政策

日本の経済学を体系化

我が国の経済学は、慶應義塾の創設に始まり、
本学部の前身である理財科により体系化されました。
そして、「慶應経済人」と称された卒業生たちは、
明治以降、日本経済の発展に指導的役割を果たしてきました。
経済学部は、国際舞台でも経済学を武器に十分に発言し議論できる能力を養い、
世界経済をリードする次代の経済人の育成を目指しています。

<https://www.econ.keio.ac.jp/>



4年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

1 学年
総合教育科目、外国語科目とともに経済学の基礎を学ぶ。

2 学年
1学年の対象領域に加え、経済学の専門知識を深める。

日吉キャンパス

幅広い知識と教養を身につける
総合教育科目

- I系 自然科学関連科目
- II系 人文・社会科学関連科目
- III系 その他の科目(少人数セミナーなど)

世界を理解し世界に向かって表現する
外国語科目

- 外国語Ⅰ 英語(Study Skills)/英語セミナー、英語リーディング
- 外国語Ⅱ ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語(いずれか一つ選択、留学生は日本語)
- 外国語Ⅲ ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語(語種)

体育科目

体育実技、体育学講義、体育学演習

タイプA
基礎教育科目(必修)
基礎教育科目(選択)
基礎科目(必修)

- 微分積分、線形代数、統計学
- 日本経済概論、歴史的経済分析の視点、微分積分入門、線形代数統論、情報処理
- マクロ経済学初級
- ミクロ経済学初級、経済史入門

タイプB
基礎教育科目(必修)
基礎教育科目(選択)
基礎科目(必修)

- 日本経済概論、歴史的経済分析の視点、統計学
- 数学概論、微分積分入門、微分積分、線形代数、線形代数統論、情報処理
- マクロ経済学初級
- ミクロ経済学入門、経済史概論

基礎科目(選択必修)

経済と環境、計量経済学概論、経済思想の歴史、マルクス経済学、経済数学、社会問題、フィールドワーク論

基本科目(選択必修)

特殊科目(選択)

簿記、解析学入門、確率論入門(以上選択)

関連科目(選択)

履修プログラム

- DEEP(Data-driven Economics and Econometrics Programme)
- FACTS(Fieldwork for Active Comprehension of Targeted Subjects)

3・4
学年

経済学の専門知識を深めるとともに、自分の目標と関心に沿って、研究を行い、その研究成果を発表する。

研究会
(ゼミナール)

研究
プロジェクト

PCP

取得できる学位
学士(経済学)

三田キャンパス

変更者)、ロシア語、韓国朝鮮語、イタリア語

2つの履修タイプが 合流

Ⓐ 経済理論 Ⓑ 計量・統計 Ⓒ 学史・思想史 Ⓓ 経済史 Ⓔ 産業・労働
Ⓕ 制度・政策 Ⓖ 現代経済 Ⓗ 国際経済 ⓘ 環境関連 Ⓙ 社会関連

毎年設置される科目より履修
研究会、PCP、研究プロジェクトを含む(以上選択)

民法、商法、労働法、租税法、会計学、経営学、
他学部設置の専門教育科目相当科目(以上選択)

詳細は
次ページへ

2つの 履修タイプで

学びをスタート: 教養を深める

経済学を修めるために、
経済学部では2種類の積み上げ型で
コースを構成しています。

タイプA

(経済理論・数学先習型)

入学試験で数学を選択した
学生向けのコースです。
一般的な仮定・前提から出発して
論理的に答えを導く数学的・
演繹的能力の習得を重視します。

タイプB

(経済実態・歴史先習型)

入学試験で地理歴史を選択した
学生向けのコースです。
経験的事実の積み重ねから
結論を導く帰納的能力の
習得を重視します。

詳細は
p.24へ

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

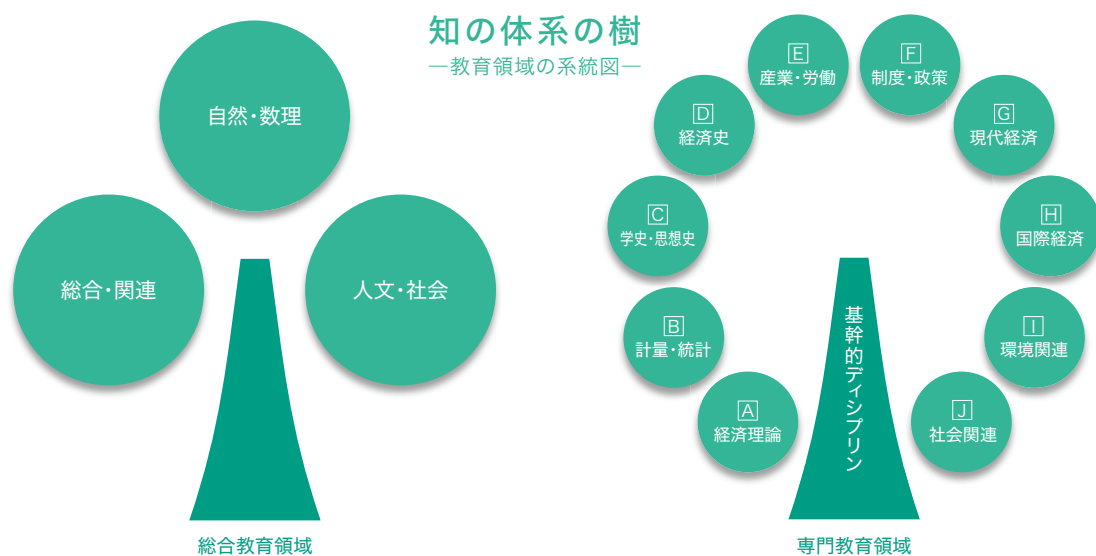
環境情報学部

看護医療学部

薬学部

経済学の学問体系

現代の経済学の学問体系は伝統的な領域を基本としつつ、
現実に即した新領域を常に生み出しながらダイナミックに発展しています。
慶應義塾の経済学部はその幅広い領域を網羅しており、学生は自分の最も関心の強い専門分野を選択できます。
また、経済社会について多角的な観点から深く考察できる人を育てたいという考え方から
総合教育領域でも多くの選択肢を用意しています。



専門教育の3つの柱

経済学部の専門教育には、講義だけでなく、学生の思考力・研究能力を伸ばすための「研究会(ゼミナール)」、
「研究プロジェクト」、「PCP(プロフェッショナル・キャリア・プログラム)」という3つの柱を用意しています。

研究会(ゼミナール)

長い伝統を持つ、少人数クラスで開講される専門教育のコースです。2年間、特定の教員に師事することで
専門分野を深く学び、その成果を卒業論文にまとめます。グループワークも含め、他者とのコラボレーションを重視した教育を行います。

研究プロジェクト

学生が自らテーマを設定し、1年かけて論文を執筆する個人研究のコースです。
経済学だけでなくそれ以外の分野についても研究を行うことができます。個人の研究に対する熱意を形にすることが目的です。

PCP(プロフェッショナル・キャリア・プログラム)

すべて英語で開講される少人数クラスの専門教育のコースです。英語で専門知識を学習し、プロジェクト形式の授業を経験します。
このプログラムを通じて、グローバル化の時代に対応した人材を育成します。

2023年度より3.5年早期卒業制度を導入

2023年度以降の入学者を対象に、3.5年(7学期)在学すれば卒業できる早期卒業制度を導入します。
4月入学者(タイプAB学生)の海外大学院進学支援、9月入学者(PEARL学生)の日本での就職支援、
経済学研究科と連携した3.5年+1.5年の内部学士・修士5年プログラムの実現を目的としています。

設置科目一覧

※2023年度開講予定科目。PCP科目以外にも英語開講科目があります。

	専攻	専門領域		
基本科目	A 経済理論	経済事象をめぐる因果関係の論理を厳密かつ緻密に追跡します。この理論体系は、経済学の大きな樹冠を支える幹にたとえることができます。	ミクロ経済学中級 マクロ経済学中級	独占資本主義論
	B 計量・統計	観察データから、事象の原因を特定したり、メカニズムを誤りなく浮かび上がらせるために必要な緻密な手法の体系です。経済学に科学性を与える上で大きな役割を果たしています。広い応用範囲を持ちます。	計量経済学中級 経済統計 社会科学基礎論	計量経済学上級 確率・統計
	C 学史・思想史	先人の学問や思想に現代の光を当てるとともに、現代の学問などに先人の考察を対照させることは、人々の知的営為の発展に貢献するところが大きいと言えます。	経済学史 社会思想史	社会思想
	D 経済史	経済に関わる歴史を事実にして検証し、その因果関係を論理的に論じます。市場がどのように形成され、各国の経済社会はいつ形作られたのか、近代化はどのような力学によって支えられたのかなど、興味深い内容です。	日本経済史 アジア経済史	欧米経済史
	E 産業・労働	市場の働きを個別具体的に、または横断的に観察し、問題を論じ、自由や公平や公正などに関わる社会的な見地から、いかなる規則やルールがとられるべきかを考察します。	工業経済論 産業組織論 社会政策論	農業経済論 労働経済論
	F 制度・政策	財政・金融制度の戦後からの歴史、経済の安定化のための財政政策・金融調整などを論じ、公共事業の発展のための最適な規制を提示します。	経済政策論 金融論	財政論 日本経済システム論
	G 現代経済	日本経済を中心に、また体制を相互比較することにより、今日の経済を構造的にまた総合的に理解することを目指します。	現代日本経済論 現代資本主義論	日本資本主義発達史 経済体制論
	H 国際経済	グローバルな経済のシステムを理解するとともに、南北問題に代表されるような開発政策の重要性の理解を通じて、世界経済の持続的成長の道を考えます。	国際貿易論 経済発展論	国際金融論
	I 環境関連	経済を空間としてとらえると、良き自然環境の保全と活性ある経済社会をいかにして両立させるか、地域経済の特性はいかにして形成されてきたかなどを問うことができます。	経済地理 都市経済論	環境経済論
	J 社会関連	経済学と他の分野との境界面にある学際的分野です。社会の発展につれ、これからますます発展していく領域として期待されています。	人口論 社会史	産業社会学

特殊科目	ゲームの理論 解析学 公共経済学 数理経済学 数理経済学特論 代数学 定量的マクロ経済学 メカニズムデザイン モビリティイノベーションとマーケットデザイン 経済学：理論と実践 マルクス経済学特論 組織の経済学 時系列分析 ベイズ統計学	人工知能入門 データ駆動型ファイナンス入門 スタートアップとビジネスイノベーション トークンエコノミーの理論と実践 データサイエンス・コンサルティング 日本経済思想史 近代日本と東アジア 東欧経済史 経済史 日本経済史各論 現代日本経済史 東南アジア経済史 アジア経済史各論 近代東アジア経済史	中東イスラーム経済史概論 経済と環境の歴史 公私による新しい福祉価値の創造 AI産業論 ビジネス・エコノミクス 実験経済学 金融資産市場論 経済政策のミクロ分析 企業金融論 NPO経済論 政策評価の理論と実践 ファイナンス論 格差と援助の経済学 世界経済論	開発経済学 EUと日本の経済関係 国際経済と行動経済学 貿易政策 国際的視点から見た日本経済 戦争と社会 日本史史料講読 簿記 生命保険概論 生命保険数学特論 グローバル人材マネジメント 専門外国書講読 演習
------	--	--	---	--

研究会 専門教育科目担当の各教員が、それぞれの専門分野について指導する少人数クラスで開講されるコースです。原則として2年間同じ教員のもとで学び、卒業論文を作成します。

研究プロジェクト 学生が自らテーマを設定し、専任教員の指導のもと、1年かけて論文を執筆する個人研究のコースです。

PCP FINANCE, POLICY AND THE GLOBAL ECONOMY
INDEPENDENT STUDY

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部



新時代を見据えたプログラム

英語のみで学ぶPEARLプログラム

経済学部は、4年間一貫して英語で経済学を学ぶ9月入学のプログラム

「Programme in Economics for Alliances, Research and Leadership (PEARL)」を設置しています。

PEARLは、しっかりとした経済学の知識を基礎に語学力を生かして

世界を舞台に活躍する、先導者の輩出を目的としています。

定員は約100名で、日本人、外国人を問わず国内外から幅広く学生をプログラムに受け入れます。

■ 入学選考

書類審査のみで、学力を判定するためのIB、SAT、もしくはACTの成績、英語能力を測るためのTOEFLまたはIELTSの結果、そして、各人の志望動機や適性を見定めるための志望理由書などをオンラインで提出してもらい、

これらを総合的に評価して可否を決定します。面接や独自の筆記試験はありません。

参考までに2022年度の入学選考では、のべ507名の出願があり、200名が合格しました。

その内訳は、男女別では男性が109名、女性が91名、国籍別では日本国籍が91名、外国籍が109名でした(p.159参照)。

■ カリキュラム

履修タイプB(経済実態・歴史先習型)と同じです(p.21参照)。

授業はすべて英語で行われますが、日本語を母語としない学生のために集中的に日本語を学べる授業も提供します。

■ HEC 経営大学院との学部・修士5年プログラム

フランスのパリにあるHEC経営大学院と提携して、PEARLの学生を対象とした学部・修士5年プログラムを展開しています。

このプログラムでは、学部の最初の3年間で慶應義塾で学んだ後、渡仏してHEC経営大学院で2年間学び、

合計5年間で学士(経済学)と修士(経営学)の学位を取得できます。

2022年度新設の2つの履修プログラム:「DEEP」&「FACTS」

専門教育の3つの柱「研究会」「研究プロジェクト」「PCP」(p.22参照)に加え、2022年度から、

データサイエンスに関する「DEEP」(Data-driven Economics and Econometrics Programme)と、

フィールドリサーチに関する「FACTS」(Fieldwork for Active Comprehension of Targeted Subjects)の

2つの履修プログラムを開始しました。社会的な要請の高い分野の人材を育成します。

海外教育機関とのダブルディグリー・プログラム

経済学を基本とする教養を備え国際的に活躍できる人材を育てるため、経済学部では海外の教育機関と提携してダブルディグリー・プログラムを行っています。現在の提携校は、フランスのパリ政治学院とイタリアのボッコニ大学です。



パリ政治学院

1872年に創設されたグランゼコール（フランス独自の高等専門教育機関）のひとつで、歴代の大統領・首相をはじめ、フランスの政財界ばかりでなく、国際機関にも数多くの人材を輩出してきました。

ボッコニ大学

イタリアのミラノにキャンパスを持つ1902年創設の伝統校で、イタリアで初めて経済学部を設置した大学です。



経済学部から派遣されるダブルディグリー・プログラムの参加者は、在学中に提携校に一定期間（パリ政治学院ル・アーヴル校には2年間、ボッコニ大学には1年間）留学し、両校の修了要件を満たすことにより、卒業時に慶應義塾と提携校の2つの学位（学士）を取得します。異文化に身を置き、意識の高い仲間とともに、複数の言語を用いながら学生生活を送るという経験は、一生の財産になります。将来、国際的な舞台で活躍したいと考えている人はぜひ積極的に応募してください。

さらに、これらのダブルディグリー・プログラムに加えて、経済学部では半年から1年の交換留学プログラムを多数の海外教育機関と提携して実施しています（p.117参照）。

学部・修士5年プログラム

3年間慶應義塾に在籍し、その後の2年間で海外の提携校に在籍します。所定の要件を修めた経済学部生が慶應義塾経済学士号と海外提携校の修士号を取得できます。現在の提携校はフランスのパリ政治学院とHEC経営大学院（HEC経営大学院はPEARL生のみ対象）、イタリアのボッコニ大学、米国のブランダイス大学、およびスティーヴンス工科大学、ドイツのケルン大学です。

文理連携の教育

学問の専門化が行き過ぎ、あまりにも理科系の知識にとぼしい文科系大学卒業者が増えています。このような問題を解決するため経済学部では、キャンパスが比較的近い東京工業大学と単位互換制度を設け、必要に応じて理科系の知識も学べるようにしています。この制度と連携して慶應義塾の大学院経済学研究科には東京工業大学の修士号も取得できるジョイント・ディグリー制度もあります。

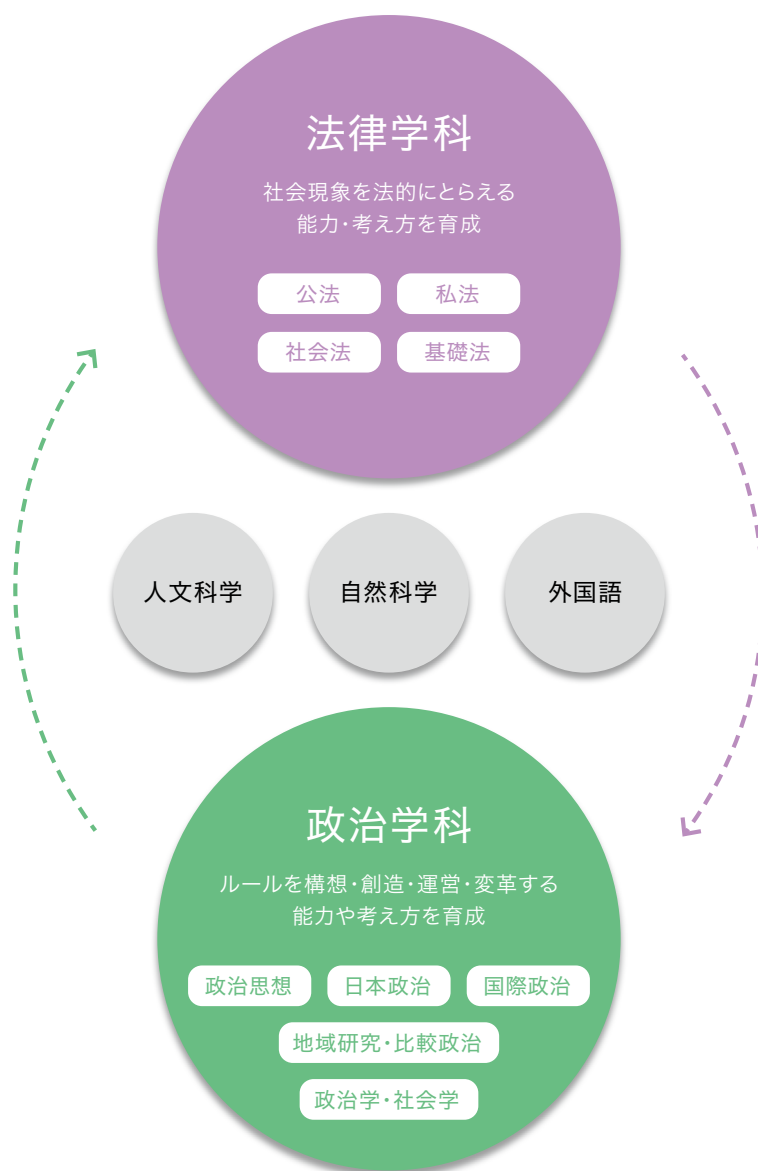


法学部

Faculty of Law

法律学科・政治学科

複雑な社会現象を考察する、2つのアプローチ



社会は法律と政治との連携のもとに形作られている

法学部法律学科・政治学科では、
社会を構成する制度や事象を多角的かつ客観的な視点で深く理解する力、
さまざまな利害対立の解決を導くのに必要となる論理的思考をする力、
あるべき社会を実現するために主体的に発信・行動するための力を養成します。

<https://www.law.keio.ac.jp/>



4年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

個性派・国際派学生の育成

共通科目

法律学科

社会科学科目

法律学科目

自主選択科目

社会科学科目

政治学科目

政治学科

自主選択科目

1

学年

外国語、人文科学、自然科学、社会科学、そして法律学・政治学を学び、基礎知識を形成する。

2

学年

1年次の科目に加え、法律学・政治学の専門知識を深める。

日吉キャンパス

外国語科目 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語、アラビア語

人文科学科目 言語学、地域文化論、文学、歴史、科学史、論理学、倫理学、宗教学、哲学、音楽、漢文、美術、

自然科学科目 物理学(実験を含む)、化学(実験を含む)、生物学(実験を含む)、基礎数学、心理学、基礎統計学、

体育科目 体育実技、体育学講義、体育学演習

法学(憲法を含む)(必修)、経済学、政治学、社会学、地理学、近代思想史

導入科目

法学の入門的な科目、法学全体の基礎となる科目

基幹科目

さまざまな法律のなかで基幹となるものを扱う科目

展開科目

応用的・先端的な法律を扱う

少人数制授業

法学演習、各種主要科目の演習、研究会(ゼミナール)、法務演習(法曹コースに独自の授業)など

他学部等設置の人文・自然・社会科学科目に相当する科目

社会学系列(社会学、文化人類学、社会心理学)、

法学系列(法学、憲法、民法、行政法、国際法、刑法、商法、労働法、経済法、犯罪学)、

経済学・商学系列(経済原論、経済政策、財政論、国際経済論、金融論、経済史、経営学、会計学、労働経済論、

基礎科目

政治学基礎(必修)、政治理論基礎、政治思想基礎、日本政治基礎、地域研究・比較政治基礎、国際政治基礎(選択必修)

系列科目

政治思想論系列、政治・社会論系列、日本政治論系列、地域研究・比較政治論系列、国際政治論系列

少人数制授業

研究会(ゼミナール)、演習、文献講読、特殊研究

他学部等設置科目(専門科目を含む)



3
学年

さらに、法律学・政治学、それぞれ
その分野を学ぶと同時に、
研究会に所属し、研究活動を
進める。

4
学年

研究会の集大成として、卒業
論文を作成する。

三田キャンパス

※選択必修外国語は2年次までに履修 ※各語種インテンシブコースの選択も可
※その他、イタリア語、ラテン語、ギリシャ語、ポルトガル語を履修できる

人文科学特論など

自然科学研究会、自然科学特論など

科目、実定法を支える基礎法学の科目、発展的な学種をするための科目

社会保障論、計量経済学、日本経済論

取得できる学位

法律学科、政治学科：学士(法学)

学びの中心となる 研究会

研究会(ゼミナール)では、
少人数の仲間と共に、
ひとりの教員から2年間にわたって
直接の指導を受けます。
最終的には自分の問題・関心に
基づいたテーマを選び、
卒業論文にまとめます。
研究会の選抜は、
2年次秋学期に実施されます。

共通科目の特色

- ① 語学力、異文化理解能力、異文化
コミュニケーション能力の向上を
目指します。
- ② 基礎的、学際的な理解力を
養うため、人文科学、
自然科学、社会科学科目が
充実しています。

詳細は
次ページへ

多彩に展開される 専門科目

専門的知見を身につけ、法律学、
政治学のエキスパートとして通用する
学生を育てるため、法律学科、政治学科の
カリキュラムは、それぞれ充実した
専門科目群を擁しています。
専門科目の履修は1年次から始められ、
基礎から応用へと段階を踏んで
学べるように構成されています。
また、多彩な科目群から、
各人の興味と関心に応じた
履修選択も可能となっています。

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

法律学科 設置科目

3つの区分を設け、法学を体系的に修得

カリキュラムは、公法・私法・民事法・刑事法といった法律学の分野ごとの区分ではなく、「導入科目」、「基幹科目」、「展開科目」という習熟度別の3区分を設けています。これによって履修の自由度が高まり、法律学の基礎を効率よく学ぶと同時に、自分の関心のある分野について集中的に勉強、研究することにより、法律学の総合的な素養に加えて専門的な知識を修得することが可能となります。どの法分野を学ぶ上でも基礎となる憲法・民法・刑法を1・2学年に重点的に配置しており、応用分野・先端分野を学ぶ際にも無理なく取り組むことができます。研究会(ゼミ)では、学問を通じた教員と学生との人間関係を大切にしています。

分野		科目			
社会科学科目		法学Ⅰ・Ⅱ(憲法を含む)(必修) 政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、近代思想史Ⅰ・Ⅱのうち2科目選択必修			
法律学 科目	導入科目	必修	憲法(総論・人権)Ⅰ・Ⅱ	民法(総論)Ⅰ・Ⅱ	刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ
		選択必修	国際化と法	法制史概論	法文化論
	基幹科目	憲法(統治)Ⅰ・Ⅱ	刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ	民法(物権法)Ⅰ・Ⅱ	民法(債権各論)Ⅰ・Ⅱ
		会社法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	支払決済法Ⅰ・Ⅱ	民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ
		行政法総論Ⅰ・Ⅱ	行政救済法Ⅰ	所得税法	労働法Ⅰ
展開科目	経済法Ⅰ	民法(債権総論)Ⅰ・Ⅱ	国際法Ⅰ	国際私法Ⅰ	
	知的財産法Ⅰ				
	日本法制史	東洋法制史	西洋法制史	ローマ法	
	法社会学	法哲学Ⅰ・Ⅱ	法思想史	法文化論	
	行政救済法Ⅱ	行政組織法Ⅰ・Ⅱ	行政作用法各論	企業税法	
	資産税法	租税法総論	国際租税法Ⅰ・Ⅱ	労働法Ⅱ	
	経済法Ⅱ	比較競争法	国際経済法	社会保障法Ⅰ・Ⅱ	
	刑事政策(犯罪者処遇論)	刑事政策(刑事制裁論)	被害者学	国際刑事法	
	法医学	民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ	消費者法	会社法Ⅳ	
	企業法総論	企業取引法	保険法Ⅰ・Ⅱ	金融商品取引法	
	倒産法Ⅰ・Ⅱ	民事執行・保全法	国際民事手続法	国際法Ⅱ	
	国際武力紛争法	国際海洋法	国際宇宙法	国際私法Ⅱ	
	国際取引法	英米法Ⅰ・Ⅱ	ドイツ法Ⅰ・Ⅱ	フランス法Ⅰ・Ⅱ	
	ラテンアメリカ法	知的財産法Ⅱ	環境法Ⅰ・Ⅱ	情報法	
	医事法Ⅰ・Ⅱ	政治学Ⅰ・Ⅱ	社会学Ⅰ・Ⅱ	経済政策Ⅰ・Ⅱ	
経済原論Ⅰ・Ⅱ	財政論Ⅰ・Ⅱ	金融論Ⅰ・Ⅱ	会計学Ⅰ・Ⅱ		
経営学Ⅰ・Ⅱ など	他学科・他学部等の専門的授業科目				
研究会(ゼミ) または 演習科目	研究会(法律学科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	法学演習	刑法演習	憲法演習	
	民法演習	国際私法演習	商法演習	行政法演習	
	租税法演習	刑事訴訟法演習	民事訴訟法演習	国際法演習	
	刑事政策演習	外国法演習	基礎法演習	社会法演習	
	法制史演習	知的財産法演習	環境法演習	法務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	

政治学科 設置科目

幅広い領域を5系列に分け、政治学を多角的に研究

カリキュラムは、共通科目に加え、政治学科目(基礎科目、系列科目)、社会科学科目から構成されています。現代の政治学が対象とする学問領域は、きわめて広範かつ複雑です。

そのため、政治学科目(系列科目)は、大きく5つの系列に分かれており、地球規模での政治・社会の動きを、思想、歴史、理論、実証研究など、多様な視座から学べるカリキュラムとなっています。系列は、「政治思想論」、「政治・社会論」(政治学・行政学と社会学・メディア論)、「日本政治論」、「地域研究・比較政治論」、「国際政治論」に分かれ、さまざまな科目が設置されています。また研究会(ゼミ)、演習、文献講読、特殊研究といった少人数授業を重視して、教員と学生との人間関係を大切にしています。

分野	系列	科目			
社会科学科目	社会学系列	社会学(必修)	文化人類学Ⅰ・Ⅱ	社会心理学Ⅰ・Ⅱ	
	法学系列	法学(憲法を含む)(必修) 国際法 商法ⅠA・B	憲法(必修) 刑法 労働法Ⅰ・Ⅱ	民法Ⅰ・Ⅱ 民法ⅢA・B 経済法Ⅰ・Ⅱ	行政法 商法ⅠA・B 犯罪学Ⅰ・Ⅱ
	経済学・ 商学系列	経済原論Ⅰ・Ⅱ(必修) 金融論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	経済政策Ⅰ・Ⅱ 経済史Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ	財政論Ⅰ・Ⅱ 経営学Ⅰ・Ⅱ 計量経済学Ⅰ・Ⅱ	国際経済論Ⅰ・Ⅱ 会計学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ
政治学科目 (基礎科目)		政治学基礎(必修) 地域研究・比較政治基礎	政治理論基礎 国際政治基礎	政治思想基礎	日本政治基礎
政治学科目 (系列科目)	政治思想論	政治文化論 日本政治思想史Ⅰ・Ⅱ	政治哲学Ⅰ・Ⅱ 近代政治思想史Ⅰ・Ⅱ	政治理論史Ⅰ・Ⅱ 現代政治思想Ⅰ・Ⅱ	民主主義思想論Ⅰ 東洋政治思想史Ⅰ・Ⅱ など
	政治・社会論	行政学Ⅰ・Ⅱ 地域社会論Ⅰ・Ⅱ 社会変動論Ⅰ・Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	政治過程論Ⅰ・Ⅱ 社会調査論Ⅰ・Ⅱ メディア社会論Ⅰ・Ⅱ マス・コミュニケーション発達史Ⅰ・Ⅱ など	社会階層論Ⅰ・Ⅱ 現代政治理論Ⅰ・Ⅱ マス・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	公共経済論Ⅰ・Ⅱ 現代社会理論Ⅰ・Ⅱ
	日本政治論	古代日本政治史Ⅰ・Ⅱ 戦後日本政治史Ⅰ・Ⅱ 現代日本行政論Ⅰ・Ⅱ	中世日本政治史Ⅰ・Ⅱ 日本外交史Ⅰ・Ⅱ 日本政治運動史Ⅰ・Ⅱ など	近世日本政治史Ⅰ・Ⅱ 日本行政史Ⅰ・Ⅱ	近代日本政治史Ⅰ・Ⅱ 近代日本政党史Ⅰ・Ⅱ
	地域研究・ 比較政治論	現代アメリカ論Ⅰ・Ⅱ 現代韓国朝鮮論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ アフリカ社会論Ⅰ・Ⅱ 西洋法制史 など	現代ロシア論Ⅰ・Ⅱ 現代ラテン・アメリカ論Ⅰ・Ⅱ 開発援助政策論Ⅰ・Ⅱ	現代中国論Ⅰ・Ⅱ 現代中東論Ⅰ・Ⅱ 中国法制史	中国政治史Ⅰ・Ⅱ 現代東南アジア論Ⅰ・Ⅱ 現代台湾論
	国際政治論	現代国際政治Ⅰ・Ⅱ 現代韓国朝鮮論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 開発援助政策論Ⅰ・Ⅱ	日本外交史Ⅰ・Ⅱ 国際政治理論Ⅰ・Ⅱ 現代東南アジア論Ⅰ・Ⅱ など	西洋外交史Ⅰ・Ⅱ 国際政治経済論Ⅰ・Ⅱ	現代ヨーロッパの国際関係Ⅰ・Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
	研究会(ゼミ)・ 文献講読・ 演習等	研究会(政治学科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 文献講読Ⅰ・Ⅱ 特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 演習Ⅰ・Ⅱ			

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

時代の要請に応える取り組み

総合的な能力を評価するFIT入試(AO入試)

「慶應の法学部で学びたい」という学生と、「この学生を教えたい」という法学部教員との良好な相性(fit)を実現しようとスタートしたAO入試制度です。リーダーシップや協調性などペーパー試験だけでは判断しにくい能力を見極めるために、選考方法にも独自の工夫が凝らされています。「一芸入試」とは異なり、主体性や社会性、創造力、表現力、コミュニケーションなどを重視し、積極的に社会で発信できる、総合的な能力を評価します。高校までしっかりと勉強し、充実した生活を送ってきた魅力ある学生を全国から発掘することを目指して、地域ブロック枠という考え方を採用した方式も導入されています(p.150 参照)。

履修を自主的に構築

法学部のカリキュラムは、法律学科目・政治学科目を中心に多彩な科目を用意しています。それらを選択履修することで、柔軟で個性的な履修計画をたてられるようになっています。最大の特色は、1学年から法律学・政治学科目が大幅に組み込まれると同時に、外国語や人文・自然・社会科学科目を、3・4年生まで継続的に学べる点です。これにより、語学や情報処理技術なども4年間しっかりと勉強できます。さまざまな進路希望や一人ひとりの興味に合わせて、科目履修を組み立てることができる自由度の高いカリキュラムが用意されています。

各学科卒業生の社会における活躍

法律学科と政治学科いずれにおいても卒業生が社会で活躍できる能力に磨きをかけることができる専門科目が配置されています。授業を通じて法律、政治に関する専門知識を得るのみならず、論理的に考える能力、説得的に議論をする能力、相手に伝わる文章を作成する能力などを鍛錬する機会が提供されます。技術が重視される時代ですが、社会における活躍には主体的に思考し伝える能力が不可欠です。卒業後の就職先として、金融・保険業、情報通信業、学術研究、専門・技術サービス業、製造業が多くみられますが、狭き門を突破して、マスコミ関係や国際機関の仕事に就く学生や国家公務員として活躍する学生もみられます。

法曹コース

法律学科には、法曹志望者のための履修プログラムである法曹コースが設置されています。2022年度から法科大学院において、特別選抜入試が導入されていますが、法曹コースは学部を3年間で卒業し、特別選抜によって、法科大学院へ進学し、在学中に司法試験を受験・合格すれば、大学入学から司法修習修了まで最短6年で法曹になることができる、という制度です。特別選抜入試により提携先の法科大学院に進学することを希望する者は、法曹コース設置の科目(法務演習)のほか、一定の指定科目を履修し、優秀な成績を収めることが求められます。

進路別の演習形式授業

大学院への進学をはじめ、国家公務員・資格の取得、国際企業や国際機関への就職など、それぞれの進路に対応した授業を上級学年で充実させています。





より深く学べる外国語

目的に合わせてコースやレベルを選択し、外国語を4年間継続して学ぶことができます。週2回授業のレギュラーコースのほか、少人数クラスで集中的に学ぶための週4回授業のインテンシブコースも用意されています。さらに第3外国語を追加することもできます。インテンシブコース修了者には修了証を授与し、成績優秀者は表彰します。グローバル化に応えるべく、法律学科、政治学科ともに、海外からの招聘教員が担当する英語による授業の拡充に努めています。

副専攻制度の導入

副専攻制度は、法律学・政治学という主専攻と並行して、人文科学や自然科学の領域を副専攻として学べる制度です。スペシャリストであると同時に、総合的視野を身につけたジェネラリストでもある、という人材育成を目指す法学部ならではのカリキュラムです。

セメスター制による留学促進

夏休み後からの留学を容易にするためにセメスター制(春・秋の半期制)を導入し、留学しやすい環境づくりを調えています。また、留学中に取得した単位を卒業単位として認める制度もあり、1年間留学し4年間で卒業することも可能です。

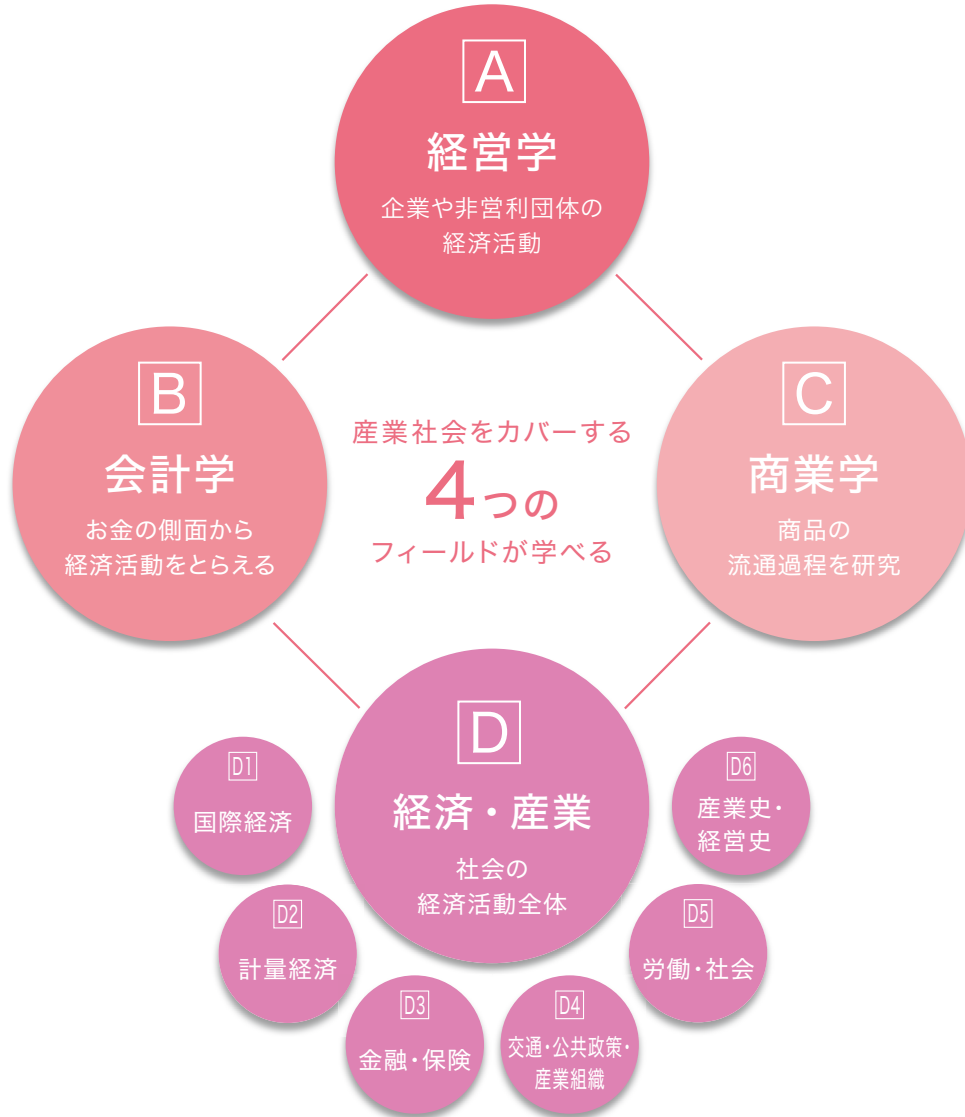


商学部

Faculty of Business and Commerce

商学科

産業社会全般を科学する



社会を変えるための 問題発見・解決能力を養う

現代の社会が直面している問題の多くは、
ひとつの専門分野の知識だけでは対応できません。
社会全体に対する広い視野に支えられた専門性と
コミュニケーション能力の追究が不可欠です。

<https://www.fbc.keio.ac.jp/>





4年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

1

学年

総合教育科目、外国語科目とともに商学の基礎となる科目、数学などを学ぶ。

2

学年

1年次の対象領域に加え、商学の専門知識を広げていく。

日吉キャンパス

さまざまな教養を高め
判断力を養成する

総合教育科目

- I類 自然科学系科目
- II類 人文・社会科学系科目
- III類 学際的・総合的科目
- IV類 自主強化科目
- V類 体育系科目

} 4年間を通して学べる

世界に向けたコミュニケーション力を養う

外国語科目

英語

ドイツ語

フランス語

中国語

スペイン語

※2カ国語履修 ※自主強化科目および専攻・関連演習科目として外国語中・上級のクラスがある

商学の基礎を固める

基礎科目

I類(基礎必修科目) 経営学基礎、商業学基礎、経済学基礎Ⅰ・Ⅱ、会計学基礎、微積分基礎、統計学基礎

II類(基礎選択科目) 微積分、線形代数、確率論、ゲーム理論基礎、統計学、経済史Ⅰ・Ⅱ、私法

専門の基礎をつかむ

専攻科目

I類(専攻選択必修科目)

経営学(組織と戦略)、経営学(企業をめぐる諸問題)、会計学(財務会計論Ⅰ)、会計学(財務会計論Ⅱ)、会計学(管理会計基礎)、商業学(マクロ・マーケティング)、商業学(ミクロ・マーケティング)、経済学(マクロ経済学)、経済学(ミクロ経済学)

II類(専攻選択科目)

監査論、原価計算基礎、応用簿記Ⅰ・Ⅱ、企業法Ⅰ・Ⅱ、産業経済論a・b

商学関連科目



3
学年

大半の学生が研究会(ゼミナール)に所属し、大学での活動が研究会を中心に進む。

4
学年

専門性を追求し、研究会の集大成として、卒業論文を作成。

取得できる学位
学士(商学)

三田キャンパス

1年早く 大学院へ進学する道

上位5%の成績優秀者については、第3学年終了時に大学院受験のチャンスが与えられ、合格すると第4学年を飛ばして大学院生になることができます。

基礎力 を身につける

経済学・統計学・数学といった基本的な理念および分析ツールの学びや、経済社会の時間的・空間的な視点、経済社会を規定する法体系の学習など4フィールドを学ぶうえでの土台となる科目です。

詳細は
次ページへ

4フィールド 9分野

1・2学年で培った幅広い教養や総合的な判断力を活かし、各専門分野の多くの科目を組み合わせで学びます。

2年間のゼミナールで 研究に集中

「半学半教」の伝統を色濃く受け継ぎ、少人数制で専門的な知識を学びながら自らの考えを形成し、議論する訓練をします。

フィールド(専門領域)とプログラム(専門横断的課題)を軸に、体系的に知をみがく
III類(専攻フィールド選択科目)

フィールド

A) 経営

B) 会計

C) 商業

01 国際経済 02 計量経済 03 金融・保険
04 交通・公共政策・産業組織
05 労働・社会 06 産業史・経営史

プログラム(グローバル、戦略、政策・規制、実証分析手法、理論・学説史・実践史)

半学半教の伝統でじっくり学ぶ
IV類(専攻フィールド演習科目)

研究会(ゼミナール)

研究演習

専門外国書研究

GPP Passport Members' Workshop

グローバル・ラーニング

幅広い教養を演習形式を中心に学ぶ
商学関連科目

国際教養演習
外国語演習
社会数理各論

法学各論
経済学史I・II

教授会が適当と認める授業科目(他学部設置科目含む)または商学部設置科目のうち商学関連科目として履修申請したもの

カリキュラムのコンセプト

将来の目標に合わせ体系的に履修をデザイン

商学部の学問のコアは、経営、会計、商業、経済・産業という大きな4つのフィールドから構成されています。これらのフィールドは相互に補完的な関係にあります。

学生は4つのフィールドを柱として専門性を培うとともに、各自の知的関心と希望する将来の進路にそって、自主的かつ個性的に専攻分野や科目を選択し、履修することが可能です。

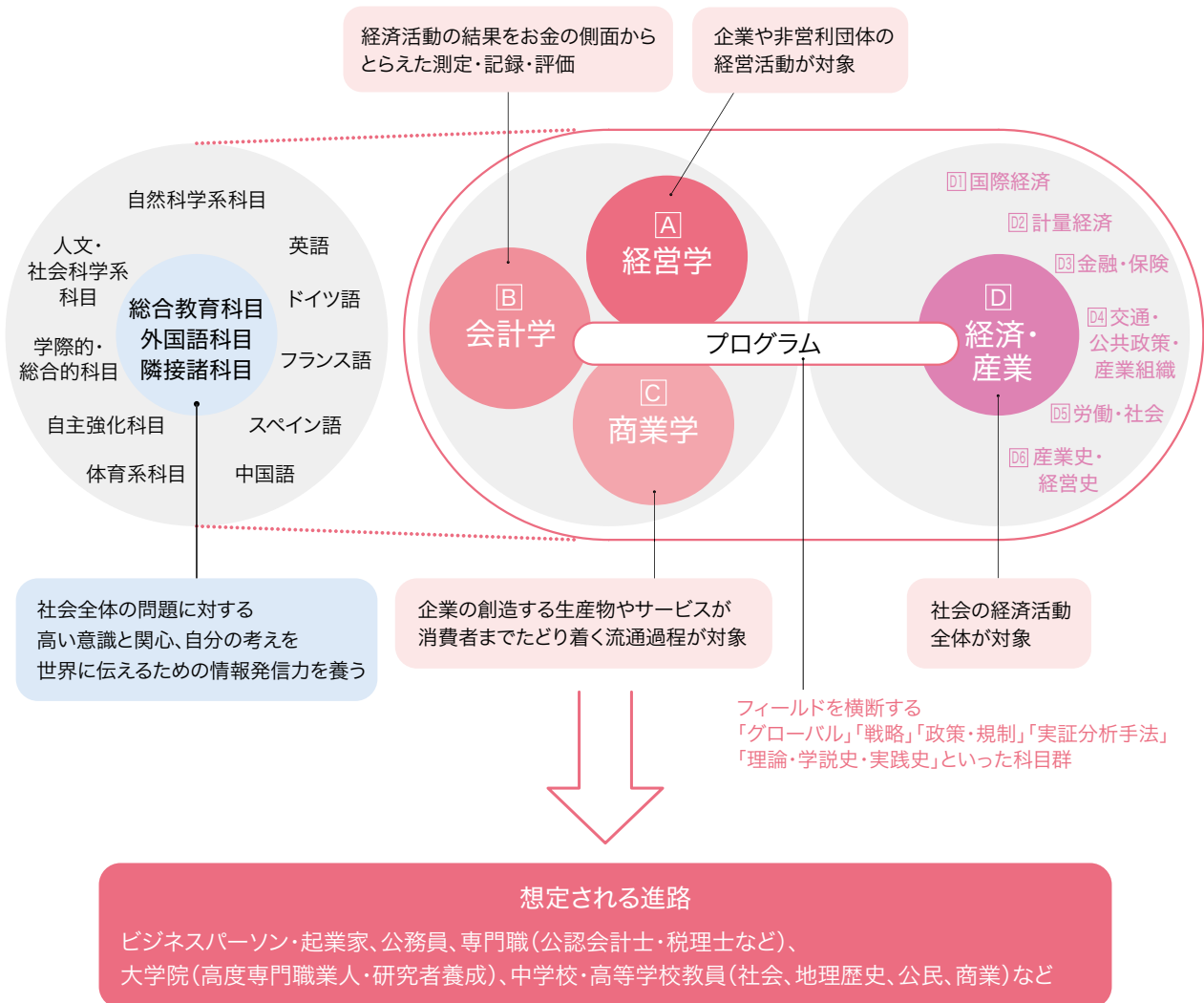
また、フィールドの垣根を超えた横断的課題を体系的に履修するためのプログラムとして、グローバル、戦略、政策・規制、実証分析手法、理論・学説史・実践史も用意されています。

興味・関心と専攻分野選択の例

例えば、トップ・マネジメントの意思決定プロセスに関心があれば経営学フィールドを中心に、また公認会計士を目指すなら会計学フィールドを、あるいは流通・広告に興味があるのなら商業学フィールドを中心に履修できます。また、グローバルなビジネス環境に興味を持つ学生が経済・産業フィールドから国際経済関連科目を中心に履修することも考えられます。

一方、広範な視野の中で問題発見と問題解決の知的な鍛錬を希望するなら、ひとつのフィールドに偏らず、例えば、データや事例に基づいて定量的・定性的なエビデンスを導出する各種ツールを習得できるプログラム「実証分析手法」から幅広く科目を選んで学ぶこともできます。

〈カリキュラムのコンセプト〉



設置専攻科目一覧

	分野	科目例
A	経営 企業経営や組織についての理論的また方法論的研究だけでなく、現代日本の企業に対する実証的・計量的研究を含めた広範な問題を扱っています。そこで扱われるアプローチもアメリカ経営管理論からドイツの経営経済学にまでおよんでいます。	マネジメント各論
B	会計 洋式簿記の最初の紹介者である福澤諭吉を祖として、その伝統を守っています。財務会計、管理会計、会計監査を対象に、国際的、戦略的、歴史的観点から取り上げています。	会計史Ⅰ・会計史Ⅱ 財務会計各論 会計監査各論 管理会計各論 会計史各論
C	商業 商品やサービスを中心として起こる市場の問題を、理論的・経験的に解明することを目指しています。その対象は、マーケティング意思決定、流通・小売、広告・コミュニケーション、サービス、消費者行動等々にまでおよんでいます。	マクロ・マーケティング論 マクロ・マーケティング各論 ミクロ・マーケティング論 ミクロ・マーケティング各論 マーケティング学説史 マーケティング史
D1	国際経済 国際化の時代において、世界経済と日本経済の関係がより密接かつ多面的になる中、貿易、資本移動、技術移転、国際通貨制度といった諸問題を理論的・実証的に解明し、政策提言を図ります。	国際経済学Ⅰ・国際経済学Ⅱ 国際経済学各論 世界経済論Ⅰ・世界経済論Ⅱ 世界経済各論 国際金融論Ⅰ・国際金融論Ⅱ 国際金融各論
D2	計量経済 理論とデータを使って企業や家計の行動を定性的・定量的に分析し、社会の変化に対応した市場や政策の在り方を考察します。	応用経済学各論：マクロ 応用経済学各論：ミクロ 経済政策各論 経済統計各論 計量経済学各論
D3	金融・保険 金融の分野は、個々の経済主体の金融問題から国民経済全体の貨幣的側面まで幅広く研究対象を包摂します。保険の分野は経済的保障のうちでもっとも重要な保険制度を対象とし、その制度の経済的、機能的、数理的な諸側面が分析の対象になります。	金融論Ⅰ・金融論Ⅱ 金融各論 保険学Ⅰ・保険学Ⅱ 保険学各論 リスク・マネジメント各論
D4	交通・公共政策 資本主義経済における望ましい市場競争のあり方ー競争と独占ーを究明することを目指します。また、交通などの公益事業を取り上げ、政府規制の在り方を分析の対象とします。	産業組織論Ⅰ・産業組織論Ⅱ 産業組織各論 交通経済論Ⅰ・交通経済論Ⅱ 交通経済各論 財政学Ⅰ・財政学Ⅱ 財政学各論
D5	労働・社会 仕事と暮らしの経済学です。具体的には個人の就業行動、企業の雇用行動、それらが調整される労働市場の分析です。またその中で労働関係、組織心理、さらに仕事と暮らしを社会的に支える社会保障などについても考えます。	労働経済学Ⅰ・労働経済学Ⅱ 産業関係論Ⅰ・産業関係論Ⅱ 産業関係各論 産業社会学Ⅰ・産業社会学Ⅱ 産業社会学各論 組織心理学 a・組織心理学 b 社会保障論Ⅰ・社会保障論Ⅱ 社会保障各論
D6	産業史 経済生活の歴史を産業発展、経営活動、金融といった個別の視点からとらえ、解明していくことを目指します。	産業史 産業史各論 経営史 経営史各論
グローバル	Global Passport Program(GPP)におけるコースワークとして英語で実施される科目です。商学研究科とのコードシェア科目(併設科目)を中心に、経営、会計、商業、経済・産業分野から提供され、理論の修得と知的レベルの向上を目指します。 Advanced Academic Writing for Undergraduates Advanced Studies in International Finance Advanced Study of International Economic Policy Business and Strategic Management in Asia Choice Analysis Technique (Analysis for Economics, Marketing and Organizational Research) Consumer Behavior and Marketing Domestic Tax Law(Comparative Studies on Tax Systems) e-Marketing Economic Analysis Economic Growth Essentials of Regression Analysis Using R Estimating Volatility in High-Frequency Data Financial Econometrics IFRS Basic	International Business and Japanese Firms International Economy: Policy Implications of Globalization International Tax Law Introduction to Management Strategy Japanese Business and Society Japanese Economy Macroeconomic Aspects of Public Finance Macroeconomics Managerial Economics Marketing Data Analysis Microeconomics of Taxation Organizational Architecture Spatial Economics Theoretical Study on Development, Trade and Environment The Role of Culture in Communication

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

「世界の」未来を先導する志のために

Global Passport Program (GPP)

経済・産業界が急速にグローバル化する現在、「世界の」未来を先導するためには、より広い視野で世界の事象を理解し分析できる高い知的レベル、世界レベルの課題に果敢に取り組むチャレンジ精神などが求められています。商学部では、「世界の」未来を先導する志に応えるとともに、このような志を持つ学生を多く育てるために、全学部の3・4年生を対象に英語で提供する選抜型プログラム「Global Passport Program」を実施しています。その目的は、「グローバルに活躍する人材に求められる高い知的レベル、チャレンジ精神、自立心や多様性に対する理解度を育む教育の実践」にあります。

3つの特徴を持つカリキュラム

① 専門性の高いコースワーク

大学院生に入門レベルとして提供している科目を履修し、高度な専門知識を英語で学びます。

② 理論と現実の接点を強く意識したワークショップ (Passport Members' Workshop D)

外国人教員による少人数のゼミ形式授業を履修し、理論に即して現実の問題を解決するプロジェクトに取り組みます。コースワーク、ワークショップともに多くの留学生が履修しており、三田キャンパスにいなから「留学空間」を体験し、世界の多様性を学ぶことができます。

③ 経験知を学ぶアクティビティ

キャンパス内外での活動を通じ、世界に通じる道を体験し経験知を蓄積していきます。具体的には、グローバル企業の工場見学や国際機関や企業のリーダーとして活躍するゲストを招いての講演会、海外での約1週間の短期研修を実施しています。

GPPプログラムに参加するには、各学期に実施する選考に応募し合格する必要があります。

選考は、英語試験結果 (TOEIC、TOEFL iBT、IELTS)、GPA (成績評価) および自己PR 動画を用いて行い、最大で上位 40 名を選抜します。

修了要件を満たした学生には、商学部長より

Global Passport Holderとしての認証が授与されます。



応用力を強化する

「国際教養プログラム」「数理学プログラム」

専門分野である商学以外にも何か一つ、自分の興味がある分野を自主的かつ系統的に学べるように、

日吉からはじまる「プログラム」が用意されています。「自分は大学でこれを学んだ」という

得意分野をアピールできるよう、4年間を通しての体系的な学習を支援するカリキュラムです。

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語の各言語圏に設置されている

「国際教養プログラム」と、数学を中心とする「数理学プログラム」があります。

「国際教養プログラム」では、語学力だけでなく、各言語圏の歴史や文化に関する知識と理解を深めます。

「数理学プログラム」では、論理と数字に対する知力を養い、社会活動と結びつく応用的スキルを身につけます。

所定の条件を満たし、プログラムを構成する授業から必要単位を取得した学生には「認定証」が発行されます。

海外大学への短期研修を組み込んだ専門科目

「グローバル・ラーニング」

商学部の専門分野をグローバルな環境下で学ぶ機会として、

夏季にミネソタ大学ビジネススクールで実施する1週間程度の研修を組み込んだ科目を開講しています。

研修は、語学研修とは異なり、英語を活用しながら商学部の専門領域を学ぶことを主たる目的とします。



国際的なビジネスに従事する能力を高める 「ダブルディグリー・プログラム」

商学部では、複数の海外名門大学とダブルディグリー・プログラムの協定を結んでおり、現地の大学でさまざまなバックグラウンドを持った優秀な学生とともに学び、切磋琢磨する機会を提供しています。当プログラムに参加することによって、2つの学位を取得することが可能です。

※当プログラムに参加するには、所定の書類審査と面接試験に合格する必要があります。
いずれのプログラムも、毎年5名まで参加が認められます。

■エセック経済商科大学院大学

本プログラムは、商学部生(3・4年生)がフランスを代表するグランゼコール*の一つであるエセック経済商科大学院大学で1年間学び、6カ月のインターンシップ、国際ビジネスに関する論文を執筆することで、慶應義塾大学とエセックの両方から学位を取得できるものです。

*グランゼコールは、工学、行政、経営など、各分野のエリート実務家を養成するために設置されたフランス独自の高等教育機関です。

■北京大学光華管理学院

本プログラムは、商学部生(3・4年生)が北京大学光華管理学院に2年間留学することによって、慶應義塾大学と北京大学の両方から学位を取得できるものです。世界中の名門大学の留学生とともに学ぶことで貴重な経験が得られます。

卒業後の進路

国内外の組織リーダーとして活躍

商学部の卒業生数は、学部創設以来6万人を超えます。この卒業生たちは現在、経済界を中心に国内外を問わず広範な分野で積極的に活躍しています。近年は、ジャーナリズム、情報産業、官公庁に進む者も次第に増える傾向にあります。

公認会計士試験 大学別合格者数、48年連続1位

公認会計士試験の大学別合格者数では48年連続1位となっています。本学出身の会計士による結びつきは強く、公認会計士三田会が組織され、研修の実施など活発な活動を行っており、心強い存在です。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1位	慶應義塾大学(144名)	慶應義塾大学(183名)	慶應義塾大学(169名)	慶應義塾大学(178名)	慶應義塾大学(187名)
2位	早稲田大学(115名)	早稲田大学(105名)	早稲田大学(98名)	早稲田大学(126名)	早稲田大学(109名)
3位	中央大学・明治大学(77名)	明治大学(81名)	中央大学(74名)	明治大学(72名)	明治大学(86名)

(公認会計士三田会調べ)



医学部

School of Medicine

医学科

高い倫理観と実践力を、人類の福祉のために

5つの価値

— 医学部の基本思想 —

1

基礎臨床一体型
医学・医療の実現



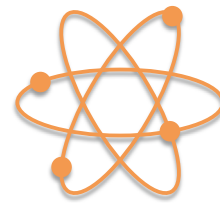
2

総合大学ならではの
多角的教育・研究



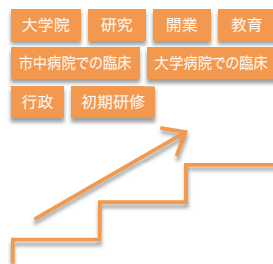
3

独自の医学・医療
ネットワーク



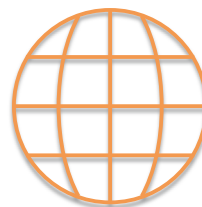
4

多彩な
キャリアパス



5

グローバルな
教育への取り組み



6年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

医療人としての

6年間一貫

プロフェッショナリズム教育 ……▶

- 1 学年：倫理学、法学、心理学、行動科学の基礎
- 2 学年：医療制度・医療政策の基礎
- 3 学年：研究倫理の基礎
- 4 学年：臨床研究の倫理、医療コミュニケーション、医療プロフェッショナリズムの原則と医師のあり方
- 5 学年：医療事故、職域における保健・医療活動、医師の社会的役割とパブリックヘルス・マインドなど
- 6 学年：「終末期医療」「脳死判定・臓器移植」「生殖医療の選択肢」「医療安全と裁判」などのテーマでグループ討議

医療系三学部合同教育 (p.90 参照)

1 学年
外国語、人文・社会科学の科目の他、医学の基礎としての諸科学を学ぶ。

2 学年
1年次の科目に加え、専門的に医学を学ぶために人体の基礎知識を得る。

3 ~ 6 学年
学年

日吉キャンパス/信濃町キャンパス※

※週1回信濃町キャンパスの授業を受講します。

医療プロフェッショナリズムを一貫して学ぶ先導プログラム メディカル・プロフェッショナリズム

基礎教育科目

外国語科目

英語、ドイツ語、フランス語

人文・社会科学科目

基礎科学必修科目

数学、物理学、化学、生物学、物理学実験、化学実験、生物学実験

医学基礎教育科目

分子生物学Ⅰ、医学概論、行動科学Ⅰ

基礎・社会医学系科目

英語

組織学、
生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、
医化学、
分子生物学Ⅱ、
病理学総論、
病理学各論、
医学統計・医療情報

行動科学Ⅱ、MCB、
微生物学、免疫学、
熱帯医学・寄生虫学、
薬理学

解剖・発生学Ⅰ、解剖・発生学Ⅱ

医学概論

EEPⅠ

EEPⅡ

医学生と教員が
マンツーマンで研究を行う
自主学習

医学概論とは

1年生に対し、信濃町キャンパスで開講される医学・医療の入門編の講義です。また、1ヶ月に一度、信濃町の専門科目教員とのゼミナールをおこないます。

EEPとは

「Early Exposure Program」の略。本格的な医学教育を受ける前の段階において、看護や介護の側面から医療現場を体験する実習カリキュラムです。低学年のうちから医療現場を体験することにより、患者さんを中心とするチーム医療を理解することを目的としています。「EEP」は1994年度以降、第1学年にて行われてきましたが、2018年度より、第3学年3学期にも、医師の活動内容に関する理解を深めることを目標とする「EEPⅡ」が導入されました。

自主学習とは

2021年に入学した学生からは、3年生の7月、9月、10月に、研究室に配属され、教員とマンツーマンで、研究活動をおこないます。夏休みを含めれば、4ヶ月間、研究に没頭できます。学内の研究室のみならず、海外や国内の学外施設での研究留学も可能になります。



医学・医療関連の生物学的、社会的、歴史的な知識を固めていく。

臨床各科の知識を修得し、臨床実習の準備をする。

慶應義塾大学病院、その他関連病院にて、直接患者さんに接する臨床実習が始まる。

6年間の最後、2月に医師国家試験を受ける。卒業後は、研修医、大学院などへ。

取得できる学位
学士(医学)

信濃町キャンパス

臨床実習の基礎となる 密度の高い授業

MCB(Molecular Cell Biology)では、第一線で活躍されている研究者を学内外から招き、最先端の医学研究に触れ、Physician Scientist への研究マインドを醸成します。多くの臨床系授業が設置され、臨床医学の基本的知識と医療面接も含む臨床技能を身につけます。

Physician Scientistとは

研究能力を備え、同時に豊かな人間性と深い知性を有し、確固たる倫理観に基づく総合的判断力を持ち、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して人類の福祉に貢献する医師のこと。

臨床医学系科目

内科学 呼吸器、循環器、消化器、腎臓・内分泌・代謝、神経、血液、リウマチ・膠原病、

外科学 一般・消化器、小児、心臓血管、呼吸器、
脳神経外科学、産科学、婦人科学、小児科学、
精神医学、整形外科学、麻酔学・緩和医療、
臨床検査学、放射線医学、泌尿器科学、
耳鼻咽喉科学、眼科学、皮膚科学、救急医学、
形成外科学、リハビリテーション医学、歯科学、
総合診療医学、感染症学、臨床薬理学、漢方医学、
腫瘍学、遺伝医療・ゲノム医療、症候学、CBT、
臨床実習入門、基礎臨床統合医学、CPC

衛生学Ⅰ、衛生学Ⅱ、
公衆衛生学Ⅰ、
公衆衛生学Ⅱ、法医学、
医療政策・管理学

臨床実習

内科学(呼吸器)臨床実習、内科学(循環器)臨床実習、内科学(消化器)臨床実習、
内科学(腎臓・内分泌・代謝)臨床実習、内科学(神経)臨床実習、
内科学(血液)臨床実習、内科学(リウマチ・膠原病)臨床実習、
内科学臨床実習アドバンスト、一般・消化器外科学臨床実習、小児外科学臨床実習、
心臓血管外科学臨床実習、呼吸器外科学臨床実習、脳神経外科学臨床実習、
産科学臨床実習、婦人科学臨床実習、小児科学臨床実習、
小児科学臨床実習アドバンスト、精神医学臨床実習、整形外科学臨床実習、
麻酔学・緩和医療臨床実習、臨床検査学臨床実習、輸血臨床実習、
放射線医学臨床実習、泌尿器科学臨床実習、耳鼻咽喉科学臨床実習、
眼科学臨床実習、皮膚科学臨床実習、救急医学臨床実習、形成外科学臨床実習、
リハビリテーション医学臨床実習、歯科学臨床実習、病理診断実習、
総合診療医学臨床実習、地域基盤型臨床実習、選択臨床実習、
選択型クリニカルクラークシップ、臨床能力総合評価

外部病院での実習

地域基盤型臨床実習、内科アドバンスト、選択臨床実習などでは、慶應義塾大学医学部の教育関連病院(慶應義塾大学医学部卒業生が多く勤務しており学生教育を依頼した病院)での実習も行っています。外部病院ではより実践的な実習や大学病院では症例数の少ないcommon disease(発生頻度の高い病気)の経験が可能です。

臨床教育 を重視した豊富な実習

小グループに分かれて慶應義塾大学病院の診療科や関連病院をローテートする臨床実習を実施します。医療の現場で、直接患者さんと接する中で知識を深め、臨床技能を高めるとともに、豊かな人間性、責任感、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションなど、医療に携わる者として不可欠な能力を学んでいきます。

専門教育科目一覽

科目名	科目内容
メディカル・プロフェッショナルリズム	入学から卒業までの6年間を通じて、プロフェッショナルリズムの基本となる「医師としての責務」「コミュニケーション・スキル」「生命・医療・研究の倫理」「法の理解」「医療安全」「説明責任」などを、対話型講義やグループ・ディスカッションにより学びます。
行動科学	人類学、心理学、生物学、社会科学、疫学、公衆衛生学、精神医学などの観点から、「人間の行動と心理を理解すること」を目標とします。ストレス、対人コミュニケーション、行動変容、行動の科学的背景、行動医学の健康と疾病、医療（診断、治療、リハビリテーション）への応用について学びます。
医学概論	医学研究における種々のトピックスを解説します。
分子生物学Ⅰ	遺伝情報発現のセントラルドグマを中心として、広範囲な内容を最新の知識も交えて講義します。後半では、医学研究と分子生物学の接点について学ぶ機会をもちます。分子生物学ⅡやMCBなどの科目への移行の円滑化を図ります。
英語Ⅲ	医学英語コース(半期、4クラス各30名程度)とスキル別コース(半期選択、12クラス各10名程度)を演習主体で行います。スキル別コースは(A)総合的英語力の育成、(B)口頭表現力の養成、(C)文章表現力の養成を主眼とするクラスに分けます。前年度の学習成果と各人の希望を勘案し、クラス編成をその都度変えます。
分子生物学Ⅱ	分子生物学Ⅰの講義をさらに発展させ、真核生物の遺伝子発現制御機構を講義します。併せて、遺伝子工学などの基礎的な実験手法を実習で学びます。
組織学	各臓器の顕微鏡レベルでの構築から細胞生物学までの広い視野に立ち、人体の微細構造について学習し、併せて微細構造研究のための方法論なども教授します。
解剖・発生学Ⅰ	医学の登竜門である解剖学、つまり人のからだはどのような構造になっているのか、そしてどのように造られていくかを内眼解剖実習、講義を通じて学びます。
解剖・発生学Ⅱ	発生学及び骨学の総論、頭頸部内眼解剖学、神経解剖学が含まれます。人体の主に頭頸部と脳神経系の構造とその発生過程について、実習と講義を通じて学びます。
生理学Ⅰ	視覚・聴覚などの感覚系、骨格筋・平滑筋・心筋などの筋肉系、そして中枢神経・末梢神経からなる神経系など、電気現象を主体とした人体の機能を理解するために講義と実習を行います。
生理学Ⅱ	脳以外の人体の各臓器の生理機能、例えば尿の生成機構、消化、吸収のメカニズムや人体の内分泌機能について解説し、実習を行います。
医化学	医学の基礎をなす体内あるいは細胞内での化学現象、化学反応など生化学の原理と病態生化学など、他の境界領域についての講義を行い、分子レベルでの思考力を育てます。
病理学総論	疾病の概念および、その成り立ちを形態学の立場から理解することを目的とします。テーマは「細胞の分化、増殖と障害」「炎症、免疫、感染」「腫瘍」「循環障害」などです。
病理学各論	病理学総論で学んだ知識を基に、具体的疾患について、器官、臓器別に学んでいきます。形態学に基づいた古典的アプローチに、最新の知見を盛り込むことで理解を深めます。実習では、実際の病理組織標本を観察します。
医学統計・医療情報	医学研究のデザインから評価にいたるさまざまなプロセスで用いられる統計学について、その理論的背景から医学研究における応用までを学びます。講義に加え、PCを用いたデータハンドリングの実習を行います。また適切な医療情報の使い方についても学びます。
英語Ⅳ	英語Ⅲの2コースの内容をレベルを上げて行います。スキル別コースは(A)総合的英語力の育成、(B)口頭表現力の養成を主眼とするクラス(8クラス各15名程度)に分けます。前年度の学習成果と各人の希望を勘案し、クラス編成をその都度変えます。
MCB	MCB(Molecular Cell Biology)は、生物学特論や分子生物学Ⅰ・Ⅱなどの生物学系科目を学んだ後に、最先端の医学・生物学研究を学ぶ科目です。基礎と臨床の両方の視点をもつPhysician Scientist(科学的思考力をもつ医師)になる土台を築きます。

メディカル・プロフェッショナルリズム

基礎・社会医学系科目

科目名	科目内容
微生物学	病原性細菌・ウイルス・真菌による感染成立過程、宿主応答、疾患、治療法を講義・実習を通して学びます。常在微生物との関連性についても学習します。
免疫学	病原微生物に対する生体防御反応を理解するとともに、アレルギー、自己免疫疾患の成立機序や治療法、移植や癌に対する免疫反応を学びます。さらに抗体産生など実際の免疫応答を体感できるような実習を行います。
熱帯医学・寄生虫学	グローバルな視点で見たときに重要な熱帯病について、その公衆衛生上の意味、臨床像などに関して講義が行われ、各疾患ごとに基礎的な診断法を実習で学びます。
薬理学	疾病の治療、予防および健康保持の上から重要な薬の作用機序、機序を理解させ、臨床医学における薬物療法の科学的な基礎を修得させるため講義、実習を行います。
衛生学Ⅰ	疫学、予防医学についての講義、演習を行い、Evidence-Based Medicineの基礎となる疫学の理論と技法を学ぶとともに、ライフコースに沿った予防についての理解を深めます。
衛生学Ⅱ	環境保健、産業医学についての講義、演習を行い、健康と疾病および関連する環境要因の概念について学ぶとともに、環境への予防的アプローチに果たす医師の役割についての理解を深めます。
公衆衛生学Ⅰ	「人々の健康を護り、増進させる」というゴールに向けて、どのような考え方が必要なのか、関連している法制度は何か、それに基づく公衆衛生行政について学びます。また栄養、身体活動、親子保健、思春期の問題、飲酒、喫煙など公衆衛生活動を行うために必要な基本的な事項について学習します。
公衆衛生学Ⅱ	コミュニティの組織的な活動を知ることで、リアルワールドにおける公衆衛生活動を具体的に学びます。また疫学研究の成果を国民の公衆衛生の向上にどのように繋げて行くのかを具体例から検証します。小グループでの調査も行い、地域・職域での健康増進のあり方から、グローバルな国際活動まで幅広く議論します。
法医学	医師として事故や事件を取り扱う場合に必要な法医学的視点を学びます。死体のみかた、損傷、窒息、中毒、DNA鑑定、医療事故などについての講義が行われます。
医療政策・管理学	日本の医療は社会化されており、臨床の現場において医療経済、医療制度、医療情報、医療安全を理解しておくことは重要です。本科目では国際的な動向をふまえ、今後の展望について講義を行います。
自主学習	大吉の基礎科目から、基礎医学、社会医学、さらには臨床医学の多岐にわたる分野からのさまざまなテーマから、学生自らが選択し、各教員の指導のもとに、自ら考えながら実験や調査研究を行う「一身上立型」の科目です。その成果を、それぞれ報告書にまとめることで、論文執筆の方法を学び、さらに、ポスター形式による成果発表会を行うことで、研究発表や討論の方法も学びます。
EEPⅡ	在宅医療、小規模クリニックなどの学外の医療機関を見学し、common diseaseの治療の現場を体験するとともに、地域医療における医療包括ケアの仕組みについて学びます。
内科学	内科診察に必要な診察手技の修得、病態理解に基づいた診断と治療の実践をテーマに講義と実習を組み合わせたカリキュラムとなっています。消化器、呼吸器、循環器、神経、腎臓、内分泌代謝、血液、リウマチ、感染、医学のすべての領域を網羅します。
外科学	臨床実習が主要テーマとなります。8週間、一般・消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科の4科を回り、手術見学、病棟回診、小講義、各種実習を通して外科学を学びます。
脳神経外科学	脳あるいは頭蓋内に発生する腫瘍、血管障害、外傷、先天異常などの疾患と病体を理解し、脳神経外科手術の特殊性などを学びます。

基礎・社会医学系科目

自主学習

臨床医学系科目

科目名	科目内容
産科学	生殖医学・周産期医学を通じてヒトの受精から誕生を体系的に学ぶことを主眼とします。外来実習において不妊症治療や妊婦・胎児健診の実際を学び、病棟では妊娠・分娩管理・産科手術の見学なども行います。実習期間中には若手医師の指導のもと症例提示を行い、臨床の場で求められるプレゼンテーションのエッセンスも修得します。
婦人科学	女性の生涯を母性を基本とする機能的見地より解説し、併せて婦人科の主要疾患に関して重点的に講義します。実習は2週間で、外来実習と手術見学を含む病棟実習に分かれ婦人科疾患に対する対応を学びます。
小児科学	小児期に特有な成長発達概念、疾病の全体像、その他小児保健全般に関する知識を修得します。実習では、病棟に配属され、病棟医長の指導のもとで患者を受け持ち、診察、一般検査を行います。外来実習は交代で行います。
精神医学	精神の障害だけでなく、緊密な心身の相互関係を学ぶこと、患者の全人的理解を深めることに主眼を置いています。講義は総論(精神科症候学)、各論(精神疾患論)に分かれますが、さらに社会における精神医学の役割についても講義します。実習は2週間行います。
整形外科	機能外科に必要な運動器(骨関節・軟骨・神経・筋肉・靭帯など)に関する系統講義と臨床講義を行います。臨床実習は外来と病棟で2週間行い、できるだけ多くの手術を見学します。さらにproblem-based learningに基づき、実際の症例をみんなで議論しながら、診断や治療法を導く過程を学びます。
麻酔学・緩和医療	麻酔学の活動領域と理念について講義で知識を与え、実習は手術室、一般集中治療室、ペインクリニックなどで2週間行います。救急蘇生法や呼吸管理、人工呼吸器の使用法についても学びます。また、癌が進行し、十分な治療を期待できない場合に、疼痛や不安を積極的に解決する緩和医療、疼痛管理に加え、緩和的化学療法、放射線療法などの多面的アプローチについて学びます。
臨床検査学	臨床検査の進め方、検査成績の読み方などの訓練を通して、検査診断の基本的な考えを学ぶことを目標としています。このためにそれぞれの専門領域の教員によって臨床生化学、臨床血液学、臨床微生物学などの講義、実習が行われます。
放射線医学	放射線の物理学、生物学をはじめ、X線診断学、放射線治療学、核医学や放射線予防法の法規、対策についても講義します。画像診断についてはX線検査、CT、MRIなども含む講義、実習を行います。
泌尿器科学	尿を生成する腎臓、また副腎や男子性腺などの機能と病態について正確な概念を得させた上で、診断治療がいかに行われるかを示します。実習では2名の患者を実際に受け持ち、指導医のもとで診断などを学びます。
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉、頭頸部、気管食道の解剖、生理、病態について講義で修得し、他臓器との関わりについて学びます。特に聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚などの感覚器障害、摂食・嚥下、音声・言語機能障害、免疫・アレルギー疾患、頭頸部癌など多彩な疾患の学習が特徴です。実習では顕微鏡や耳鏡、鼻鏡、内視鏡の使用法の修得を含めた耳鼻咽喉科診療の基本手技から外来検査、入院患者の検査、各疾患の治療法などを修得します。
眼科学	眼科学の特殊性および理念に関して、特に全身疾患との関連において講義が行われ、実習は小児眼科からME実習や外来、病棟実習まで広い範囲にわたって行われます。
皮膚科学	皮膚疾患に関する基礎知識と理論的思考方法を体得し、同時に問題解決能力や臨床医として必要な態度、技能を身につけます。実習では病歴聴取から指導医のもとで実際の診察、治療法の修得までを行います。
救急医学	講義では、救命治療、軽症から重症の救急患者(急病、外傷)のER診療、および災害医療を学びます。実習では、救命治療シミュレーション、救急車同乗、慶應義塾大学病院および関連施設ERでの救急診療への参加を行います。
形成外科学	各種の先天異常、悪性手術切除後や外傷などによる身体各部の変形や欠損に対して、形態と機能の障害を復元し、QOL(生活の質)を高め社会復帰を援助する学問です。総論、各論についての講義と1週間の臨床実習から構成されます。臨床実習中には手術に参加することもあります。

臨床医学系科目

科目名	科目内容
リハビリテーション医学	運動障害・認知障害の専門的な診断・評価・治療を通して、障害の予防、最大限の機能回復、生活機能の再建、QOL向上を図るリハビリ医学を学びます。実習では運動障害の診断と問題点のとらえかた、リハビリ処方の方法や筋電図・嚥下造影・神経ブロックなど、さまざまな手技を体得します。神経筋疾患や骨関節疾患に加え、呼吸器・循環器疾患、がん、移植医療、脳可塑性への働きかけ、再生医学など拡大しつつあるリハビリ医療の最先端の動向も学習します。
歯科学	歯および口腔の構造、機能、疾患についての基礎知識を修得することを目標とします。実習は主に歯科・口腔外科での外来見学、手術見学、X線診断、口腔衛生管理の実際などを学びます。
総合診療医学	患者さんが受診する特定の診療科を決めるのが困難な場合、健康診断でいくつかの臓器にわたる異常を指摘され、受診する診療科に困った際など、一専門分野に限定することが難しい患者さんを診療します。
感染症学	感染症がおこる場所(市中か医療機関か)やホストの免疫能および感染臓器と起病菌を念頭にした感染症の適切な診断(診察法、培養法を含む各種微生物検査)、治療(抗菌薬の適正使用)、予防法(感染対策、ワクチンなど)を講義と実習を通して学びます。
臨床薬剤学	臨床で使用されている薬剤の名称、形状、用法・用量、効能・効果、適用上の注意などに関して、薬剤群ごとに代表的な薬剤を例に挙げて講義します。
漢方医学	西洋医学とは異なった医療体系である漢方医学の長所・短所をよく理解し、両医学の融合によってもたらされる治療の可能性とその留意点を学びます。
腫瘍学	がん診療の基本を理解したうえでエビデンスの解釈・活用、ガイドラインの利用方法を横断的に学び、個々の患者の状況に応じた最適ながん診療の基礎を学ぶことを目標とします。
遺伝医療・ゲノム医療	遺伝子・ゲノム異常により先天異常からがんまで多様な疾患が発生します。発症機構・患者さんの病歴の取り方・ゲノム解析結果の解釈・遺伝カウンセリングの基本を学びます。
症候学	臨床実習開始前に、すべての臨床科目における診断学を横断的に学ぶため、症例ベースで、主要症候別に、臨床経過、身体所見、各種検査所見から、診断にいたる臨床推論を学びます。
臨床実習入門	臨床実習に向けて、基本的臨床技能を修得します。客観的臨床能力試験(OSCE)の課題となっている臨床技能に加え、診断に必要な各種検査の実施と、検査結果の解釈について学びます。
輸血臨床実習	輸血に関する知識、あるいは血液型判定、血液交差試験の手法など、臨床医として必要な項目に関して主に実習を通して修得します。実習には外部施設での研修、見学なども含まれます。
病理診断実習	病理学教室、病理診断部で行っている診断業務に直接参加し、病理組織診断、病理解剖、細胞診、術中迅速診断、あるいは臨床各科との連携について知識、技術などを学びます。
地域基盤型臨床実習	学外の地域医療を担う病院において4週間の臨床実習を行います。大学病院とは異なる医療システムにおいて、プライマリケア、病診連携など地域医療の現場を体験し、多様な医療システムに対応できる総合的な臨床能力を身につけます。
選択型クリニックラークシップ	慶應義塾大学病院内の1つの診療科を選び、4週間、医療チームの一員として臨床実習を行います。
選択臨床実習	クラスター診療科での臨床実習、すでに臨床実習を行った診療科でのさらに発展した臨床実習、学外の地域医療実習などから、各学生の希望により選択し、臨床実習を行います。
臨床能力総合評価	すべての臨床実習終了後、学生が身につけた臨床能力を、本学の卒業時コンピテンシに基づき、総合的に評価します。
基礎臨床統合医学	臨床実習もある程度進んだ段階で、あらためて基礎医学の知識を結集して、トピックとなっている医学分野での話題を総合的に理解します。
CPC	臨床各科および基礎系教員が病理解剖を用い、症状、検査成績、病理所見を含め、病態の経過などについて検討、討論します。症例は予めプリントして周知されます。診断能力養成に重要なミーティングです。

臨床医学系科目

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

多様なキャリアパス

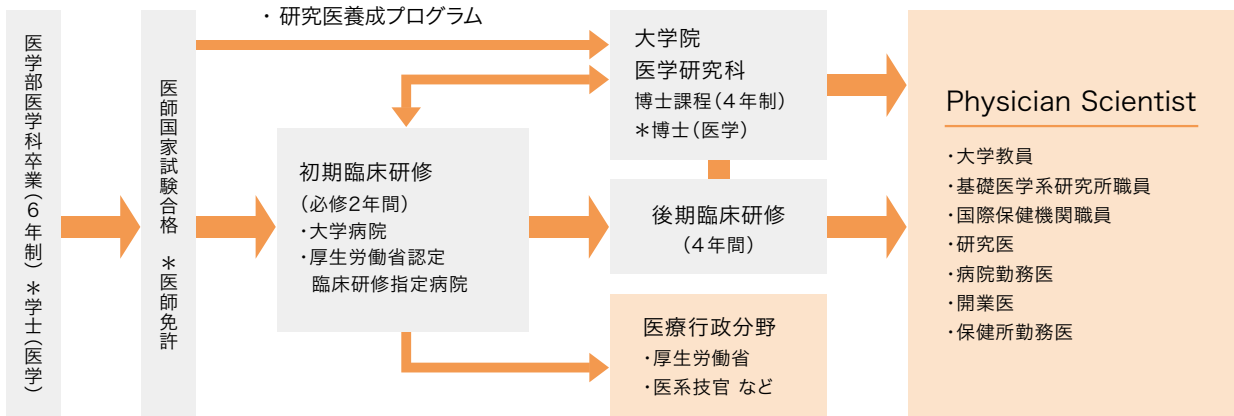
進路

- 慶應義塾大学病院や臨床研修病院で、初期臨床研修医、後期臨床(専門)研修医として研鑽を積む。
- 大学院医学研究科に進学し、基礎・臨床医学分野の研究・教育に従事する。
- 厚生労働省などで医療行政に従事する。
- 海外の大学や医療機関など世界の最前線で研究や診療を行う。

上記のほかに、法律家や政治家、あるいは宇宙飛行士に至るまで、多様な分野で卒業生が活躍しています。

関連病院

慶應義塾には、100を超える関連病院があり、連携活動を活発に行っています。



国際交流の機会

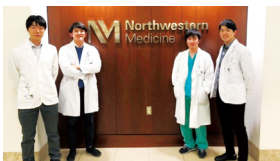
慶應義塾大学医学部は、さまざまな国際交流の機会を提供しています。最大のプログラムは、5年生が行う海外施設での臨床実習です。2020年度、2021年度は世界的な感染症拡大の影響により十分な国際交流の機会を持つことができませんでしたが、2022年度には、8カ国14校に、学年の約3分の1にあたる36人の学生が臨床留学をしました。海外の大学病院で、現地の医学部生や他の国から参加した留学生と切磋琢磨しながら濃密な1カ月を過ごすことにより、学生達は大きく成長して帰国します。

日本国内でも英語を公用語とする沖縄科学技術大学院大学(OIST)との交流も活発に行われています。2022年度からはこれまでのResearch Internshipに加えて、International Research Summer Campが実施され、2年生が医学部で研究をスタートさせる際に必要となる基礎的研究能力を英語で身につける経験をしました。

また、慶應義塾大学病院では海外からの医学部生に臨床実習の場を提供しています。2022年度は、北米、欧州、アジア、オセアニアの国々から、多くの留学生を受け入れました。医学部生にとって、これらの海外学生との交流も貴重な機会となっています。

学生の課外活動による国際交流も活発に行われています。

文化や風土、生活環境の異なる地域での活動もまた医学部生の経験を豊かなものにしていきます。



臨床留学(米国 シカゴ)
外来や様々な手術を見学、充実した4週間



臨床留学(ドイツ ケルン)
他の国からの留学生も交えての食事会



課外活動(ザンビア)
ストリートチルドレン保護施設での保健・健康教育



課外活動(ブラジル)
アマゾン川巡回診療船での健康診断

ニーズに応える医学部独自の奨学金制度

医学部では、医学部独自の奨学金を豊富に用意し、義塾全体の奨学金と併せて充実した体制で学生を支援しています。多くの学生が義塾全体の奨学金と医学部独自の奨学金からそれぞれのニーズに応じた支援を受けており、地方出身の学生も積極的に活用しています。

合格時保証奨学金制度 (正式名称: 慶應義塾大学医学部人材育成特別事業奨学金)

優秀な学生を支援するため、医学部の一般選抜成績上位者に奨学金(年間200万円)を給付します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



入学後に応募できる奨学制度

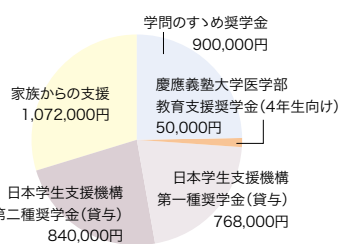
奨学制度名	種別	金額	募集期間	学年	奨学生(2022年度実績)		備考(対象など)	
					申請者数	採用者数		
医学部奨学金基金奨学金	給付	上限100万円	10月頃	2~6年生	48	4	2年生以上に在籍し、次のいずれかの項目に該当する者。①学業優秀であり、かつ経済的援助を必要とする学生②社会的貢献が顕著、かつ経済的援助が必要な学生	
医学部贈医奨学金基金	経済支援奨学生	給付	上限100万円	10月頃	2~6年生	48	25	2年生以上に在籍し、経済的困窮が要因となり就学・学業に支障が生じ、経済的援助を必要とする学生
	贈医顕彰部門	給付	5万円程度	12月頃	4~6年生	2	1	①学術活動②文化芸術活動③スポーツ活動④社会貢献活動の多様な分野において、医学部学生の範となる特に優れた業績をあげた学生
	研究奨励部門	給付	5万円程度	12月頃	2~6年生	1	1	2年生以上に在籍し、研究経験を有する学生
医学部教育支援奨学金	給付	上限5万円	1月頃	4年生	85	85	4年生向けに臨床実習に備えた奨学金	
医学部教育支援奨学金(経済支援)	給付	上限50万円	10月頃	2~6年生	48	2	2年生以上に在籍し、学習上の奨励費用が必要と認められ、また、進級もしくは卒業できる見込みがある学生	
総合医学教育奨励基金奨学金(医学部)	給付	上限100万円	10月頃	2~6年生	48	10	2年生以上に在籍し、人物・学業・成績ともに優れ、課外活動にも意欲的で、経済的支援を必要とする学生	
医学部研究医養成奨学金	給付	上限100万円	5月頃	5,6年生	6	6	募集時点で5年生もしくは6年生に在籍しているMD-PhDコースの選択者	
医学部人材育成特別事業奨学金(国際活動支援奨学金)	給付	上限200万円	5・12月頃	1~6年生	16	14	国際的なフィールドで積極的に活動を行う学生	

これまでの奨学金受給事例

【注意】 過去5年間のデータ(学年は在籍時)に基づいた参考事例です。すべての奨学金(給付型)の併給を保証するものではありません。また、慶應義塾が提供するすべての奨学金は、成績・人物・経済状況などの選考があります。

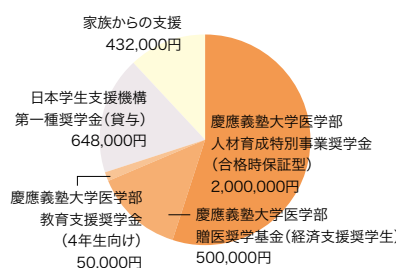
① 地方出身者で「学問のすゝめ奨学金」を利用した学生の例

世帯収入500万円程度 九州出身 4年



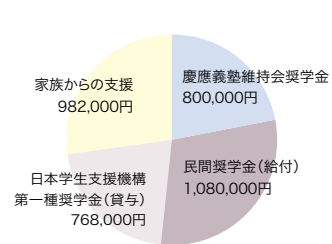
② 医学部人材育成特別事業奨学金(合格時保証型)受給者の例

世帯収入800万円程度 関東出身 4年



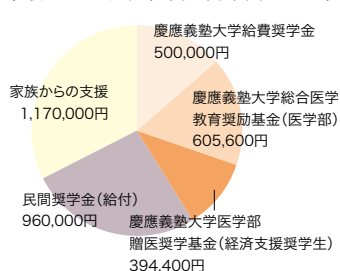
③ 大学の奨学金と民間の給付型奨学金を活用した学生の例

世帯収入600万円程度 関東出身 1年



④ 成績優秀者の例

世帯収入700万円程度 関東出身 5年



詳細や最新の情報はウェブサイトをご覧ください。
なお、全学部共通の奨学金は、p.121をご参照ください。

慶應義塾大学奨学制度



医学部奨学金





KiPAS

Kiyo Institute of Pure and Applied Sciences

「わたしの進化」「こころの遺伝」を生み出す神経機構の文理融合研究

地方自治体から来て、どこへ行きたいか。

実験動物の飼育能力を獲得し、モノやヒトへの共感性を心に留めた我々は、「農業」という業の無い、しかし多くも不思議な存在をこの界のなかに創り出し、未来に遡る新たな生へ、これを継々と受け継いでいく道を選んだ。

高度な文明が創られるその基盤を神経科学のことで解き明かす、比較的生命学実験室を創設して。

理工学部

Faculty of Science and Technology

機械工学科・電気情報工学科・応用化学科・物理情報工学科
管理工学科・数理科学科・物理学科・化学科
システムデザイン工学科・情報工学科・生命情報学科

先進の体制で切り拓く、次代の最先端



未知の扉を開く鍵「創発」

創発とは、各構成要素の相互作用によって、
個々の構成要素の性質だけからでは予測・説明できないような飛躍的な結果が
全体として発現することを意味します。

理工学部には、新たな科学技術を開花させるために、
お互いが協力・啓発し合い、より高次の成果を発現する、
開かれた創造の場があります。

<https://www.st.keio.ac.jp/>



4年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

1

学年

理工学全般の基礎となる数学、物理学、化学、生物学等を履修。外国語とともにコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

2

学年

自分の学科が決定し、学科ごとに分かれて専門基礎科目を学ぶ。

日吉キャンパス

必修外国語科目

英語(第1、2学年)

諸外国語:ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語(1語種を選択、第1学年)

4年間タイムリーに

総合教育科目(外国語科目を含む)(選択)

理工学部が目指しているのは、科学技術における各分野の専門家にとどまらず、科学技術と人間社会のより良い関係を提案し実現できる、社会のリーダーを養成することです。そのために、必修外国語科目と総合教育科目も、カリキュラムにおけるひとつの重要な柱と位置づけています。総合教育科目の最大の特色は、人文・社会・学際系、自然科学系、各種外国語など様々な分野を4年間を通じて学ぶことができることです。

基礎教育科目

(必修)

自然科学実験
情報学基礎
理工学概論
生物学序論
物理学A、B、C、D
化学A

(学門別による必修科目)

- 学門ABD
数学1A、1B、2A、2B
化学A、B
- 学門C
数学3A、3B、4A、4B
化学A、B
- 学門E
数学1A、1B、2A
化学A、C、D

専門教育科目

専門基礎科目
(必修/選択)

機械工学科

電気情報工学科

応用化学科

物理情報工学科

管理工学科

数理科学科

物理学科

化学科

システムデザイン工学科

情報工学科

生命情報学科

実験・研究の基礎を固める

数学・物理学・化学・生物学といった講義科目のほか、実験の進め方の手順をしっかりと身につける「自然科学実験」や、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基礎的な利用技術)を学ぶ「情報学基礎」などが用意されています。

これらは第2学年以降で専門科目を学ぶ上で、また実験・研究を進める上で非常に重要な科目です。

自主選択科目

上記の科目の枠組みに制約されずに、各自



3
学年

学科専門科目が始まる。本格的に専門知識を修得する。

4
学年

研究室に所属し、研究テーマにそって卒業研究を遂行。約70%の学生が大学院に進学する。

矢上キャンパス

取得できる学位

- 機械工学科、電気情報工学科、応用化学科、物理情報工学科、管理工学科、数理科学科統計学専攻、システムデザイン工学科、情報工学科:学士(工学)
- 数理科学科数学専攻、物理学科、化学科:学士(理学)
- 生命情報学科:学士(理学)または学士(工学)

人間、社会、自然に関わる科目(約130科目)、外国語科目(約90科目)および総合教育セミナー(約30クラス)のうちから、第1、2学年で10単位以上、第3、4学年で8単位以上を取得。

学科専門科目 (必修/選択)

機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科
管理工学科	数理科学科	物理学科	化学科
システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	

※第4学年からはそれぞれ研究室に所属し、指導教員のもとで卒業研究に取り組む。
 ※希望により、学科専門科目として、大学院の設置科目を先取りして履修することも可能(※第4学年のみ)。
 ※数理科学科は数学専攻、統計学専攻のいずれかを第4学年で選択。

選択した 学科別に学ぶ

学科選択は、原則として本人の希望が優先されます(希望者数が、学科ごとの目標学生数と大きく異なる場合は、第1学年の成績を基準に選考)。専門基礎科目は、第3学年以降の高度な学習や研究に備えて基礎力を充実させる理工学部独自の科目です。さまざまな科目の中から本格的に取り組みたいテーマを自ら発見し、専門学習の第一歩を踏み出すことになります。

新領域開拓を 目指す

新たな科学技術の開拓に積極的に挑戦してもらいたいという目的から設置されている科目です。専門性の高い必修科目に加え、多彩な選択科目が用意されています。また、内外の著名な学者、企業の第一線で活躍する研究者や技術者による数多くの特別講義も行われています。

の興味と能力に応じてフレキシブルに選択履修することのできる科目

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

「学門制」で広がる学びの可能性

自由で創造的な学習環境

「学門」とは、“学びの庭への入口”といった意味を含めた言葉です。

最新の理工学のベースとなる学問群（物理、電気、機械、情報、数学、データサイエンス、システム、化学、生命）が関連性・融合性の観点から5つの「学門」に分類されており、入試の時点ではいずれかを選択して志願します。

入学後はまず、選択した学門の中から、自分の興味や関心に応じて理工学全体を見渡します。

そして徐々に学びの焦点を絞り込んでいき、第2学年進級時に合わせて所属学科を決めることができます。

入学後の学科選択や科目選択がより自由になることはもちろん、別々の学門から入学した異なる関心を持つ学生同士が、ともに学ぶことができる—それは、科学技術を学ぶ者にとって、非常に刺激的で創造的な学習環境と言えるでしょう。

学門制

学門 A	学門 B	学門 C	学門 D	学門 E
物理・電気・機械分野	電気・情報分野	情報・数学・データサイエンス分野	機械・システム分野	化学・生命分野
<ul style="list-style-type: none"> 物理学科 (20%) 物理情報工学科 (40%) 電気情報工学科 (20%) 機械工学科 (20%) 	<ul style="list-style-type: none"> 電気情報工学科 (30%) 情報工学科 (25%) 物理情報工学科 (20%) システムデザイン工学科 (25%) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報工学科 (30%) 数理科学科 (30%) 管理工学科 (35%) 生命情報学科 (5%) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械工学科 (50%) システムデザイン工学科 (35%) 管理工学科 (15%) 	<ul style="list-style-type: none"> 化学科 (20%) 応用化学科 (60%) 生命情報学科 (20%)

各学科で約5名まで「学門を越えた学科配属」(学門越え)が認められます。

配属は学生の希望に基づき、1年次の成績と書類審査により決定します。

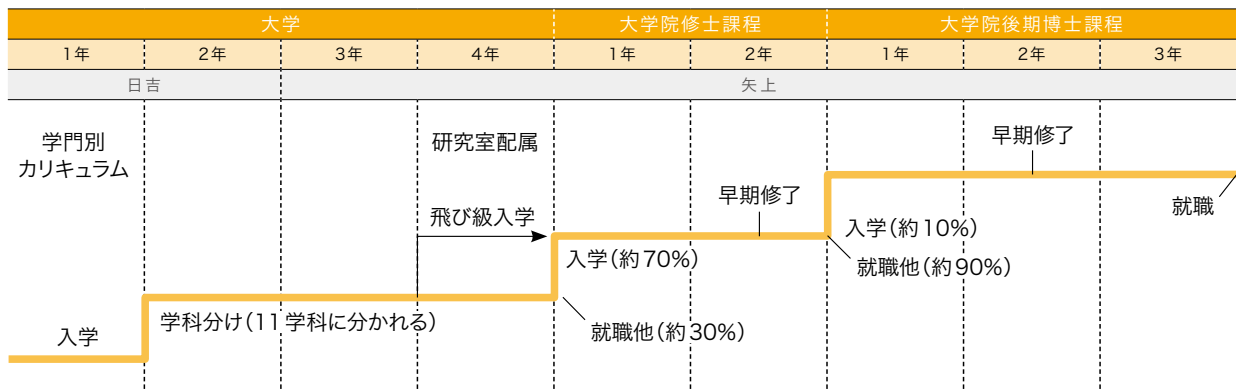
学門から学科へ、さらに大学院へ

学門別に入学した学生は第2学年から11学科に分かれて専門教育科目を履修します。

学部を卒業した学生の約70%が大学院修士課程に進学します。

なお、大学第3学年修了で大学院修士課程へ進学できる、飛び級入学制度も設けています。

大学院へのステップ



特色ある研究・取り組み

量子コンピューティングセンター



量子力学の世界では、電子位置が確率的にしか決まらない、光子が複数個ある状態が共存する、などの奇妙な原理が成立します。これを計算に役立てようというのが量子計算です。上の例を計算の場合に翻訳すると、計算が確率的になる、複数の計算結果が共存する、となります。この原理をうまく使うと、従来計算機を凌駕する超高速計算が可能になるのです。そして人類は、こんな夢物語的計算機を手にしつつあります。量子コンピューティングセンターでは、IBMが開発中の世界最先端量子計算機を自由に使える環境を整備し、複数企業と連携しながら、金融・化学・AIなどに応用できる量子アルゴリズムの開発を行なっています。従来1ヶ月かかる計算が1日で完了するなら、色々な世界が変わります。この圧倒的ポテンシャルをもつ量子計算の研究に参加しませんか？



AI・高度プログラミングコンソーシアム



昨今、人工知能(AI)などの高度な情報技術(IT)の応用が急速に展開しており、これを習得したいと望む学生が増えています。AI・高度プログラミングコンソーシアム(AIC)はこの希望に応えるべく、学生が集い、切磋琢磨しあう環境を提供しています。学生は、高性能計算機を自由に使うことができ、先輩達が教えてくれる講習会に参加したり、コンテストで競いあったり、最新の論文を読む勉強会を開催したりして、自身を高められます。様々な業種の企業が法人会員として参加しており、最新のAIビジネス事例などを学ぶこともできます。また、ICPC(国際大学対抗プログラミングコンテスト)への出場を奨励しており、世界大会への遠征費などを援助しています。次は、あなたが飛躍する番です。ぜひAICに参加してください。



理工学部・理工学研究科の研究成果を紹介する「KEIO TECHNO-MALL(慶應科学技術展)」



毎年12月にKEIO TECHNO-MALL(慶應科学技術展)を開催しています。理工学部・理工学研究科の研究成果を広く発信し、共同研究や技術移転など、産学連携のきっかけとなる出会いの場を提供するイベントです。出展ブースでは教員の他、各研究室の学生が展示やデモンストレーションを通じて、来場者に研究成果のプレゼンテーションを行っています。例年、企業や官公庁、他大学などから多くの方々にご来場いただき、研究成果を社会に向けて発信するだけでなく、学外の方々からの生の声をうかがう貴重な場となっています。



Keio University Science and Technology Life(理工学部生インタビュー)



慶應義塾大学理工学部の「今」を現役の1~4年生の理工学部生14名がインタビュー形式でお伝えする動画、「Keio University Science and Technology Life」を公開いたしました。コロナ禍でどのように履修を組んでいるのか、サークル活動などはどのように行っ

ているのかといったことのほかに、体育会の活動と研究室での研究を両立している先輩もインタビューに登場しています。ウェブサイトやパンフレットだけでは分からない「今」の理工学部をみなさんも覗いてみませんか？



フルバージョン
はこちらから



90秒バージョン
はこちらから

よくわかる慶應理工

入学前・受験前の皆さまに慶應義塾大学理工学部の魅力を凝縮してお伝えするための特設サイト「よくわかる慶應理工」を2020年10月に開設しました。AI・データサイエンス、医工連携、ロボット、航空・宇宙、バイオ、環境についての理工学部のアクティビティを紹介しています。公式ウェブサイトと合わせて是非訪れてみてください。

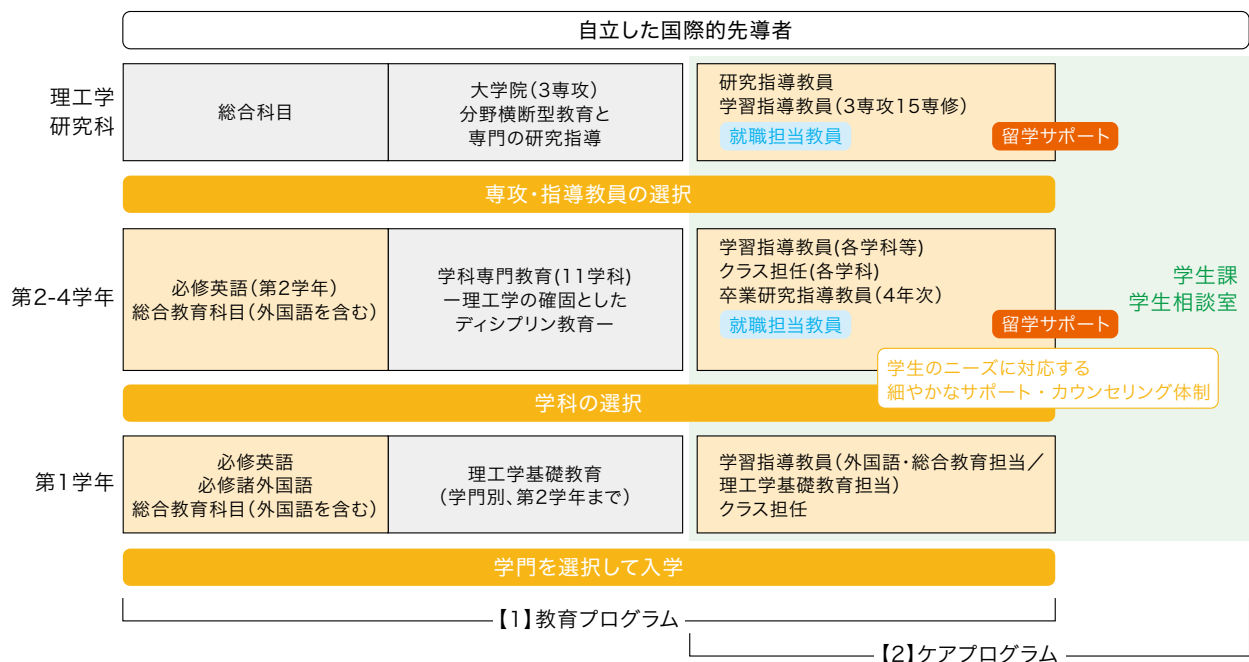


教育システムの体系

2つのプログラムの連動

理工学部における教育システムの体系は、【1】教育プログラムと【2】ケアプログラムの連動によって構成されています。【1】では、学門制入学・理工学基礎教育・学科専門教育・分野横断型大学院への進学システムによって、理工学の広範な学問分野を跨ぐ学際性を、さらに、充実した英語教育と総合教育によって、国際性と豊かな教養を涵養します。

【1】の各要素が、創発的ネットワーク環境の中で有機的に機能し合うとともに、【2】のケアプログラムが学部から大学院までの全学生を組織的に、かつきめ細やかにケアし、【1】を強力に支援することによって、プログラム全体を実効あるものになっています。



学生の安心となるケアプログラム

学生の自立性を重視した教育は、とすれば放任教育となる危険性をはらんでいますので、岐路において適切な指針を提示する体制と学生の相談窓口となる支援体制を整えておくことは極めて重要です。そのため理工学部では、従来からさまざまな情報提供手段(履修案内やガイダンスや理工学部ウェブサイトなど)を介して勉学の支援を行っています。

学生の相談窓口として、学習指導教員(21名)、第1、2学年のクラス担任(担任1名あたり学生15～75名)、第4学年での卒業研究指導教員(教員1名あたり学生約4名)、学生課、学生相談室など複数の窓口を設けています。これらの窓口を介して、授業・大学生生活・研究活動・進路就職・奨学金・福利厚生・課外活動といった多岐にわたる課題に、入学から卒業までのどの時期でも対応できる体制を整えて、個々の学生のニーズに対して細やかな支援を行っています。特に学生相談室(p.119参照)は、臨床心理士の資格保有者を含むカウンセラーが担当しており、学業、課外活動、進路、心身の健康、その他生活一般に関する幅広い相談に対応しています。

英語教育と総合教育

学生が各自の資質と個性に応じた語学力と豊かな教養を身につけられるように、英語教育と総合教育のシステムを構築しています。第1、2学年の必修英語では、レベル別構成を実施しています。第1学年を対象に入学時と学年末に英語統一テストを実施し、学生が各自の英語力に適したレベルの授業を選択するとともに、学習効果を確認できるようにしています。総合教育では、人間、社会、自然に対する深い洞察力と知力の養成を目的として、外国語科目や少人数のセミナー、人文・社会・自然科学系の約220の総合教育科目を設置し、学生が学部4年間にわたって自身の興味に応じて自律的に選択して履修できるようにしています。外国語科目は、リーディングやライティング、リスニングやスピーキングなど、目的にあった語学能力が身につけられるよう、多彩な英語および諸外国語科目が設けられています。総合教育科目の学びを通じて、科学技術者・研究者に求められる視野の広さや柔軟な思考力が育まれます。

第1学年の履修スケジュール例(春学期)

	月	火	水	木	金	土
1 時限	基礎教育科目 (数学)	基礎教育科目 (生物学)	基礎教育科目 (物理学)	基礎教育科目 (実験)	基礎教育科目 (物理学)	
2 時限		基礎教育科目 (化学)		基礎教育科目 (実験)	基礎教育科目 (情報学)	
3 時限	総合教育科目	総合教育科目	基礎教育科目 (理工学概論)		必修英語	総合教育科目
4 時限	基礎教育科目 (数学)					
5 時限		必修諸外国語※		必修諸外国語※		

※ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語から1語種を選択

世界を見据える「グローバルリーダーシップセミナー」

次世代のリーダーとして、国際的な場で求められる国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の必要性を肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表、討論、海外での実地研修を行います。多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。

ダブルディグリープログラム



Keio-Aachenサマースクール

理工学部では、ヨーロッパの複数の大学とダブルディグリープログラムを実施しています。ダブルディグリープログラムは、慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に学位を取得できる仕組みです。単に2つの学位が取得できるだけではなく、専門分野の学習と、異なる文化圏への理解を深めることができます。2005年以来、本学から150名を超える理工学部生がダブルディグリープログラムに挑戦し、国際的な人材として社会で活躍しています。学部生対象ダブルディグリーの提携校はフランスのグランゼコールであるエコール・サントラル・グループ(フランス)、大学院生対象ダブルディグリーの提携先は、ドイツのミュンヘン工科大学、スウェーデンの王立工科大学、ベルギーのブリュッセル自由大学、イタリアのミラノ工科大学、スペインのマドリード工科大学など欧州のトップ大学10数校です。ダブルディグリープログラムの提携校であるアーヘン工科大学(ドイツ)、エコール・サントラル・ナント(フランス)とは、夏季、春季休校中に短期研修を開催しており、学部1、2年生からも参加することができます。



ロボティクス分野に特化した世界初の教育プログラム



理工学研究科では、2020年9月よりロボティクス分野に特化したJapan-EU高度ロボティクスマスタプログラム(JEMARO)と呼ばれる世界初のダブルディグリープログラムがスタートしています。EU三大学と理工学研究科の強い協力関係で構築されたプログラムで、慶應義塾はもとより、世界各国から優秀な学生が参加を希望しています。使用言語は英語で、1年目はEU三大学のいずれか(フランス:エコール・サントラル・ナント、イタリア:ジェノヴァ大学、ポーランド:ワルシャワ工科大学)に留学し、2年目は全員慶應義塾にて研究活動を行い、修士論文としてまとめます。「異なる文化圏の背景を理解し、国際共同プロジェクトの中で中心的役割を果たすグローバルエンジニア」、「当該分野を俯瞰的に理解する高度な専門知識を持つエンジニアリングマネージャ」の育成を目指しています。



学科と設置科目

全学科の案内は、ウェブサイトより
ご確認ください。



創造性と総合力を併せ持つリーダーの育成を目指す

慶應義塾は創立以来、「独立自尊」を体現する人材の育成を行ってきました。機械工学分野においても、この精神のもと、自らの力で世界を先導することのできる、創造性と総合力のある技術者や研究者の育成を目指しています。海外におけるトップレベルの大学との交換留学も積極的に実施し、国際社会をリードする人材を数多く輩出しています。機械工学科では、「実体験の重視」「基本の重視」「個性の重視」「コミュニケーション能力の重視」という思想のもと、機械工学の基盤である力学体系を理解するとともに、技術者倫理を踏まえ、地球環境・社会環境も視野に入れた総合的な現象説明や、創造的な設計・ものづくりを遂行する能力を持つ技術者や研究者の育成を目標として掲げ、時代の要請に応える人材の育成を行っています。

機械工学科

	研究分野			科目	
材料力学・ マテリアルサイエンス	非線形固体力学 材料科学 材料強度学 マテリアルデザイン	生体材料 コンピュータシミュレーション ポリマー ソフト・バイオ・エコマテリアル	破壊力学・機能性材料 再生医工学 表面改質 ソフトマテリアル	材料力学 機械力学 熱力学 流体力学 図形情報処理 機械工学創造演習 機械工学総合実験 機械工学デザイン演習 機械工学ものづくりプロジェクト コンピュータシミュレーションの観・応 分子動力学 熱物質移動論	マテリアルデザイン 構造材料の科学 連続体の力学 精密加工学 振動工学 制御工学 ロボティクス・メカトロニクス エネルギー変換工学 反応システムと環境 航空宇宙工学 最適デザイン科学 他
機械力学・制御・ ロボット	ダイナミクス 超電導 超音波 パブル	バイオメカニクス モデル解析 インテグレーション工学・ヒューマノイド アクチュエータ・センサ	ロボット フィールドロボティクス・宇宙工学 バイオメカニカルデバイス超音波		
デザイン・ 設計・加工	デザイン科学 設計論 超精密加工	ナノプロセッシング ウェアラブル・インプラントシステム マイクロナノシステム	バイオファブリケーション ロバスト設計 人間工学設計		
流体力学・ 流体工学	機能性流体力学 乱流モデル 高速流体力学	流れの制御 キャピテーション 衝撃波・超音波	固気二相流・燃焼流 流体力学への機械学習の応用		
熱力学・燃焼工学・ 伝熱工学	反応熱流体力学 分子動力学 エネルギー工学	環境・エネルギー学 核融合工学 伝熱計測	燃焼工学		



明日のエレクトロニクス分野に変革を起こすことのできる人材を育成

電気電子工学は、電気と光を情報の処理・伝達の手段やエネルギー源として工学技術に応用する学問分野です。現代社会において、電子機器がない日常生活は想像もできないことですが、これからも人間の安心・安全やシステムのスマート化、地球環境問題の解決など、豊かで快適な社会を実現するため、電気電子工学を専門とした人材は情報工学も駆使しながら活躍する場が広がっていくと期待されます。技術の発展は突発的なものでなく、過去の知見の積み重ねによって成し遂げられます。最先端の学問を探究すると同時に、基礎学問の習得も重要です。電気情報工学科では、ナノエレクトロニクスやオプトエレクトロニクスから生まれる新たなデバイスの開発と、これを基盤に展開される回路・情報システムの開発を念頭に、技術のイノベーションを創出できる人材を育成します。

電気情報工学科

	研究分野			科目	
インフォマティクス	通信工学・通信ネットワーク 5Gワイヤレスシステム システム制御 信号処理工学	画像センシング・画像工学 数値モデリング・最適化 人工知能・機械学習 IoT	センサーネットワーク ヘルスケア・医療 ロボティクス	電気回路理論 情報工学 量子力学基礎 固体物性工学 機械学習基礎 画像工学 制御工学 シグナルプロセッシング 通信ネットワーク工学基礎 ワイヤレスコミュニケーション 応用数学・応用確率論 電気情報数学 プログラム実習 アルゴリズム同演習 コンピュータシミュレーション演習 電気情報工学セミナーI・II	電気回路基礎 デジタル・アナログ回路 エレクトロニクス基礎 LSI回路設計I・II 光・量子エレクトロニクス フォトリソグラフィ エレクトロニクス・デバイス 電気情報工学実験第1・2 他
フォトリソグラフィ	コヒーレント量子工学 レーザー物理学 光通信システム	生体医用光学工学 光信号処理デバイス ナノフォトリソグラフィ	レーザー工学・生体医用光学 ナノ構造解析 量子暗号・量子通信		
エレクトロニクス	アナログ高周波回路 LSI設計・システムLSI ナノエレクトロニクス カーボンナノチューブ	バイオセンシング 有機分子エレクトロニクス グリーンエレクトロニクス ナノスケール半導体	非線形材料 ウェアラブルデバイス 量子ナノ工学 ストレッチャブルエレクトロニクス		



化学の「基礎」と「応用」を重視し広い視野を持つ人材を育成

応用化学科は、化学の「基礎」と「応用」の両方を重視し、実学としての化学を習得した多くの人材を社会に輩出してきました。無機化学、有機化学、物理化学、高分子化学、分析化学、材料化学、電気化学、化学生物学、生物化学、化学工学、環境化学を網羅した密で幅広いカリキュラムで教育を行い、高い専門性に加えて広い視野を持つ人材を育てています。応用化学という基盤学問をしっかりと学び、さらに最先端の研究を通して化学が関連するグローバルな問題解決能力を身につけた、未来を切り拓くリーダーの育成を目指しています。

応用化学科

	研究分野			科目	
マテリアル デザイン	材料化学 有機機能材料化学 光機能材料デザイン 無機構造科学 電気化学	バイオミメティック 有機結晶 ナノ蛍光体 機能性セラミックス イオン液体	高分子材料 電子機能材料 波長変換材料 スマートマテリアル 電池材料	無機化学基礎 有機化学基礎 物理化学基礎 高分子化学基礎 分析化学基礎 生体物質化学基礎 応用化学計算基礎 マテリアルデザイン概論 環境化学概論 応用化学実験	有機化学 生物化学 分子生命科学 化学工学 無機工業化学 有機工業化学 環境分析化学 マテリアル科学 応用化学系英語 他
環境・分析・ 化学工学	化学工学 分析化学 環境化学	ファインパブル ケミカルセンサー 地球環境	反応装置工学 蛍光・発光色素 PM2.5		
オーガニック サイエンス	分子有機化学 有機物質化学 有機合成化学 天然物有機化学	有機化学反応の開発 時空間パターン 触媒化学 生物現象の解明	創薬化学 自己駆動油滴 天然物の全合成 有機物の構造決定		
バイオサイエンス	分子生命科学 高分子化学 生物化学	ケミカルバイオロジー 医用高分子 細胞生物化学	糖質化学 粒子とコロイド 分子生物学		



世界を革新する応用物理を学ぶ

物理情報工学科は、世界を革新する応用物理を学ぶ学科です。「世界的に高く評価される研究」と「国際社会のリーダーとなる学生の育成」を使命として、超伝導技術を駆使した省エネ社会、量子コンピュータの実現による高速演算、スピントロニクスによる次世代情報技術、未来社会インフラのための制御技術など、物理と数学を基盤とした「ものづくり」のための応用物理学を学びます。情報・エネルギー・システムなど多岐にわたる専門科目と研究活動を展開し、世界を先導するサイエンティストやエンジニアの育成を目指しています。

物理情報工学科

	研究分野			科目	
量子・情報物理	量子情報 量子計算 量子制御 量子光エレクトロニクス	スピントロニクス 量子コンピューティング 量子アニーリング 情報光学	ナノデバイス ナノフォトニクス トポロジカル物理	量子力学 物性物理 光物性物理 統計物理 計算物理 半導体工学 応用量子物性 プラズマ物理 量子コンピューティング 数理物理 物理分析 フォトンクス バイオシステム アルゴリズムとデータ構造	数値計算法 モデリングと制御 制御工学同演習 ソフトウェア開発演習 プレゼンテーション技法 他
創発物性科学	高分子光学 表面物性 プラズマ核融合工学 相関電子物理・超伝導 流体物性論	微小エネルギー変換・熱分析 界面反応プロセス 物質探索 ソフトマター 物性理論・計算物質設計	低次元性半導体物理学 物理化学 大規模並列計算		
情報計測・ 情報制御	生体計測 信号処理 画像処理 IoT	システム制御 遺伝子制御 生体制御 環境センサ	量子物性・機械学習 人間・機械系 電力系統制御 航空管制制御		



「人間」「もの」「情報」「金」を柱とし、現実社会における問題の解決を図る

管理工学とはさまざまな技術を統合し、人間の諸活動を含めたシステム全体の設計やコントロール、新たな管理技法の開発などを旨とする理論および技術体系です。管理工学科では、経済学や心理学なども含めた学科目を幅広く設置し学生の視野を広げるとともに、複雑な現実社会の中から問題点を抽出し、解決を図る能力を持つ技術者の養成を心がけています。管理工学科では「人間」「もの」「情報」「金」の4つをキーワードとして、さまざまな視点や発想から科学技術とマネジメントを考えます。そのため理工学の基礎知識に加えて、管理工学の基礎となる統計解析や情報処理、システム解析、インダストリアル・エンジニアリング、人間工学、経営管理、オペレーションズ・リサーチなどの教育を行っています。

管理工学科

	研究分野			科目	
人間工学/ ヒューマンファクターズ	ヒューマンインターフェース 安全マネジメント 自動走行システム	高度道路交通システム (ITS) ヒューマンエラー 技術経営	ユーザーエクスペリエンスデザイン 航空安全 コーチング	管理工学基礎演習 管理工学実験・演習 ソフトウェア工学 アルゴリズム論 管理工学用数学 オペレーションズ・リサーチ 確率 プログラミング言語 機械学習 フィナンシャル・エンジニアリング 金融データ分析	経済原論 品質管理 応用統計学 生産管理 統計解析 情報経済学 経営管理論 人間工学 インダストリアル・エンジニアリング 経済性工学 他
インダストリアル エンジニアリング (IE)	生産在庫管理 生産スケジューリング 作業習熟・技能伝承	動作研究 サプライチェーンマネジメント 生産システムマネジメント	経済性工学 生産情報システム		
統計学	応用統計解析 実験計画法 マーケティング調査	データサイエンス 多変量解析 品質管理	統計モデリング 統計的機械学習		
オペレーションズ リサーチ (OR)	数理モデリング システム最適化 評価とリスクのマネジメント	空間データ解析 意思決定論 社会システム分析	社会シミュレーション 地域モデル分析		
人工知能の基礎と 応用・情報システム	マルチエージェントシミュレーション 人と共生する自律型汎用人工知能 社会基盤構築のための先進的ソフトウェア工学	ヒューマンエージェントインタラクション AIロボットによるスマート社会創造 群知能と創発システム	社会シミュレーションとデータ同化 深層学習によるデータ解析技術		
金融工学・ 経営管理	資産運用 金融市場分析 ポートフォリオ理論	シミュレーション技法 金融資産評価 リスク管理	フィナンシャル・プランニング リアルオプション分析		
経済学・経済分析	ビジネスエコノミクス ゲーム理論 競争的マーケティング戦略	経営科学 情報の経済学 サプライチェーン・コーディネーション	経営戦略 価格設定		



さまざまな自然現象や社会現象を表現しその本質を理解する

科学の言葉である数学の研究とともに、数学を共通の言葉として様々な科学に通じる「理(ことわり)」を明らかにしようとする学問が数理科学です。本学科の教育理念は、自分で考える力を育てることです。この力は計算を基礎とする思考実験を繰り返し経験することで獲得でき、ここで得られた考え方の枠組みが問題解決の方向性を与える道具となります。数理科学科では学習を手助けするために対話を重視し、互いに議論しあうことによって自ら答えを導くことを目指します。「数学専攻」と「統計学専攻」の2専攻が設置され、卒業生に与えられる学位はそれぞれ「学士(理学)」または「学士(工学)」になります。この2つの専攻制度は、数理科学科での幅広い教育および研究活動に対し特別に認可されているものです。

数理科学科

	研究分野			科目	
代数学・整数論	数論幾何 解析的数論 岩澤理論	保型形式と保型表現 代数的整数論 超越数論	楕円曲線	数理科学基礎 位相空間論 計算機科学同実習 統計科学概論 関数論同演習 関数方程式同演習 代数学同演習 幾何学同演習 統計科学同演習 データ解析同演習 数理統計学同演習	アルゴリズム論 情報処理 数理最適化 実解析同演習 確率論同演習 リスク数理 有限数学 情報数学 保険数学 他
数理解析・関数方程式	偏微分方程式論 力学系	数値解析 非線形解析	流体の基礎方程式		
確率論・エルゴード理論	確率解析 拡散過程	統計力学 数理ファイナンス	極限定理 エルゴード理論		
幾何学・大域解析学	微分幾何学 ゲーシ理論	作用素環 微分位相幾何学	複素幾何学 離散群		
離散数学・計算機数学	グラフ理論 数理最適化	アルゴリズム 組合わせ論	理論計算機科学 メカニズムデザイン		
統計科学	数理統計学 統計的機械学習 医学統計学 時系列解析	ベイズ予測 データ解析 金融工学 生物統計学	パターン認識 生物資源評価		



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

「普遍性」と「創発」を理解して素粒子から宇宙、社会現象までを解明する

物理学科での教育カリキュラムは、学生が将来基礎科学と応用技術の両方で活躍することを意識して組まれています。「力学」「電磁気学」「量子力学」「熱・統計力学」には、十分な講義時間を割き、着実に理解が深まるよう工夫されたカリキュラムを用意しています。第3学年以降では、より最先端に近い分野についても学ぶことができます。

物理学科

研究分野				科目	
物性物理学	超低温物理学 スピントロニクス	磁性物理学 ソフトマター	光物性物理学	量子力学 熱統計力学 電磁気学 応用物理学 計算物理学実習 素粒子物理学 相対性理論 天体物理学	物性物理学 生物物理学 光学 物理学実験 物理学セミナー 論文講義発表 他
理論物理学	半導体ナノ構造 メゾスコピック系 超伝導・超流動	統計物理学 第一原理計算物理 原子核理論	重力・量子情報 素粒子論		
レーザー物理学	高分解能レーザー分光	量子エレクトロニクス			
生物物理学	X線ナノイメージング	生体超分子科学			
宇宙物理学	ミリ波・サブミリ波天文学	電波天文学			
素粒子物理学	ニュートリノ物理学	大統一理論検証	宇宙線観測		



科学の「幹」となる進化する化学探究・解明からはじまる創造のサイエンス

「人と自然が一番近いサイエンス」、それが化学です。「化学」とは物質の性質とその変化を対象とした学問であり、私たちが生活していく上で、必要不可欠なさまざまな物質を自由自在に創り出すことができる唯一の手段です。このように「化学」は多くの科学技術の文字通り「根幹」であり、将来にわたって科学技術の舞台で主役を演じ続けます。化学科は、1学年あたりの学生約40名に対して、約20名の教員が理工学部で最もきめ細やかな少人数教育を行っています。第4学年の卒業研究の多くは、そのままそれぞれの分野の専門学会で発表できるような最先端の内容です。新分野を開拓し、独創的な新技術を創成することのできる真のリーダーに成長するよう全力でサポートしています。

化学科

研究分野				科目	
物理化学	理論化学 ナノクラスター化学	マテリアルズインフォマティクス ナノ触媒科学	量子コンピュータ 機能電子物性	化学実験第1・第2 有機分子変換(有機化学第1) 精密有機合成(有機化学第2) 合成デザイン(有機化学第3)	有機構造決定法 応用有機化学 有機合成化学研究法 化学反応速度論
無機化学	表面化学	触媒化学	機能性薄膜	天然物化学(生命化学第1) 生物活性化学(生命化学第2) 分子生物学(生命化学第3)	分子分光学 物理化学演習第1・第2 他
生物有機化学	生体分子化学 天然物化学	ケミカルバイオロジー 生物有機化学	生物活性物質	電気化学(無機分析第1) 錯体化学(無機分析第2) 固体化学(無機分析第3)	
有機合成化学	反応有機化学 遷移金属化学	錯体触媒・不斉合成 遷移金属触媒	均一系触媒反応	分子量子化学(物理化学第1) 量子統計化学(物理化学第2) 電子状態理論(物理化学第3)	
材料化学	無機物性化学 機能材料化学	光機能性材料 光エネルギー変換	ダイヤモンド電極 分子集合体		
生命化学	生命機構化学 細胞生物学	生物無機化学 免疫調節	神経変性疾患		



基盤技術を総合的に活用し新しいシステムをデザインする

システムデザイン工学とは、科学技術の影響がおよぶ社会や人間、自然環境などを対象に、工学システムとそれを取り巻く環境との調和性を実現しようという工学分野です。いわば「環境空間」というキャンパスに「モデル化」という筆を用いて、「システム」という絵を設計していく、新たな理工学といえるでしょう。システムデザイン工学では、個々に独自の発達を遂げてきた要素技術を統合し、技術と技術、技術と人間、技術と社会がより高度に調和した状態を目指すためのデザインを扱います。具体的には宇宙、エネルギー、環境、建築、情報、ロボット、バイオなどの各分野のハードウェアシステムやインフラストラクチャを対象に、その制御技術やシステムのデザインを研究しています。

システムデザイン工学科

研究分野				科目	
設計・生産システム	デジタルデザイン デジタルマニュファクチャリング マイクロ・ナノ加工	知能化工作機械 デジタルエンジニアリング 加工監視	付加/除去加工機械	システムデザイン工学概論 社会・経済・文化と工学 システムデザイン工学 実験第1・第2 熱流体システム第1・第2 力学的モデリング デザインリテラシー演習 電磁気工学 回路とシステム第1・第2 ダイナミカルシステム 工学材料 電気機器システム 線形制御理論 制御システム設計論	システム工学 マルチメディアデザイン 生産システム マニュファクチャリングアナリシス メカトロニクス システムデザイン工学演習 マシンデザイン システム生命工学 ライフサイクル工学 設計・計画の最適化数理 構造システム工学 建築熱・空気環境工学 空間設計製図I・II 他
情報・制御システム	モデリングと制御 ネットワークアーキテクチャ プロトコル 分散協調制御	電力ネットワーク制御 コンピュータネットワーク 分散処理 生体信号解析	画像意味理解 分子動力学 サイバーフィジカルシステム		
ロボティクス バイオメカニクス	モーションコントロール ハプティクス 産業用ロボットシステム 自律メカトロニクス	人間支援 システムエネルギー変換 メカノバイオロジー 組織工学	パワーエレクトロニクス モータドライブ 細胞バイオメカニクス 生体医工学		
建築デザイン	サステナブルエンジニアリング サステナブル都市・建築デザイン	建築構造物の最適設計・性能設計 建築・都市デザイン	建築設計 現代都市空間論		
空間・環境システム	建築・人連成システム 応用力学	計算力学 宇宙システム工学・知的制御	構造ヘルスマニタリング		
エネルギーシステム	流体物性 エネルギー環境システム工学 熱流体中の移動現象	伝熱制御 システム熱物性工学 エネルギー・環境	ナノ・マイクロ空間熱流体システム マイクロ・ナノ熱工学 Optical MEMS		





情報通信の技術とその未来を正しく理解し世界をリードする先端技術者を養成する

情報工学とは情報の力を工学的に利用するための分野です。コンピュータ科学、メディア工学、通信工学を「情報」の観点から融合的に扱う工学分野で、情報工学科では情報の発生、獲得、伝達、蓄積、処理、表示などにわたる学術の発展と人材の育成を通じて、社会に貢献することを目指しています。さまざまな技術の複合体である現在のIT製品を理解するにはコンピュータ、通信、情報メディアの3つの分野すべてをカバーする必要があります。情報工学科のカリキュラムは、これらの分野の基礎から応用までがバランス良く習得できるように作られています。なお第2・第3学年では徹底した基礎教育により、情報技術者としての生涯に役立つ地道な土台作りから始めます。

情報工学科

	研究分野			科目
コンピュータシステム	計算機アーキテクチャ CPU 組込みリアルタイムシステム	オペレーティングシステム 計算機ネットワーク アクセラレータ	ビッグデータ セキュリティ システムLSI	機械学習基礎 アルゴリズム第1・第2 オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ ビジュアルコンピューティング デジタル信号処理 データベースシステム データモデリング ネットワーク工学1・II パターン情報処理 フォトニックネットワーク プログラミング同演習 第1,2A,2B,3 プログラミング方法論 コンピュータ実習 プログラミング基礎同演習 情報工学概論
ソフトウェア	ソフトウェア工学	データベースシステム		応用確率論・応用数学 計算理論・情報理論 電子回路基礎・計算機基礎 計算モデル論・数値解析 人工知能・自然言語処理 組込みリアルタイムシステム 通信理論・符号理論 通信システム UNIXシステムプログラミング VLSI設計演習 ヒューマンインタフェース データ解析論 他
知的情報処理・ヒューマンインタフェース	知的情報処理 感性工学 機械学習	ヒューマンインタフェース 人工知能(AI) 自然言語処理	音声理解	
画像・音声・コンテンツ	画像情報工学 コンピュータビジョン コンピュータ可視化	CG インタラクティブコンテンツ ヒューマンインタフェース	ヒューマンコンピュータインタラクション ユビキタスコンピューティング	
通信・ネットワーク	モバイルコミュニケーション インターネット 分散システム	フォトニックネットワーク スマートグリッド コンピュータネットワーク	アプリケーション指向ネットワーク	



生命現象をシステムとして捉え生命科学の新しい時代を拓く

水の惑星「地球」にいのちが誕生して36億年。DNAの二重らせん構造が提案されて約70年。今、ヒトゲノムの塩基配列が簡単に解析できるようになり、生命科学は新しい時代に入りました。生命のしくみの謎解きには、生命システムを物理の言葉で語ったり、分子の変化で表したり、情報論的に説明したりする「生命情報学」が必要です。生命情報学では、「生き物の実験を行えるだけでなく、計算機を利用するのが苦にならない」人材を目指します。多様な生命システムの解明は、医療・創薬、食料・新エネルギーの増産、環境浄化・モニタリング、化学産業のバイオプロセス化などのさまざまな分野へ応用され、新しい産業を起こすことが期待されています。新しい分野を自らの手で開拓し、リードしていく人材を育成します。

生命情報学

	研究分野			科目
発生・生殖生物学	生殖戦略 性決定	生殖細胞分化 受精		生命情報実験A～D 分子生物学第1・第2 細胞生物学第1～第3 生物統計学 発生生物学 生物有機化学 生体高分子科学 生体反応論第1・第2 生命現象の物理学 生命系の物理化学第1・第2 バイオサイバネティクス システムバイオロジー バイオインフォマティクス バイオプログラミング第1・第2
生命分子工学	進化分子工学 人工細胞工学	合成生物学 プロテオミクス	抗体・ペプチド創薬 ドラッグデリバリー	基礎生命実験 生命系の有機化学 情報の基礎 分子細胞生物学の基礎 生命系の数学 基礎システム制御論 生命情報総合演習第1・第2 アルゴリズムと情報処理 ケミカルバイオロジー 階層生物学 生体分子化学 生命倫理学 他
ケミカルバイオロジー	天然物化学 生物活性物質	化学生物学 分子生物学	生物有機化学	
生物機能化学	酵素工学	バイオリサイクル	生物有機化学	
バイオ分子化学	糖鎖生命工学	ドラッグデリバリーシステム	ウイルスセンシング	
リハビリテーション神経科学	リハビリテーション工学	神経生理学		
生物物理・神経情報学	神経行動学 細胞イメージング	神経可塑性 進化発生	メカノバイオロジー	
バイオインフォマティクス	バイオインフォマティクス オミックスデータ解析	がんゲノム解析 腸内細菌叢解析	インシリコスクリーニング 人工知能	
システム生物学	システム生物学	定量生物学	計算生物学	



こちらませひご覧ください。
理工学部 学部案内



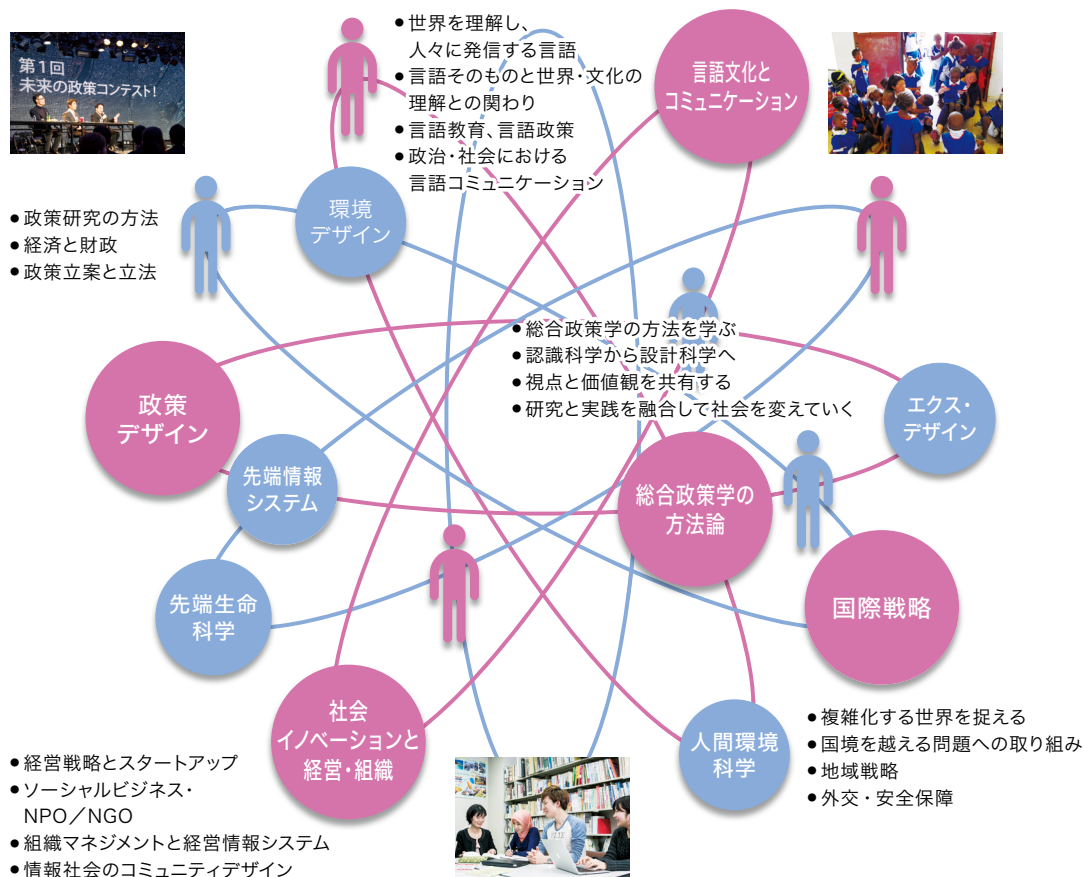


総合政策学部

Faculty of Policy Management

総合政策学科

「創り、動かす人」を育てる



政策を考え、未来を考える

「未来を考える」ための教育に取り組むSFCにおいて、

総合政策学部は「政策を考える」ための学問を追究しています。

いま、世界の秩序は大きく流動しています。

私たちが直面している問題の多くは、既存の解決方法を受け入れず、新しい思考を要求しています。

そもそも、発見した問題を本当に問題なのかと疑う必要すらあるのです。

「政策を考える」ための学問は、「実践知」を重視しながら、学際領域に踏み込み、

一つの学問領域だけでは解決困難な多様な問題の解決に資する、

新しい「知」を生み出す力を涵養します。

問題を的確に見定め、その解決方法を提案し、実行までできる人材、

真理を追究し、新しいものを想像し、日本と世界を良くする志のある人材を育てます。

<https://www.sfc.keio.ac.jp/>



総合政策学部

問題の本質を発見し、政治、法律、経済、社会、文化、テクノロジー、心と体などさまざまな領域を取り込みながら、学生と教員が一体となって解決を目指します。

アドミッションポリシー

総合政策学部は「実践知」を理念とし、「問題発見・解決」を重視する学生を求めます。問題を発見・分析し、解決の処方箋を作り実行するプロセスを主体的に体験し、社会で現実問題の解決に活躍することを期待します。したがって、入学試験の重要な判定基準は、基礎学力に裏付けられた、自主的な思考力、発想力、構想力、実行力の有無です。「SFCでこんなことに取り組み学びたい」という問題意識に基づいて、自らの手で未来を拓く力を磨く意欲ある学生を求めます。また、多様な学生を集め、学生同士が互いの強みを活かせるように、一般選抜、AO入試(総合型選抜)、帰国生入試、外国人留学生入試といった多彩な入試を実施し、AO入試については英語による受験も認めています。

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーについてはウェブサイトをご覧ください。



政策デザインの分野

変化を続ける政治的・経済的・社会的環境に適応し、私たちの毎日をより良いものにしていく手段として政策を広く捉える。政府のみならず、さまざまな主体が参加して政策をデザインする方法と概念を学びます。



■ 政策研究の方法

政策研究は、理念や構想、政策立案および制度設計、政策実施から評価に至る一連の過程から構成されます。社会で起きている問題の本質を解きほぐし、解決策を探るための政策研究の方法を定性、定量、混合手法を横断しつつ身につけていきます。

■ 経済と財政

国や自治体の政策をデザインする上で、経済と財政は根幹となる部分です。厳しい財政状況という現実を踏まえ、実社会の問題解決に直結する経済分析に取り組み、理解を深化して現実的な政策に結びつけていきます。

■ 政策立案と立法

技術革新、ダイバーシティの広がり、ボーダレス化に即した法制度や政策立案が求められるなか、SFCの強みを活かして、技術や生態系までも視野に入れた、持続可能な社会につながる具体的な政策立案や法制度について学びます。

社会イノベーションと経営・組織の分野

スタートアップや老舗企業、NPO/NGO、政府機関等が、新しい発想と方法による課題解決を目指す社会イノベーションに取り組んでいます。研究と実践の融合の中から、「社会的な成果」と「経済的な成果」を追求する新たな方策を学びます。



■ 経営戦略とスタートアップ

事業のスタートアップやベンチャーの成功には、ミッションの明確化、深い経営知識、迅速で確かな実行力が必要で、社会性も求められます。激動する環境において、これらを成し遂げるこれからの経営戦略を探究します。

■ 組織マネジメントと経営情報システム

あらゆる組織活動においてその担い手も顧客も多様な個人です。新しい時代のライフスタイルや顧客ニーズ、キャリアパス、リーダーシップ、組織文化の理解を深め、マーケティング、組織デザイン、人材開発等の発展を考えます。

■ ソーシャルビジネス・NPO/NGO

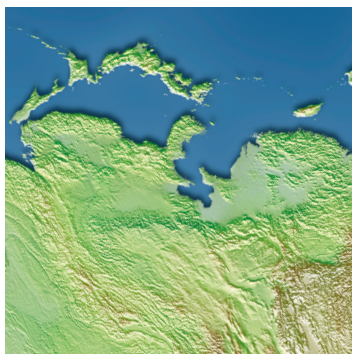
社会課題の解決に取り組むソーシャルビジネスやNPO/NGOの歴史と現状を理解し、今後の新しい展開を構想します。社会起業家に求められる要素、組織や活動の方法、政策の考え方を実践的に身につけていきます。

■ 情報社会のコミュニティデザイン

コミュニティや組織のガバナンスやプラットフォームのあり方を考えます。現代に求められる「安心・安全」「持続可能性」「社会的包摂」の実現方策など、マクロとミクロの視点から新しい社会のデザインに挑みます。

国際戦略の分野

国際社会にはいま協調と対立の機運とが併存しています。世界をグローバル、リージョナル、ナショナルな視点から複眼的に捉え、多様な主体に焦点をあてた国際戦略とガバナンスのあり方について考えます。



■ 複雑化する世界を捉える

グローバルに展開する政治・経済・社会現象を幅広く分析し、紛争と協調、成長と分配、統治と参加、技術革新の影響など、多角的な視点から世界を捉え、ガバナンスのあり方を追求します。

■ 地域戦略

グローバリゼーションの進展によって、地域のありかたが問われています。東アジア、欧州、米州、中東、アフリカなど、世界各地域でグローバリゼーションとそれへの抵抗が相克するメカニズムを考えます。

■ 国境を越える問題への取り組み

戦争、貧困といった「脅威・欠乏からの自由」を確保し、安全・安心を実現するために何ができるのか、国際レベル、国家レベルの政策に加え、個人及びコミュニティのあり方を研究します。

■ 外交・安全保障

東アジアは緊張の度合いを高めています。国際協調をとすれば平和を達成できるというシナリオは現実味を失っています。いかにして、この地域における緊張を軽減できるかを総合的に考えていきます。

言語文化とコミュニケーションの分野

言語は人々をつなぎ、文化を生み出します。言語の文化は、人間同士を結ぶコミュニケーションによって培われます。このような言語文化とコミュニケーションの視座から、世界のさまざまな現象・問題を考えます。



■ 世界を理解し、人々に発信する言語

従来の語学に留まらず、言語を通して世界の思想や文化、人々の生活についての理解を深めます。また、高度に言語を運用できるプロフェッショナルとして、グローバルなコミュニケーションを行える能力を培います。

■ 言語教育、言語政策

言語文化やコミュニケーションの問題について、第二言語習得論や学習環境デザインなどの観点から探求します。また、そのような言語教育上の研究を、多文化共生を目指す言語政策へと結びつけて発展させていきます。

■ 言語そのものと世界・文化の理解との関わり

言語にはどのような働きがあり、その言語を使って私たちはどのように文化的世界と、そして人々と関わっているのか。この問題について、認知言語学や社会言語学、また文学や物語などの角度から取り組みます。

■ 政治・社会における言語コミュニケーション

言語コミュニケーションには、その時々での社会や政治の問題が映し出されます。国内の使用言語をめぐる葛藤や、宗教と社会の関係、越境体験などです。これらの問題をさまざまなアプローチを通して考察します。

総合政策学の方法論の分野

総合政策学部で強調されてきたのは複数の分野を学ぶことで新しい問題解決の方法を切り拓くことでした。現在は、そうした「分野の掛け算」に加えて、必要に応じて新たな方法を学び取る「方法の足し算」が求められています。



■ 総合政策学の方法を学ぶ

総合政策学は、世界を認識するための認識科学を前提に、目的の実現に向けて仕組みの設計をよりよく行う設計科学を志向しています。そのためには目的に応じて複合的に研究の方法を選び、組み合わせることがカギとなります。

■ 視点と価値観を共有する

具体的な方法にくわえて、視点や価値観を交わすことも、問題解決に向けた研究と実践に欠かせない「方法」です。講義はもちろん、このキャンパスには多様な視点と価値観が共有され、研究の大きな基盤となっています。

■ 認識科学から設計科学へ

設計科学を志向すると、よりリアルな認識科学が求められます。そのためにインタビューやフィールドワークといった定性的研究、データサイエンスや社会実験といった定量的研究、さらには両者を組み合わせた混合研究を学びます。

■ 研究と実践を融合して社会を変えていく

研究の成果を生かしていくためには実践が必要です。そのために研究会やプロジェクトでフィールドに出て実際に課題に取り組み、多くの先達にお話を伺い、その学びを還元させて研究と実践を融合して社会を変えていきます。

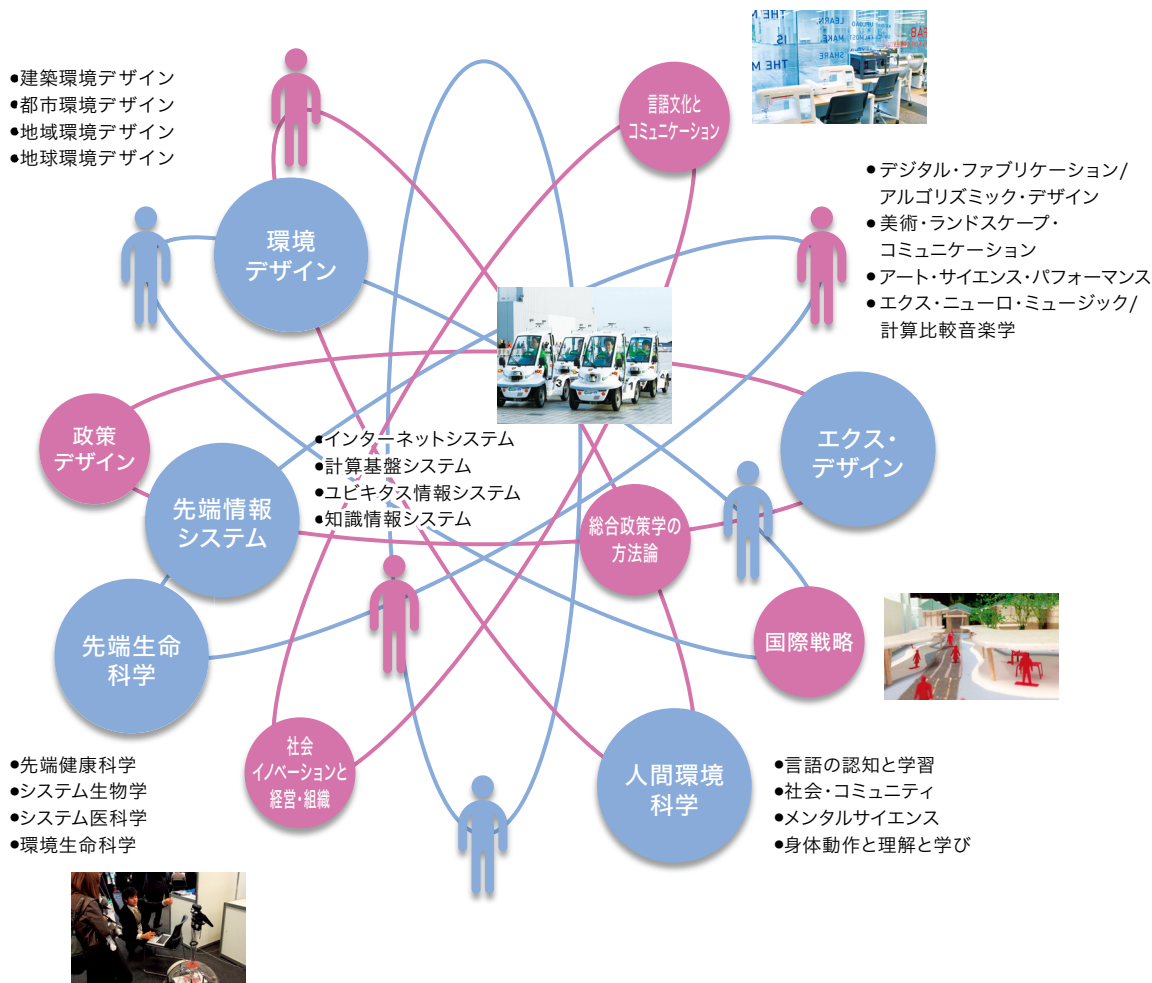


環境情報学部

Faculty of Environment and Information Studies

環境情報学科

人と地球のサイエンスで、未来社会を創造



「環境と情報の世紀」におけるグローバルリーダー

近年私たちを取り巻く環境の変化は早く、
 予測が困難で不確実性が高いVUCAの時代と呼ばれています。
 環境情報学部では最先端のサイエンス、テクノロジー、デザインを駆使し、
 柔軟に人文・社会科学と融合することによって、
 地球、自然、生命、人間、社会を理解し、未解決の問題に取り組み、解決策を創造します。
 学問分野を横断した学びにより変化に対応できる力を養い、
 先を見通せない時代を生き抜き、未来を創造する先導者を生み出します。

<https://www.sfc.keio.ac.jp/>



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

環境情報学部

先端のサイエンスを追求し、生命、心身の健康、環境とエネルギー、デザイン、防災やメディアなどの新しい課題に、総合政策学部と一体となった社会科学のアプローチを力として、変動する国際社会の未来を担うグローバル情報社会を創造します。

アドミッションポリシー

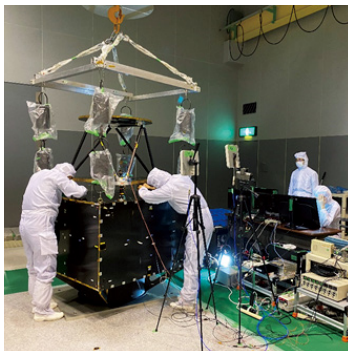
ひとつの学問分野にとらわれることなく幅広い視野を持ち、地球的規模で問題発見・解決できる創造者でありリーダーを目指そうとする学生を歓迎します。環境情報学部の理念や研究内容をよく理解した上で、「SFCでこんなことをやってみたい」という問題意識を持って入学してくれることを願っています。SFCの教育環境や先端プロジェクトなどあらゆるリソースを積極的に活用し、「自らの手で未来を拓く力を磨いて欲しい」と期待しています。また、多様な学生を集め、学生同士が互いの強みを活かせるように、一般選抜、AO入試(総合型選抜)、帰国生入試、外国人留学生入試といった多彩な入試を実施し、AO入試については英語による受験も認めています。

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーについてはウェブサイトをご覧ください。



先端情報システムの分野

コンピュータやネットワークはその存在を主張せず、情報システムは水や空気のように日常に溶け込み、我々の生活をさまざまな形で支援する、そのような先端情報システムを創造し、諸問題に挑みます。



■ インターネットシステム

社会活動や生活の安全・安心・快適を支えるインターネットやモバイル技術について、実際のネットワークを運用しながら実践的に研究します。

■ ユビキタス情報システム

AIを活用したセンシング技術や、クラウドシステム・エッジシステムにおけるデータ処理技術、情報の力による行動変容の技術を通じて、人や街を拡張する新しいユビキタスコンピューティング環境を研究します。

■ 計算基盤システム

先端情報システムの基盤を支えるさまざまなシステムソフトウェアの実践的研究や量子コンピューティングをはじめとする新しい計算基盤システム、またそれらを支える技術者集団の創出そのものが研究ターゲットです。

■ 知識情報システム

人の体から宇宙まで、さまざまな対象から得られる超大規模データをリアルタイムに処理して新たな知を創造し、発展的に共有・抽出・検索・予測するサービスの基盤技術を研究します。

エクス・デザインの分野

まだ確固たる名称のない、未知なるデザイン・研究領域(= X-Design)の開拓にチャレンジします。異端(eXtreme)かつ実験的(eXperimental)に、領域を横断・乗算(Crossing, X)し、真の自己表現(eXpression)を行ない、未来の地球・社会・文化のために貢献します。



■ デジタル・ファブリケーション / アルゴリズム・デザイン

デジタル・ファブリケーションや3D/4Dプリンティング、コンピュータ・アルゴリズムを駆使して植物のように建築を育てたり、未知なるモノづくり領域の開拓に挑戦します。

■ 美術・ランドスケープ・コミュニケーション

幾何学や美術、環境デザインや地図表現、歴史や地域景観、場づくりやコミュニケーションについて探究し、未知なる次の建築・都市・景観・場づくりをデザインすることに挑戦します。

■ アート・サイエンス・パフォーマンス

自らの直感に基づく芸術的な精神活動、実直なデータを収集し客観的な分析を中心とする科学的な精神活動を超越的に融合し、唯一無二の自己表現・パフォーマンスを探究します。

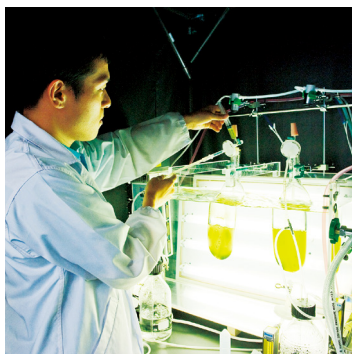
■ エクス・ニューロ・ミュージック / 計算比較音楽学

音楽神経科学(NeuroMusic)や計算比較音楽学(Computational/Comparative Musicology)の観点から、音楽の未知について探究すると共に、未知なる音楽(x-Music)やアートの創造に挑戦します。

先端生命科学の分野

SFCでは、医・薬・理・工・農・情報・政策を融合した世界最先端の生命科学を展開しています。

分野にとらわれず、あらゆる学問を総動員して生命のしくみを解明し、健康・医療・食品・環境分野に貢献します。



■ 先端健康科学

未来の健康長寿社会に貢献するために、最先端テクノロジーと健康政策などの社会科学を駆使して、文理融合の斬新な切り口で挑戦しています。

■ システム生物学

ゲノムやメタボロームなどのオミクス解析を実施し、それらの情報をコンピューター上で統合させ、複雑な生命をシステムとして理解しています。SFCはシステム生物学の世界的パイオニアです。

■ システム医科学

システム生物学を医学・薬学に応用し、分子生物学、情報科学、分析化学などを融合した新しい切り口で病気のメカニズムの解明や治療法の開発に貢献します。

■ 環境生命科学

"地球の役に立つ"微生物や分子を探索しています。また、特定の環境下に存在する生物を遺伝子レベルで網羅的にモニタリングするなど、環境学にも大きく貢献しています。

環境デザインの分野

建築・都市・地域レベルから地球レベルにわたるスケールの異なる幅広い視野で、

持続可能な未来の環境デザインに関して、データ・エビデンスベースの実践的な教育・研究に取り組んでいます。



■ 建築環境デザイン

建築空間のデザイン、構造のデザイン、生産手法などの建築の空間に関わる環境を意識し、実社会に展開するための構築方法やデザイン手法、IT技術の応用などのデザインについて実践的に取り組んでいます。一級建築士試験を受験できる授業体系となっています。

■ 地域環境デザイン

リモートセンシング、IoTによるフィールドセンシング、地理情報システムなどの空間情報技術やデータ分析技術を研究・開発・活用して、災害リスク適応や地域活性化の要請を捉えた脱炭素型社会・持続可能なまち・地域デザインの支援に取り組んでいます。

■ 都市環境デザイン

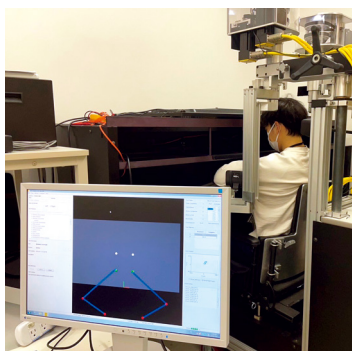
都市の歴史や文化・文脈を読み解き、まちづくり、地方地域再生、生態環境や防災システムなどの視点も加え、都市や地方の環境の創造と保全を通じた安全で豊かなハードとソフトの環境デザイン研究と実践に取り組んでいます。

■ 地球環境デザイン

地球規模の技術革新や国際的な協調関係の構築などを通じて、人新世時代に突入した人類社会が直面する気候変動への対応と持続可能な発展(SDGs)といった緊急な課題に対する戦略的な解決策を考え、実践的に取り組んでいます。

人間環境科学の分野

人が身体と言葉を駆使しながら環境・社会と相互作用するプロセスを、個人および社会レベルで考えることで、知の構造・機能の理解をめざすとともに、新たな知の創成に挑戦します。



■ 言語の認知と学習

人間の言葉の理解や獲得における認知のメカニズムに、言語学・心理学・神経科学・デザイン学など多方面からアプローチし、状況や場の影響も考慮した人間の「知」を探究します。

■ メンタルサイエンス

人間の生理的・心理的諸機能を精神分析・臨床心理・数理モデルなどさまざまな手法を駆使して探究するとともに、心身の健康の観点から環境の改善の提案を行います。

■ 社会・コミュニティ

情報社会の発展とともに、地域コミュニティが複雑化・流動化する姿を多様な手段で調査し、教育や文化の発展や交流を促します。

■ 身体動作の理解と学び

身体動作の制御や学習の原理を科学的に理解することを基盤としつつ、スポーツや芸術活動などの技能の向上や、失われた身体機能の回復のために役立てます。

総合政策学部・環境情報学部のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

自分の学び方は、自分で決める

自分の研究テーマや目的にいちばん適した学び方を一人ひとりが自由に組み立てる、他にはないユニークなカリキュラムを採用。総合政策学部・環境情報学部の学生は、2つの学部の授業や研究会を自由に行き来して学ぶことができます。

1

学年

大学生活に慣れるとともに、基礎的な力を養成し、今後の学習の基盤となる力をつける。

2

学年

関心を持った領域の学びを広げ、深めつつ、自分に合った研究会を探し、参加する。

自由に選んで専門性を高めるための科目群

総合政策系

政策デザインの分野
社会イノベーションと経営・組織の分野
国際戦略の分野
言語文化とコミュニケーションの分野
総合政策学の方法論の分野

環境情報系

先端情報システムの分野
エクス・デザインの分野
先端生命科学の分野
環境デザインの分野
人間環境科学の分野

基盤科目(共通)／先端科目

デザイン言語総合講座 データ・ドリブン社会の創発と戦略
公共政策 アルゴリズムックデザイン ベンチャー経営論
多文化コミュニケーション ゲノム分子生物学
創造システム理論 開発とローカリズム 外交と戦略
ソーシャルイノベーション オープンデザイン戦略
地球システム 国際企業論 環境ヘルスサイエンス
アナログ・デジタル電子回路基礎 芸術と科学
都市と環境 パブリックマネジメント 南極生態学
モノ創り実験工房 比較体制論 触覚と社会
脳と行動 ヒューマンセキュリティ 世界史のなかの日本
コーポレートガバナンス 生命現象と現実社会の比較論

研究会

基盤科目

総合講座科目

SFCでの学びを見渡す

総合政策学

環境情報学

ウェルネス科目

心身の健康を養う

心身ウェルネス 体育1～5

言語コミュニケーション科目

多言語を学び世界への「窓」を開く

英語 朝鮮語 中国語 マレー・インドネシア語 アラビア語 ドイツ語
フランス語 スペイン語 日本語 ロシア語 イタリア語

情報技術基礎科目

ICTを使いこなすスキルを磨く

情報基礎1・2 オブジェクト指向プログラミング基礎
システムプログラミング基礎 スクリプト言語プログラミング基礎

データサイエンス科目

データを駆使し分析する基礎を学ぶ

統計基礎 線形代数 微分・積分 問題発見・解決のための数学リテラシー
医療・健康のデータサイエンス 国際社会のデータサイエンス ほか

選択必修で知の技法の基礎を養うための科目群



3 学年
次の年に一緒に卒業プロジェクトに取り組みたい教員を見定め、履修許可を受ける。

4 学年
学部での研究の集大成となる卒業プロジェクトに、2学期(1年間)かけて取り組む

修士課程

博士課程

取得できる学位

- 総合政策学部: 学士(総合政策学)
- 環境情報学部: 学士(環境情報学)

8つのプログラム

- GR: グローバル・ガバナンスとリージョナル・ストラテジー
- HC: ヒューマニティーズとコミュニケーション
- PS: 政策形成とソーシャルイノベーション
- CB: 認知・意味編成モデルと身体スキル
- EG: 環境デザイン・ガバナンス
- XD: エクス・デザイン
- CI: サイバーインフォマティクス
- BI: 先端生命科学

4つのプロフェッショナル育成コース

- 社会イノベータ
- 環境イノベータ
- イノベティブ・フューチャー・ストラテジスト
- サイバーセキュリティ

- 量子情報処理
- ゲーム理論
- 地球環境技術論
- 相互交流と間主観性
- 国際企業論
- 言語とヒューマニティ
- グラフィックスプログラミング
- スポーツエンジニアリング
- NPOの設立と経営
- 宗教と現代社会
- 構成的認知論
- 改革とイノベーション
- デザインスタジオ
- 日本の行政機構
- 安全保障政策
- メタボローム解析実習
- パーソナルプレイスデザイン
- グローバルガバナンス
- マーケティング戦略
- デジタルファブリケーション
- 生命と知能の進化
- 政策過程論
- インタフェース設計論
- ほか 400 科目以上

- 地上学への研究
- 全世界インタフェースデザイン
- グリーンインフラ
- メンタルヘルスの研究と実践
- 防災社会デザイン
- ゲーム理論と経済数学
- xSDG コーチングとライフスキル
- 街と情報
- 現代アメリカ政治・外交研究
- デザインとジオメトリー
- 言語科学
- 先端生命科学
- ほか 160 プロジェクト以上

修士研究会

卒業プロジェクト

修士論文

博士論文

ウェブ上のシラバスサイトで開講するすべての授業科目の内容をご覧ください。
syllabus.sfc.keio.ac.jp



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

総合政策学部・環境情報学部・ 湘南藤沢キャンパス(SFC)の情報をチェック

カリキュラムの特徴

完全セメスター制度による柔軟なカリキュラム

完全セメスター制度を導入しているSFCでは、入学時期は4月と9月の2回あり、同様に卒業も3月と9月の2回あります。また、半年ごとの履修登録と、成績通知・進級卒業判定が行われているので、学習計画の達成度の確認、自分で組み立てたカリキュラムの変更や修正が行いやすくなっています。

クォーター制に対応し、4年間をより柔軟に

慶應義塾大学では、2014年度から4学期制と2学期制を併用した学事日程を導入しています。これに対応して、SFCでも春学期と秋学期のそれぞれ前半・後半に科目を多数配置することで、短期間に集中して学習に取り組むことができます。このことにより、海外留学、フィールドワークなど、大学を離れた活動も、休学することなく取り組みやすい環境となり、4年間の学習計画を柔軟に設計することができます。

3.5年早期卒業制度と学部・大学院修士4年一貫教育プログラム

3.5年早期卒業制度とは、優れた成果を挙げた者に対して3.5年(7学期)在学すれば卒業できるようにする制度です。9月入学者の4月就職、4月入学者の海外大学院進学などを支援することを目的としています。また、学部・大学院修士4年一貫教育プログラムは、学生の意欲と能力に応じて、学部を4年間で卒業する場合とほぼ同じ費用と期間で、学士および修士の2つの学位取得を可能にする画期的な制度です。



「研究を教員と学生がともに行う」という教育スタイル

SFCでは多様性のある一人ひとりの個性が尊重され、たくさんの学生が教員や仲間とともに研究したり活動することで好きなことを実現しています。科目が基礎から専門へと配列されていないため、学生自身が、学年にとらわれず、研究に必要なカリキュラムを柔軟に組み立てることができることもSFCの大きな特徴です。

広がる「学び」の可能性

総合政策学部・環境情報学部のGIGA(Global Information and Governance Academic Program)では、核となる授業がすべて英語で開講され、最先端のサイエンステクノロジー、デザイン、政策、国際戦略、社会イノベーションなどの分野を学際的なアプローチで留学生と一緒に学ぶことができます。このカリキュラムを通して、実践的な能力を持った21世紀社会においてグローバルに活躍できる人材を育成します。また、要件を満たせばGIGAプログラムのサティフィケート(プログラム修了証)を取得することも可能です。

SFCへの門

総合政策学部と環境情報学部では、一般選抜とAO入試(p.154参照)を実施しており、全部で4種類の入試と塾内進学があります。

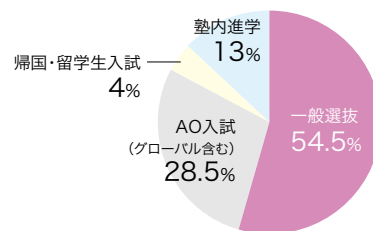
SFCは日本ではじめてAO入試を採用したキャンパス。

これまでも一般選抜による学力テストだけでは判定できない

さまざまな能力に秀でた学生を受け入れ、

さらに大きく成長できる環境を提供して社会に送り出してきました。

2022年度総合政策学部・環境情報学部入学生の内訳は右のグラフのとおりです。



2022年度入学生内訳
総合政策学部・環境情報学部
入学生総数：931名

あらゆる分野で活躍するSFCの卒業生たち

問題発見・解決能力に優れたSFCの卒業生は、活躍するフィールドも極めて多彩。

それぞれの領域において業界の発展を牽引している企業が就職先として選ばれています(p.131参照)。

また起業に関わった会社が上場したり、ミリオンセラーとなったコンピューターゲームを製作した人もいます。

ほかにも国際・国家・地方公務員、法曹界あるいはプロ野球やJリーグ、

プロのミュージシャンなど幅広い分野で“SFCスピリット”が活躍しています。



総合政策学部・環境情報学部アラカルトコンテンツ

研究所

SFC研究所

実践的な研究活動を通じて、より良い社会の実現に貢献。

SFC研究所は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)が、産業界、行政、NPO、地域社会などの外部と連携する研究活動を推進しています。総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科の附属研究所として、21世紀の先端研究をリードしつつ、実社会と緊密なつながりをもちながら、学際的で有機的な研究活動を行うことをミッションとしています。SFC研究所では、外部からの400名以上の訪問研究者を含め、約700名の研究者により活発な研究活動がおこなわれています。



雑誌

KEIO SFC REVIEW



学生が主体となって取材・編集をしている広報雑誌です。SFCキャンパスの広報はもちろん、卒業生やSFC関係者らの新たなネットワークにつながる様々な記事を発表しています。また、SFCの全教員のプロフィールを紹介する特集(BRAIN号)も『KEIO SFC REVIEW』の一環として発刊しています。



教員

多様な公官庁交流を実施

手付かずの領域に踏み込み、新しい状況を洞察し、問題解決への最適解を示すためには、土台となる技術や制度、組織を理解し、大胆に設計し直す知恵が必要です。その鍵は、公共政策にとどまらない、企業や非営利組織、個人といった多様なアクターの協働です。SFCでは、この「実践知」を深めるために、警察庁、環境省、総務省、厚生労働省との教員交流を実施し、社会安全政策、環境人材育成、高度ICT人材育成および社会保障制度に関する授業や研究に取り組んでいます。

授業

インターンシップとフィールドワーク

SFCでは、キャンパス外での学習・研究活動(オフキャンパス・スタディ)を推奨しています。オフキャンパス・スタディの一環として、フィールドワーク、インターンシップ等、様々な学習環境を設けています。研究プロジェクト科目の「フィールド研究1・2」では、春季・夏季休校期間中に、学生自身が個々の研究テーマに関連した実地調査や研究活動や就業体験を行い、具体的な成果を上げることを目的としています。毎年国内はもちろん、世界中でフィールドワークが実施されており、単位として認められています。

授業

多様な国際交流 — 交換留学と海外研修

慶應義塾大学では、毎年50校を超える外国の大学との間で、1年間海外で大学生活を送る「慶應義塾派遣交換留学制度」を実施しており、両学部から毎年約20名が参加しています。また、交換留学以外にも私費により毎年数名の学生が留学しています。このほか、SFCが独自に海外の大学と協定を結んで春季と秋季に実施している「海外研修」には、約10か国に毎年約200名の学生が参加しています。さらに海外の大学や大学院との間で、複数の学位を取得できるダブルディグリープログラムやインターネットを通じた連携授業も進めています。



SFC公式ウェブサイト

SFCパンフレットと連動しながら、SFCの魅力や施設紹介はもちろん、教員や在校生、卒業生の声など豊富なコンテンツを用意しているウェブサイトです。ソーシャルメディアも活用し、受験生や保護者の方に向けた情報発信を積極的に行っています。



YouTube

総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科の講義コンテンツや、キャンパス紹介を「YouTube」で配信しています。また、過去の「オンライン・オープンキャンパス」の様々なコンテンツもこちらから視聴できます。



Twitter@keioSFC

SFC公式Twitterです。最新のSFC情報をつぶやいています。在学生向けのアナウンスや、注目のイベントなどのご案内も発信しています。



S-face

SFC研究所では、SFCの研究者を紹介する「S-face」を公開中。ウェブサイト、動画、冊子の3種類のメディアで多角的な発信を続けています。



SFCパンフレット



教員検索



SFCの学生紹介



Facebook

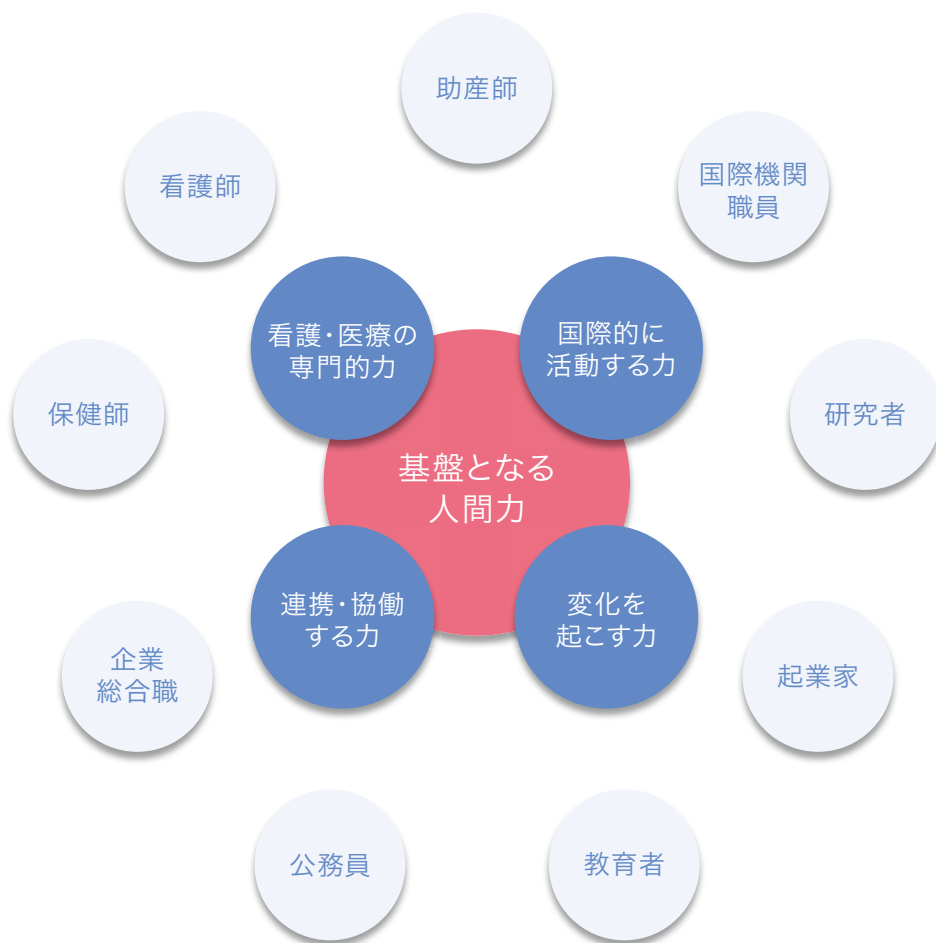


看護医療学部

Faculty of Nursing and Medical Care

看護学科

保健・医療・福祉を一体化できる先導者を育成



看護医療の可能性を拓く、 時代や世界への視点

複雑でリスクの多い現代社会において、人々のよりよい健康や生活のあり方も多様化し、既存の保健・医療・福祉の領域を越えた看護の働きが重要になっています。そこには、人間に対する深い理解と尊重とともに、健康と生活の状態を把握する力、専門的知識や看護実践力、国際的な視野などが必要です。看護医療学部では、このような人間性と能力を備えた、先導者として活躍できる人材の育成を目指しています。

※将来のキャリアプランはp.81 参照

<https://www.nmc.keio.ac.jp/>



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

4年間のカリキュラム

(2023年4月1日現在)

自由な発想を育てる 少人数制教育

ディスカッションやグループワークを取り入れた、少人数制教育が特徴の一つです。特に専門科目の演習や実習においては、1グループを10名程度で構成し、それぞれのグループを1～2名の教員が担当して指導します。この方法を採用することで、学生が主体的に授業に参加できる環境を作り、教員はグループでの学習がスムーズに進むように関わりながら、学生一人ひとりに対してきめ細やかな指導が行えます。また、グループワークでは学生の自由な発想による意見交換が活発に行われるため、多様なものの見方や考え方に触れて、それぞれが多くの学びを得て成長することができます。

例えば、医学部、看護医療学部、薬学部合同の「グループアプローチによる患者中心の医療実践教育プログラム」では、医療系三学部が交流を持ち、グループ学習などを通じて互いの学部の共通性と相違性を理解し、共同作業の大切さを学びます。

医療系三学部合同教育 (p.90 参照)

健康マネジメント研究科との 5年一貫教育

3年次までの成績が優秀な学生は、4年次に大学院(健康マネジメント研究科)の科目の一部を早期履修(先取り)することができます。このことにより、学士課程・修士課程をあわせて5年で修了することもできます。

1

学年

豊かな表現力、コミュニケーション能力と、情報を活用する技術を修得する。

2

学年

看護学の基礎として、看護の対象である人間を理解し、看護ケアに必要な知識や技術を身につける。

湘南藤沢キャンパス

人間・社会科学領域

情報技術

自然言語

ヒューマンケアリング

制度・社会

健康科学領域

健康科学・病態学

看護科学領域

基礎看護学

母性看護学／助産学

老年看護学

小児看護学

成人看護学

在宅看護学

地域看護学

グローバルヘルス

統合領域

大学院健康マネジメント研究科

3
学年

病気を持つ人を理解するための専門知識と、治癒・回復を支援するための援助技術を身につける。

4
学年

各自の選択したコースに基づき、より専門性を深めるための学習を行う。

取得できる学位
学士(看護学)

信濃町キャンパス

湘南藤沢キャンパス・信濃町キャンパス

さまざまな フィールドでの 実習

看護医療学部では高い看護能力の修得を目指し、実習にも重きを置いています。

- 1 学年
病院における見学実習
- 2 学年
学内演習で身につけた技術を応用し、大学病院や外部の高齢者施設などで実習
- 3 学年
病気で入院中の患者とその家族に対する看護を学ぶための、大学病院や外部施設(緩和ケア病棟・精神科病院など)での実習
- 4 学年
在宅療養中の人々に対する看護を学ぶための、外部の訪問看護ステーションなどでの実習
- 保健師選択コース
自治体の保健所・保健センターや企業の健康管理部門での実習
- 助産師選択コース
一般病院・大学病院の産科病棟・外来、助産院などでの実習

実践の集大成 となるプロジェクト

4年次には、4年間の学びを統合させる選択科目としてプロジェクトI(基礎)・II(応用)が設置されています。これは、自分の将来や興味・関心に応じてテーマを自由に設定し、研究計画書を作成し、実際に研究を行う科目です。また、これに向け2年次から看護研究I・IIといった科目も開講されています。

先端医療

基礎看護学

母性看護学/助産学

精神看護学

在宅看護学

地域看護学

看護・医療統合

大学院設置科目(一部)の早期履修

*各領域の具体的な設置科目はp.79参照

カリキュラムのねらい

看護医療学部で身につけてほしい5つの力

看護医療学部では、これからの看護と医療を支えるために以下の5つの力を身につけることを重視しています。

■ 基盤となる人間力

基本倫理としての生命・人間尊重の精神とともに、
人間的に調和の取れた人格を備え、社会人として成長することができる力。
ならびに、幅広く社会への関心をもち、
人々と出会い交流し、相互作用を起こすことができる力。

■ 看護・医療の専門的力

これからの社会や、人々の生活を見据え、看護の知識や技術を駆使して
新しい看護活動の場を創造し、保健・医療・福祉を先導するための基礎的な力。

■ 連携・協働する力

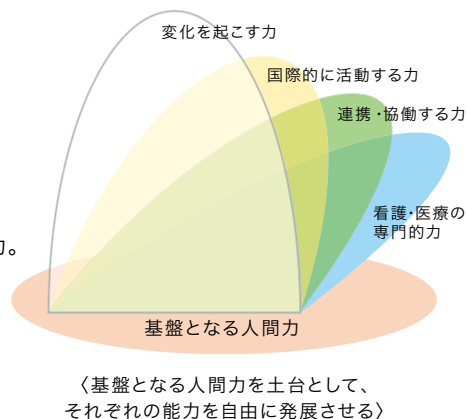
高度化された医療に対応する、さまざまな専門職で構成された
チームにおいて、お互いの専門性を最大限に活かしながら、
より優れた実践につなげるために行動できる力。

■ 国際的に活動する力

国際的な感覚とともに、日本のポジションや役割を的確に捉えることのできる幅広い教養を備え、
他の国々の医療専門職と協働できる、柔軟な発想や行動力を含めた基礎的な力。

■ 変化を起こす力

看護や医療および社会で起こっている、あるいは起こる可能性のある事象へ関心をもち、
そこから問題を発見する批判的な力と、その問題を解決し、既存の枠を変革していく力。



これら5つの力は、「人間・社会科学領域」、「健康科学領域」、「看護科学領域」、「統合領域」という4つの領域で構成されるカリキュラムを通して学ぶことになります。

カリキュラムの構成

4領域16分野で展開される多彩なカリキュラム

上にあげた5つの力を効果的に身につけることができるように、
カリキュラムは以下の4領域・16分野で構成されています。基礎から実践力まで幅広く養います。

■ 人間・社会科学領域

人間や社会を、広く深く理解するための科目が配置されています。

情報技術 自然言語 ヒューマンアリング 制度・社会

■ 健康科学領域

心身の健康と、健康が破綻した時の病態、およびその回復過程を理解するための科目が配置されています。

健康科学・病態学 先端医療

■ 看護科学領域

人間をどうとらえ、人間が生活する環境や人間の健康をどうとらえ、看護をどうとらえるか。
さまざまな視点からアプローチできる科目が配置されています。

基礎看護学 母性看護学/助産学 老年看護学 小児看護学 成人看護学 精神看護学 在宅看護学 地域看護学 グローバルヘルス

■ 統合領域

「人間・社会科学領域」と「健康科学領域」における学びを基盤に、「看護科学領域」の9つの分野全体を見渡し、
医療とは何か、看護とは何かを、あらためて問い直すための科目が配置されています。

看護・医療統合

設置科目一覽

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修

領域	分野	必修科目	選択科目	
人間・社会科学領域	情報技術	情報とネットワーク 看護情報リテラシー	データサイエンス マルチメディア表現 保健統計学 ヘルスケア情報学 プログラミング入門Ⅰ プログラミング入門Ⅱ	
	自然言語	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	看護医療の英語Ⅰ 看護医療の英語Ⅱ	
	ヒューマン ケアリング	心の理解と共有	ストレスマネジメント 心理学 人間生命を考える コミュニケーションの理論と実際 ボランティア体験 体育2・3	
	制度・社会	慶應義塾入門 保健医療福祉行政と政策	保健医療福祉行政展開論 ☆ 世界の医療・保健制度Ⅰ(比較制度論) 世界の医療・保健制度Ⅱ(海外研修) 医療と経済 法学基礎Ⅰ(法律理解への基礎知識) 法学基礎Ⅱ(法律理解への実践知識)	
健康科学領域	健康科学・ 病態学	人体探検 身体の構造と機能 健康論 環境論 急性期病態学入門 急性期病態学総論 急性期病態学各論	慢性期病態学総論 慢性期病態学各論 精神病態学総論 精神病態学各論 終末期病態学 看護のための薬理学	
	先端医療		看護のための生物学 看護のための栄養学 看護のための生化学・生理学	
看護科学領域	基礎看護学	今日の看護医療 ライフステージと発達看護論 看護学原論 看護と倫理 生命倫理 生活援助技術	医療支援技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護ケア実践Ⅰ(看護活動の実際) 基礎看護ケア実践Ⅱ(生活援助)	
	母性看護学/ 助産学	母性発達援助論 母性発達援助実践	性と生殖における健康と権利 ★ 助産ケアⅠ(ローリスクマタニティケア)★ 助産理論 ★ 助産ケアⅡ(ハイリスクマタニティケア)★ 助産診断・技術Ⅰ(ローリスク妊産婦の診断とケア)★ 助産ケアⅢ(子育て家族へのケア)★ 助産診断・技術Ⅱ(ハイリスク妊産婦の診断と治療)★ 助産管理 ★ 助産実践 ★	
	老年看護学	老年発達援助論 老年発達援助実践		
	小児看護学	小児発達援助論 小児看護学	小児看護学演習 小児看護ケア実践	
	成人看護学	成人発達援助論 成人看護技術演習 急性期看護学 急性期看護学演習 急性期ケア実践	慢性期看護学 慢性期看護学演習 慢性期ケア実践 終末期看護学 終末期看護学演習 終末期ケア実践	
	精神看護学	精神看護学 精神看護学演習	精神ケア実践	
	在宅看護学	在宅看護論 在宅看護技術演習	在宅看護実践	
	地域看護学	地域看護論 地域看護活動論 学校・産業保健	地域包括ケア入門	
	グローバル ヘルス	災害と看護		公衆衛生看護活動論 ☆ 公衆衛生看護管理展開論 ☆ 公衆衛生看護実践Ⅰ(行政看護) ☆ 公衆衛生看護実践Ⅱ(産業看護) ☆ 健康教育論 ☆
	統合領域	看護・ 医療統合	看護研究Ⅰ 移行期看護論 医療システムアプローチ実践	看護研究Ⅱ 先端看護学 プロジェクトⅠ(基礎) プロジェクトⅡ(応用)

(2023年4月1日現在)

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

薬学部

79



特色ある入試、学びの広がり

看護医療学部
の学びや
キャンパスライフについて
オンラインオープンキャンパス
サイトでも紹介しています。

意欲や適性を多面的に評価する入試制度

看護医療学部では、一般選抜に加え、AO(アドミッションズ・オフィス)入試、帰国生入試、外国人留学生入試、第2学年学士編入学試験を実施しています。

これらは、一般選抜とは異なる視点で、受験生の多彩な背景を評価しようとするものです。

詳細はp.156～158をご参照ください。第2学年学士編入学試験については学部ウェブサイトをご参照ください。



グローバルな視点で医療を学ぶプログラムを用意

春季・夏季休校期間には、看護医療学部独自の国際交流プログラム(選択科目)が6科目用意されています。

グローバルな視点で医療に触れることから生まれる問題意識は、未来の看護医療のあり方を模索していく原動力となります。

(※社会情勢により開講されない場合もあります。)

■看護医療の英語Ⅱ(海外研修)

マギル大学(カナダ)を拠点に、医療機関等を見学しながら、看護学と医療英語を実践的に学びます。

■世界の医療・保健制度Ⅱ(海外研修)

英国の医療・看護・福祉の制度とケア提供の実際について、講義や医療施設の見学を通して学びます。

■国際看護実践Ⅰ(国内研修)

看護医療学部と交流の深いウルチ大学(韓国)、復旦大学(中国)、サフォーク大学(英国)、ワシントン大学(米国)の短期留学生と合同で、グローバルな保健・医療の課題について日本国内で学びます。

■国際看護実践Ⅱ(海外研修)

ウルチ大学(韓国)における研修を通して、グローバルな視点から看護コンピテンシーについて学びます。

■臨床看護実践(海外研修)

米国における最新の看護実践と看護教育の場を見学し、Patient- and Family- Centered Care の医療について学びます。

■プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ(海外研修)(医療系三学部合同)

ラオスにおける地域の人々の保健状況や健康に対する意識を知るとともに、国際協力についても学び、被援助国と援助国側の関係、開発におけるパートナーシップ、保健分野における持続可能な開発、住民中心の健康づくりの可能性を考えます。



海外での学習や活動を支援する独自の奨学金

看護医療学部の前身、慶應義塾大学医学科附属看護婦養成所卒業生の寄附による「青田与志子記念慶應義塾大学看護医療学部教育研究奨励基金」から、海外での自主的な学習・研究活動に対する奨学金を支給しています。

これまでに奨学生は400名以上おり、世界各国で各自の興味に沿った多様なテーマの研究を行いました。

〈これまでの渡航先：米国、イスラエル、インドネシア、カンボジア、ザンビア、シンガポール、タイ、台湾、南アフリカ、インド、コンゴ、ガーナ、カナダ、東ティモール、フィリピン、パレスチナ、オーストラリア、英国、タンザニア、アイルランド〉

進路希望に応じた選択コース制

看護医療学部では、卒業と同時に、全員が看護師の国家試験受験資格を取得できます。

さらに、保健師・助産師の養成のために選択コース制を導入しており、4年次に選択コースを修了すると、

保健師または助産師の国家試験受験資格も取得できます（人数制限あり・同時選択不可・助産師コースは女子のみ）。

選択コース希望者は、保健師コースは2年次秋学期、助産師コースは3年次秋学期に希望票を提出し、

選抜の結果、履修が許可されると、4年次において卒業に必要な科目と並行して各コースの必修科目を履修します。

各コースに設置された科目の中には、コース外の学生が履修できるものもあります。

卒業生全員

看護師国家試験受験資格



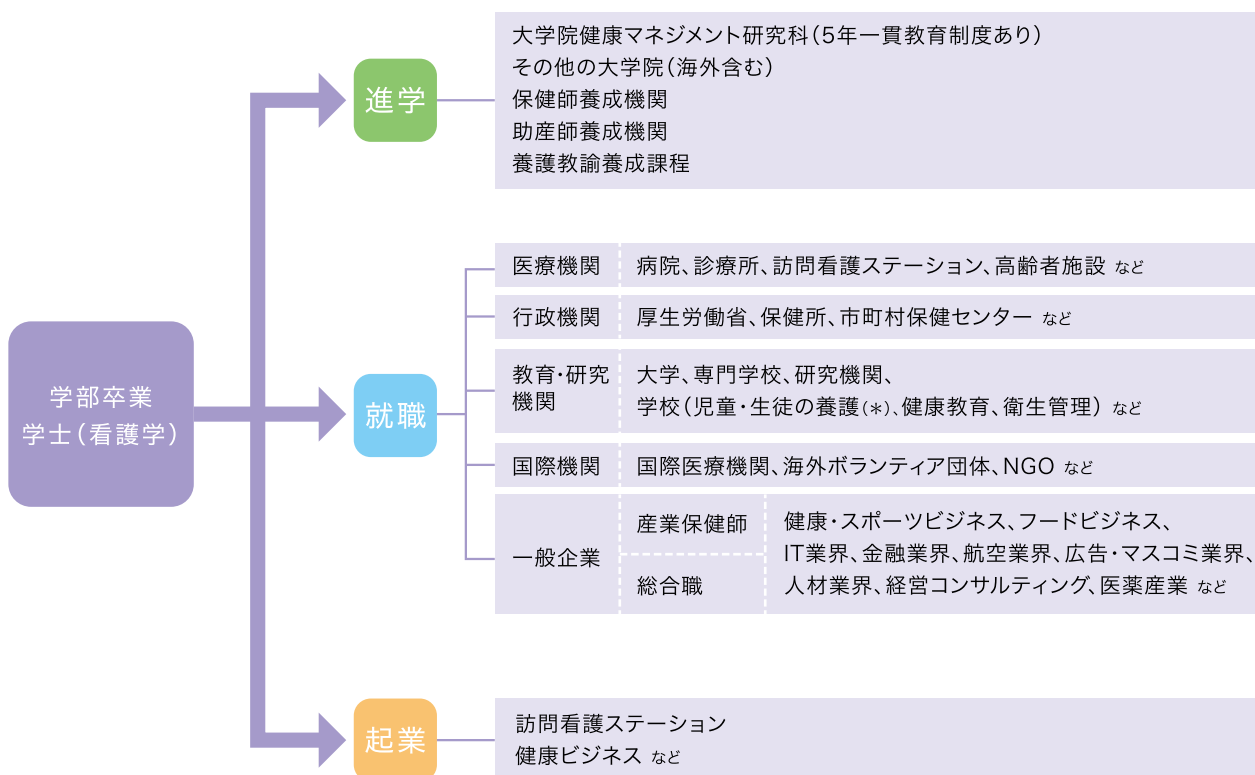
保健師選択コース修了者(20名程度) 助産師選択コース修了者(最大6名、女子のみ)

保健師国家試験受験資格

助産師国家試験受験資格

卒業後の進路

卒業後の進路は、慶應義塾大学病院をはじめとする病院への就職から、産業保健師や自治体への保健師としての就職、IT業界や金融業界などの一般企業への就職まで、実に多彩です。大学院や保健師・助産師養成課程へ進む学生もいます。



*保健師の資格取得後、申請により養護教諭2種の資格を取得できます（別途文部科学省令で定める科目の修得が必要）。



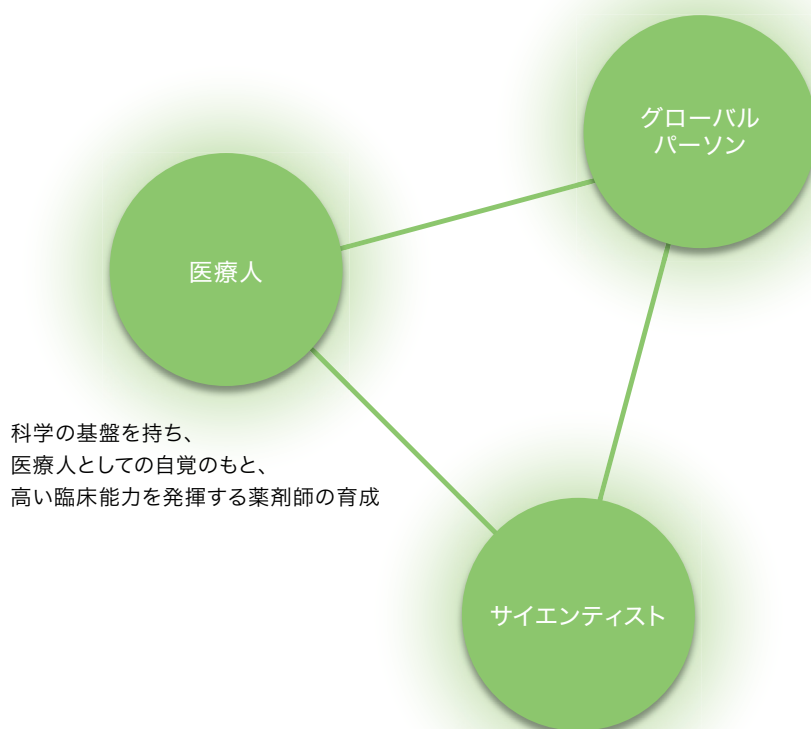
薬学部

Faculty of Pharmacy

薬学科・薬科学科

科学者の視点で、未来医療に貢献する

自国単独では解決し難い医療課題に対し、
国際的観点から取り組む
グローバルパーソンの育成



科学の基盤を持ち、
医療人としての自覚のもと、
高い臨床能力を発揮する薬剤師の育成

創薬、臨床開発、環境・生命科学などの
幅広い分野において、
高い専門性を備えた科学者の育成

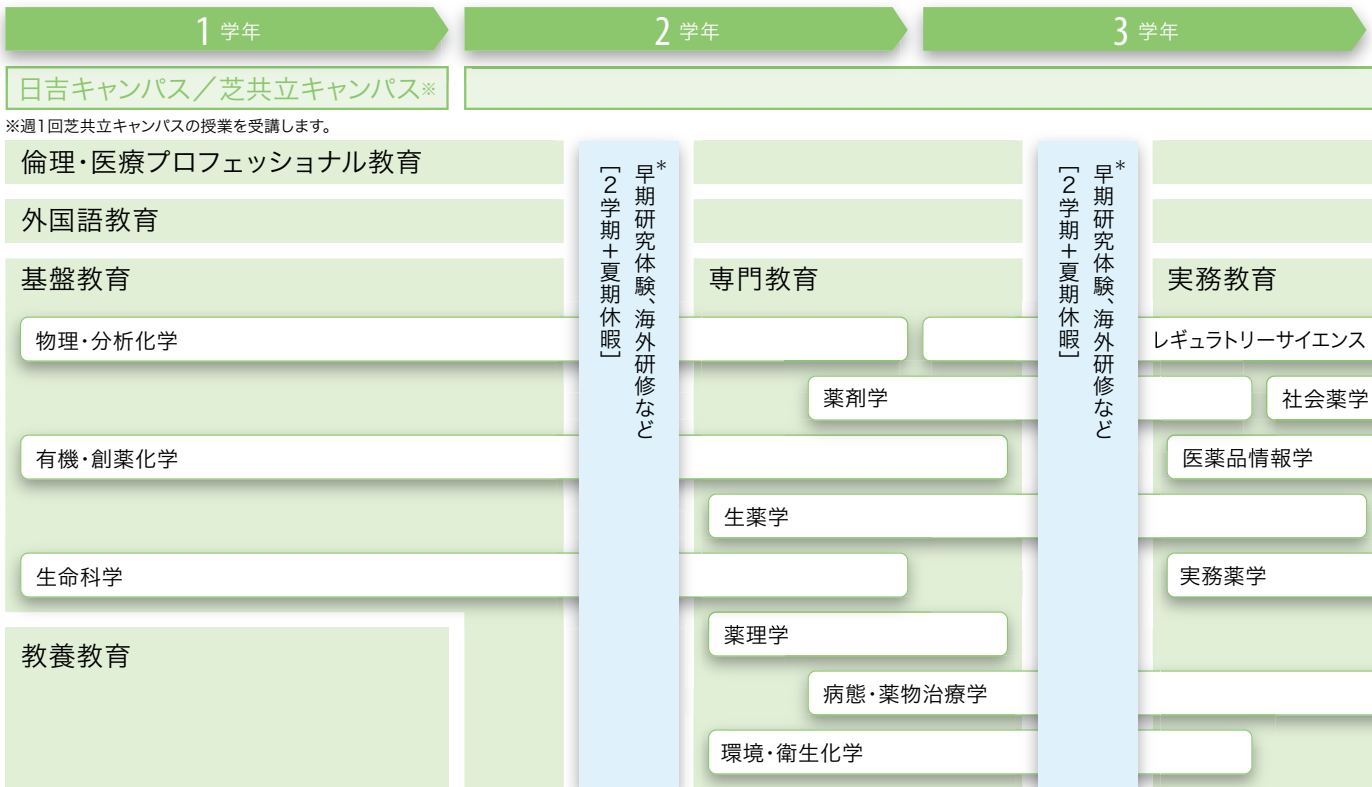
未来の薬学を拓く、3つの基準

6年制の「薬学科」と4年制の「薬科学科」の2つの学科を有し、
科学的基盤に基づき高い臨床能力を発揮できる薬剤師、
行政や製薬企業においてグローバルに活躍できる人材、
薬科学研究を先導する科学者を育成しています。

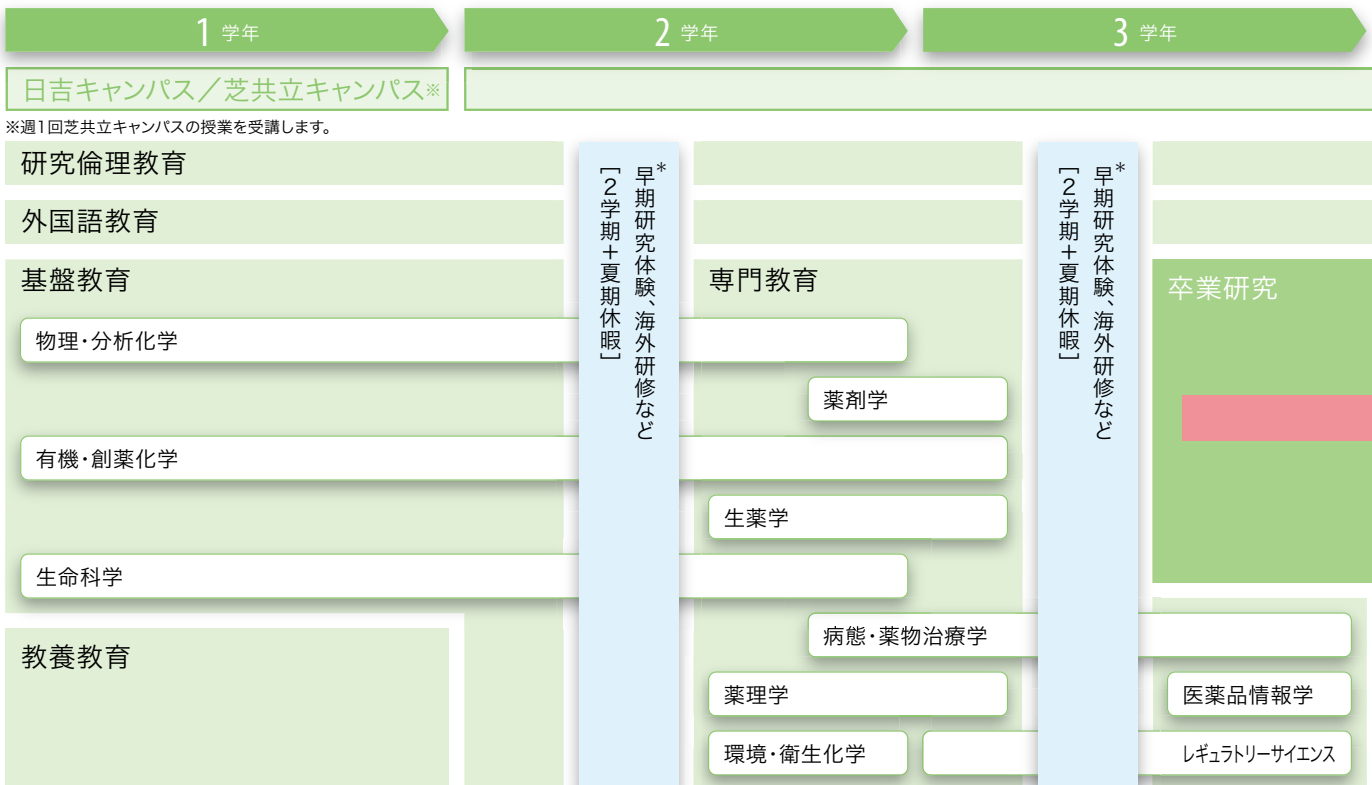
<https://www.pha.keio.ac.jp/>



薬学科カリキュラム (2023年4月1日現在)



薬科学科カリキュラム (2023年4月1日現在)



選択科目



芝共立キャンパス

早期研究体験、海外研修など
〔2学期+夏期休暇〕*

卒業研究

長期の卒業研究による研究マインドの醸成

実務実習
(薬局・病院)

薬学共用試験

高年次選択科目制度
p.89参照

総合演習

薬剤師国家試験

課題研究

ファーマシスト
サイエンティストへ

特論講義

大学院特別講義

取得できる学位 学士(薬科学)

※薬科学科卒業生の8割以上は修士課程に進学します

修士(薬科学)

博士(薬科学)

4 学年

修士 1 学年

修士 2 学年

後期博士課程(3年間)

芝共立キャンパス

課題研究

課題研究

サイエンティストとして活躍するための薬学研究期間

グローバルな
活躍へ

大学院特別講義(学部生の先取り履修も可)

修士-博士 大学院一貫コース(修士1年+博士3年)
大学院講義先取り履修 *p.89参照

早期修了

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

「薬」を軸として、科学を総合的に理解する

〈薬学科〉

患者さん最優先のチーム医療を、薬剤師として担うために

薬学科では、薬物の適正使用に必要な知識と、その進歩に追従できる科学者としての基盤を持ち、そして患者さんを最優先にしたチーム医療を担う薬剤師を育成します。

薬剤師としての技能を持つだけでなく、患者さんの立場に立って考えることのできる医療人を育てるため、ヒューマニティ教育に加え、コミュニケーション能力の養成、さらには医療倫理教育を統合的に行っています。さらに、薬学科においても長期の卒業研究期間を設けることで、医療における問題を解決する能力を磨きます。

〈薬科学科〉

創薬、環境、生命科学など薬の研究開発に必要な分野を網羅

創薬などの高度な生命科学を教育・研究している薬学は、世界に例を見ない日本独自のものです。

これは日本の薬学が明治時代に始まった時からの伝統であり、

創薬分野で日本の薬学は大きな貢献をしてきました。

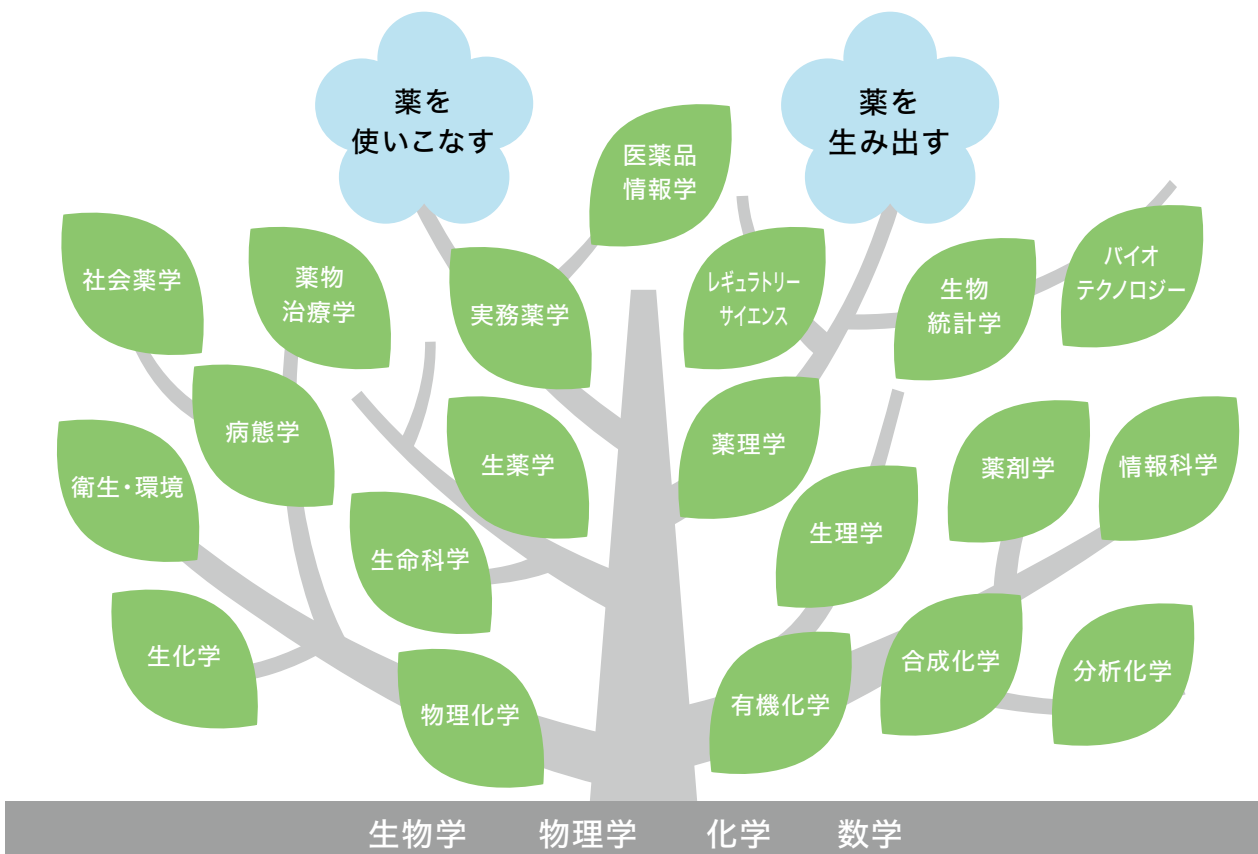
この伝統を引き継ぐ薬科学科は、有効かつ安全性の高い医薬品の創製、開発、生産、さらには食品、化粧品、環境や衛生分野などの薬学関連領域での教育・研究に従事する人材の養成を目的としています。

自然科学を学ぶことはもちろんですが、これに加えて

薬学としての特徴的科目を学ぶことのできるカリキュラムとなっています。

3年次後半からは、研究室に配属され、指導教員の下で

科学者に必要な実践能力・問題解決能力の基盤をつくり、大学院での課題研究につなげます。



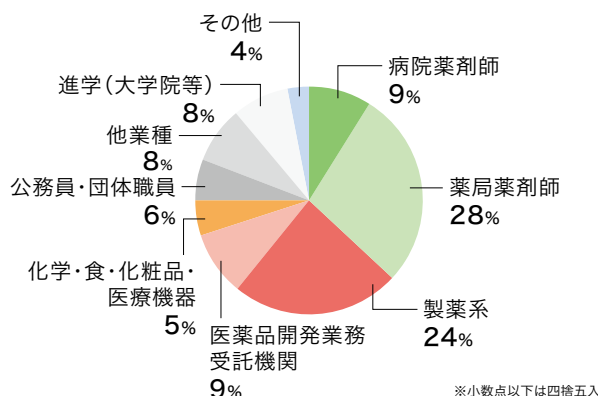
卒業後の進路

〈薬学科〉

高い「薬剤師国家試験」合格率と多様なキャリアパス

薬剤師国家試験合格率は常に高い水準にあります。合格することはもちろんですが、資格に甘んじることなく、むしろそれをひとつの通過点としてとらえることも大切です。本学において、薬学科卒業生の進路は多様です。薬剤師としてどのような形で社会に貢献するかは、あなた次第です。

■ 薬学科卒業生の進路 (2019-2021年度平均)

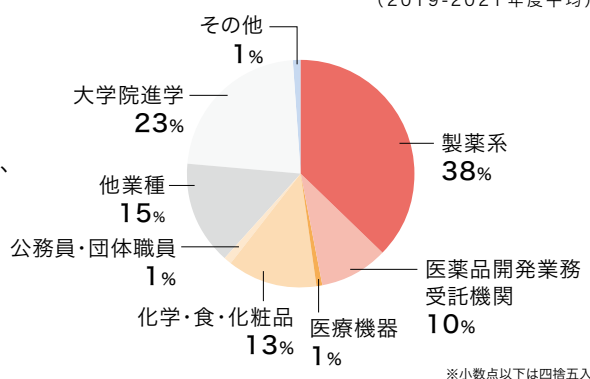


〈薬科学科〉

研究者への大切な一歩「大学院」

薬科学科を卒業した学生の多くは大学院に進学します(2021年度進学率90.9%)。学部卒業後すぐに就職することもできますが、薬や生命にかかわる仕事に携わることを目指す学生にとって、大学院進学は将来への大切な一歩になることでしょう。大学院修了後の進路では、研究職として就職する割合が薬学科卒業生よりも高くなります。

■ 薬科学専攻修士課程修了生の進路 (2019-2021年度平均)





薬学の新しい知を創造するために

グローバルパーソン育成のために

薬学部では、国際的な視野を持って日本の薬学を先導できる人材を養成するため、海外での研修や実習プログラムを数多く設けています。

(これらのプログラムに参加するためには、成績、英語力、面接などによる選抜に合格することが必要です)

■ Thai Pharmacy Experience(2年次、3年次)

タイ・コンケン大学薬学部への訪問と、大学病院や地域医療施設の見学、現地薬剤師との交流を通じて、国際性豊かな薬剤師、薬学研究者となるための感性を養います。

■ アドバンストレギュラトリーサイエンス海外演習(薬学科は6年次、薬科学科は修士課程進学後)

米国FDAや製薬企業での研修を通じ、国際的な医薬品開発の素養と視野を広げます。

■ 海外アドバンスト実習(薬学科6年次)

米国のワシントン大学、アイオワ大学、ノースカロライナ大学、フロリダ大学およびタイのコンケン大学などの協定校で、4～6週間にわたって薬剤師の活動を体験し、海外の医療システムや先進的な薬物療法を学びます。

サイエンティスト育成のために

薬学部では、全ての学生が科学者としての基盤を持つことで、医療現場や社会にある課題を発見し、創造的に解決できるよう、実践型学習や研究を重視しています。

入学直後から早期体験学習を、1年次秋からは本格的な基礎実習が開始され、

2年次から3年次春まで午後は毎日のように実験を行うことで科学的思考力を鍛えます。

薬学科では、3年次秋から薬剤師としての実務能力を磨くための実習に進み、4、5年次の薬局・病院実習に備えます。

いずれの学科も、卒業研究期間は約1年半に及び、新たな創造を目指し、指導教員と共に研究課題に取り組みます。

学部内に約20ある研究室・センターだけでなく、

塾内外の幅広い研究機関から研究活動の場を選択することが可能です。

医療人育成のために(薬学科)

大学病院薬剤部や薬学部附属薬局の存在は、薬剤師養成における慶應義塾の大きな強みです。病院薬剤部長や附属薬局長は薬学部教員を兼任し、勤務する薬剤師も薬学部の教育に携わっています。薬学部では、これら施設を活用した臨場感ある実習を行っているほか、教員と学生が医療現場との接点を保つことで、高度薬物治療や地域医療に関する最新動向を即時に反映させた教育が可能となっています。さらに、将来チーム医療を担う医療人を早期から育成するため、医学部、看護医療学部、薬学部の医療系三学部合同教育を1年次から行っていることも、慶應義塾における医療人教育の魅力です(p.90 参照)。

4学期制で広がる自由な学び

薬学部では、2年次以降の授業に4学期制を導入しています。春学期後半(2学期)には必修科目は開講されません。この期間に開講される選択科目をいずれかの学年で履修すれば、それ以外の学年では、夏休みを含めた期間での海外短期留学・研修、ボランティア活動、早期研究体験など、自主的な学びや活動に取り組むことができます。

高年次選択科目制度による学びの集大成(薬学科)

薬学科の6年次では、進路や興味、適性などに柔軟に対応する4つのコースを設けています。

- 研究をより深化させる研究アドバンスコース
- 臨床での課題解決能力を高める国内アドバンス実習コース
- グローバルな活躍を目指す海外アドバンス実習コース
- 薬学を広く復習して知識を深める演習コース

修士-博士 大学院一貫コース(薬科学専攻)

薬科学科卒業生が進学する大学院の薬科学専攻では、通常5年間かけて修了する修士と博士課程を合計4年間で修了できるコースを設けています。これは特に優秀な学生を対象とし、研究者としてのグローバルスタンダードである博士を早期に取得することを可能とするものです。このコースに入るには成績基準を突破することのほか、大学院開講科目を学部4年次から先取り履修することが必要です。

アドバイザーによる支援

薬学部の各教員は、各学年数名の学生のアドバイザーを担当しています。学生はアドバイザーに勉強や生活、進路など気軽に相談でき、また、アドバイザーは学生や保護者に対し、岐路においてアドバイスや支援を行います。

薬学部独自の給付型奨学金(大学全体の奨学金はp.121 参照)

名称	対象	支給額	備考
KP三田会星野尚美記念薬学部奨学金	学部(2年生以上)	年額 20万円	勉学の意欲をもち、人物・成績ともに優秀かつ健康であり、経済的に修学が困難であると認められる者に支給。
慶應義塾大学薬学部奨学基金	学部(2年生以上)	年額 20万円(予定)	勉学の意欲をもち、人物・成績ともに優秀でありながら、経済的に修学が困難であると認められる者を対象に、薬学を通じ社会に貢献しうる優秀な人材を育成することを目的とする。
慶應義塾大学総合医学教育奨励基金	学部(2年生以上)	年額 10万円(予定)	人物、学業・成績ともに優れ、かつ経済的支援を必要とする者に奨学金を給付し、薬学を通じ社会に貢献しうる優秀な人材に支給。



医療系三学部合同教育

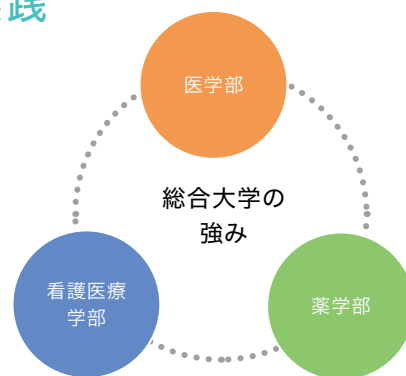


グループアプローチによる患者中心の医療実践

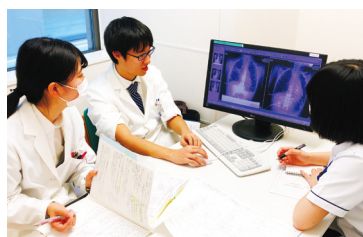
医学部、看護医療学部、薬学部の学生が互いに交流し、将来チーム医療に貢献できる視野の広い医療人となることを目指して、医療系三学部合同教育を実施しています。

「グループアプローチによる患者中心の医療実践」という教育テーマを掲げ、初期、中期、後期の3つのプログラムの他、合同の臨床実習も行っています。

学年ごとに共通テーマのもとグループディスカッションを行い、それぞれの立場を尊重しながら交流を深め、医療を受ける人々を中心にいた質の高い医療を提供するための専門職連携のあり方を実践的に学びます。



	初期	中期	後期	臨床実習
学部・学年	医学部1年生 看護医療学部1年生 薬学部薬学科1年生	医学部4年生 看護医療学部2年生 薬学部薬学科4年生	医学部6年生 看護医療学部4年生 薬学部薬学科6年生	医学部4～6年生 看護医療学部3・4年生 薬学部薬学科5・6年生
教育の目標	将来のチーム医療を見据え、チームワークの有用性を体験する	よいチーム医療とは何かを理解する	チーム医療を実践する	
	チームメンバーとの対話を通して、コミュニケーションの重要性を学び、チームの一員としてあるべき態度を身につけます。	多職種メンバーと協力して患者中心の医療を提供するために、医療チームについて理解を深め、よい医療チームのあり方を理解します。	患者中心の医療を提供するために、医療チームの構成員としての役割を理解し、幅広い職種からなる他のメンバーと協調して問題に対処します。	慶應義塾大学病院で実際の患者さんに話を伺いながら、各職種の専門性を生かして連携するとともに、その違いも理解しながら、患者中心のケアについて考えます。



慶應義塾大学病院には、臨床実習中の学生や医療スタッフが職種を超えて利用できるラウンジや教学スペースが複数設けられており、医・看・薬の学生の交流や連携、医療人の育成や啓発を行いやすい環境が整備されています。

研究所・センター

学部以外の幅広い活動の場として研究所・附属施設を多数設置し、従来の学問領域にとどまらない柔軟な研究環境を構築しています。産官学など、自由なネットワークのもとでのユニークで独創的な活動は内外から注目されています。

各研究所・センターの詳細はこちら



アート・センター	先端科学技術研究センター (KLL)
会計研究室	先端生命科学研究所 (IAB)
外国語教育研究センター	総合医科学研究センター
教職課程センター	体育研究所
教養研究センター	デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)	殿町先端研究教育連携スクエア
経済研究所	日本語・日本文化教育センター
言語文化研究所	東アジア研究所
国際センター	福澤研究センター
産業研究所	法学研究所
システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所)	保健管理センター
自然科学研究教育センター	メディア・コミュニケーション研究所
しどろ 斯道文庫	メディアデザイン研究所 (KMD研究所)
新川崎先端研究教育連携スクエア	GICセンター
スポーツ医学研究センター	SFC研究所

TOPICS | 教養研究センター設置科目

教養研究センターでは、学部・学科の枠にとらわれない独自の授業を開講しています。

■ 小佐野弾寄附講座「アカデミック・スキルズI・II」
論文を書く。発表をする。言うは易く行うは難し。大学ではしばしば求められることですが、そこで心得ておくべき作法を教える場はとても限られています。そこを補うために開講されているのが、この少人数授業です。必要な心得にいつも自覚的になれるように、履修者を導いてゆきます。



■ (株)コーエーテックモホールディングス寄附講座「ゲーム学」
今日、コンピュータゲーム、ビデオゲーム、ゲームアプリは単なる娯楽の枠を超え、多くの産業、文化、技術分野において中心的な位置を占め、さまざまな問題を提起しています。本講義ではビデオゲームが提起する諸問題についてアカデミックな立場から考察をおこないます。いわゆるゲーム批評などとは異なり、学際的な立場からゲームの現状を知り、ゲームとはなにかを考えることが目的です。講義はオムニバス形式をとっており、慶應義塾内外の大学研究者のほか、ゲーム業界の最前線にいる方々も登壇します。

キャンパス紹介

キャンパス見学や申し込みに関しては、
ウェブサイトをご覧ください。







三田キャンパス

荘厳でアカデミックな慶應の原点

慶應の代名詞にもなっている“三田”には、長きにわたる歴史と伝統が刻まれています。

特に国の重要文化財である三田演説館や赤レンガの図書館旧館は、

明治の息吹を今の時代に存続させ、アカデミックな雰囲気を漂わせています。

構内には「福澤諭吉終焉之地」の記念碑をはじめ、数多くの碑や美術作品が散在しています。

慶應の代表的な応援歌のひとつが「丘の上」と題されているように、キャンパスへ続く道はすべて坂道。

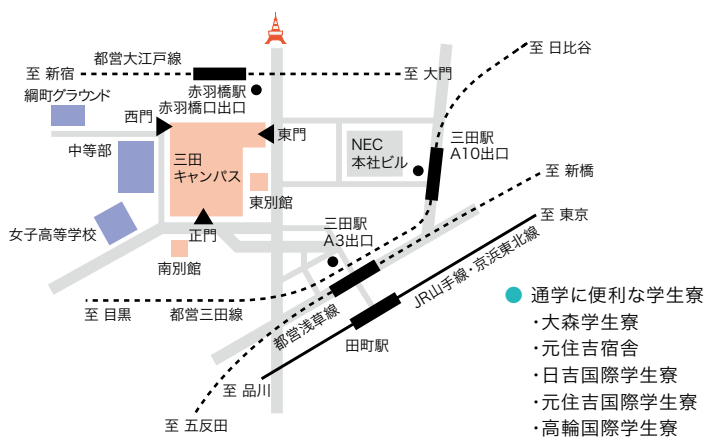
登りきったところに学問の庭があります。

[アクセス]

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

入学センター TEL 03-5427-1566

- 田町駅 (JR山手線/JR京浜東北線) 徒歩8分
東京～田町 = 約10分
品川～田町 = 約4分
渋谷～田町 = 約17分
- 三田駅 (都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩7分
目黒～三田 = 約8分
- 赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分
新宿～赤羽橋 = 約12分
- 🚗 羽田空港～品川～三田 = 約20～30分
羽田空港～浜松町～田町 = 約30～40分





1 図書館旧館(重要文化財)

1912年、創立50年を記念して建設。ラテン語で「ペンは剣よりも強し」と記されたステンドグラスは、権力に屈しない精神を表しています。

3 幻の門

旧島原藩邸黒門を改築した旧東門は、「幻の門」と呼ばれ親しまれており、2000年に現在の場所に移築されました。

5 三田演説館(重要文化財)

1875年竣工の我が国初の演説会堂。「スピーチ」を「演説」、「ディベート」を「討論」と訳したのは福澤諭吉です。

2 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

創設者福澤諭吉の生涯と慶應義塾の160年の歴史を紹介する博物館です。様々な企画展も実施しています。(p.109参照)

4 三田インフォメーションプラザ

大学と社会との「協生」を实践するコミュニケーションの場として、慶應義塾に関する各種パンフレットの配布や映像の配信、公式グッズ販売などを行っています。

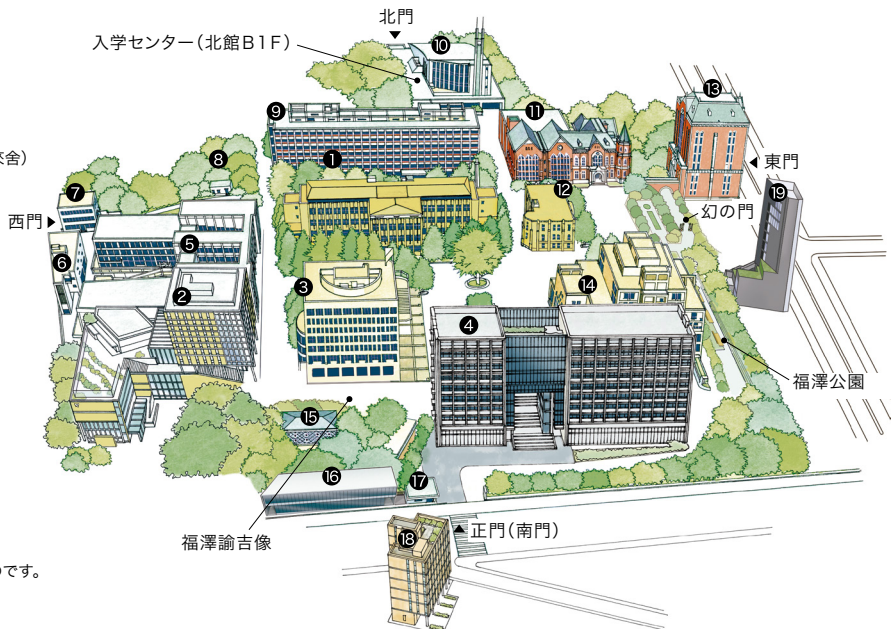
6 大イチョウ

大正時代から三田キャンパスを見守ってきた大イチョウ。多くの塾生の待ち合わせスポットとして親しまれています。

[キャンパスマップ]

- ① 第1校舎
- ② 南館
- ③ 大学院校舎
- ④ 南校舎
(ホール、学生食堂【ザ・カフェテリア】、社中交歓 萬來舎)
- ⑤ 西校舎(ホール、学生食堂【生協食堂、山食】)
- ⑥ 購買施設棟(生協購買部)
- ⑦ 西館
- ⑧ 労働組合本部
- ⑨ 研究室棟
- ⑩ 北館(大会議室、ホール、ファカルティクラブ)
- ⑪ 図書館旧館
(福澤諭吉記念慶應義塾史展示館、カフェ八角塔)
- ⑫ 塾監局
- ⑬ 東館(ホール、G-Lab)
- ⑭ 図書館(三田メディアセンター)
- ⑮ 三田演説館
- ⑯ 三田インフォメーションプラザ
- ⑰ 警備室
- ⑱ 南別館(アート・スペース)
- ⑲ 東別館(慶應義塾ミュージアム・commons)

※キャンパスマップの内容は2023年4月現在のものです。





日吉キャンパス

7学部3研究科の塾生が集う開放的なキャンパス

日吉駅の改札を抜けて、すぐ目の前に見える

見事なイチョウ並木の通りを歩き始めると、そこはすでにキャンパスの中です。

入口には門がなく、敷地面積約10万坪のキャンパスは

街と一体化し、開放感にあふれています。

7学部の1・2年生(文・医・薬学部は1年生のみ)および

3研究科の大学院生が塾生生活を送る日吉キャンパスには、

活気に満ちた雰囲気があります。

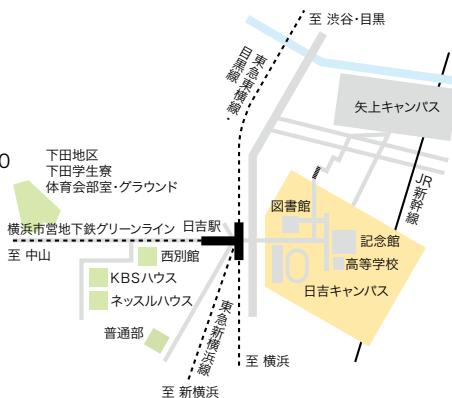
[アクセス]

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

日吉キャンパス事務センター運営サービス担当 TEL 045-566-1000

- 日吉駅(東急東横線/東急目黒線/東急新横浜線/横浜市営地下鉄グリーンライン)徒歩1分
- 渋谷～日吉 = 約25分(通勤特急または急行約20分)
- 横浜～日吉 = 約20分(通勤特急または急行約15分)
- 目黒～日吉 = 約25分(急行約20分)
- 新横浜～日吉 = 約6分

- ✈ 羽田空港～京急蒲田～横浜～日吉 = 約55～65分
- ✈ 羽田空港～浜松町～目黒～日吉 = 約65～75分



● 通学に便利な学生寮

- 日吉寄宿舍
- 大森学生寮
- 綱島学生寮
- 元住吉宿舍
- 日吉国際学生寮
- 元住吉国際学生寮
- 綱島SST国際学生寮



1 第4校舎独立館

日吉キャンパスで最も大きな教室棟です。学生関係の事務室のほか、学生活動などにも利用できる日吉コミュニケーション・ラウンジがあります。

3 食堂棟

1階には生協食堂、2階にはグリーンズマルシェ、さぼてん、G'sカフェが入っており多くの学生で賑わいます。

5 陸上競技場

部活やサークル、体育の授業などで使用される陸上競技場。日本陸上競技連盟の第4種公認を取得しています。

2 イチョウ並木

キャンパスの入口から始まり記念館前まで続きます。黄色に色づく秋のイチョウ並木は圧巻です。

4 記念館

2020年3月に建て替え工事を終えた、日吉キャンパスの新たな顔となる施設です。約1万人を収容でき、式典等のイベント会場や運動施設として利用されています。

6 藤原洋記念ホール

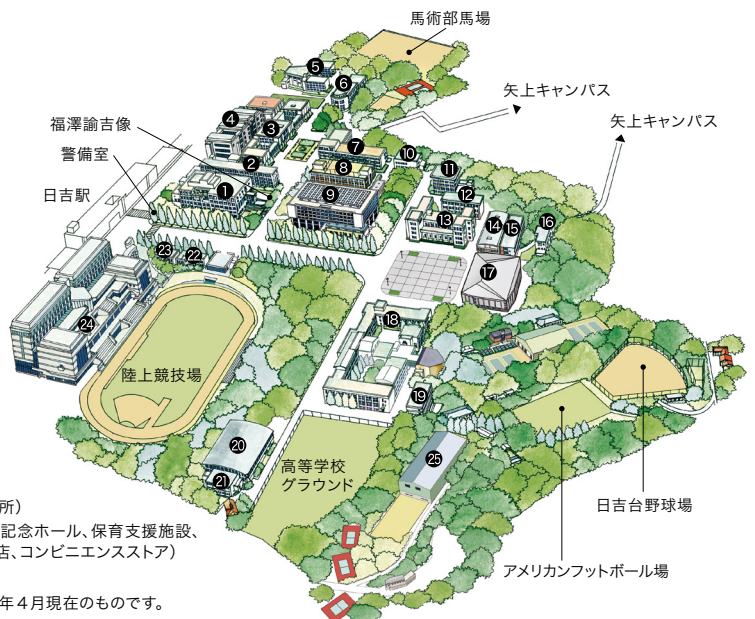
コンサートホールとしての優れた響きを有するとともに、講演会や国際会議などに幅広く用いることができる講堂です。

[キャンパスマップ]

- ① 日吉図書館(日吉メディアセンター)
- ② 第4校舎A棟
- ③ 第4校舎B棟
- ④ 第4校舎独立館
日吉コミュニケーション・ラウンジ
- ⑤ 第6校舎
グリーンズテラス
- ⑥ 第3校舎
- ⑦ 塾生会館(課外活動棟)
- ⑧ 食堂棟(学生食堂、学生団体スペース)
- ⑨ 来往舎(研究室、会議室、シンポジウムスペース、
ファカルティラウンジ)
- ⑩ 生協購買部
- ⑪ 藤山記念館(会議室)
- ⑫ 第7校舎
- ⑬ 第2校舎
- ⑭ 体育館(柔・剣道場)
- ⑮ スポーツ棟(体育研究所、卓球場)
- ⑯ 第8校舎
- ⑰ 記念館
- ⑱ 第1校舎(高等学校)
- ⑲ 日吉協育棟(高等学校)

- ⑳ 日吉会堂(高等学校体育館)
- ㉑ 高等学校柔道場
- ㉒ スポーツ医学研究センター
- ㉓ 保健管理センター(日吉診療所)
- ㉔ 協生館(協生館図書室、藤原洋記念ホール、保育支援施設、
開放型体育施設、飲食店、コンビニエンスストア)
- ㉕ 榎谷体育館

※キャンパスマップの内容は2023年4月現在のものです。





矢上キャンパス

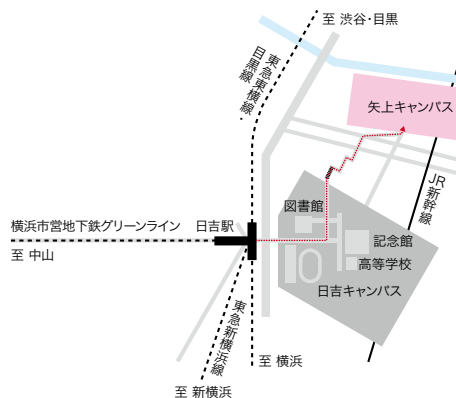
“次の最先端”を追求する理工学の研究拠点

日吉キャンパスから谷ひとつ隔てた丘の上に建ち、
 新宿の高層ビル群や富士山を見渡せる眺めのいいキャンパスです。
 理工学部の3・4年生と大学院生が学び、
 数々の施設がマトリックスに並ぶ構内は理系の雰囲気にあふれています。
 最新の理工学教育・研究を担う多様な設備を擁し、
 研究室ごとに様子が全く異なるのも理系キャンパスの特徴です。
 さらに、国外研究者や留学生も多く集う、国際色豊かなキャンパスでもあります。

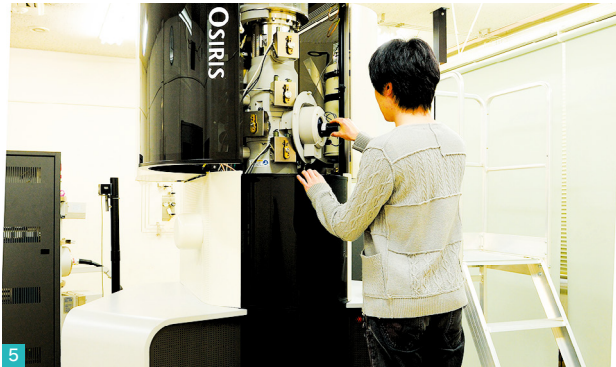
[アクセス]

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1
 理工学部総務課 TEL 045-566-1454

- 日吉駅(東急東横線/東急目黒線/東急新横浜線/
 横浜市営地下鉄グリーンライン)徒歩15分(約1km)
 渋谷～日吉 = 約25分(通勤特急または急行約20分)
 横浜～日吉 = 約20分(通勤特急または急行約15分)
 目黒～日吉 = 約25分(急行約20分)
 新横浜～日吉 = 約6分
- ✈ 羽田空港～京急蒲田～横浜～日吉 = 約55～65分
 羽田空港～浜松町～目黒～日吉 = 約65～75分



- 通学に便利な学生寮
 - ・日吉寄宿舍
 - ・大森学生寮
 - ・綱島学生寮
 - ・元住吉宿舍
 - ・日吉国際学生寮
 - ・元住吉国際学生寮
 - ・綱島SST国際学生寮



1 2 34 棟 / 教育研究棟

機械系・化学系・管理工学系の実験室および実習室が設置されているほか、最先端の工作機器を備えたマニュファクチャリングセンターやデザインセンターが設置されており、「ものづくり」を総合的にサポートする環境を整えています。

3 14 棟 / 創想館

「創造と想像の拠点」という意味が込められたシンボルタワー。喫茶売店、グランドピアノのあるコミュニケーションラウンジは学生で賑わいます。また、地下にあるマルチメディアルームでは定期的に講演会やシンポジウムが開催されています。

5 中央試験所

高精度で高価な測定機器を共同利用機器として集中管理することにより、理工学部全体の研究の活性化を図っています。

4 IBM Q Networkハブ

世界最高性能を誇る米IBMの量子コンピュータに接続できる、アジアで初めてのハブ。量子コンピューティングの学習・スキル開発・実装に向けての環境を整えています。

6 藤原銀次郎の像

理工学部の前身、藤原工業大学の創始者。同大学は1944年に慶應義塾大学工学部となり、1981年に理工学部に改組されました。

[キャンパスマップ]

① 07 棟 テクノロジーセンター棟

② 11 棟 教室棟

③ 12 棟 教室棟

④ 14 棟 創想館
(フォーラム、マルチメディアルーム、矢上ペカリー)

⑤ 15 棟 松下記念図書館
(理工学メディアセンター)

⑥ 16-A 棟 厚生棟
(保健管理センター、会議室、生協食堂、ファカルティラウンジ、生協購買部)

⑦ 16-B 棟 部室棟

⑧ 16-D 棟 分子・超分子・超構造体リサーチセンター

⑨ 22 棟 教育研究棟

⑩ 23 棟 教育研究棟

⑪ 24 棟 教育研究棟

⑫ 25 棟 教育研究棟

⑬ 26 棟 教育研究棟

⑭ 27 棟 体育館

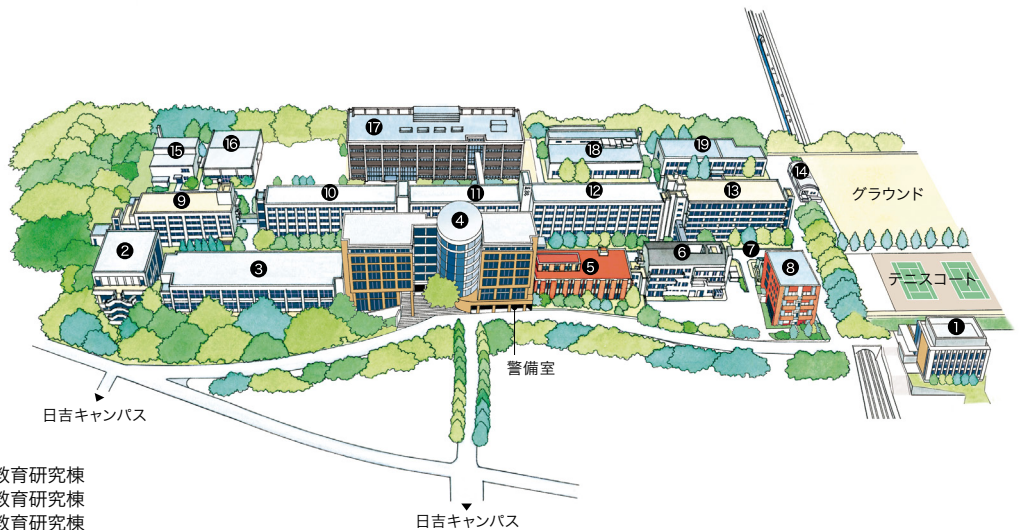
⑮ 31 棟 教育研究棟

⑯ 32 棟 教育研究棟

⑰ 34 棟 教育研究棟

⑱ 35 棟 教育研究棟

⑲ 36 棟 産学官連携棟



※キャンパスマップの内容は2023年4月現在のものです。



信濃町キャンパス

神宮の杜に臨む医療に特化したキャンパス

慶應義塾大学病院と一体化したキャンパスでは、医学部の2年生以上*と看護医療学部3年生が学んでおり、薬学部の一部の学生が病院実習を行っているほか

大学院医学研究科および健康マネジメント研究科の授業も行われています。

校舎は病院を取り巻くように建てられており、早い段階から医療現場を体験し、

実際に患者さんと接しながら学ぶことに重点が置かれています。

キャンパスの南には緑豊かな神宮外苑の杜が広がっています。

2022年5月に新病院棟建設事業が完了し、慶應義塾大学病院はグランドオープンを迎えました。

※2021年度より週に一度1年生の講義を行っています。

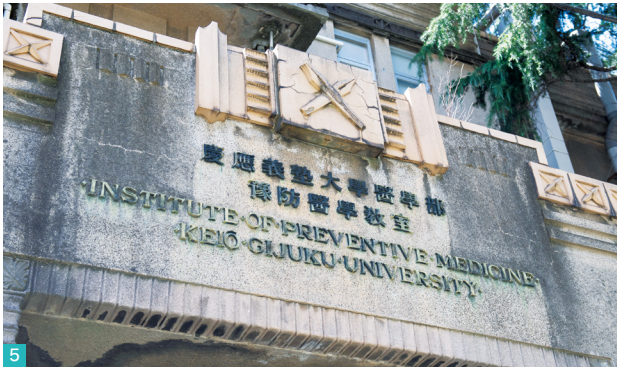
[アクセス]

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
 信濃町キャンパス学生課 TEL 03-5363-3662

- 信濃町駅 (JR 総武線) 徒歩1分
 新宿～信濃町 = 約6分
 東京～御茶ノ水～信濃町 = 約15分
- 国立競技場駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩5分
 新宿～国立競技場 = 約4分
- ✈ 羽田空港～浜松町・大門～国立競技場 = 約45～55分



- 通学に便利な学生寮
 ・大森学生寮
 ・高輪国際学生寮



1 JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター (JKiC)
産・学・医療の連携拠点として、医療分野のニーズや先進的アイデアを実現し、新たな診断・治療技術や医療支援技術の確立と普及を行います。

2 神宮外苑を望む(キャンパスからの風景)
緑豊かな神宮外苑の杜や高層ビル群。自然と都市が調和した環境にキャンパスがあります。

3 3号館
医学教育・研究と臨床との有機的な連携を目指し建設された施設です。研究室のある3号館(北棟)と、外来や病棟のある3号館(南棟)が隣接しています。

4 クリニカル・シミュレーション・ラボ
実習やメディカル・スタッフのトレーニングのために、さまざまなシミュレーション機器を取り揃えています。BLS、二次救命処置などのトレーニングも行います。

5 予防医学校舎
ロックフェラー財団の寄附により、1929年に竣工。日本で初めて予防医学を掲げた教室を設置しました。

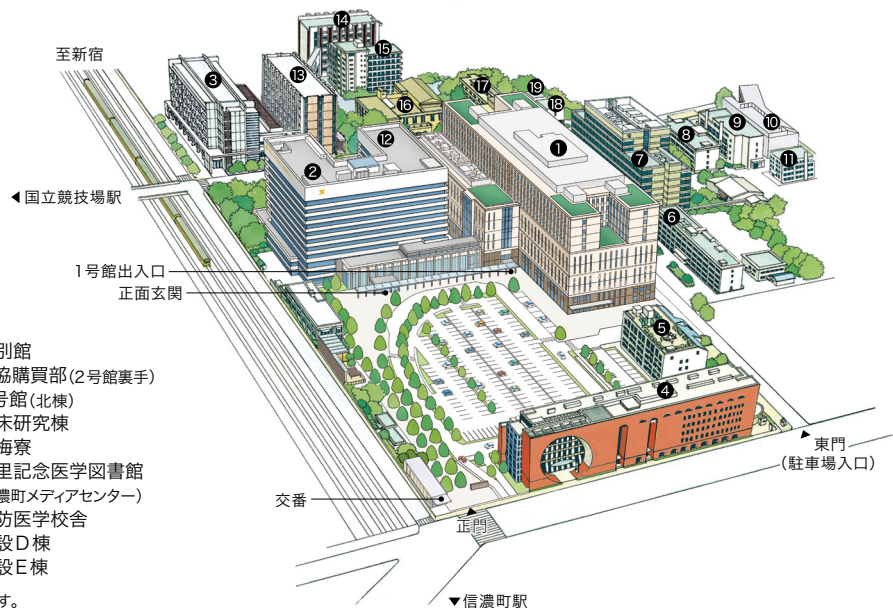
6 総合医科学研究棟
産学協同の生命科学研究を推進するリサーチパークなどの施設があります。

[キャンパスマップ]

- ① 1号館(病院、カフェ、コンビニエンスストア)
- ② 2号館(病院、レストラン、カフェ、コンビニエンスストア)
- ③ 3号館(南棟)(病院)
- ④ 信濃町煉瓦館
- ⑤ 孝養舎
- ⑥ 東校舎
- ⑦ 総合医科学研究棟
- ⑧ 第2校舎
- ⑨ 新教育研究棟
- ⑩ JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター(通称:JKiC)

- ⑪ 北別館
- ⑫ 生協購買部(2号館裏手)
- ⑬ 3号館(北棟)
- ⑭ 臨床研究棟
- ⑮ 紅梅寮
- ⑯ 北里記念医学図書館(信濃町メディアセンター)
- ⑰ 予防医学校舎
- ⑱ 仮設D棟
- ⑲ 仮設E棟

※キャンパスマップの内容は2023年4月現在のものです。





湘南藤沢キャンパス

最先端技術と自然が共存する未来型キャンパス

略してSFCと呼ばれる湘南藤沢キャンパスは、総合政策、環境情報、看護医療の3学部と、政策・メディア、健康マネジメントの2研究科からなります。

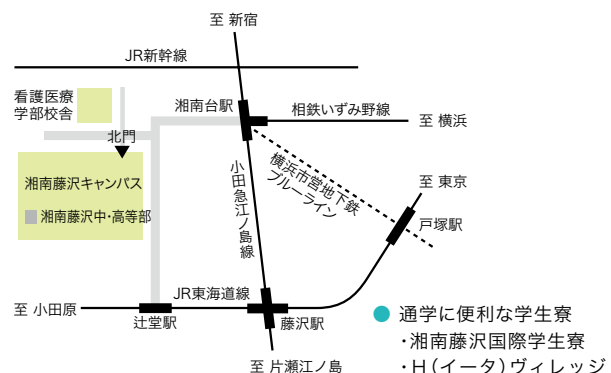
敷地面積は約10万坪。最新の技術と豊かな自然が調和する空間で、充実したキャンパス・ネットワーク・システムにより、塾生、教職員間の活発なコミュニケーションが図られています。

[アクセス]

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322
 湘南藤沢事務室アドミッションズ・オフィス TEL 0466-49-3407

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
 湘南藤沢事務室看護医療学部担当 TEL 0466-49-6200

- 湘南台駅 (小田急江ノ島線 / 相鉄いずみ野線 / 横浜市営地下鉄ブルーライン) 西口よりバス [慶応大学] 行き約15分
 横浜～湘南台 = 約30～40分
- 辻堂駅 (JR東海道線) 北口よりバス [慶応大学] 行き約25分
 横浜～辻堂 = 約25分
- ✈ 羽田空港～上大岡～湘南台 = 約70～75分





1 M: ミュー館(メディアセンター<図書館>、湘南藤沢ITC)

問題発見・問題解決型キャンパスの特色を反映した図書館サービスや、教育・研究におけるコンピュータやネットワークの利用に先進的に取り組んでいます。

3 Γ: ガンマ館(体育館)

筋力トレーニングも可能なマシンルーム、シャワールーム、フィットネスルームも完備しています。

5 τ: タウ館(大学院棟)

大学院生個人の研究スペースや、異分野の融合を目指したオープンスペースなどがあります。

2 β: ベータヴィレッジ

学生や教員、研究者が寝食を共にしながら、授業や研究、ものづくりに打ち込むための滞在型教育研究施設です。

4 ν: ニュー棟(研究棟)

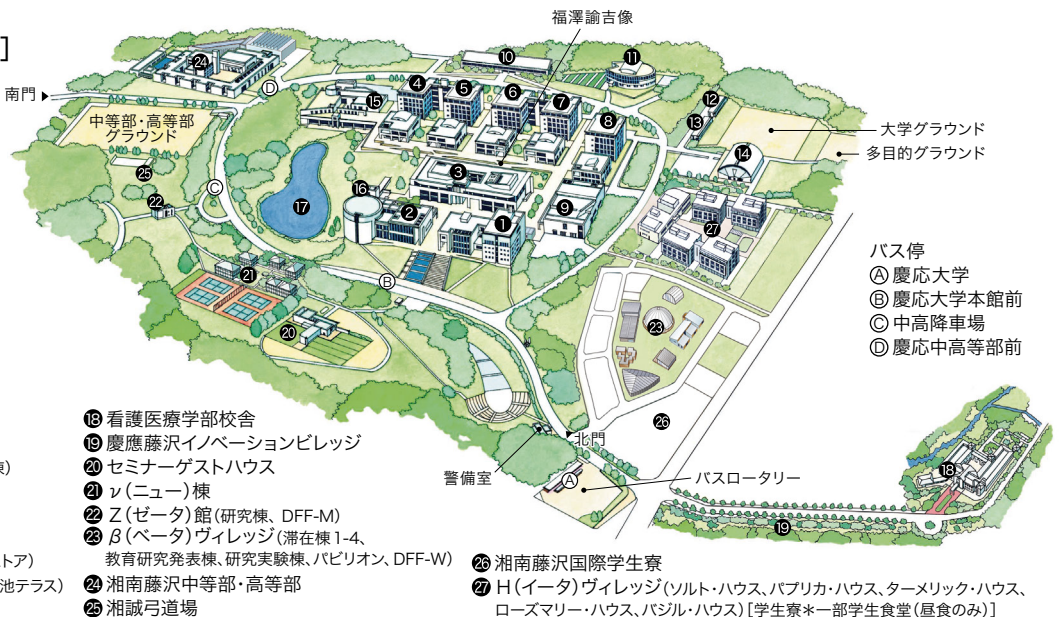
別荘のような雰囲気共同研究室。木目のインテリアで統一された静かな環境です。

6 看護医療学部校舎

最新の看護医療教育実現のための施設・設備が整えられています。

[キャンパスマップ]

- ① A(アルファ)館(本館)
- ② Ω(オメガ)館
- ③ M(ミュー)館
(メディアセンター[図書館]、
インフォメーション
テクノロジーセンター[ITC]、
横文彦ルーム)
- ④ κ(カッパ)館
- ⑤ ε(エプシロン)館
- ⑥ ι(イオタ)館
- ⑦ ο(オミクロン)館
- ⑧ λ(ラムダ)館
- ⑨ θ(シータ)館
- ⑩ Δ(デルタ)館
- ⑪ τ(タウ)館(大学院棟)
- ⑫ Ψ(サイ)館(クラブハウス棟)
- ⑬ Φ(フィー)館(クラブハウス棟)
- ⑭ Γ(ガンマ)館(体育館)
- ⑮ Σ(シグマ)館(生協購買部、
ファカルティクラブ、学生食堂、
鴨池ラウンジ、コンビニエンスストア)
- ⑯ 学生ラウンジ(サブウェイ、鴨池テラス)
- ⑰ ガリバー池(通称: 鴨池)



※キャンパスマップの内容は2023年4月現在のものです。



芝共立キャンパス

交通アクセスに優れた都市型キャンパス

主に薬学部の2～6年生と大学院生が学ぶキャンパスです。1年生も週に1回ここで学びます。

構内には1号館(学生厚生棟)、2号館(教育棟)、3号館(教育研究棟)があり、
体育館や附属薬局などのほか、屋上庭園といった憩いの空間も設けられています。

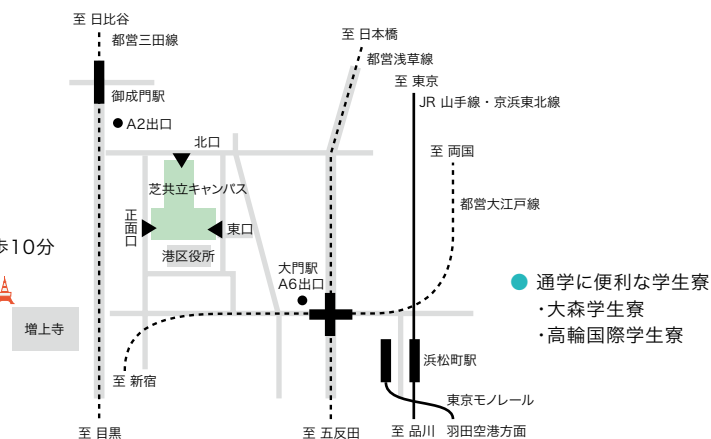
また、東京タワーや増上寺などから程近く、都心にありながら緑の多い落ち着いた環境です。

周囲に鉄道が6路線あり、どの駅からも徒歩10分以内に位置する
アクセスのよさも、このキャンパスの大きな魅力です。

[アクセス]

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30
芝共立キャンパス学生課 TEL 03-5400-2488

- 浜松町駅(JR山手線/JR京浜東北線/東京モノレール)徒歩10分
東京～浜松町=約6分
渋谷～浜松町=約20分
- 御成門駅(都営地下鉄三田線)徒歩2分
目黒～御成門=約12分
- 大門駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄大江戸線)徒歩6分
新宿～大門=約16分
- 羽田空港～浜松町=約20分



- 通学に便利な学生寮
・大森学生寮
・高輪国際学生寮



1 2号館：253実験室 254実習室

1年次春学期から4年次秋学期まで、数多くの実習をおこなっています。

3 創薬研究センター

塾内外の関連する研究機関等と密接に協力しながら、研究成果による社会貢献と創薬を先導する人材育成を目指しています。

5 附属薬局

調剤室、患者待合室、無菌製剤室などの設備があります。薬剤師としての基本姿勢を実践で学べる施設です。

2 屋上庭園

1号館の屋上にあり、塾生の憩いの場となっています。また薬学を学ぶために必要な薬草の栽培もしています。

4 学生ホール(食堂)

多くの学生が集まり、食事をしながらの意見交換などコミュニケーションの場でもあります。

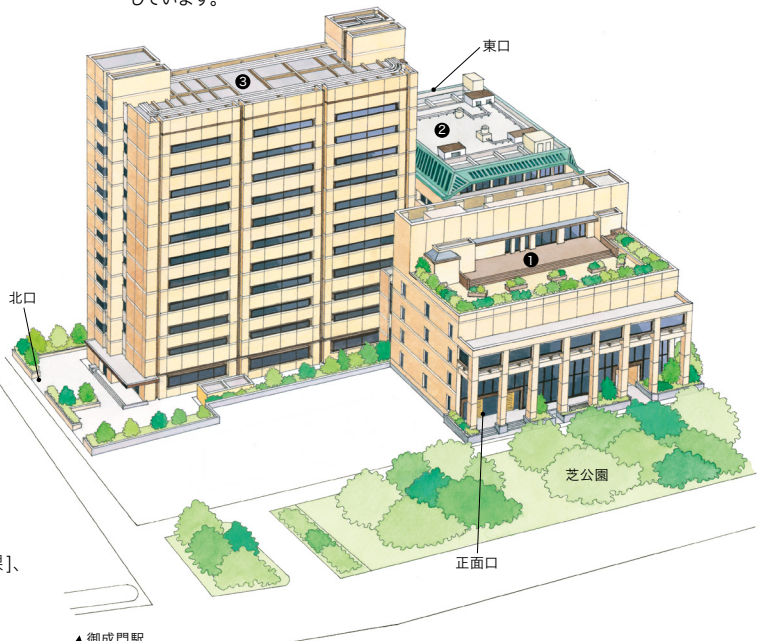
6 薬用植物園(浦和共立キャンパス)

埼玉県さいたま市にあり、見学することも可能です。ここでは貴重な薬草を栽培しています。

[キャンパスマップ]

- ① 1号館 屋上庭園、薬用植物園分園、芝共立インフォメーションテクノロジーセンター、体育館 [多目的ホール]、トレーニングジム、学生ホール[食堂]、生協購買部、事務室[学生課]、中講堂
- ② 2号館 大講堂、創薬研究センター、学生相談室、講義室、実習室、保健管理センター、動物飼育室
- ③ 3号館 セミナー室、教員研究室、実験室、PC室、芝共立薬学図書館(薬学メディアセンター)、附属薬局、事務室 [総務課、管財課、学術研究支援課]、受付・中央管理室 [警備室]

※キャンパスマップの内容は2023年4月現在のものです。





メディアセンター（図書館）



自由に活用できる6つの個性

慶應義塾大学には、各キャンパスに個性豊かな6つのメディアセンター（図書館）があります。500万冊を超える蔵書に加え、自宅からも利用できる電子ブック、電子ジャーナル、データベースを数多く提供し、学習や研究に必要な情報をいつでも入手できる環境を整えています。静かな個人学習スペースやグループ学習室を備えるだけでなく、それぞれのキャンパスの特性を活かし、貴重書の展示、先輩相談員による学習サポート、学生が主体となって開催するイベントなども行っています。おびただしい情報が溢れる現在、適切な情報源から必要な知識を選択・収集し問題解決につなげる情報リテラシーを高めることが塾生には求められています。メディアセンターはそうした皆さんの知的活動を支援します。



■三田メディアセンター

慶應義塾図書館

三田キャンパスには、新館、旧館、南館図書室の3つの図書館があり、4学部、6研究科に所属する塾生、教員の学習・教育・研究を支えています。人文社会科学分野の専門図書館として、300万冊規模の豊富な蔵書、充実した電子資料を備えており、塾員（卒業生）も数多く訪れます。新館は、サービスの拠点となるメインライブラリーとして多様な機能を備えています。また、赤レンガの旧館は、国の重要文化財に指定され、厳かな雰囲気を漂わせています。



■日吉メディアセンター

日吉図書館／協生館図書室

日吉図書館は日吉キャンパスに通う1年生が初めて出会う大学図書館です。図書館や情報の利用方法を早い段階で身につけてもらうため、授業と連動したセミナーを数多く実施し、学習を支援しています。旅行ガイドから専門書まで、図書・雑誌からDVDやデータベースまで、さまざまな分野・形態の資料を備えています。協生館図書室は、大学院3研究科の研究を支援しています。



■ 理工学メディアセンター

松下記念図書館

国内有数の規模を誇る理工学分野の専門図書館です。広くて明るい学習エリア、室内の壁が全面ホワイトボードのグループ学習室、夜間も利用できる自習室など、多彩な学習環境が整備され、サイエンスカフェなどの館内イベントを定期的に行っています。また、データベースセミナーやラーニングサポート(先輩による学習相談)などの学習支援や、学外からも利用できる電子ジャーナル・電子ブックのサービスも整え、矢上キャンパスの活気ある学びと研究を後押ししています。



■ 信濃町メディアセンター

北里記念医学図書館

医学及び関連分野の専門図書館として40万冊以上の蔵書を持ち、幅広い分野の電子資料へのアクセスを提供しています。電子リソース活用講座を始めとする情報リテラシー教育にも力を注いでいます。開設時から週末も開館し、また学外の研究者、医療従事者へも門戸を開放しています。歴史を感じさせる建物は、初代医学部長である北里柴三郎博士を記念し、有志によって1937年に「北里記念医学図書館」として建設されたものです。この名称は今もなお大事にされています。



■ 湘南藤沢メディアセンター

湘南藤沢図書館／看護医療学図書室

学際的な研究を中心とする湘南藤沢キャンパスの「問題発見・問題解決型」教育を、情報のアクセス、入手、作成、発信という多様な側面から支援しています。図書・雑誌・DVD・電子ブック・電子ジャーナルなどの資料を提供するだけでなく、3Dプリンタや音響・映像編集用の機器、スタジオなどの設備を整え、授業やさまざまなコンテンツ制作に活用できる環境を提供しています。また、看護医療学図書室では、医学、看護学分野の専門資料を豊富に所蔵しています。



■ 薬学メディアセンター

芝共立薬学図書館

薬学および医学・化学・生物学など関連分野の資料を収集・提供する専門図書館です。蔵書約5万冊、閲覧席数約130席と小規模ながら、他キャンパスのメディアセンターと連携して、図書の取り寄せや電子ジャーナル・電子ブックへのアクセスなど多岐にわたるサービスを提供しています。薬剤師の資格を生かしながら多方面で活躍する医療人や、企業や行政で指導力を発揮するサイエンティストを育成する薬学部において、幅広い情報要求に応えています。

ミュージアム



連携展覧会「オブジェクト・リーディング:精読八景」展示室風景



©katomaki



■ 慶應義塾ミュージアム・commons

(Keio Museum Commons 略称:KeMCo)

◎展覧会・催事開催中はどなたでも見学できます(無料)

慶應義塾のアートとカルチャーを研究・発信するミュージアムです。三田キャンパスの東別館で、デジタルとリアルが融合したユニークな展覧会や、ワークショップなどのイベントを開催。現役塾生が企画する、文化財を「いま」に接続する参加型プログラムも好評です。

デジタル・アーカイブ「Keio Object Hub」の運営など、慶應義塾が蓄積してきた様々な領域の学術資料や文化財を繋ぎ、社会に開く活動も担っています。



各種イベントのご案内・ご予約





■ 福澤諭吉記念慶應義塾史展示館

◎常設展示・企画展示ともにご覧いただけます(無料)

三田キャンパス図書館旧館2階に設置されています。創業者である福澤諭吉の生涯と160年にわたる慶應義塾の歴史が展示されています。常設展示は「颯々の章－福澤諭吉の出発」「智勇の章－文明の創造と学問の力」「独立自尊の章－私立の矜持と苦悩」「人間交際の章－男女・家族・義塾・社会」の4章構成で、実物の歴史資料の展示を大切に、塾史を通して広く日本の近現代史を学べる施設です。



ご予約



■ 慶應義塾大学アート・センター

◎展覧会・催事開催中はご覧いただけます(無料)

南別館一階の慶應義塾大学アート・スペースにて年間を通じて企画展を開催しているアート・センターは、多様な芸術系アーカイブ資料も所管しており、慶應義塾で唯一、博物館相当施設に指定されている施設です。現代芸術や建築などの展覧会を開催するだけでなく、土方巽をはじめとする所管のアーカイブが有する資料の研究成果を展示形式で発表しています。また展覧会以外にも、展覧会に関連するギャラリートーク、アーカイブを主体とした舞踏公演や建築ツアーなど、さまざまなイベントなどを通してアートとの接点を提供しています。



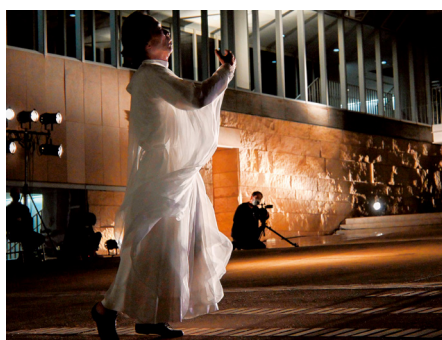
KEIO
UNIVERSITY
ART
CENTER



建築プロムナード(建築ツアー)



アート・スペース(展示室)



新入生歓迎行事での舞踏公演

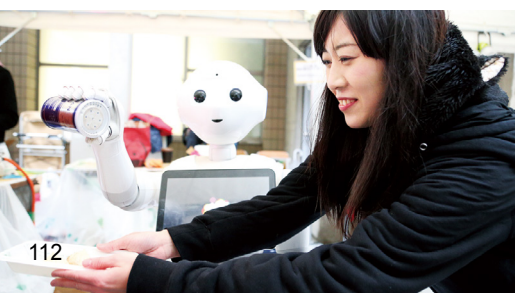
学生生活





クラブ・サークル

慶應義塾大学では、体育会、文化団体連盟をはじめ、約400の公認学生団体が、学術・文化・スポーツなどさまざまな分野において活動しています。学部や学年の域を越え、ともに取り組む密度の濃いチャレンジと追求。目標への努力や仲間との絆は、心を強く豊かにし、社会へ出てからの力につながっていきます。



体育会・サークル



ウェブマガジン
(塾生によるコラム)



キャンパス

メディアセンター
(図書館)

ミニシアター

クラブ・サークル

留学・海外研修

学生寮

学生相談室・
保健管理センター

学費・奨学金

就職・進路

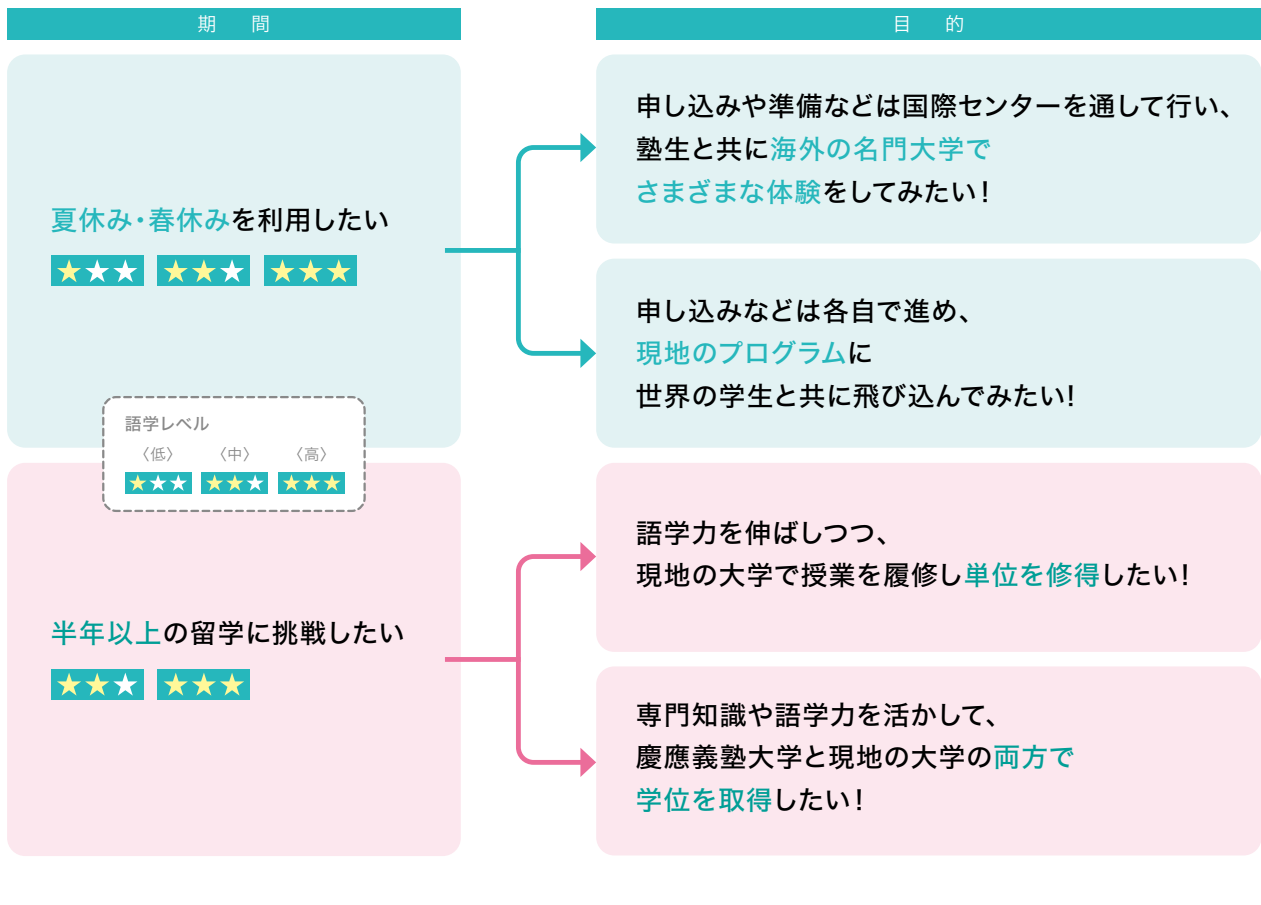
大学院



留学・海外研修

自分にあった「留学」を見つける

語学習得を目指すものや海外の大学で専門的な内容の授業を履修するもの、数週間の短いものから半年以上の長期にわたるものなど、留学にはさまざまな種類があります。



学内での国際交流の機会

※開催プログラム・イベントや実施形態等に変更がある可能性があります。最新の情報は国際センターのウェブサイトでご確認ください。

KJSP(慶應義塾大学短期日本学講座)

春休みに留学生と塾生が共に学ぶ短期プログラムです。

日本の文化・ビジネス・経済・社会等に関する講義やアクティビティを海外の協定校等からの学生と一緒に、すべて英語で受講します。日本にしながら英語漬けの2週間を送ることができます。

慶應ともだちプログラム

留学生と塾生でグループをつくり、日本の文化や生活を一緒に体験する、日常の疑問に答える等、「ともだち」として交流することで、留学生が日本での暮らしや学びに馴染めるようサポートします。ホスピタリティーのある方、海外経験を活かしたい方、将来留学や多文化の中に身をおいて仕事をしたいと考えている方などにとっても、有意義なプログラムです。

国際センター講座

日本や東アジア・東南アジアをテーマとして、英語で授業が行われます。

講義だけでなく、グループワークを行う科目も多く、海外からの留学生と交流しながら共に学ぶことができます。

これから留学することを考えている方、留学から帰ってきた方、多様な価値観に触れて広い視野を養いたい方などにおススメです。



この他に、各学部が実施するプログラムもあります。詳しくは、p.117へ

留 学 プ ロ グ ラ ム

国際センター短期プログラム

短期海外研修プログラム

期間	内容	こんな人に
夏季・春季休校期間を利用した2週間から1ヵ月程度	プログラムごとのテーマに沿った、英語による講義やディスカッションなどが、海外の名門大学で体験できます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外に行ったことがない人 ● 英語によるコミュニケーション能力を高めたい人 ● 将来、長期の留学を考えている人

協定校等による短期プログラム

期間	内容	こんな人に
夏季・春季休校期間を利用した数週間から数ヵ月程度	海外の協定校等が実施するプログラムに各自で申し込みを行い、参加します。	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな言語によるコミュニケーション能力を高めたい人 ● 現地のプログラムに、世界の学生と共に飛び込んでみたい人

派遣交換留学

詳しくは p.116へ

期間	内容	こんな人に
1学年間(10ヵ月程度)	海外での大学生活を体験することで、国際感覚の育成と視野の拡大を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 語学力を伸ばしつつ、現地の大学で授業を履修したい人 ● 世界トップレベルの大学で学生生活を送ってみたい人

私費による長期留学

詳しくは p.117へ

期間	内容	こんな人に
自由に選択可能(ただし、「留学」として認められるのは、最長で2年間まで)	参加学生が直接申し込みを行い、学費またはプログラム参加費等を留学先大学や実施団体等へ支払う必要のある留学です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 語学に特化して勉強したい人 ● 自由に留学先や留学期間を選びたい人

ダブルディグリー・プログラム

短期海外研修プログラム (国際センター主催)

全学部および研究科の学生を対象に、夏季・春季休校中に実施されるプログラムです。外国語による講義やディスカッション、寮生活などの活動を通して異文化交流を体験できます。海外生活を体験したい人はもちろん、外国語によるコミュニケーション能力を高めたい人や、将来長期の留学を考えている人にもおすすめです。

1 日程 2 期間 3 募集人数

夏季講座

- ノートルダム大学 (米国)**
テーマ 日米ビジネス、現代米国の政治・経済・社会・文化
 1 8月下旬～ 2 2週間 3 10名～16名(学部生対象)
- ウィリアム・アンド・メアリー大学 (米国)**
テーマ 米国の歴史・社会、日米比較
 1 8月上旬～ 2 2週間 3 25名
- ケンブリッジ大学 ダウニング・コレッジ (英国)**
テーマ 科学、国際関係論、国際ビジネス(いずれか1つ ※テーマ変更の可能性あり)
 1 8月上旬～ 2 4週間 3 40名～60名
- オックスフォード大学 リンカーン・コレッジ (英国)**
テーマ 英国の歴史・政治・文化、シェークスピア演劇
 1 8月下旬～ 2 2週間 3 20名

春季講座

- パリ政治学院 (フランス)**
テーマ EUの政治・経済・社会・文化(使用言語: 英語)
 1 2月下旬～ 2 4週間 3 10名～20名
- シドニー大学 (オーストラリア)**
テーマ グローバルビジネスマネジメント、異文化理解
 1 2月下旬～ 2 3週間 3 20名
- タフツ大学春季講座 (米国)**
テーマ 米国における対東アジア外交政策
 1 2月下旬～ 2 2週間 3 10名～15名
- シンガポールマネジメント大学春季講座 (シンガポール)**
テーマ ソーシャル・イノベーション
 1 2月下旬～ 2 3週間 3 10名～15名

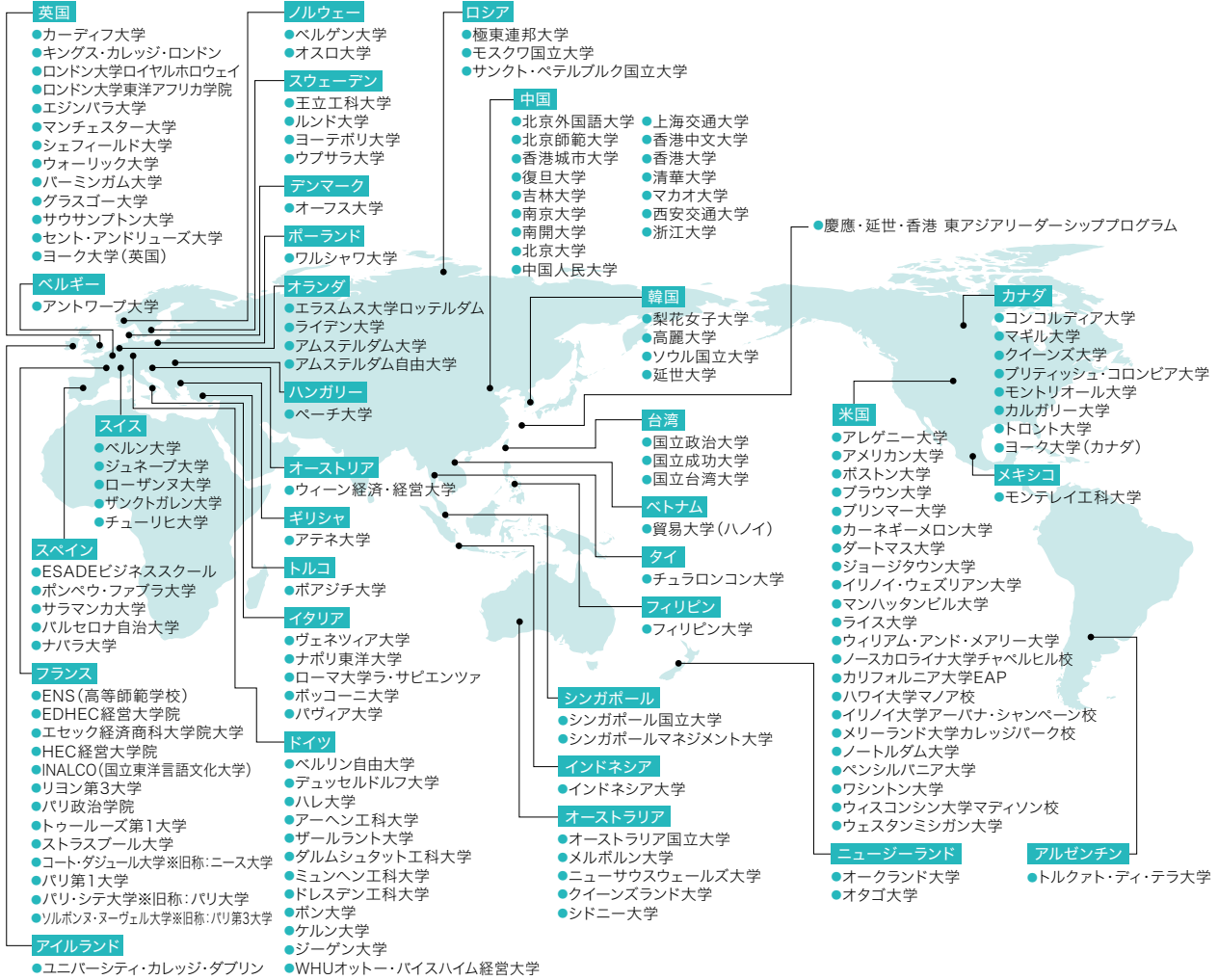
※開催プログラム・イベントや実施形態等に変更がある可能性があります。最新の情報は国際センターのウェブサイトでご確認ください。

交換留学

■派遣交換留学制度 (どの学部・研究科からも応募できます)

交換留学は、慶應義塾大学が外国の大学との間で交わした協定に基づいて実施される留学制度です。
 1 学年間、外国での大学生活を体験する機会を提供することで、国際感覚の育成と視野の拡大を目指します。

「派遣交換留学制度」協定校 (2023年1月現在)



■慶應義塾大学から世界へ 塾生の国・地域別留学先 (私費留学も含む)

米国	89	オーストラリア	16	中国	9	トルコ		台湾			
フランス	55	韓国		ノルウェー	7	ポーランド	2	チリ			
英国	37	スイス	12	デンマーク	6	アイルランド		ニュージーランド	1		
カナダ	20	イタリア		シンガポール	5	インドネシア	1	フィンランド			
スウェーデン		オランダ	11	ベルギー	4	エストニア		ベトナム			
ドイツ	19	スペイン		オーストリア	2	タイ		メキシコ			合計 359名

(2022年5月1日現在数。交換留学および私費留学について記載。)

■世界から慶應義塾大学へ 留学生の出身国・地域

中国	919	ベルギー	19	フィンランド	5	メキシコ		カンボジア		ベネズエラ	
韓国	398	スウェーデン	13	ギリシャ		モロッコ	3	ガーナ		ポルトガル	
フランス	97	インド		サウジアラビア		ルクセンブルク		北マケドニア		マダガスカル	
ドイツ	72	オーストラリア	12	トルコ		ウズベキスタン		キルギス共和国		南アフリカ	1
台湾	71	ノルウェー	9	ニューージーランド	4	カザフスタン		ケニア		モルドバ	
米国	52	ロシア		ブルガリア		スリランカ	2	コソボ		ヨルダン	
インドネシア	37	ポーランド		ラオス		スロバキア		コロンビア		リトアニア	
イタリア	36	マレーシア	8	アイルランド		ブルネイ		シリア	1	ルーマニア	
タイ	30	モンゴル		イラン		レバノン		スーダン		ルワンダ	
スペイン	26	シンガポール	7	コンゴ民主共和国		アラブ首長国連邦		スリナム			
オランダ	25	デンマーク		チェコ	3	イスラエル		スロベニア			
英国	21	フィリピン		チュニジア		エクアドル	1	トルクメニスタン			
カナダ		ブラジル	6	ハンガリー		エジプト		ネパール			
スイス	20	オーストリア	5	バングラデシュ		エリトリア		バーレーン			
ベトナム		パキスタン		ミャンマー		カメルーン		バルバドス			合計 2,082名

(2022年5月1日現在数)

ダブルディグリー・プログラム

慶應義塾大学と海外の協定校の両方で学び、修了時に慶應義塾と協定校の2つの学位を取得できるプログラムです。慶應義塾大学では、世界のトップレベルの大学とのダブルディグリー・プログラムを実施し、国際社会を先導する人材の育成を目指しています。詳細は、ウェブサイトをご確認ください。



学部独自の留学プログラム (2023年1月現在) ※諸情勢により中止あるいは実施形態や期間が変わる可能性があります。

<p>経済学部</p> <p>パリ政治学院(フランス)、ボッコニー大学(イタリア)と「ダブルディグリー・プログラム」および「学部・修士5年プログラム」、HEC経営大学院(フランス)、ケルン大学(ドイツ)、ブランダイス大学(米国)、スティーヴンス工科大学(米国)と「学部・修士5年プログラム」(HEC経営大学院はPEARL生のみ)を実施。また、海外諸大学への独自の交換留学枠を設けています。</p> 	<p>総合政策学部 環境情報学部</p> <p>アラビア語、マレー・インドネシア語、朝鮮語、中国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語の7つの語種で、海外諸大学での「海外研修」(2または4単位)を実施。</p> 
<p>法学部</p> <p>フンボルト大学(ドイツ)、フライブルク大学(ドイツ)、チューリヒ大学(スイス)と交換協定を締結しており、法学部の独自の交換留学枠を設けています。</p> 	<p>看護医療学部</p> <p>夏季および春季休校期間中に、英国サフォーク大学ほか同国の保健・医療施設での海外研修「世界の医療・保健制度II」など、5つの海外研修科目(2単位)を開講しています。</p> 
<p>商学部</p> <p>エッセック経済商科大学院大学(フランス)、北京大学光華管理学院(中国)と「ダブルディグリー・プログラム」を実施しています。</p> 	<p>薬学部</p> <p>米国やタイの大学や機関との協定等に基づき、薬学科6年生を4～5週間の病院実習に派遣しています(3単位)。また、学部2・3年生対象にタイの大学を訪問するプログラムや、薬学科6年生、大学院生対象に、アメリカ食品医薬品局や国立衛生研究所を訪問する短期プログラムも実施しています(各1単位)。</p> 
<p>医学部</p> <p>学部5年生を対象とした「短期海外留学プログラム【臨床】」に選抜された学生は、海外の協定大学等における約1ヵ月間の臨床実習により単位を取得できます。</p> 	<p>医療系三学部</p> <p>医学部・看護医療学部・薬学部では、学部生対象のプライマリヘルスケアと国際保健に関する研修「ラオス・プライマリヘルスケア保健医療チーム活動プロジェクト」を実施しています。</p>
<p>理工学部</p> <p>エコールサントラル(フランス)とのダブルディグリー・プログラムの他、アーヘン工科大学(ドイツ)、ECナント(フランス)等への短期在外研修を実施しています。また、学部1・2年生対象「グローバルリーダーシップセミナー-実地研修」を開講し、夏は日韓の私立大学4校(慶應義塾大学、早稲田大学、高麗大学、延世大学)、春は淡江大学(台湾)にて合同研修を行っています。</p> 	

よくある質問

Q 留学費用は
いくらぐらい必要ですか？

A 留学先の国や地域、また過ごし方によっても大きな差があります。一般的に学費を除いた生活費として、1学年間で150万円～250万円程度かかるといわれています。留学先大学のウェブサイト・過去の派遣交換留学生の留学報告書等を参考にしてください。各種奨学金もあります。

Q 学部1年生が応募すると
不利なのですか？

A 学部1年生であるということ自体が、選考上大きく不利に働くことはありません。ただし、学部1年生は学内選考の準備に充てられる期間が他の学年に比べ短いことから、より積極的な準備が求められます。また留学先で履修できる科目に制限があったり、専門分野を学ぶための基礎知識が十分でない場合があります。

Q 成績・語学力はどの程度選考に
関係ありますか？

A 選考は総合評価ですので、成績のみあるいは語学能力のみで決まるものではありません。選考では、提出されたすべての書類が評価の対象になると考えてください。

派遣交換留学生のインタビュー動画
「留学とは○○だ！先輩たちの留学体験談」を
国際センターウェブサイトでご覧いただけます。



留学プログラムに関する各種パンフレットは、
国際センターウェブサイトでご覧いただけます。



学生寮

日本人学生と留学生を積極的に支援

慶應義塾大学では、全国各地の学生に対するより積極的な入学支援・生活支援を目指し、学生寮の充実を図っています。

日本人学生と留学生がともに暮らす混住型学生寮では、

日常生活の中で学び合い、交流し、国際感覚を身につけられることも特長の一つになっています。

学生寮の詳しい情報や見学・申し込みに関しては、
ウェブサイトをご覧ください。



学生寮一覧

	部屋数	アクセス	通学に便利なキャンパス	入寮費	寮費
日吉寄宿舎	18室(1室3名) 洋室19㎡	神奈川県横浜市港北区箕輪町1-11-19 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩10分	日吉 矢上	17,000円※自治会 入会費(7,000円)別	17,000円/月 ※食費：約12,000円/月(税込) (通常授業期間の平日朝夕食のみ) ※自治会費：600円/月
大森学生寮	127室(1室1名) 洋室12.28㎡	東京都大田区大森西7-4-27 JR京浜東北線「蒲田」駅 徒歩15分 京急本線「梅屋敷」駅 徒歩12分	三田 日吉 矢上 信濃町 芝共立	130,000円(1年契約) 160,000円(2年契約) 220,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	68,300円/月(食事込) ※食事(一部期間を除く月～土朝夕食のみ) 50,900円/月(食事別)
綱島学生寮	124室(1室1名) 洋室15.64～ 16.87㎡	神奈川県横浜市港北区綱島西2-18-3 東急東横線「綱島」駅 徒歩7分	日吉 矢上	180,000円(契約期間 1年・更新可・更新料なし)	57,900円～63,700円 ※食費：29,800円/月(税込) (一部期間を除く月～土朝夕食のみ)
元住吉寄宿舎	230室(1室1名) 洋室23.5㎡	神奈川県川崎市中原区木月4-31-8 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩8分	三田 日吉 矢上	90,000円(1年契約) 120,000円(2年契約) 150,000円(3年契約) 170,000円(4年契約)	74,000円/月(家具有) 71,000円/月(家具無)
日吉国際学生寮	200室(1室1名 1ユニット4室×50) 洋室9.25～ 10.21㎡(1室)	神奈川県横浜市港北区日吉5-11-18 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩18分	三田 日吉 矢上	90,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 200,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	71,000円/月
元住吉国際学生寮	156室(1室1名) 洋室14.06～ 14.17㎡	神奈川県川崎市中原区木月住吉町22-1 東急東横線・目黒線「元住吉」駅 徒歩8分	三田 日吉 矢上	150,000円	73,000円～78,000円/月 ※食費：19,800円/月(税込) (一部期間を除く平日朝夕食のみ)
綱島SST国際学生寮	163室(1室1名) 洋室17.40～ 18.85㎡	神奈川県横浜市港北区綱島東4-3-10 東急東横線「綱島」駅 徒歩10分	日吉 矢上	90,000円(1年契約) 120,000円(2年契約) 150,000円(3年契約) 170,000円(4年契約)	78,000円/月
高輪国際学生寮	44室(1室1名) 洋室12.43～ 13.24㎡	東京都港区高輪2-12-35 都営浅草線、京急本線「泉岳寺」駅 徒歩7分 JR京浜東北線・山手線「高輪ゲートウェイ」駅 徒歩11分 東京メトロ南北線、都営三田線「白金高輪」駅 徒歩14分	三田 信濃町 芝共立	90,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 200,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	69,000円/月
湘南藤沢国際学生寮	109室(1室1名) 洋室14.47～ 14.72㎡	神奈川県藤沢市遠藤6701-1 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 「湘南台」駅西口よりバス「慶応大学」行き約15分	湘南藤沢	90,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 200,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	59,000円/月 ※食費：個別精算(喫食数による) 朝300円(税込) 夕500円(税込) (一部期間を除く平日朝夕食のみ)
Hヴィレッジ	300室 ・1ユニット5個室×52(1ユニット82.62㎡(内、個室8.38㎡)) ・1ユニット5個室の内、1室車いす対応室×4(1ユニット86.93㎡(内、個室8.38㎡、車いす室20.55㎡)) ・1入室×20(16.22㎡)	神奈川県藤沢市遠藤5232-1 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 「湘南台」駅西口よりバス「慶応大学」行き約15分	湘南藤沢	—	ユニット室： 78,300円/月(食事込) 1入室： 88,300円/月(食事込) ※食事(一部期間を除く月～日朝夕食のみ)

日吉寄宿舎以外の学生寮では、記載の費用のほかに保証金や年間管理費などが必要となります。また、各種費用については変更の可能性があります。

アパート・マンション紹介

日吉キャンパスでは2月下旬から3月下旬の期間、湘南藤沢キャンパスでは2月下旬から3月中旬の期間、学生団体がアパート・マンション紹介を行います。約600件の物件から好みの部屋を探すことができます。

学生相談室

慶應義塾では、学生生活を送る中で出会う様々な問題について相談できる環境を整えています。三田、日吉、矢上、芝共立の各キャンパスに学生相談室があり、学業、進路、就職活動、心身の健康など、困ったときには気軽にカウンセラーと話し合うことができます。なお信濃町キャンパスはストレス・マネジメント室、湘南藤沢キャンパス(SFC)は心身ウェルネスセンターにおいてカウンセラーが対応します。



学生相談室



ストレス・マネジメント室(PDF)



心身ウェルネスセンター

保健管理センター

健康管理、診療、保健教育、健康情報提供、環境衛生などの業務を行っています。塾生は内科診療(有料)や怪我等の応急処置、健康相談などで利用できます。また、予約制ですが、精神科診療(有料)も受けられます。体調が悪いときは、各キャンパスの診療所を利用してください(外部医療機関に直行されても構いません)。詳細は保健管理センターのウェブサイトを参照してください。



学費・奨学金

大学生活における支出と収入の全体像

入学に必要な費用をはじめ、1ヵ月の支出・収入データ、奨学金、さらに、学生寮やアパート・マンションなど、支出と収入に関する情報をまとめました。奨学金には、入学前に申請して候補者認定が受けられる制度も用意されています(p.122 参照)。

入学に必要な費用 (入学金を含む初年度納入金:2023年度参考例)

各学部の入学に必要な費用を一覧にしました。費用は春学期と秋学期の2回に分けて納入(分納)できます。

(単位:円)

種別	学部	文学部	経済学部	法学部	商学部	医学部	理工学部	総合政策学部 環境情報学部	看護医療学部	薬学部 薬学科	薬学部 薬科学科
		入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
在籍基本料	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	
授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	3,040,000	1,310,000	1,070,000	1,070,000	1,740,000	1,460,000	
施設設備費	210,000	210,000	210,000	210,000	370,000	230,000	290,000	340,000	320,000	320,000	
実験実習費	—	—	—	—	200,000	100,000	—	230,000	200,000	200,000	
その他の費用	3,350	8,350	13,350	9,850	3,350	3,350	11,350	15,850	3,350	3,350	
合計	1,373,350	1,378,350	1,383,350	1,379,850	3,873,350	1,903,350	1,631,350	1,915,850	2,523,350	2,243,350	
分納の場合の春学期分	786,725	789,225	791,725	789,975	2,036,725	1,051,725	915,725	1,060,225	1,361,725	1,221,725	
分納の場合の秋学期分	586,625	589,125	591,625	589,875	1,836,625	851,625	715,625	855,625	1,161,625	1,021,625	

※2年目以降、入学金はありません。入学金以外の費用については在学中に変動する可能性があります。(参考 <https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/fees/>)

通常履修している科目によっては、教科書代・実験費・各種講座費などが別途必要な場合があります。金額は状況により異なります。また、留学や海外研修プログラムに参加する場合には、学費のほかに別途費用が必要になります。詳細は「国際センター」のウェブサイト(<https://www.ic.keio.ac.jp/>)をご参照ください。

居住形態別の支出と収入(1ヵ月平均)

(単位:円)

	収入				支出									
	家族から	アルバイト	奨学金 ※受給者の みの 平均	総収入額	住居費 及び 光熱水費	食費 (外食費 含む)	本・雑誌・ PC関係費	通信費	趣味・ 娯楽・ 交際費	衣服・ アクセサリ・ 化粧品費	クラブ・ サークル 活動費	語学研修・ 資格取得の 専門学校の 授業料	通学 交通費	総支出額
自宅	17,000	43,500	76,000	58,800	—	16,700	4,800	4,100	15,300	8,400	6,000	4,800	10,700	118,000
自宅外	63,600	43,800	127,600	133,000	61,300	29,200	6,500	7,300	18,700	10,400	6,500	7,300	7,100	213,200

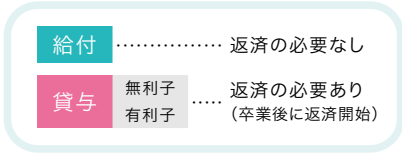
*慶應義塾大学学生生活実態調査報告(2022年度)より
*100円未満切り捨て

奨学金

大学生活を経済面からサポートする制度として奨学金があります。

■奨学金とは

奨学金は、学習意欲と能力のある学生に対してお金を給付あるいは貸与する制度です。給付奨学金は返済不要ですが、貸与奨学金は卒業後に返済する必要があります。貸与奨学金には「無利子」のものと「有利子」のものがあります。



■奨学金の種類

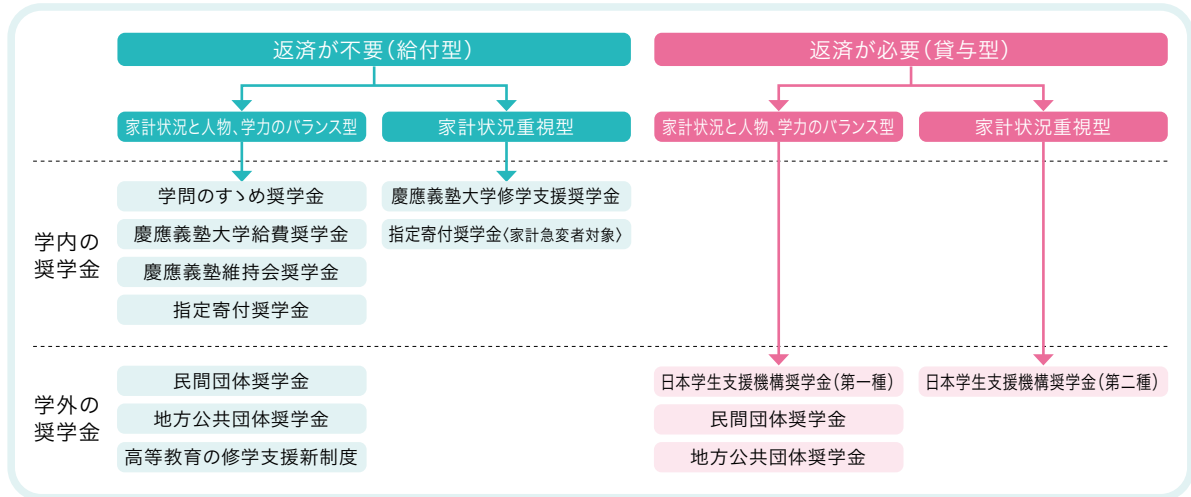
慶應義塾大学は、学業に専念できる環境を整え、良識ある知識人として活躍できる人材育成の支援を目的に、成績優秀者を対象とした奨学金、家計状況が急変した際の奨学金、地方出身者や海外でのグローバルな学習活動への支援など、学生のニーズに対応するさまざまな奨学金を用意しています。奨学金は下記のようなものがあり、いずれも家庭の経済状況や学力・人物によって選考されますが、それぞれ趣旨・金額・返済義務の有無などが異なります。なお、いずれの奨学金も推薦枠・採用枠があるため、希望者全員が採用されるわけではありません。それぞれの奨学金で選考があります。

- ① 慶應義塾大学独自の奨学金 (学内の奨学金)
すべて返済の必要がない給付の奨学金です。
- ② 日本学生支援機構奨学金 (学外の奨学金)
国が扱う公的な貸与の奨学金です。利用者が最も多い奨学金で、慶應義塾大学では約10人に1人の学生が利用しています。日本学生支援機構ウェブサイトに申し込みから採用までの流れ、貸与金額、返還例などの詳細が掲載されていますのでご参照ください。
- ③ 国による「高等教育の修学支援新制度」 (学外の奨学金)
授業料等減免と給付型奨学金の支援が受けられます。支援対象要件や支援内容は日本学生支援機構ウェブサイトをご参照ください。
- ④ 民間団体・地方公共団体の奨学金 (学外の奨学金)
慶應義塾大学では現在、給付と貸与を合わせて約140団体よりご支援いただいています。

日本学生支援機構
ウェブサイト



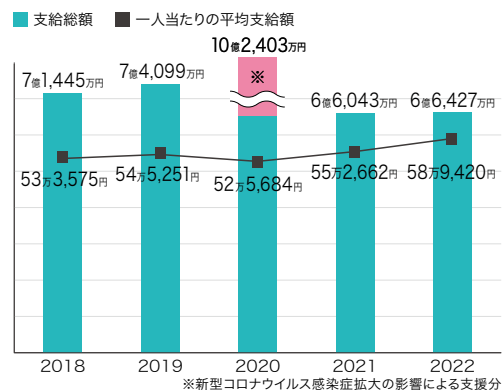
奨学金選びのフローチャート



■奨学金の拡充

慶應義塾大学は、学生が経済的な理由で勉学の機会を失うことのないよう、返済不要の給付型奨学金の拡充を図っています。首都圏以外出身の受験生を対象とした入学前予約型奨学金「学問のすゝめ奨学金」や「慶應義塾維持会奨学金」、「慶應義塾大学給費奨学金」を用意しています。さらに、従来の複数の奨学制度を一本化した「修学支援奨学金」は、家計急変や大規模自然災害による被災などさまざまな理由で経済的に修学が困難な学生をより幅広く柔軟にサポートしています。2020年度は緊急に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により家計が急変した者について重点的に支援を行いました。また、三田会(同窓会)からの寄付による奨学金を多数用意しているのも、卒業生とのつながりの強い慶應義塾大学ならではの特徴です。これら学内の給付型奨学金制度による奨学生は、年間のべ約1,127名(2022年度学部生)にのぼります。

【学内奨学金支給実績】





■ 主な奨学金制度一覧

入学前申請

一般選抜出願前に申請し、候補者認定が受けられる

学問のすゝめ奨学金

本奨学金は、慶應義塾大学の学部第1学年に入学を強く希望する日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く)の高等学校等の出身者で、人物および学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により本学への入学に困難を来している受験生に対し、経済支援を行うことを目的とします。

選考については、一般選抜出願前に申請を受け付け、候補者を決定します。

その後、一般選抜に合格し、入学後に所定の手続きを行うことで奨学生として採用されます。



● 2024年度実施予定(2024年度一般選抜受験生対象)

奨学金額	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部 90万円、薬学部 80万円、その他学部 60万円(年額) ・初年度は上記の金額に入学金相当額(20万円)を加算 ・入学2年目以降は成績優秀者の奨学金額を増額: 医学部 150万円、薬学部 120万円、理工・総合政策・環境情報・看護医療学部 90万円、その他学部 80万円(年額) ※卒業まで継続して受給するためには毎年継続申請を行い、審査を受ける必要があります。 ※採用された学生が、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象となる場合は、奨学金の支給金額が減額となることがあります。
採用候補者数	550名以上

● 申請資格

以下①～⑥のすべての条件を満たしていなければなりません。

- ①日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く)の高等学校などを卒業(修了)した者、または2024年3月に卒業(修了)見込みの者
- ②本学の第1学年に入学を強く希望する者で、本学の2024年度一般選抜に出願予定の者
- ③卒業した、または卒業見込みの高等学校などより、調査書の発行が受けられる者
- ④父母の「最新(2023年中)の所得証明書」記載の収入・所得金額を合算した金額が給与・年金収入金額1,000万円未満(税込)、事業所得金額514万円未満(税込)の者
- ⑤上記の高等学校などの教員より推薦を得られる者
- ⑥本学入学後、家族が日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く)に居住し、自宅外から通学しなければならない者

※実施内容は変更になる可能性があります。詳細は、「学問のすゝめ奨学金」ウェブサイトをご確認ください。2024年度の募集については2023年7月頃に公開する予定です。
 ※本奨学金の申請が一般選抜や推薦入試に影響を与えることなく、申請時の選択学部と異なる学部を受験・入学も可能です。また、他大学の受験・入学も自由に決められるほか、他大学に入学した際に申請者の高校やその高校の後輩に影響が及ぶことは一切ありません。
 ※本奨学金の候補者としての決定は、慶應義塾大学一般選抜の合格を保証するものではありません。

入学後申請 (2023年度予定。奨学生数は2022年度実績)

	奨学制度名	種別	金額	期間	対象など	学年	奨学生数		
							申請者数	採用者数	
学内	慶應義塾大学給費奨学金	給付	年額50万円もしくは25万円	1年 (再申請可)	経済的に修学困難であると認められ、勉学の意欲を持ち、成績・人物ともに優秀な者。	1年生 2年生以上	— 287	— 228	
	慶應義塾大学修学支援奨学金	給付	学費の範囲内 (平均支給額：年額約30万円)	1年 (再申請可)	急激な家計状況の変化(大規模自然災害による被災を含む)、あるいは継続的な困窮のため修学が困難な者。	1年生 2年生以上	31 156	18 110	
	慶應義塾創立150年記念奨学金(海外学習支援)	給付	海外学習の種別により、 年額10万円・20万円・30万円	1年	経済的理由により、海外での学習体験が困難な者。対象は、海外短期留学、私費留学、語学研修、海外インターンシップ、海外フィールドワーク、国際学会発表等。※奨学生数は2019年度実績	1年生 2年生以上	38 72	24 38	
	慶應義塾維持会奨学金	給付	医・理工・看護医療・薬学部 年額80万円 その他学部 年額50万円	1年 (再申請可)	慶應義塾維持会基金により運営。人物・学業ともに優れ経済的に学業に専念することが困難な者を対象とし、地方出身者を優先する(2023年度は135名採用予定)。	1年生 2年生以上	65 248	24 110	
	指定寄付奨学金	110年三田会記念大学奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ、家計状況の急変により、経済的に学業の継続が困難になった者。	1年生 2年生以上	2 62	— 3
		111年三田会記念大学奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、学生の範となる活動を行っている者。	1年生 2年生以上	— 93	— 5
		118年三田会記念大学奨学金	給付	年額30万円	1年 (再申請可)	生計維持者の死亡・失職などにより家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者。	1年生 2年生以上	— 45	— 4
		121年三田会記念大学奨学金	給付	年額30万円	1年 (再申請可)	生計維持者の死亡・病気・失業または災害などにより、経済的に学業の継続が困難となった者。	1年生 2年生以上	— 59	— 3
		1998年三田会記念大学奨学金(2023年度開設)	給付	年額50万円	1年	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	※3 ※3	※3 ※3
		1997年三田会記念大学奨学金	給付	年額50万円	1年	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	— 173	— 11
		地域三田会奨学金※1	給付	年額10万円～20万円	1年 (再申請可)	人物・学業ともに優秀な者。その他の申請条件は各奨学金により異なる。各三田会からの寄付金で運営。	1年生 2年生以上	121 266	8 16
		不動産三田会奨学金	給付	年額10万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	39 84	5 1
		木下雄三奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	67 174	6 1
		「2000年記念教育基金」教育援助一時金	給付	授業料の範囲内 (参考：2022年度平均支給額年額約25万円)	1年 (再申請可)	生計維持者の死亡・失職などによる家計状況の急変により、経済的に学業の継続が困難になった者。篤志家からの寄付金をもって運営。	1年生 2年生以上	21 67	6 11
	ゴールドマン・サックス・スカラズ・ファンド	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優れ、経済的に学業の継続が困難な者。	1年生 2年生以上	22 75	3 7	
	学外	日本学生支援機構奨学金	貸与	詳細は日本学生支援機構ウェブサイトを確認してください(p.121)。	標準 修業年限	【第一種】人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学が困難な者。 【第二種】学業成績が平均水準以上で、その他の選考基準(家計・人物)に該当する者。 *第二種の利率は、①利率固定型、②利率見直し型のいずれかを選択。利子の上限は3%、在学中は無利子。	1年生 2年生以上	第一種 202 第二種 140	74 88
高等教育の修学支援新制度		減免 + 給付	詳細は日本学生支援機構ウェブサイトを確認してください(p.121)。	標準 修業年限	家計に係る基準と学業成績に係る基準を満たしていること。各基準に関する詳細は日本学生支援機構ウェブサイトを確認してください(p.121)。	1年生※2 2年生以上※2	144 101	95 56	
各種奨学金		民間団体の奨学金	給付 (85団体) 貸与 (9団体)	月額10,000円～120,000円 月額15,000円～80,000円	1～6年	詳細は、塾生サイトに掲載する奨学金案内を確認してください。	1年生 2年生以上	234 441	33 74
		地方公共団体の奨学金	給付 (1団体) 貸与 (6団体)	月額9,000円～21,000円 月額20,000円～51,000円			1年生 2年生以上	1 0	0 0
						1年生 2年生以上	2 2	1 3	

※1：八千代三田会、名古屋三田会、浜松三田会、新宿三田会、広島慶應倶楽部、讃岐三田会、岐阜県連合三田会、仙台三田会、大阪慶應倶楽部、和歌山三田会、奈良三田会、京都慶應倶楽部、関西婦人三田会、川越三田会、藤沢三田会、神戸慶應倶楽部、杉並三田会、城北三田会、佐倉三田会、横須賀三田会 ※2：2022年度定期採用(高校予約採用・家計急変採用・緊急応急採用を除く)。第一種・第二種の採用者数には併用者数を含む(1年生39名、2年生以上19名)。※3：2023年度開設。

慶應義塾大学教育ローン制度	学費 ローン	提携先金融機関から学費を借り入れる学資ローン。(借入金額は学校納付金の学期ごとの分納金額の範囲内) 申込は直接提携金融機関となります。
---------------	-----------	---

■奨学制度についての問い合わせ先

慶應義塾大学 学生部 福利厚生支援
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 TEL 03-5427-1570

奨学制度に関するウェブサイト



就職・進路





アセタリ
（図書）
再学・海外研修
学生相
保健管理
夕

奨学金

院

慶應義
VAM PRA... SVBDITVS CREATVR

2000

就職・進路

企業からの高い評価、国家試験にも確かな実績

慶應義塾は「最も就職に強い大学」のひとつとして、常に確かな就職実績を残しています。企業は、自分の頭で考えられる人材、自主性とコミュニケーション能力を備えた人材を求めています。本学には、実証的な考え方である「実学」重視の学風、自主性を育む「独立自尊」の気風、OB・OG、教職員や塾生同士の密なコミュニケーションを生み出す「半学半教」の伝統など、社会が求める人材を育む土壌があります。本学の就職実績は、その豊かな土壌を活かした、塾生自身による学問への取り組みや、課外活動の積み重ねに対する企業の評価にほかなりません。その他、各種資格を取得するためのサポート環境も整っており、資格試験合格者数でも毎年好成績を収めています。

就職活動のサポート

■ 就職・進路相談

三田、矢上、湘南藤沢、芝共立の各キャンパス就職・進路支援担当部署が、就職・進路全般に関する相談に応じています。就職・進路支援担当部署のスタッフは、日々、塾生の就職活動や進路選択の状況に接し、また、多くの人事採用担当者との情報交換を行っています。大学生の就職・進路に関する情報が氾濫する中、マンツーマンの個別相談サービスを、毎年多くの塾生が利用しています。

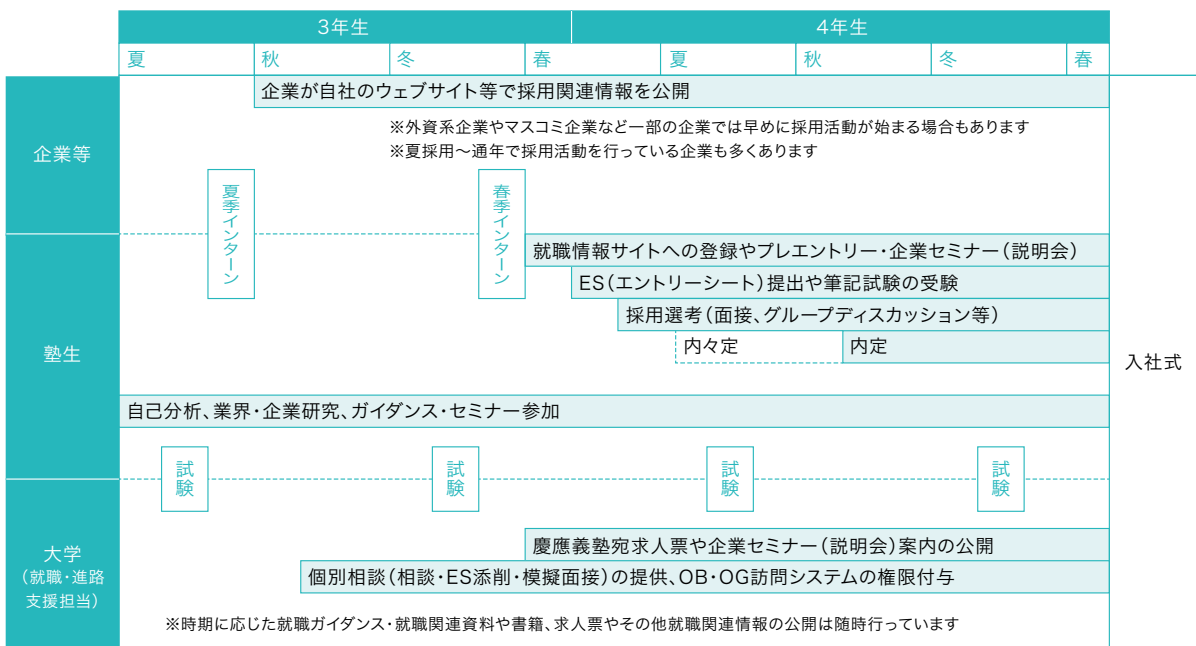
■ 多彩な情報の提供

企業から慶應義塾に届く求人票、企業説明会案内など、多数の情報を閲覧することができます。また、OB・OG訪問のためのコンタクト先を検索・閲覧できるデータベースや、企業内定者による就職活動体験記も、慶應義塾ならではの貴重な情報となっています。

■ 各種ガイダンスの開催

就職活動や進路選択の上で一般的におさえておきたい入門セミナーをはじめ、就職活動の進め方、履歴書・エントリーシートの書き方、面接対策、内定者（4年生）によるパネルディスカッション、外部講師などによる業界研究、公務員志望者向けなど様々なテーマのガイダンスを、各キャンパスの特色を活かしながら、全キャンパスで年間計100回程度開催しています。これらのガイダンスを通して、適切な時期に適切な内容の情報を提供することで、結果として塾生は極めて満足度の高い就職・進路選択を実現しています。

■ 就職活動・就職支援のスケジュール



※上記のスケジュールは、現時点でのおおよその就職活動スケジュールです。
※企業・団体の採用方針に伴い、スケジュールは変更となる場合があります。

各種試験に関わるサポート

■ 公認会計士・税理士

会計研究室

商学部の附置機関である会計研究室は、主として会計のプロフェッショナル(公認会計士・税理士)を目指す塾生ないし目指す可能性がある塾生を対象として、さまざまな啓蒙的イベントを企画・実施しています。公認会計士制度説明会、講演会・シンポジウム、監査法人見学会、税理士法人説明会等のイベントはいずれも、学部・学年を問わず、どなたでも参加することができます。

■ 司法試験・国家公務員

法学研究所



法学部の附属機関である法学研究所は、法律学・政治学の研究・教育機関です。主に法曹および国家公務員を目指す学生に対して、2022年度においては、法曹実務家ゼミ・法曹体験ゼミ・基礎学力フォローアップ講座(夏期集中・春期集中)等の各種プログラムの実施に加えて、自習室・専用ロッカー・専門図書の使用などに関する支援を行いました。なお、2020年度より、法曹志望者を対象として学習到達度確認(答案練習会)を実施しています。プログラムへの参加および施設利用については研修生登録が必要ですが、一部の相談会・ガイダンスは全塾生を対象として実施されます。

■ 国家試験・国家公務員試験合格状況・地方公務員就職状況

公認会計士試験大学別合格者数一覧(2022年度)

順位	大学名	人数
1	慶應義塾大学	187名
2	早稲田大学	109名
3	明治大学	86名
4	東京大学	57名
5	中央大学	54名
5	立命館大学	54名
7	神戸大学	50名
8	京都大学	47名
9	同志社大学	44名
10	一橋大学	38名

※公認会計士三田会調べ
※48年連続1位

司法試験法科大学院等別合格者数一覧(2022年度)

順位	法科大学院名	受験者数	最終合格者数	合格率
1	京都大学	175名	119名	68.00%
2	東京大学	192名	117名	60.94%
3	慶應義塾大学	181名	104名	57.46%
3	早稲田大学	232名	104名	44.83%
5	一橋大学	110名	66名	60.00%
6	神戸大学	111名	54名	48.65%
7	大阪大学	111名	51名	45.95%
8	中央大学	191名	50名	26.18%
9	東北大学	48名	27名	56.25%
10	同志社大学	81名	25名	30.86%

※法務省ウェブサイトより受験者数および最終合格者数を抜粋
※合格率=最終合格者数÷受験者数×100(小数点第3位を四捨五入)

国家公務員(総合職)試験合格者数(2022年度)

院卒者試験	16名
大卒程度試験	55名
合計	71名

※「法務区分」「教養区分」は除く。

地方公務員就職状況(2021年度)

地方公務員(教育・医療除く)	87名
----------------	-----

※大学院博士課程を除く。



就職・進路につながる学びのサポート

■ 教員資格

教職課程センター



教職課程センターは、教員養成に関わる調査・研究のほか、中学校および高等学校の教員免許を取得しようとする学生の教育・指導の役割を担っています。希望する学生は教職課程登録を行い、所属学部単位のほかに、「教育の基礎的理解に関する科目」、「教育実践に関する科目」や「教科及び教科の指導法に関する科目」等を所定の単位数履修・修得することで、中学校および高等学校の教員資格を得ることができます。

※小学校の教員資格は取得できません。また、医学部、看護医療学部、薬学部は教員資格の取得はできません。各学部で取得できる教員免許の種類については、学部インデックス(p.8)をご覧ください。

■ メディア業界を志望する塾生のための副専攻プログラム

メディア・コミュニケーション研究所



ジャーナリズムとメディア・コミュニケーションの研究と教育を目的とした研究所です。毎年11月下旬～12月上旬、学部1、2年に在籍する塾生を対象に入所試験を実施し、選抜された塾生のために、ジャーナリズムとメディア・コミュニケーションに関する基礎科目や、メディア心理学、政治社会学、法学、歴史学などに関するゼミ、業界の最前線で活躍している実務家による新聞・放送・広告・PRなどについての少人数形式の講義や演習を開講しています(研究所在籍生 約200名、入所試験合格者 毎年約60名)。実際のメディア関連の仕事の現状を直接体感できる授業も多く、新聞、放送、通信社、出版、広告などメディア業界で活躍する優秀な人材を輩出し続けています。

卒業後も続くつながり

■ 慶應義塾と同窓会(三田会)

慶應義塾では伝統的に、在学学生を「塾生」、卒業生を「塾員」、そして慶應義塾を構成しているすべての人を「社中」と呼び、人と人とのつながりを大切にしています。その拠りどころが、同窓会組織としての「三田会」です。「三田会」は慶應義塾とは別組織の「(一財)慶應連合三田会」によって包括され、現在885の「三田会」が、卒業年次や地域・職域といった区分で登録されています。卒業後もゼミ、サークルあるいは住んでいる地域等での塾員同士のつながりが継続し、様々な活動を通じて相互の親睦、交流を図りつつ三田会活動を続けています。

■ 塾員招待会

毎年、卒業25年を迎えられた塾員を卒業式と「卒業25年塾員招待会」へ、卒業50年を迎えられた塾員を入学式と「卒業50年塾員招待会」へお招きしています。1953年から続く、慶應義塾の大切な伝統行事です。これらの招待会には、たくさんの塾員が集い、旧交を温めています。

■ 慶應連合三田会大会

「(一財)慶應連合三田会」が毎年秋に開催する、社中を対象とした大規模なホームカミングデーです。講演会やシンポジウム、コンサート、福引抽選会といった多彩なアトラクションが企画され、毎年2万人を超える社中が集います。2022年は日吉キャンパスとオンラインのハイブリッド形式で、河野太郎デジタル大臣による特別講演など多くのイベントを開催しました。これまで会場の日吉キャンパスに集うことが難しかった方々にもオンラインで多数ご参加いただき、社中の結束力を再度確認することができた大会となりました。



就職状況・主な就職先(2021年度)

■高い就職率で、多種多様な業界・企業へ

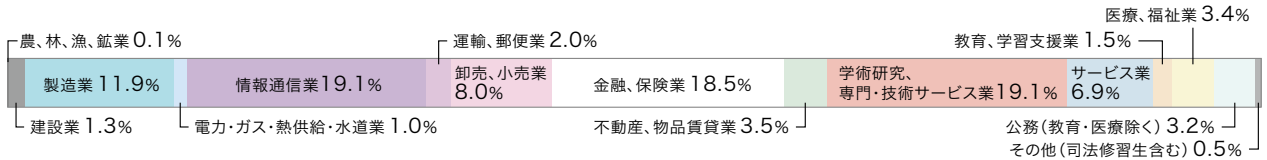
就職状況を見ると、塾生が毎年、世界中の幅広いフィールドへと羽ばたいていることが読み取れます。

文学部・経済学部・法学部・商学部では、就職先の傾向に学部間の大きな違いはありません。一方、理工学部では、研究を深めるために大学院進学を選ぶ塾生が多いことがわかります。塾生は自らの意思で多様な進路を選択しています。

学部合計

就職者数：4,597名 進学者数：1,092名※

※医学部からの就職者1名、進学者2名を含む。



90 慶應義塾	41 野村證券	28 損害保険ジャパン	23 テロイトーマソコンサルティング合同会社	18 丸紅
77 PwCコンサルティング合同会社	三井住友銀行	三井住友海上火災保険	日本生命保険相互会社	東京都
72 楽天グループ	39 有限責任監査法人トーマツ	27 SMBC日興証券	テロイトーマソファイナンシャルアドバイザー合同会社	17 サイバーエージェント
70 アクセンチュア	36 ソフトバンク	26 日本電気	富士通	日本航空
63 三菱UFJ銀行	34 有限責任あずさ監査法人	25 三菱UFJ信託銀行	21 日本政策金融公庫	ソニーグループ
46 東京海上日動火災保険	33 博報堂	24 みずほ証券	PwCあらた有限責任監査法人	16 日立製作所
45 みずほ銀行	EYストラテジー・アンド・コンサルティング	三菱商事	りそなホールディングス	EY新日本有限責任監査法人
ペイカレント・コンサルティング	野村総合研究所	日本アイ・ピー・エム	20 住友商事	14 東日本電信電話
44 大和証券	32 アビームコンサルティング	NTTドコモ	19 日本放送協会	日本タタ・コンサルタンシー・サービス
エヌ・ティ・ティ・データ	30 キーエンス	三井物産	明治安田生命保険相互会社	日本政策投資銀行
三井住友信託銀行	28 リクルート	23 電通	伊藤忠商事	

文学部

就職者数：634名 進学者数：66名

12 楽天グループ	5 りそなホールディングス	4 富士通	3 日本年金機構	3 フォーラムエイト
11 東京海上日動火災保険	三井住友銀行	NTTドコモ	三菱UFJ信託銀行	野村総合研究所
10 エヌ・ティ・ティ・データ	三井住友海上火災保険	ジェーシービー	ニトリ	SMBC日興証券
アクセンチュア	明治安田生命保険相互会社	日本アイ・ピー・エム	日本たばこ産業	サイバーエージェント
8 日本放送協会	4 東京都	セブテーニ	ソフトバンク	野村證券
7 三菱UFJ銀行	横浜銀行	日本電気	アンダーソン・毛利・友常法律事務所	
6 大和証券	防衛省	第一生命ホールディングス	PwCコンサルティング合同会社	

経済学部

就職者数：1,018名 進学者数：52名

21 PwCコンサルティング合同会社	12 有限責任監査法人トーマツ	8 SMBC日興証券	7 ソフトバンク	5 日本電気
20 アクセンチュア	10 三井物産	住友商事	日本生命保険相互会社	アマゾンジャパン合同会社
18 三菱UFJ銀行	9 PwCあらた有限責任監査法人	りそなホールディングス	伊藤忠商事	日本銀行
15 ペイカレント・コンサルティング	テロイトーマソコンサルティング合同会社	7 サイバーエージェント	6 電通	EY新日本有限責任監査法人
みずほ銀行	博報堂	シンプレクス	キーエンス	みずほリサーチ&テクノロジーズ
14 有限責任あずさ監査法人	三井住友信託銀行	損害保険ジャパン	NTTドコモ	三菱UFJリサーチ&コンサルティング
テロイトーマソファイナンシャルアドバイザー合同会社	エヌ・ティ・ティ・データ	リクルート	三井住友海上火災保険	P&Gジャパン合同会社
野村證券	アビームコンサルティング	日本アイ・ピー・エム	三井住友銀行	三菱UFJ信託銀行
13 楽天グループ	東京海上日動火災保険	ソニーグループ	野村総合研究所	KDDI
EYストラテジー・アンド・コンサルティング	8 みずほ証券	東日本電信電話	日本政策金融公庫	
12 大和証券	三菱商事	富士通	5 日本政策投資銀行	他、4名就職した企業6社

法学部

就職者数：1,012名 進学者数：149名

19 PwCコンサルティング合同会社	10 エヌ・ティ・ティ・データ	8 伊藤忠商事	6 日本政策投資銀行	5 NTTドコモ
17 アクセンチュア	日本航空	7 アビームコンサルティング	PwCあらた有限責任監査法人	読売新聞東京本社
三井住友信託銀行	EYストラテジー・アンド・コンサルティング	住友商事	富士通	共同通信社
16 三菱UFJ銀行	みずほ銀行	みずほ証券	野村総合研究所	博報堂
東京海上日動火災保険	9 損害保険ジャパン	東京都	キーエンス	ゴールドマン・サックス証券
14 楽天グループ	丸紅	有限責任あずさ監査法人	大和証券	横浜市
みずほ銀行	三菱商事	テロイトーマソコンサルティング合同会社	電通	太陽生命保険
13 三菱UFJ信託銀行	三井住友海上火災保険	6 ENEOS	厚生労働省	4 日本銀行
12 三井住友銀行	野村證券	日本政策金融公庫	5 明治安田生命保険相互会社	味の素
有限責任監査法人トーマツ	SMBC日興証券	日本生命保険相互会社	テロイトーマソファイナンシャルアドバイザー合同会社	
11 ソフトバンク	8 日本経済新聞社	KPMGコンサルティング	外務省	他、4名就職した企業7社

商学部

就職者数：857名 進学者数：24名

15 有限責任監査法人トーマツ	8 エヌ・ティ・ティ・データ	6 野村證券	4 サントリーホールディングス	3 アマゾンジャパン合同会社
ペイカレント・コンサルティング	楽天グループ	SMBC日興証券	東日本旅客鉄道	日本取引所グループ
13 有限責任あずさ監査法人	みずほ銀行	PwCあらた有限責任監査法人	NTTドコモ	りそなホールディングス
大和証券	7 博報堂	三井住友海上火災保険	東京瓦斯	セールスフォース・ドットコム
12 PwCコンサルティング合同会社	アクセンチュア	5 日本政策金融公庫	リクルート	日本政策投資銀行
11 野村総合研究所	キーエンス	明治安田生命保険相互会社	凸版印刷	キリンホールディングス
10 三井住友銀行	日本アイ・ピー・エム	ソフトバンク	東京海上日動火災保険	丸紅
三井住友信託銀行	日本電気	三菱商事	第一生命ホールディングス	ファーストリテイリング
三菱UFJ銀行	損害保険ジャパン	電通	かんばら生命保険	双日
9 EY新日本有限責任監査法人	日本生命保険相互会社	EYストラテジー・アンド・コンサルティング	埼玉県	
8 アビームコンサルティング	みずほ証券	4 三菱重工業	3 三菱UFJニコス	他、3名就職した企業10社

理工学部(学部卒) 就職者数: 226名 進学者数: 625名

6 エヌ・ティ・ティ・データ PwCコンサルティング合同会社 三菱UFJ銀行	3 エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア リクルート オープンハウス 日本電気	国土交通省 東京海上日動火災保険 三井住友信託銀行 テロイト・マツコンサルティング合同会社 富士フィルムビジネスイノベーション 日本生命保険相互会社 セールスフォース・ドットコム 日本総合研究所 損害保険ジャパン 村田製作所 三井住友銀行 ソニーグループ	パナソニックホールディングス 三菱UFJ信託銀行 三井住友海上火災保険 みずほ銀行 三井不動産 EYストラテジー・アンド・コンサルティング フューチャー テロイト・マツコンサルティング合同会社 ペイカレント・コンサルティング NECソリューションイノベータ 日本航空 アルファシステムズ	博報堂 三菱重工業 日本放送協会 東日本電信電話 防衛省 丸紅 日鉄ソリューションズ ソフトバンク シンプレクス GA technologies
--	---	--	--	---

〈参考〉理工学研究科(修士課程修了) 就職者数: 543名 進学者数: 45名

20 ソニーグループ 15 野村総合研究所 13 日立製作所 11 アクセンチュア NTTDコモ エヌ・ティ・ティ・データ 9 富士通 パナソニックホールディングス 8 ソフトバンク	8 日本アイ・ピー・エム 三菱重工業 7 東海旅客鉄道 6 富士フィルム 富士フィルムビジネスイノベーション 本田技研工業 Zホールディングス 村田製作所 5 キヤノン	5 京セラ 日鉄ソリューションズ 日本電信電話 4 日本電気 東京瓦斯 日産自動車 AGC アマゾンウェブサービスジャパン ニコン	4 アビームコンサルティング 三菱UFJ銀行 PwCコンサルティング合同会社 大日本印刷 3 リコー 日本製鉄 三菱瓦斯化学 ヤマハ オリンパス	3 IHI 東日本電信電話 特許庁 日揮ホールディングス 王子ホールディングス キオクシア 住友化学
---	--	---	--	--

総合政策学部 就職者数: 343名 進学者数: 43名

18 楽天グループ 8 PwCコンサルティング合同会社 5 キーエンス 三菱UFJ銀行 リクルート 4 ソフトバンク 博報堂 日本タタ・コンサルタンシー・サービス キリンホールディングス 野村證券 3 清水建設	3 三井住友銀行 日本電気 みずほ銀行 三井住友信託銀行 三井不動産 アクセンチュア 日立製作所 ●過去3年で3名以上の就職先 住友商事 三井物産	日本アイ・ピー・エム LIFULL 全日本空輸 富士通 P&Gジャパン合同会社 トヨタ自動車 三菱地所 東京海上日動火災保険 フューチャーアーキテクト 日本経済新聞社 日本テレビ放送網	アマゾンジャパン合同会社 日本生命保険相互会社 ニトリ 三菱電機 ENEOS 日本たばこ産業 セールスフォース・ドットコム ティー・エヌ・イー サイバーエージェント 三菱商事 ソニーグループ	電通 有限責任監査法人トーマツ オープンハウス 旭化成 三菱UFJ信託銀行 日本航空 LINE 三菱重工業 国際協力機構 三菱商事 他、過去3年で3名以上の就職先22社
---	--	--	---	--

環境情報学部 就職者数: 268名 進学者数: 74名

8 アクセンチュア 7 PwCコンサルティング合同会社 6 ソフトバンク 5 楽天グループ 博報堂 4 サイバーエージェント ペイカレント・コンサルティング 3 みずほ銀行 リクルート トヨタ自動車 大和証券	3 東京海上日動火災保険 三井住友銀行 ソニーグループ ●過去3年で3名以上の就職先 日本アイ・ピー・エム 清水建設 全日本空輸 コーエーテクモゲームス 富士通 フューチャーアーキテクト	日本タタ・コンサルタンシー・サービス 日本テレビ放送網 日本生命保険相互会社 三菱電機 野村総合研究所 プロティビティ合同会社 Zホールディングス 損害保険ジャパン キーエンス 三菱商事 三菱UFJ銀行	キリンホールディングス りそなホールディングス 星野リゾート 三井住友海上火災保険 野村證券 アマゾンウェブサービスジャパン エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ テロイト・マツコンサルティング合同会社 SMBC日興証券 日本航空 コロプラ	伊藤忠商事 アビームコンサルティング 日本政策金融公庫 グリー 日本放送協会 東日本電信電話 ススキ 丸紅 エヌ・ティ・ティ・データ 野村不動産 ファーストリテイリング
--	--	---	---	--

看護医療学部 就職者数: 99名 進学者数: 4名

77 慶應義塾 4 東京大学	●過去3年で3名以上の就職先 国家公務員共済組合連合会	徳洲会 東京医科歯科大学	国立成育医療研究センター 東京都
-------------------	--------------------------------	-----------------	---------------------

薬学部 就職者数: 139名 進学者数: 53名

12 ウエルシア薬局 7 慶應義塾 スギ薬局 5 マツモトキヨシ 4 IQVIAサービシズジャパン 日本調剤 医薬品医療機器総合機構 クリエイトエス・ディー	3 佐藤製薬 アインファーマシーズ アステラス製薬 中外製薬 ●過去3年で3名以上の就職先 大鵬薬品工業 第一三共	イーピーエス ツルハ アインホールディングス トモズ MSD アサヒグループ食品 Meiji Seikaファルマ エイツヘルスケア	バクセル・インターナショナル シミック 大日本住友製薬 大正製薬 エーザイ 国立がん研究センター 日本赤十字社 協和キリン	新日本科学PPD 小野薬品工業 東京都 アイセイ薬局 アストラゼネカ 塩野義製薬
---	---	--	--	---

※2022年5月1日現在の原則として本人からの届出に基づく。
 ※2021年9月卒業・修了者を含む。
 ※就職者は復職者を含む。
 ※就職者は進学就職者(進学者と就職者のどちらにも当てはまる者)を含む。
 ※グラフ中の%の数値は、小数第2位を四捨五入した値のため、合計は必ずしも100.0%にはならない。
 ※1学年の人数が少ない一部の学部は、参考として3年間で就職者が3名以上の就職先の一部を記載する。

最新の就職・進路データ





大学院

広く社会に貢献する、先端的な研究活動を展開

大学院ではそれぞれ独自に目的を定め、「知の最先端機関」としての取り組みを展開しています。成績優秀な学部生への各種推薦入試や、年2回の入試を実施する研究科、2つの修士を取得できるダブルディグリー制度を設けている研究科もあります。また、いくつかの研究科には、学部3年修了後に修士課程に進学できる飛び級入学制度や、4年間で学部卒業・修士修了が可能なプログラムも用意されています。

文学研究科

Graduate School of Letters

キャンパス 三田キャンパス

入学定員 135名(修士課程)
45名(後期博士課程)

専攻 哲学・倫理学 / 美学美術史学 / 史学 / 国文学 / 中国文学 / 英米文学 / 独文学 / 仏文学 / 図書館・情報学



伝統を受け継ぎつつも 新しい試みに取り組む

永い歴史と伝統を誇り、数多くの研究者や文人を育て、人文科学の研究に貢献してきました。文学だけでなく、哲学や歴史にもおよぶ多様な広範な伝統的領域に加え、美学美術史学のアート・マネジメント分野、図書館・情報学の情報資源管理分野のような現代社会のニーズに応える新しい人文科学の研究体制を整えたほか、修士課程においては本学経済学研究科、商学研究科とのデュアルディグリー制度、他大学との単位互換制度を整備し、後期博士課程においては各専攻で学位の取得促進を行うなど、伝統を踏まえつつ新しい試みに取り組んでいます。

経済学研究科

Graduate School of Economics

キャンパス 三田キャンパス

入学定員 70名(修士課程)
15名(後期博士課程)

専攻 経済学



経済学部 tradition を受け継いで 優れた研究を行い、有為の人材を輩出

明治期以来、義塾の理財科、旧制経済学部・経済学研究科は、我が国の経済学の発展に重要な役割を果たしてきました。その伝統を受け継ぎ、理論経済学、計量経済学、経済史・学説思想史、財政・金融、社会経済政策など、経済学のほとんどすべての分野にわたって、日本を代表する優れた研究を行い、有為の人材を輩出しています。他大学との単位互換制度や、デュアルディグリー制度、ブランダイス大学とのダブルディグリー・プログラム、CEMS MIMプログラムを導入するなど教育体制の一層の充実を図っています。

法学研究科

Graduate School of Law

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	150名(修士課程) 30名(後期博士課程)
専攻	民法法学/公法学/政治学



法学・政治学の知見から社会を見据え、 社会を構想する高度な研究・実務能力を養成

法学研究科は、日本の法律学・政治学をリードする研究拠点の1つとして、学界や実社会に多彩かつ有用な人材を多く送り出してきました。各人の専門分野の研究を深め、周辺学問領域まで視野を広げるための多彩な教育プログラムが用意されています。専門職としての高度な能力を涵養する宇宙法専修、公共政策専修、ジャーナリズムの各専修コースも設置されています。また、法学に加え、経済学・商学の修士学位を取得できるデュアルディグリー制度など、他研究科設置の科目を履修して知見を広げるしくみも整えられています。

社会学研究科

Graduate School of Human Relations

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	40名(修士課程) 11名(後期博士課程)
専攻	社会学/心理学/教育学



多彩な研究領域をカバーし、 修了者は国内外の幅広い分野に進出

広く人間と社会に関わる学問領域を研究対象とする本研究科は、特定の学部を母体としない独立大学院です。講義・演習や論文指導にあたる教授陣は、塾内のさまざまな学部・研究機関に所属する教員で構成されています。非常に多岐にわたる専門分野を抱え、社会学・心理学・教育学という3つの専攻領域を総合的に連携させながら「専攻横断的」な教育・研究が行われています。学生の出身も塾内外を問わず多様な広がりを見せています。他研究科との共同研究も盛んに行われており、他大学との単位互換制度や他大学院生との交流も実施されています。

商学研究科

Graduate School of Business and Commerce

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	80名(修士課程) 20名(後期博士課程)
専攻	商学



「実学の精神」を継承し、 現代社会の進歩と変革への方向を洞察

理論と実証を通じてグローバル化した現代社会を把握し、その進歩と変革への方向を洞察していくという基本理念に基づき、理論を重視するとともに演習科目を充実させ、理論を現実問題に適用して解決策を導く訓練をします。修士課程では研究教育者とともに、企業経営や社会システムのリーダーとなるスペシャリストを育成。CEMSとのダブルディグリー・プログラムや、英語による授業も実施しています。後期博士課程では、広い視野と専門的知識の両立をめざし、グローバルに活躍できる人材の育成に力を注ぎます。

医学研究科

Graduate School of Medicine

キャンパス	信濃町キャンパス
入学定員	20名(修士課程) 80名(博士課程)
専攻	医科学(修士課程) / 医学研究系(博士課程) / 医療科学系(博士課程)



豊かな人間性と学識を持つ 医学研究者および教育者の育成をめざす

世界をリードする優れた研究チームの一員として充実した設備を活用しながら、豊かな人間性と学識を持つ優れた医学研究者および教育者の育成をめざしています。博士課程では独創的な医学研究を行える人材育成をめざす「医学研究系専攻」と、多様なニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プランに代表される臨床研究のプロ育成をめざす「医療科学系専攻」の2専攻を設置しています。修士課程は、高齢化社会を迎え身近な問題として医療や福祉、知財に対する人々の関心が高まるなか、医師以外の方にも門戸を開き医学・生命科学・医療および関連した領域に関わる専門家を育成することを目標としています。

理工学研究科

Graduate School of Science and Technology

キャンパス	矢上キャンパス
入学定員	600名(修士課程) 150名(後期博士課程)
専攻	基礎理工学 / 総合デザイン工学 / 開放環境科学



分野横断型の3専攻制で 先端科学の広範な分野をカバー

基礎理工学、総合デザイン工学、開放環境科学から成る3専攻体制は柔軟な組織構造となっており、自由に研究分野を横断できるトランスディシプリナリな教育を提供しています。各専攻内に設けられた教員の教育・研究ユニット「専修」も定期的に改編されます。すべての講義を英語で行う「先端科学技術国際コース」やダブルディグリー・プログラムを導入し、国際的な雰囲気の中で教育研究が行われています。このような環境を通して、学生のフロンティア精神を育み、特に修士課程では秘めた創造的能力を最大限に引き出し、また後期博士課程では科学技術の最先端を切り拓き先導する人材の育成をめざします。

政策・メディア研究科

Graduate School of Media and Governance

キャンパス	湘南藤沢キャンパス
入学定員	200名(修士課程) 50名(後期博士課程)
専攻	政策・メディア



「実験する精神」で 複雑な問題に立ち向かう

本研究科の使命は、複合的・学際的なアプローチをととして、先端的なテクノロジーを前提とした、人間や社会のありようについて探究し、提案していくことです。着想・研究・試行・実装・評価にいたるまでの一連の過程を熟知し、成果を私たちの生活の現場へと行き届かせる研究者、教育者、実践家の養成を目指しています。研究領域は、政策・ガバナンス・社会イノベーション・環境・ICT・デザイン・身体スキル・生命科学など多岐にわたり、テーマに応じて柔軟に研究プランを立てることのできるカリキュラムが構成されています。フィールドワーク、インターシップや海外大学院とのダブルディグリー制度などを通じ、国際的に開かれた大学院として、進化を続けています。

健康マネジメント研究科

Graduate School of Health Management

キャンパス	湘南藤沢キャンパス
入学定員	40名(修士課程) 10名(後期博士課程)
専攻	看護学 / 公衆衛生・スポーツ健康科学



あらゆる人々に健康をもたらし、 医療・ケアの質の向上を先導する

本研究科は、あらゆる人々に健康をもたらすため、看護・保健・医療・福祉・公衆衛生に関わる幅広い領域で先導的な教育・研究を展開しています。看護学専攻は、看護ケアの新しいあり方を開発・構築し、深遠な知識、卓越した技術および柔軟な発想を持って実践できる人材を、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻は、医療マネジメントを含む公衆衛生やスポーツ、健康のあり方を構想し、科学的方法に基づく高度な実践・マネジメントに求められる深い学識および卓越した能力を持った人材を育成します。

薬学研究科

Graduate School of Pharmaceutical Sciences

キャンパス	芝共立キャンパス
入学定員	40名(修士課程) 3名(後期博士課程) 5名(博士課程)
専攻	薬科学(修士課程<2年>・後期博士課程<3年>) 薬学(博士課程<4年>)



創薬研究と臨床に密着した研究で 人類に貢献する

薬科学専攻では、創薬から環境、生命科学など幅広い薬学関連分野での研究教育を通して、人の健康と福祉に貢献できる薬学研究者・教育者を養成します。薬学専攻では、薬学と医療のより臨床に密着した分野での研究教育を通して、高度化している薬物治療や臨床開発に対応できる研究者・教育者および指導的な薬剤師を養成します。両専攻ともに、基礎系・医療系薬学を問わず、あらゆる分野の教員が協同して研究教育を推進しており、塾内の他研究科および塾外の研究機関などとも積極的に共同研究を展開しています。

経営管理研究科

Graduate School of Business Administration

キャンパス	日吉キャンパス
入学定員	140名(修士課程) 8名(後期博士課程)
専攻	経営管理



新たな構想を作り実現する リーダーを育成する

修士課程MBAプログラムでは、将来の企業経営を担う総合的なマネジメント能力を備えた革新的リーダーの養成を目指しています。学生の多くは学部卒業後5～7年の実務経験を持ち、修了後は経営管理や企業戦略に関わる第一線で活躍しています。職務経験15年相当以上の中核ミドル層を対象とした修士課程EMBAプログラムでは、職務を全うしながら社会の発展に貢献するビジネスを設計・構想し、実現することができるリーダーを育成していきます。後期博士課程では、経営管理教育機関での研究・教育を担う専門学識者や、高度専門研究者の養成を目指しています。

システムデザイン・マネジメント研究科

Graduate School of System Design and Management

キャンパス	日吉キャンパス
入学定員	77名(修士課程) 11名(後期博士課程)
専攻	システムデザイン・マネジメント



次世代の技術・社会を 創造的にデザインする

科学技術領域、社会領域、人間領域を問わず、広く「システム」という共通の視座から大規模・複雑化する諸問題の解決に取り組む文理融合の大学院です。システムの全体と部分の関係を的確に分析し、解決策を創造的にデザインして、着実にマネジメントする全体統合型の学問＝SDM(システムデザイン・マネジメント)学を学ぶ当研究科では、新分野に積極的に挑む新卒学生と、あらゆる職業・あらゆる専門性を持った社会人学生が、さまざまな問題の解決を通して新たに世界をリ・デザインするための実践的な方法をともに学び、世界随一の教育・研究に取り組んでいます。

メディアデザイン研究科

Graduate School of Media Design

キャンパス	日吉キャンパス
入学定員	80名(修士課程) 10名(後期博士課程)
専攻	メディアデザイン



近未来を創造するための 創造リーダー「メディア・イノベータ」を育成する

メディアデザイン研究科(KMD)は、イノベーションを生み出し社会に向けて価値を創出する「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。ゼロ(アイデア)からイノベーションを創造し、社会的インパクトを生み出すまでの一連の展開を実践する「リアルプロジェクト」が、KMDの活動の中心です。学術的な貢献を超え、新しい製品やサービスなどのビジネス展開や標準化、制度改正の提言など、グローバルな創造社会へのインパクトを目標としています。国際社会の一員として先端的な活動を行うため、英語と日本語を公用語とし、ネットワークインフラを最大限に活かした環境整備を行っています。

法務研究科

Law School

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	220名(法曹養成) (専門職学位課程) 30名(グローバル法務)(専門職学位課程)
専攻	法曹養成 / グローバル法務



21世紀を先導する 法曹を養成

法曹養成専攻は、国際性・学際性・先端性という3つの理念に基づき、法曹の養成を行う専門職大学院です。法律基本科目、法律実務基礎科目のほか、企業・金融・渉外・知財法務など多彩な選択科目が用意され、法曹を目指す者としてさらに専門性を高めることができます。グローバル法務専攻は、英語を使用言語として、原則1年間で学位を取得することができる専門職大学院です。カリキュラムは、9つの科目群からなり、日本や諸外国の法制度について習得し、英語で発信する能力を身につけつつ、最先端のグローバル・ビジネス法務や国際紛争解決法務を学び、かつドラフティング・交渉・仲裁・模擬裁判などの実務トレーニングを受講します。

入学試験案内





2024年度 入学試験制度・募集人員一覧

学部	学科・学門	一般選抜 p.139		総合型選抜			学校推薦型 選抜	その他の選抜方法				
				自主応募制 による推薦 入学者選考 p.148	FIT入試 p.150	AO入試 p.152~157	指定校 による 推薦入試 p.159	帰国生 入試 p.158	国際 バカロレア (IB) 入試 p.158	外国人 留学生 入試 p.158	PEARL 入試 p.159	
文学部	人文社会学科	580名		120名	—	—	—	若干名	—	若干名	—	
経済学部	経済学科	A方式	420名	630名	—	—	—	—	20名	—	20名	100名 程度
		B方式	210名									
法学部	法律学科	230名		460名	—	最大80名	—	160名	20名※	20名	—	
	政治学科	230名				最大80名						
商学部	商学科	A方式	480名	600名	—	—	—	200名	若干名	—	若干名	—
		B方式	120名									
医学部	医学科	66名		—	—	—	—	若干名	—	若干名	—	
理工学部	学門A(物理・電気・機械分野)	130名		650名	—	—	若干名	195名	若干名	—	若干名	—
	物理学科 物理情報工学科 電気情報工学科 機械工学科											
	学門B(電気・情報分野)	110名										
	電気情報工学科 情報工学科 物理情報工学科 システムデザイン工学科											
	学門C(情報・数学・アータサイエンス分野)	140名										
	情報工学科 数理工学科 管理工学科 生命情報学科											
学門D(機械・システム分野)	140名											
機械工学科 システムデザイン工学科 管理工学科												
学門E(化学・生命分野)	130名											
化学科 応用化学科 生命情報学科												
総合政策学部	総合政策学科	225名		—	—	150名	—	若干名	—	若干名	—	
環境情報学部	環境情報学科	225名		—	—	150名	—	若干名	—	若干名	—	
看護医療学部	看護学科	70名		—	—	若干名	—	若干名	—	若干名	—	
薬学部	薬学科(6年制)	100名	150名	—	—	—	30名	若干名	—	若干名	—	
	薬科学科(4年制)	50名					—					

〈その他〉塾内進学 1401名(全学部合計) p.159
 ※帰国生入試と国際バカロレア(IB)入試との合計

一般選抜(全学部)

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

2024年度 一般選抜 試験日程

学 部	第1次試験日	第1次合格発表日	第2次試験日	合格発表日	入学手続期間	
					入学金等振込期限	入学手続書類提出締切日
文学部	2月15日(木)			2月24日(土)	3月4日(月)	3月13日(水) (締切日消印有効)
経済学部 A方式 B方式	2月13日(火)			2月26日(月)	3月4日(月)	
法学部 法律学科 政治学科	2月16日(金)			2月21日(水)	3月1日(金)	
商学部 A方式 B方式	2月14日(水)			2月24日(土)	3月4日(月)	
医学部	2月19日(月)	2月26日(月)	3月1日(金)	3月5日(火)	3月12日(火)	
理工学部	2月12日(月・振休)			2月24日(土)	3月4日(月)	
総合政策学部	2月17日(土)			2月26日(月)	3月4日(月)	
環境情報学部	2月18日(日)			2月26日(月)	3月4日(月)	
看護医療学部	2月11日(日・祝)	2月17日(土)	2月20日(火)	2月26日(月)	3月4日(月)	
薬学部 薬学科 薬科学科	2月10日(土)			2月21日(水)	3月1日(金)	

2024年度 一般選抜 出願期間

次の①および②を行うことにより出願は完了します。
一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。

- ①「出願登録(インターネット)」および「入学検定料の支払」
期間 2023年12月25日(月) 10:00～2024年1月19日(金) 17:00
- ②「出願書類の郵送」
期間 2024年1月4日(木)～1月19日(金)※締切日消印有効

2024年度 一般選抜要項

2023年11月上旬に
ウェブサイトで公開予定

※冊子での販売や配布は
行いません。



2024年度 一般選抜 試験教科・科目

学部・学科・方式		第1次試験	第2次試験
文学部		「外国語」…………… 英語(コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)、ドイツ語、フランス語、中国語のうち1科目選択 「地理歴史」…………… 世界史B、日本史Bのうち1科目選択 「小論文」…………… 資料を与えて、理解と表現の能力を総合的に問う。	行わない
経済学部	A方式	「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Ⅱの「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととする。 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。 上記範囲とその応用を出題する。 「小論文」…………… 高校生にふさわしい知識、理解力、分析力、構想力、表現力を問う。 高等学校の特定の教科とは直接には関わらない。	行わない
	B方式	「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 「地理歴史」…………… 世界史B、日本史Bのうち1科目選択 世界史Bの出題範囲は1500年以降を中心とし、日本史Bの出題範囲は1600年以降を中心とする。2科目とも基礎的理解並びに体系的理解を問う。 「小論文」…………… 高校生にふさわしい知識、理解力、分析力、構想力、表現力を問う。 高等学校の特定の教科とは直接には関わらない。	行わない
法学部 法律学科 政治学科		「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 「地理歴史」…………… 世界史B、日本史Bのうち1科目選択 「論述力」…………… 資料を与えて、理解、構成、発想、表現の能力を問う。	行わない
商学部	A方式	「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 「地理歴史」…………… 世界史B、日本史B、地理Bのうち1科目選択 「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。	行わない
	B方式	「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 「地理歴史」…………… 世界史B、日本史B、地理Bのうち1科目選択 「論文テスト」…………… 資料を与えて、論理的な理解力と表現力を問う。	行わない
医学部		「理科」…………… 物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学)、生物(生物基礎・生物)のうち2科目選択 「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。 「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	小論文 面接
理工学部		「理科」…………… 物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学) 「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。 「外国語」…………… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	行わない

学部・学科・方式	第1次試験	第2次試験
総合政策学部	<p>「数学または情報」あるいは「外国語」あるいは「数学および外国語」…… 「数学または情報」あるいは「外国語」あるいは「数学および外国語」の3つの中から1つを選択（いずれも同一試験時間内実施）</p> <p>数学— 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「確率分布と統計的な推測」・「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。</p> <p>情報— 社会と情報・情報の科学 外国語— (a)コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (b)コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・ドイツ語 (c)コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・フランス語 の(a)、(b)、(c)のうち、いずれか1つを選択する。</p> <p>「小論文」…… 発想、論理的構成、表現などの総合的能力を問う。</p> <p>注：①「数学または情報」と「小論文」、②「外国語」と「小論文」、③「数学および外国語」と「小論文」の3とおりの中から1つを選択する。 注：「数学または情報」については、試験当日に試験教室でどちらかを選択する。 注：外国語の(a)、(b)、(c)については、試験当日に試験教室でいずれか1つを選択する。</p>	行わない
環境情報学部	<p>「数学または情報」あるいは「外国語」あるいは「数学および外国語」…… 「数学または情報」あるいは「外国語」あるいは「数学および外国語」の3つの中から1つを選択（いずれも同一試験時間内実施）</p> <p>数学— 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「確率分布と統計的な推測」・「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。</p> <p>情報— 社会と情報・情報の科学 外国語— (a)コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (b)コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・ドイツ語 (c)コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・フランス語 の(a)、(b)、(c)のうち、いずれか1つを選択する。</p> <p>「小論文」…… 発想、論理的構成、表現などの総合的能力を問う。</p> <p>注：①「数学または情報」と「小論文」、②「外国語」と「小論文」、③「数学および外国語」と「小論文」の3とおりの中から1つを選択する。 注：「数学または情報」については、試験当日に試験教室でどちらかを選択する。 注：外国語の(a)、(b)、(c)については、試験当日に試験教室でいずれか1つを選択する。</p>	行わない
看護医療学部	<p>「外国語」…… コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ</p> <p>「数学」あるいは「化学」あるいは「生物」…… 「数学」あるいは「化学」あるいは「生物」の3つの中から1つを選択（いずれも同一試験時間内実施）</p> <p>数学— 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。</p> <p>化学— 化学基礎・化学 生物— 生物基礎・生物</p> <p>「小論文」…… 知識、理解力、分析力、構想力、表現力を問う。</p> <p>注：①「外国語」と「数学」と「小論文」、②「外国語」と「化学」と「小論文」、③「外国語」と「生物」と「小論文」の3とおりの中から1つを選択する。 注：「小論文」は第1次試験の選考では使用せず、第2次試験の選考に使用する。</p>	面接
薬学部 薬学科 薬科学科	<p>「理科」…… 化学(化学基礎・化学)</p> <p>「外国語」…… コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ</p> <p>「数学」…… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Aからは「場合の数と確率」・「整数の性質」・「図形の性質」を出題範囲とする。 数学Bからは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とする。</p>	行わない

2023年度 一般選抜 得点状況

文学部

試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
外国語(英語)	150	350	66.61	205
地理歴史(日本史)	100		38.67	
地理歴史(世界史)	100		59.65	
小論文	100		52.83	

【注1】「外国語(英語)」には、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」は含まれていません。【注2】「地理歴史(日本史・世界史)」については、難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。上記「地理歴史」の数値は補正前のものです。【注3】「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。
※2024年度の配点については変更ありません。

経済学部

	試験科目	配点	計	平均点	合格最低点
A方式	英語	200(90)	420 (160)	257.3 [1次選考平均点] 92.5	248 [1次選考最低点] 99
	数学	150(70)			
	小論文	70			
B方式	英語	200(90)	420 (90)	255.3 [1次選考平均点] 49.7	266 [1次選考最低点] 51
	地理歴史	150			
	小論文	70			

【注1】カッコ内の配点は1次選考分です。【注2】「地理歴史」の科目間の難易度の違いを考慮した結果、統計的処理による得点の補正を行いました。上記「地理歴史(日本史・世界史)」の平均点は補正前のものです。【注3】最終選考では、1次選考で「選抜最低点」に達した受験生のみを対象とし、1次分も含んだ総点をもとに選考しました。なお、最終選考の「合格最低点」は正規合格者の最低総合点のことです。
※2024年度の配点については変更ありません。

法学部

	試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
法律学科	外国語(英語)	200	400	111.40	247
	地理歴史(日本史)	100		44.27	
	地理歴史(世界史)	100		53.36	
	論述力	100		51.36	
政治学科	外国語(英語)	200	400	115.99	252
	地理歴史(日本史)	100		47.13	
	地理歴史(世界史)	100		56.95	
	論述力	100		49.23	

【注1】「地理歴史(日本史・世界史)」の科目間の難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。上記「地理歴史(日本史・世界史)」の平均点は補正前のものです。【注2】「論述力」は「外国語」および「地理歴史(日本史・世界史)」の合計点、および「地理歴史(日本史・世界史)」の得点、いずれもが一定の得点に達した受験生について採点し、3科目の合計点で可否を決定しました。【注3】「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。
※2024年度の配点については変更ありません。

商学部

試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
英語	200	400	110.21	A方式 237 B方式 278
地理歴史	100		59.55	
数学	100		43.23	
論文テスト	100		57.80	

【注1】各試験科目の「受験者平均点」は、A方式およびB方式受験者全体のものです。【注2】「地理歴史」の科目間の難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。上記「地理歴史」の平均点は補正前のものです。【注3】「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。
※2024年度の配点については変更ありません。

医学部

試験科目	配点	計	合格最低点
英語	150	500	315 (第1次試験)
数学	150		
物理	100		
化学	100		
生物	100		

【注】「理科(物理・化学・生物)」の科目間の難易度の違いを考慮した結果、統計的処理による得点の補正を行いました。
※2024年度の配点については変更ありません。

理工学部

試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
英語	150	500	249.21	290
数学	150			
物理	100			
化学	100			
生物	100			

【注】「合格最低点」は、各学門における正規合格者の最低総合得点を各学門の合格者数で重み付けて平均した値です。
※2024年度の配点については変更ありません。

総合政策学部

選択	試験科目	配点	合格最低点
数学	数学	200	258
	小論文	200	
情報	情報	200	264
	小論文	200	
外国語	外国語	200	257
	小論文	200	
数学および外国語	数学および外国語	200	268
	小論文	200	

【注1】合格最低点は、選択した試験科目によって異なっていますが、これは4種の試験科目の難易度の違いを表すものではありません。【注2】「数学」「情報」「外国語」「数学および外国語」については統計的処理により得点の補正を行いました。【注3】選択した試験科目の得点と「小論文」の採点結果を組み合わせ、最終判定を行いました。
※2024年度の配点については変更ありません。

環境情報学部

選択	試験科目	配点	合格最低点
数学	数学	200	246
	小論文	200	
情報	情報	200	246
	小論文	200	
外国語	外国語	200	246
	小論文	200	
数学および外国語	数学および外国語	200	246
	小論文	200	

【注1】「数学」「情報」「外国語」「数学および外国語」については統計的処理により得点の補正を行いました。【注2】選択した試験科目の得点と「小論文」の採点結果を組み合わせ、最終判定を行いました。
※2024年度の配点については変更ありません。

看護医療学部

試験科目	配点	計	合格最低点
英語	300	500	294 (第1次試験)
数学	200		
化学	200		
生物	200		

【注】選択科目(「数学」・「化学」・「生物」)の科目間の難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。
※第1次試験で小論文を課しますが、第1次試験の選考では使用せず、第2次試験の選考で使用します。
※2024年度の配点については変更ありません。

薬学部

試験科目	配点	計	合格最低点
化学	150	350	薬学科 169 薬科学科 171
数学	100		
外国語	100		

【注】「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。
※2024年度の配点については変更ありません。

上記は2023年度一般選抜におけるものです。
2024年度一般選抜については、2023年11月上旬に公開予定の一般選抜要項を必ずご確認ください。

2023年度 一般選抜 統計総括

学部・学科・方式	募集人員	志願者数	受験者数	第1次合格者	最終合格者	補欠者		入学許可者総数	
						発表者	許可者		
文学部	580	4056	3731	—	1029	288	143	1172	
経済学部	A方式	420	3621	3286	—	865	278	237	1102
	B方式	210	2015	1844	—	380	138	100	480
法学部	法律学科	230	1730	1569	—	334	60	18	352
	政治学科	230	1407	1246	—	292	52	37	329
商学部	A方式	480	4189	3947	—	1484	375	137	1621
	B方式	120	2590	2404	—	344	141	38	382
医学部	66	1412	1219	260	141	92	27	168	
理工学部	650	8107	7627	—	2303	534	149	2452	
総合政策学部	225	2852	2574	—	407	127	34	441	
環境情報学部	225	2586	2319	—	296	66	66	362	
看護医療学部	70	538	500	234	163	45	0	163	
薬学部	薬学科	100	1454	1314	—	306	85	0	306
	薬科学科	50	854	824	—	247	92	48	295
合計	3656	37411	34404	494	8591	2373	1034	9625	

2023年度 一般選抜 学部併願状況

志願者総数	37411
志願者実数	25921
併願率	1.44

併願率 = 志願者総数 ÷ 志願者実数

志願者実数内訳	
単願者	17766
2学部併願者	5753
3学部併願者	1698
4学部併願者	522
5学部以上併願者	182

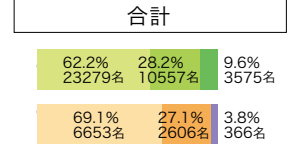
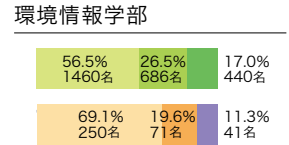
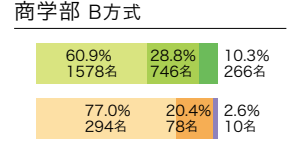
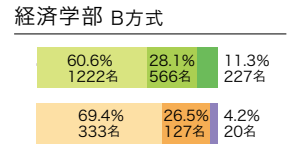
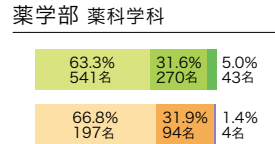
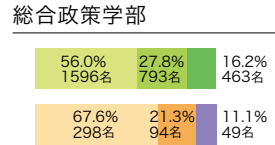
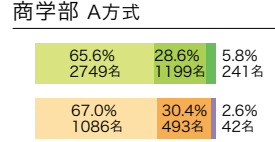
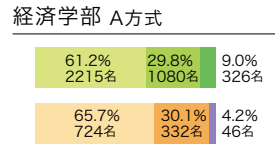
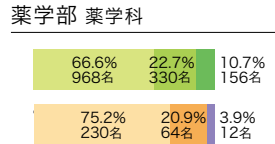
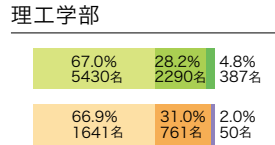
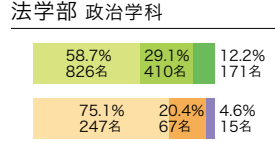
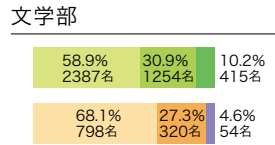
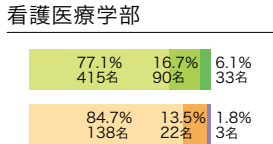
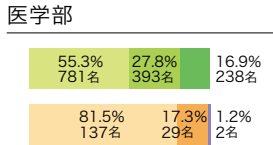
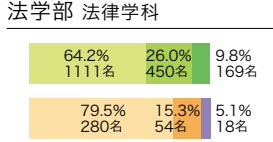
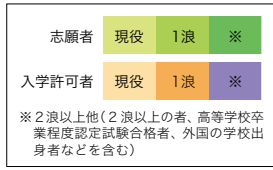
単願者数内訳	
学部・学科・方式	単願者数
文	1883
経済 A	1122
経済 B	248
法・法律	742
法・政治	303
商 A	1997
商 B	823
医	1145
理工	6734
総合政策	349
環境情報	338
看護医療	473
薬・薬	1128
薬・薬科	481

学部間併願状況

文	経 A	経 B	法律	政治	商 A	商 B	医	理工	総合	環境	看護	薬	薬科
86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
708	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
364	114	371	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
605	63	451	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
301	1419	347	206	126	—	—	—	—	—	—	—	—	—
898	7	868	321	487	—	—	—	—	—	—	—	—	—
0	58	0	1	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—
1	558	0	1	0	94	0	169	—	—	—	—	—	—
555	529	315	179	225	243	417	12	97	—	—	—	—	—
430	421	215	103	160	178	305	18	228	1832	—	—	—	—
5	14	1	1	0	6	1	7	1	15	15	—	—	—
1	55	1	0	0	5	1	57	209	18	29	28	—	—
0	66	0	1	0	17	0	13	313	17	28	6	—	—

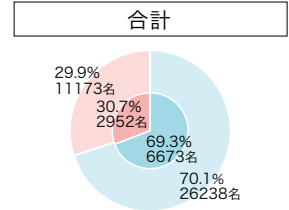
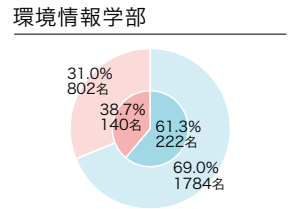
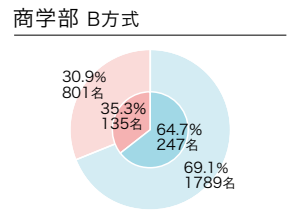
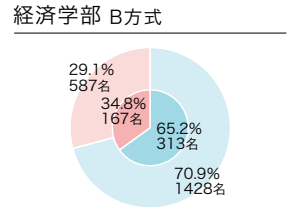
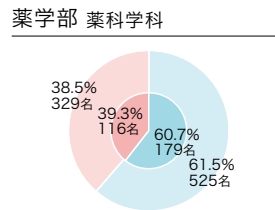
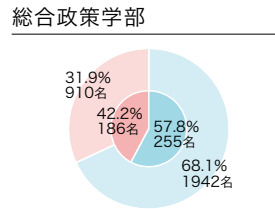
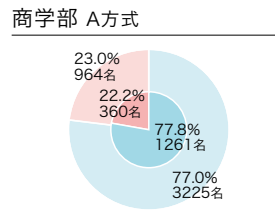
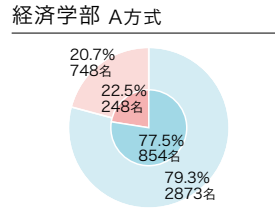
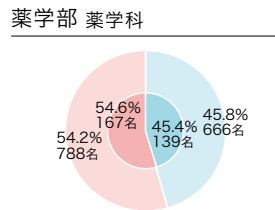
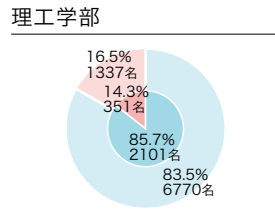
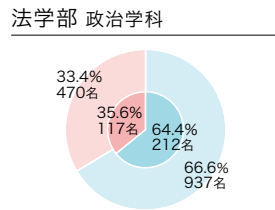
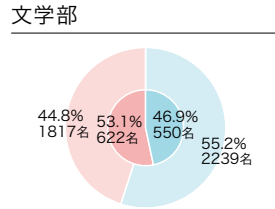
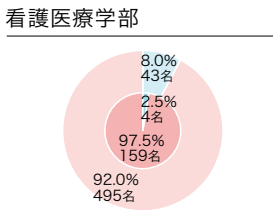
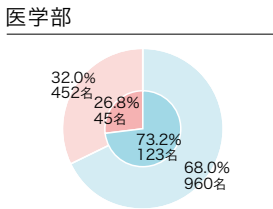
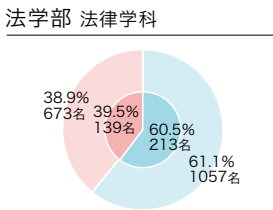
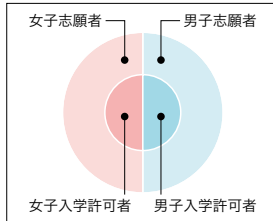
2023年度 一般選抜 現浪別(志願者・入学許可者)

※グラフ中の%の数値は、小数第2位を四捨五入した値のため、合計は必ずしも100.0%にはならない。



2023年度 一般選抜 男女別(志願者・入学許可者)

※グラフ中の%の数値は、小数第2位を四捨五入した値のため、合計は必ずしも100.0%にはならない。

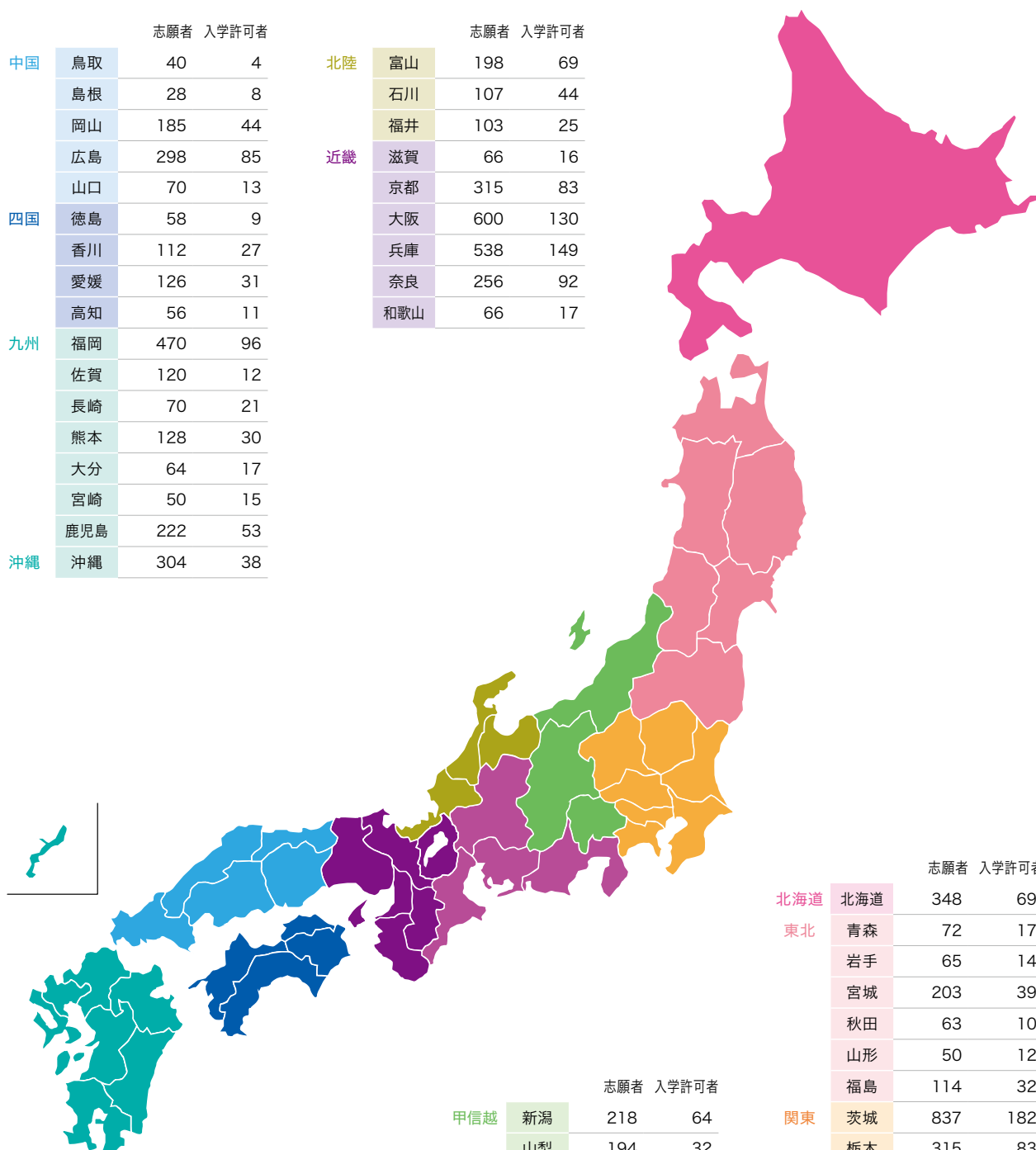


2023年度 一般選抜 都道府県別(志願者・入学許可者)

※「都道府県」は、出身高校の所在地

		志願者	入学許可者
中国	鳥取	40	4
	島根	28	8
	岡山	185	44
	広島	298	85
	山口	70	13
四国	徳島	58	9
	香川	112	27
	愛媛	126	31
	高知	56	11
九州	福岡	470	96
	佐賀	120	12
	長崎	70	21
	熊本	128	30
	大分	64	17
	宮崎	50	15
沖縄	鹿児島	222	53
	沖縄	304	38

		志願者	入学許可者
北陸	富山	198	69
	石川	107	44
	福井	103	25
近畿	滋賀	66	16
	京都	315	83
	大阪	600	130
	兵庫	538	149
	奈良	256	92
	和歌山	66	17



		志願者	入学許可者
北海道	北海道	348	69
東北	青森	72	17
	岩手	65	14
	宮城	203	39
	秋田	63	10
	山形	50	12
関東	福島	114	32
	茨城	837	182
	栃木	315	83
	群馬	406	109
	埼玉	2734	646
	千葉	2769	728
	東京	14591	3926
神奈川	6571	1775	

		志願者	入学許可者
甲信越	新潟	218	64
	山梨	194	32
	長野	295	65
東海	岐阜	168	41
	静岡	560	131
	愛知	1392	375
	三重	168	46

合計* 志願者：37411 / 入学許可者：9625

*その他(高等学校卒業程度認定試験など)の志願者：628 / 入学許可者：90を含む。

一般選抜に関するQ&A

一般選抜に関するよくある質問を掲載しています。

出願資格や手続等の詳細については必ず一般選抜要項をご確認ください。

出願に関する質問

Q 複数の学部へ出願しようと思っています。調査書等は学部ごとに必要ですか？

A 複数の学部へ出願する場合でも、調査書等は1通でかまいません。

Q 卒業してから5年が経過しているため、高等学校で調査書を発行してもらえません。どのような書類を提出すればよいですか？

A 「出願資格を証明する書類」として、以下のものを提出してください。なお、②も発行できない場合は、①のみを提出してください。

- ①高等学校の卒業(修了)証明書
- ②高等学校在学中の成績証明書

Q 出願状況を知りたいのですが、どうすればよいですか？

A 例年、1月中旬頃から、志願者状況を慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページでお知らせします。

Q 大学入学共通テストや民間の英語4技能試験の結果を利用する方式で出願することはできますか？

A 2024年度一般選抜では大学入学共通テストや民間の英語4技能試験の結果を利用して出願することはできません。

入学試験に関する質問

Q 試験会場はどこですか？

A 試験会場は、原則として日吉キャンパスか三田キャンパスのどちらかです。出願の学部・学科・方式・選択科目によって異なります。ご自身の試験会場は、必ず受験票で確認してください。

Q 現役生と既卒者によって入学試験の有利、不利はありますか？

A ありません。選考は全く同一の基準で行われます。

Q 選択受験科目によって有利、不利はありますか？

A ありません。選択受験科目の難易度の違いから生じる不公平については、通常は統計的処理により得点の補正を行うことによって対処しています。

Q マークシートを使用している学部はありますか？

A 2023年度一般選抜では経済学部、法学部、商学部、理工学部、総合政策学部、環境情報学部、薬学部にて一部使用しました。詳しくは一般選抜要項で確認してください。

Q 面接を行っている学部はありますか？

A 2024年度一般選抜で面接を行う学部は、医学部、看護医療学部です。いずれも第2次試験で実施します。

Q 大学で受験時の宿泊先の斡旋は行っていますか？

A 行っていません。ただし、慶應義塾大学生協のウェブサイトに宿泊案内が掲載されます。宿泊が必要な方は各自で手配してください。

日吉キャンパスと三田キャンパスのどちらの試験会場になるか確定できない段階では、最終的にどちらのキャンパスになっても利用可能な宿泊先を手配することが多いようです。

Q 飛行機の予約の関係があるのですが、最終期限終了後、すぐに退室することはできますか？

A 試験時間が終了しても、監督者の指示があるまでは退室できません。また、安全上の理由により、退場に制限をかけるため、試験終了から退場までに30分から60分程度かかる場合があります。さらに、試験会場周辺の公共交通機関に大幅な乱れ、遅れが生じた場合には、全体の試験開始時刻を繰り下げることもありますので、それらも留意の上、十分に余裕をもった計画を立てることをお勧めします。

Q 入試当日試験会場内に荷物を預ける場所はありますか？

A ありません。荷物は自分の机の下または空いている横の座席下に置くことになります。大型のものは置けませんので注意してください。



合格発表・入学手続に関する質問

Q 合格発表はどのような形で行いますか？

A インターネット出願システム上で行います。キャンパス内での掲示は行いません。

Q 複数の学部から入学を許可された場合の手続について教えてください。

A 複数の学部から入学を許可された場合、入学金等振込期限までどの学部に入的手続をするかを選択し、その学部所定の金額を振込んでください。ただし、医学部に入学を許可された場合と、補欠からの入学を許可された場合に限り、先に入学手続を行った学部から入学に必要な費用を振替えることができます。詳しくは一般選抜要項や入学手続要項で確認してください。

一般選抜に関する情報はこちら



総合型選抜

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■自主応募制による推薦入学者選考(文学部)

一般の学力考査とは異なった視点・尺度を導入することによって、様々な資質を持ち、慶應義塾大学文学部への志望動機が明確で意欲的なみなさんに入学への道を開くことがこの制度の目的です。

特徴としては、第一に高校生のみなさんが自らの自由意思によって直接応募できる点にあります。下記に示す一定の資格を満たしていれば、誰でも自由に応募できます。ただし、慶應義塾大学文学部を第一志望とし、合格後は必ず文学部に入学する決意のある人でなければなりません。

第二の特徴は選考の方法にあります。みなさんから提出された「自己推薦書」、在籍学校からの「調査書」、「評価書」などに加えて、「総合考査Ⅰ」、「総合考査Ⅱ」の成績を総合的に評価し判定をします。すなわち、当日の考査のみでなく、学業成績や学校内外での活動実績なども含めた総合的な選考を行います。

出願資格

慶應義塾大学文学部に入学する強い意志を持っている者で、以下の1.2.3.すべての条件を満たし、かつ評価書に、在籍学校長の署名および学校長印を受けることのできる者であれば、誰でも自由に出願できます。

1. 本学文学部での勉学を強く志望し、本学文学部を第一志望とし、合格した場合に入学することを確約できる者。
2. 以下のA.B.C.のいずれかに該当する者。
 - A. 2024年3月に国内の高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者。
 - B. 2024年3月に国内の高等専門学校第3学年修了見込みの者。
 - C. 2024年3月に文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者。ただし、在籍する、もしくは在籍した在外教育施設の修了月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められている場合には、2023年4月以降2024年2月までの修了者、修了見込み者も、2024年3月修了見込みの者と同じと見なします。これ以外の者、例えば外国の高等学校を卒業見込みの者、高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)の合格者および科目合格者は出願できません。
3. 高等学校全期間(最終学年の第1学期まで、2期制の場合は前期まで)の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上の者。「全体の学習成績の状況」に関しては、中等教育学校、高等専門学校、在外教育施設についても、高等学校と同様とします。ただし、出願時に在外教育施設を修了している者については、修了までの3年間の成績を基準とします。
なお、海外の高等学校から国内の高等学校、中等教育学校、高等専門学校ならびに在外教育施設(以下「国内の高等学校等」という)へ編入学した場合、または、国内の高等学校等から海外の高等学校へ留学した場合、国内の高等学校等における在学全期間の「全体の学習成績の状況」が4.1以上の者。

実施内容

- 募集人員：120名
- 提出書類：①高等学校が作成する「調査書」
編入学・海外留学などで複数の高等学校等に在籍した者は、在籍していたすべての高等学校等が発行した成績証明書を調査書に必ず添付してください。その証明書がコピーの場合には、在籍学校長印で原本と相違ないことの証明も併せて受けてください。提出できない場合には、出願が認められないことがあります。
- ②評価書(大学所定用紙をダウンロード)
- ③自己推薦書(大学所定用紙をダウンロード)
- 選考日程：出願登録・出願書類受付期間：次の①および②を行うことにより出願は完了します。一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。
 - ①「出願登録(インターネット)」および「入学検定料の支払」
出願登録期間：2023年10月13日(金) 10:00～11月6日(月) 17:00
 - ②「出願書類の郵送」
出願書類受付期間：2023年11月1日(水)～11月6日(月) ※締切日消印有効
選考日：2023年11月23日(木・祝) ※会場は日吉キャンパス
合格発表：2023年11月29日(水)
- 選考方法：「調査書」、「評価書」、「自己推薦書」、「総合考査Ⅰ」、「総合考査Ⅱ」により選考を行います。
 - ・「総合考査Ⅰ」(120分)
小論文形式を採り、各種資料に対する理解力、文章構成・表現力、分析力などを総合的な視点から考査します。
 - ・「総合考査Ⅱ」(60分)
与えられたテーマについての記述を評価します。

2023年度 自主応募制による推薦入学者選考結果

学部	募集人員	志願者数			最終合格者数		
		男	女	合計	男	女	合計
文学部	120	56	204	260	17	104	121

募集要項入手方法

2024年度募集要項は、7月上旬よりウェブサイトからダウンロードできます(冊子での販売は行いません)。



問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学 入学センター
TEL 03-5427-1566

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■FIT入試(法学部)

法学部ではこれまで、様々な能力を持った学生たちが集まるよう、入試制度を充実させて、多様な学生を多様な方法で評価できるように努力してきました。能力や経験を異にする学生たちが互いに切磋琢磨しあう環境の中でこそ、法律学や政治学の修得がより実り豊かなものになると考えているからです。

このような観点を一歩おし進めて、2006年度より導入されたのがFIT入試です。FIT入試は、「第一志望で慶應義塾大学法学部法律学科・政治学科で勉強したい」学生と、「この学生を教えたい」という私たち法学部教員との良好な相性(fit)を実現しようとするものとしてスタートしましたが、受験生の側の「慶應の法学部で学びたい」という姿勢は入学後の勉強意欲と学習成績に反映されています。

2012年度から導入されたB方式においては、地域ブロックで個性を發揮してきた学生が慶應で学び、卒業後にその才能と法学部で学んだ成果を、さまざまな形で自分の出身地域の活性化に活かしてくれることを期待しています。また、B方式では、優秀な成績で合格した者の中から、一定の基準により各学科6名(南関東ブロック以外の各地域ブロックから1名ずつ)に学部独自の特別奨学金(年額30万円、一定の条件を満たすことにより最大4年間の継続受給可能)を給付します。

2022年度からは、A方式の第2次選考では口頭試問を行っています。口頭試問では、学生が積極的に取り組んだ学業を含めたさまざまな活動について表現豊かにアピールして頂くとともに、志願する学科にふさわしい素養の有無を質疑応答により総合的に審査します。

FIT入試では、受験生の皆さん自身の希望によって、法律学科・政治学科いずれかの学科への出願が可能です。また、同じ学科であれば、A方式とB方式の併願も可能です。私たちの心をときめかせるような、才能に光り輝き、次世代の日本をリードしていけるような意欲あふれる皆さんとの出会いを、法学部の教員一同、楽しみにしています。

出願資格

A方式

以下の1～3のすべての条件を満たす者。

- 次のいずれかに該当する者。
 - 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者。
 - 高等専門学校第3学年を修了した者、および2024年3月修了見込みの者。
 - 学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2024年3月31日までにこれに該当する見込みのある者。
- 慶應義塾大学法学部(法律学科または政治学科)への志望理由、および入学後の目標と構想が明確であり、第一志望としていずれかの学科での勉学を強く希望する者。また、合格した場合に入学することを確約できる者。
- 学業を含めたさまざまな活動に積極的に取り組み、次に例示するような優れた実績をあげた者。(*1)
 - 日本語以外のさまざまな外国語の学習に熱心に取り組み、かつその成果を検定試験などで証明できる者。
 - 文化・芸術・技芸・運動等の分野において優れた成績や成果を残したことが証明できる者。
 - 学外活動や課外活動において高いリーダーシップを發揮し、そのことが何らかの形で証明できる者。
 - ボランティア活動や地域の社会的活動などを熱心に行い、その実績を示せる者。
 - 国際交流や開発途上国援助などの活動に積極的に取り組み、その実績を示せる者。
 - 入試科目に限らず、自己の全般的な学業分野で極めて優秀な成績を収めたことを示せる者。
 - その他の分野で、自己の関心や興味からユニークな実績をあげたことを証明できる者。

*1 実績や外国語能力を証明できる証明書、修了証、表彰状などがある場合は、提出してください。詳細は「募集要項」で確認してください。

B方式

以下の1～3のすべての条件を満たす者。

- 次のいずれかに該当する者。(*2)
 - 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者。
 - 高等専門学校の第3学年を修了した者、および2024年3月修了見込みの者。
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者。
- 慶應義塾大学法学部(法律学科または政治学科)への志望理由、および入学後の目標と構想が明確であり、第一志望としていずれかの学科での勉学を強く希望する者。また、合格した場合に入学することを確約できる者。
- 次の条件をすべて満たす者。
 - 在籍している、もしくは卒業した高等学校等より、調査書の発行を受けられる者。
 - 高等学校等での学業成績が優秀で、高等学校等の全期間の成績を記載した調査書における指定の各教科(外国語、数学、国語、地理歴史、公民)および全体の学習成績の状況が4.0以上の者。(*3)
 - 在籍している、もしくは卒業した高等学校等に現在在籍している教員より1通の評価書(本学所定用紙)を提出できる者。

*2 B方式においては、外国の高等学校の卒業(見込み)者、高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)の合格者および科目合格者は出願できません。

*3 卒業見込み者は第3学年1学期までの成績が記載された調査書(2期制の高等学校等の場合は、第3学年前期までの成績が記載された調査書)を提出してください。出願期間との関係上、第3学年前期の成績を記載できない2期制の高等学校等の場合は、その旨が調査書備考欄に記載されていることが必要です。なお、高等学校等のカリキュラムや留学・編入学等の事情により、該当する科目について不明な点がある場合は、入学センターにお問い合わせください。

実施内容

● 募集人員：法律学科・政治学科ともA方式・B方式合計 最大80名

	法律学科				政治学科			
A方式	各ブロック最大10名				各ブロック最大10名			
B方式	最大80名	I. 北海道・東北 II. 北関東・甲信越 III. 南関東 ^(※4)	IV. 北陸・東海 V. 近畿 VI. 中国・四国	最大80名	I. 北海道・東北 II. 北関東・甲信越 III. 南関東 ^(※4)	IV. 北陸・東海 V. 近畿 VI. 中国・四国	最大80名	各ブロック最大10名

B方式における『地域ブロック』について

日本全国を7つのブロックに分け、各ブロックから法律学科・政治学科それぞれ最大10名程度を合格者として（地域ブロックは出身高等学校等の所在地による区別です）。ただし、選考の結果、各地域ブロックの定員の充足率に著しい偏りが生じた場合や、定員の充足が困難な場合は、総合成績を優先した調整を行います。

※4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設は、「III. 南関東」に含めます。

● 提出書類：①志願者調書^{*}：経歴、知的成長の過程など、これまでのあなたの足跡を記入してください。

②志望理由書^{*}：あなたが慶應義塾大学法学部を志望した理由、入学後、何をどのように学び、また自分の夢をどう実現したいかを志望理由と関連させて、2000字以内で記述してください。

A方式のみ

③調査書等（高等学校等の入学以降の成績・卒業に関する証明書類）^(※5)：詳細は募集要項にて確認してください。

④自己推薦書^{*}：出願資格3に該当する活動の実績を示しつつ、あなたがいかに魅力的な人物かを自由に記入してください。書類のみ受け付けます。工作物、ビデオ、CDなどは受け付けません。なお、可能な限り実績を証明する書類を添付してください。また、高等学校等の成績証明書以外で、あなたの学力を客観的に証明する書類があれば提出してください。

B方式のみ

③調査書：高等学校等の全期間の成績が記載されたものを提出してください。卒業見込み者は、第3学年1学期までの成績が記載された調査書（2学期制の高等学校等の場合は、第3学年前期までの成績が記載された調査書）を提出してください。出願期間との関係上、第3学年前期の成績を記載できない2学期制の高等学校等の場合は、その旨が調査書備考欄に記載されていることが必要です。

④評価書^{*}：在学している、もしくは卒業した高等学校等に現在在籍している教員あるいは学校長が、記入・厳封した評価書を提出してください。

※A方式・B方式を併願する場合、①志願者調書・②志望理由書は1部でかまいません。

※★は大学所定用紙をダウンロード。

※5 A方式において、高等学校卒業以外の者の成績評価は提出書類③に準じます。詳細は、募集要項にて確認してください。社会人等で成績証明書が提出できない場合や、その他不明な点がある場合は入学センターにお問い合わせください。

● 選考日程：出願期間：次の①および②を行うことにより出願は完了します。一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。

①「出願登録（インターネット）」および「入学検定料の支払」
2023年8月1日（火）10：00～9月5日（火）17：00

②「出願書類の郵送」
2023年9月1日（金）～9月5日（火）※締切日消印有効（海外からの出願は締切日必着）

第1次選考合格発表：2023年9月19日（火）10：00 インターネット

第2次選考：2023年9月23日（土・祝）A方式（法律学科・政治学科）

2023年9月24日（日）B方式（法律学科・政治学科）

第2次選考合格発表：2023年11月1日（水）10：00 インターネット

入学手続期間：2023年11月29日（水）～12月15日（金）

● 選考方法：下記の各方式におけるすべての選考で好成績を収めた者の中から、A方式・B方式合わせて、法律学科・政治学科それぞれ最大80名に入学を許可します。

第1次選考：提出書類をもとに書類選考を行い、第1次合格者を決定します。

第2次選考：（A方式）

（1）論述試験：教員が模擬講義を行い、講義後に論述形式の試験を行います。試験では、法学ないしは政治学の修得に必要な理解力、考察力、表現力などを評価します（両学科とも同時に同一の内容にて実施します）。

（2）口頭試験：複数の教員と1名の受験生で、口頭で与えられたテーマについて質疑応答を行い、受験生の学問的な理解力や知的表現力などを考査します。開始前に自己アピールを兼ねた自己紹介も行ってもらいます。

（B方式）

（1）総合考査：

I 与えられた資料（グラフ、表、データ、条文、判例など）から読み取れることを400字程度にまとめてもらいます。社会科学に必要な論理的な思考力、考察力を評価します。

II 与えられたテーマのもと400字程度の小論文を書いてもらいます。ここでは創造力、独創性、発想力を考査します。

（2）面接試験：個人面接を行います。

注：選考内容に関する詳細は「募集要項」で確認してください。

2023年度 FIT 入試結果

合格者数には、A方式・B方式の両方式に合格した者を含みます

学科	募集人員	方式	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
法律学科	最大80名	A方式	82	139	221	16	55	71	6	35	41
		B方式	52	92	144	31	68	99	16	47	63
政治学科	最大80名	A方式	103	128	231	18	48	66	10	33	43
		B方式	45	104	149	25	74	99	16	50	66

募集要項入手方法

2024年度募集要項は、6月上旬よりウェブサイトからダウンロードできます（冊子での販売は行いません）。



Q&A

ウェブサイトを
ご覧ください。



問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学 入学センター

TEL 03-5427-1566

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■AO入試(理工学部)

理工学部AO(アドミッションズ・オフィス)入試制度は、一定水準以上の学業成績をおさめ、明確な志望動機をもっており、慶應義塾大学理工学部を第一志望とする者を対象とする入試制度です。高等学校在学時に勉学・課外活動などで優れた実績をあげ、理工学部入学後、他の学生の範となることが強く期待される者に入学を許可します。

選考は書類選考と面接選考の二段階で行われます。書類選考によって優れた学業成績・活動実績を有すると認められた志願者に対し、面接選考が行われます。面接選考では、学力の確認に加えて、旺盛な知的好奇心と探究心、豊かで柔軟な発想力、といった資質を備えているかを、十分な時間をかけて審査します。

高等学校在学時の勉学・課外活動などの優れた実績とは、例えば、以下のいずれかに該当する活動を通して、世界的・全国的なレベルで高い評価を得ていることを指します。

A. 科学技術に関する活動

(例)国際数学/物理/化学オリンピックなどの世界規模のコンテストへの出場。日本数学/生物学オリンピック、物理チャレンジ、化学グランプリ、日本情報オリンピックなどでの入賞。または、ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ、日本学生科学賞など、研究発表・論文コンテストにおける入賞。

B. 課外活動(文化系・運動系を問わない)

(例)スポーツにおける世界大会への出場、全国大会での入賞。

出願資格

以下の1～5の条件をすべて満たすことが必要です。

- 慶應義塾大学理工学部での勉学を強く希望し、明確な目標をもって、本学部を第一志望とする者。
- 高等学校在学中あるいはそれに相当する課程の期間中に、勉学・課外活動などの優れた実績を有し、それを証明できる書類または資料の提出ができる者。
- 次のいずれかに該当する者。
 - ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者。
 - ②高等専門学校の第3学年を2024年3月修了見込みの者。
 - ③外国において、学校教育における12年の課程を、2023年4月1日以降、2024年3月31日までに修了(見込み)の者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、2023年4月1日以降、2024年3月31日までに修了(見込み)の者。
 - ⑤文部科学大臣が指定した者(昭和23年文部省告示第47号)のうち、国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS、NEASC)の認定を受けた外国人学校の12年の課程を、2023年4月1日以降、2024年3月31日までに修了(見込み)の者。
- 調査書記載の欠席日数の合計が30日を超えないこと。
- 履修科目については以下のすべての条件を満たしていること。
 - ①高等学校第1学年第1学期から第3学年第1学期まで(2期制の場合は第3学年前期まで)に履修したすべての教科・科目の「全体の学習成績の状況」が4.1以上(小数点以下第2位を四捨五入)であること。
 - ②次の科目をすべて履修し、各科目の評定がそれぞれ4以上であること。

教科 数学(以下の5科目の合計が15単位以上)
数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B

教科 理科(以下の4科目の合計が12単位以上)
物理基礎・物理・化学基礎・化学
 - ③外国語については、コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱを含み、合計14単位以上を修得していること。ただし、コミュニケーション英語基礎の単位を修得単位に含めることはできません。また、英語以外の外国語の単位で充たしたい場合はご相談ください。

(注1) 5-②または5-③のすべての科目内容を、別の名称の科目により修得している場合には、出願を認めることがあります。

(注2) 5-③を満たせないが、同等以上の外国語の能力があることを証明することができる場合には、出願を認めることがあります。

(注3) 高等学校以外に該当する者の成績評価に関する要件は、出願資格5に準じます。

出願資格についての詳細はアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

実施内容

- 募集人員：若干名
- 提出書類：①志望理由書：慶應義塾大学工学部を強く希望する理由、および、入学後、どのような分野・テーマについてどのように学び、どのような夢・希望を実現したいと考えているかを2000字以内にまとめてください。
②入学志願者調書：自己紹介を兼ねて「あなたの全体像」を表現してください。その際、高等学校在学中あるいはそれに相当する課程の期間中にあげた優れた活動実績を盛り込んで記載してください。なお、写真や図、ワープロ等の出力を貼付しても差し支えありません。
③活動実績を証明する書類または資料：入学志願者調書に記した活動実績を証明する書類または資料を提出してください。
④評価書：学業あるいは活動実績を客観的に評価できる人が記入・厳封したものを提出してください。
⑤調査書：厳封された調査書(第3学年第1学期まで記載されているもの)を提出してください。
- 選考日程：
出願期間：2023年10月2日(月)～10月5日(木)(締切日消印有効)
第1次選考合格発表：2023年10月20日(金)
第2次選考：2023年12月10日(日)
第2次選考合格発表：2023年12月15日(金)
- 選考方法：
第1次選考：提出された書類により選考を行います。
第2次選考：第1次選考合格者に対して、数学・物理・化学の口頭試問および総合面接を行います。

2023年度 AO入試結果

学部	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
理工学部	若干名	4	4	8	1	2	3	1	1	2

募集要項入手方法

2024年度募集要項は、6月上旬よりウェブサイトからダウンロード可能となります。



2025年度以降のAO入試

2025年度理工学部AO入試(2025年4月入学者対象)より、学問分野への興味の強さを重視した募集を開始します。



問い合わせ先

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1
慶應義塾大学 理工学部学生課学事担当内アドミッションズ・オフィス
TEL 045-566-1800

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■アドミッションズ・オフィスによる自由応募入試(AO入試)(総合政策学部・環境情報学部)

総合政策学部・環境情報学部のアドミッションズ・オフィスによる自由応募入試(AO入試)では、みなさんが学部の理念や内容を良く理解した上で、「こんなことを学びたい」という問題意識やテーマを持って入学してくれることを期待しています。筆記試験の結果などによる一面的、画一的な能力評価ではなく、中学校卒業後から出願に至るまでの全期間にわたって獲得した学業と学業以外の諸成果を書類選考と面接によって多面的、総合的に評価します。

年3回実施するAO入試では、入学時期を4月にするか9月にするかを、入学者自らが選択でき、2023夏秋AO、2024春AOでは面接使用言語を「日本語」・「英語」・「どちらでも可」の3つから選択することができます。入試の通年実施と入学時期・言語の自由選択制により、自由で開かれた世界基準の入試となっています。

総合政策学部・環境情報学部への入学を強く志望し、より高いレベルでの自己実現を図ろうとする情熱と明確な意志を持った人たちの積極的な出願を期待しています。

募集人員

総合政策学部 150名 環境情報学部 150名 ※募集人員は、複数回実施するAO入試(4月入学/9月入学)の合計数。

選考日程

※学事日程により前後することがあります。詳細は各募集要項で確認してください。

	入学時期 (注2)	募集要項公開	出願言語(募集要項 /書類作成の言語)	出願時期	2次選考 (面接試験)	2次選考 合格発表
2023夏秋AO	2024年4月 2024年9月	2023年5月中旬	日本語 または英語	2023年9月上旬	2023年10月下旬の 4日(土曜日/日曜日)	2023年11月上旬
2023冬AO (グローバル)	2024年9月 2025年4月	2023年9月下旬	英語のみ	2023年12月~ 2024年2月上旬	ビデオによる審査	2024年3月中旬頃
2024春AO (注1)	2024年9月 2025年4月	2024年1月中旬	日本語 または英語	2024年6月上旬	2024年7月中旬の 1日(土曜日)	2024年7月中旬

(注1)入学までに高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業見込みで、2025年4月入学を希望する者は出願できません。2024夏秋AO以降を検討してください。
(注2)英語のみ(授業を受けるだけの日本語能力がない)の者は、9月(秋学期)入学を推奨します。

2023年度 AO入試結果

(注)夏秋AOの入試結果(冬AO(グローバル)、春AOは含まず)

学部	募集人員	志願者数			最終合格者数		
		男	女	合計	男	女	合計
総合政策学部	150	321	343	664	27	75	102
環境情報学部	150	294	239	533	51	56	107

2023夏秋AO、2024春AO

出願資格

以下の1)~4)の条件を全て満たす者

1) 次の1つ以上に該当する者

- ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者、および入学までに卒業見込みの者
- ② 高等専門学校の第3学年を修了した者、および入学までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および入学までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および入学までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および入学までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および入学までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者 ※昭和23年文部省告示第47号
国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS、NEASC)の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者(見込み者)
国際バカロレア・アビトゥア・バカロレア(フランス共和国)・GCE Aレベル資格取得者 ※認定を受けていない日本国内のアメリカンスクール、インターナショナルスクールについては、各期の出願締切の1ヶ月前までにアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

- (5) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および入学までに合格見込みの者で、入学までに18歳に達するもの(大学入学資格検定に合格した者を含む)
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学までに18歳に達するもの。
なお、入学資格審査の対象者は、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者とします。申請については出願最終日の1ヶ月前までにアドミッションズ・オフィスまで申し出てください。
- 2) 総合政策学部・環境情報学部への志望理由や入学後の構想が明確であり、第一志望としていずれかの学部での勉学を希望する者
- 3) 総合政策学部・環境情報学部の学習・研究環境を積極的に活用し、入学後の目標や構想をより高いレベルで実現するに十分な意欲と能力を有する者
- 4) 大学教育を受けるに足る日本語能力もしくは英語能力を有する者

【1次選考免除申請について】

出願資格に加えて、以下のコンテストについて所定の成績をおさめ、そのことを証明する書面を提出することができる者について、1次選考を免除します。申請希望者は、提出書類に、1次選考免除対象コンテストの所定の成績をおさめたことを証明する書面(厳封されたもの)を添えて、申請してください。

(注意) 1次選考免除申請は、総合政策学部・環境情報学部のいずれかの学部で1回限りとします(また、複数のコンテストで所定の成績をおさめている場合も申請は1回限りとします)。過去にAO入試1次選考免除申請をして出願を受理された者、および2019年度までに実施したAO入試においてC方式で出願した者は申請できません。

1次選考免除対象コンテストの所定の成績

対象コンテスト(*慶應義塾関連)	所定の成績
小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト*	小泉信三賞受賞者(次席・佳作は除く)
三田文学新人賞*	最終候補者
日本数学オリンピック	予選Aランク者
高校生科学技術チャレンジ(JSEC)	最終審査進出者
化学グランプリ	1次選考通過者
日本生物学オリンピック	予選通過者
全国物理コンテスト 物理チャレンジ	第2チャレンジでの金・銀・銅、他各賞(奨励賞は除く)受賞者
日本情報オリンピック	本選Aランク者
日本地学オリンピック	金賞受賞者
科学地理オリンピック日本選手権	金メダル受賞者
日本学生科学賞 物理、化学、生物、地学、広領域	地方審査通過者
日本学生科学賞 情報技術	中央予備審査通過者
情報処理推進機構 未踏IT人材発掘・育成事業	最終採択者
一般社団法人未踏 未踏ジュニア	未踏ジュニアスーパークリエータ認定者
ファブ 3D コンテスト*	入賞者
全国高校生マイプロジェクトアワード	文部科学大臣賞、マイプロジェクトアワード特別賞、ベスト・オーナーシップ賞、ベストコ・クリエーション賞、ベスト・ラーニング賞
高校生ビジネスプラン・グランプリ	グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞、優秀賞受賞者
全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト(第3部)	最優秀賞 受賞者
実用フランス語技能検定試験	「1級」合格者のうちの「成績優秀者」「準1級」合格者のうちの「成績優秀者」
福澤諭吉記念全国高等学校弁論大会*	最優秀賞 受賞者
高校生バイオサミット in 鶴岡*	入賞者(審査員特別賞は除く)

(注意1) 上記は全て個人での受賞のみを対象とする(グループやチームで受賞したものは対象外です)。(注意2) 中学校卒業以降からAO入試出願に至る期間での受賞のみを対象とします。

実施内容

● 選考方法

1次選考：書類(資料を含む)選考 2次選考：面接試験(日本語または英語)*

*出願時に、面接で使用する言語(「日本語」・「英語」・「どちらでも可」)を選択してください。

● 提出書類：募集要項に示された書類等に加えて、任意に作成した諸資料。

2024年度入学者用募集要項は、
ウェブサイトからダウンロードできます。
(冊子での販売は行っていません。)



2023冬AO(グローバル)

出願資格・実施内容

出願資格・詳細はウェブサイトおよび募集要項をご確認ください。

● 選考方法：書類(資料を含む)とビデオ選考

● 提出書類：詳細は、募集要項を確認してください。

問い合わせ先

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス アドミッションズ・オフィス

TEL 0466-49-3407 [土・日・祝日を除く、9:30 ~ 16:30]

E-mail ao-request@sfc.keio.ac.jp



SFCウェブサイト

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■AO入試(看護医療学部)

看護医療学部は、看護医療の先導者として社会に貢献できる意欲ある人材を求めています。そうした人材を、AO入試という一般の学力試験とは異なる方法で選考します。第1次選考では書類審査を行い、第1次合格者に対し第2次選考で面接を実施し、最終的な合格者を決定します。

AO入試の特徴は、入学希望者自らの自由意思によって応募できる点にあります。当学部への入学を強く希望し、出願資格を満たしていれば、誰でも出願できます(※A方式・B方式の併願はできません)。

出願資格

A方式

以下の1～4の条件をすべて満たす者。なお、外国高等学校出身者については、5の条件も満たすものとする。

1. 次の1つ以上に該当する者。

- ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者。
- ②高等専門学校の第3学年を修了した者、および2024年3月修了見込みの者。
- ③学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - (a)外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - (b)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者。
 - (c)専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者。
 - (d)文部科学大臣の指定した者。※昭和23年文部省告示第47号
 - (e)高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2024年3月31日までに合格見込みの者で、2024年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定に合格した者を含む)。
 - (f)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2024年3月31日までに18歳に達するもの。

2. 本学看護医療学部への志望理由や入学後の構想が明確であり、第一志望として本学部での勉学と入学を強く志望する者。

3. 本学看護医療学部の学習・研究環境を積極的に活用し、入学後の目標や構想をより高いレベルで実現するに十分な意欲と能力を有する者。

4. 学業を含めたさまざまな活動に積極的に取り組み、その成果が次の一つ以上に該当すると自己評価できる者。

- A 看護・医療・保健・福祉に関連した国内外での活動で見聞を広めた経験を持っている。
- B 社会的な奉仕活動やその他の社会活動を通し、その成果や業績が認められている。
- C コミュニケーション能力(日本語によるもの、外国語によるもの)やコンピュータ技術などの技能において優れており、高度な資格や技術を有している。
- D 学術・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野において、研究、創作発表、コンクール、競技などの活動を通し、社会的に評価を得ている。
- E 学業が優秀であり、創造的、積極的な学習姿勢を堅持している。
- F 学業、人物ともに優れ、地域社会や高等学校などにおいて指導的な役割を積極的に果たすなど、評価を得ている。
- G 関心や興味を持ったテーマに関して自由研究や自主学習などの自発的な取り組みを開始し、成果をあげている。

5. 日本の大学教育を受けるに足りる日本語能力を有する者。

B方式

以下の1～4の条件をすべて満たす者。

1. 次の1つ以上に該当する者。

- ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者。
- ②高等専門学校の第3学年を修了した者、および2024年3月修了見込みの者。
- ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者。

2. 本学看護医療学部での勉学を強く志望し、第一志望として入学を志す者。

3. 本学看護医療学部の学習・研究環境を積極的に活用し、所定の原稿用紙に記述した自己の志望理由や学習計画上の目標・構想を実現するに十分な意欲と能力を有する者。

4. 高等学校での学業成績が優秀で全体の学習成績の状況4.5以上(4.5を含む)の者。

実施内容

- 募集人員：若干名
- 選考日程：
出願期間：2023年9月14日(木)～9月19日(火)(締切日消印有効)
第1次選考合格発表：2023年10月13日(金)
第2次選考：2023年10月21日(土)
第2次選考合格発表：2023年11月1日(水)
- 選考方法：
第1次選考：提出された書類により選考を行います。
第2次選考：第1次選考合格者に対して面接を行います。

2023年度 AO 入試結果

学 部	募集人員	方式	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
看護医療 学部	若干名	A方式	1	63	64	0	20	20	0	4	4
		B方式	1	35	36	1	6	7	1	3	4

募集要項入手方法

2024年度募集要項は、6月上旬より看護医療学部ウェブサイトからダウンロード可能となります。



問い合わせ先

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
慶應義塾大学 湘南藤沢事務室看護医療学部担当
TEL 0466-49-6200

その他の選抜方法

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの
入学案内ページを必ずご確認ください。

帰国生入試、国際バカロレア (IB) 入試、外国人留学生入試

帰国生入試は、海外の高等学校出身者が対象です。募集要項発表は5月下旬頃、出願期間は7月上旬～中旬頃です。
また、法学部では、2014 / 2015年度から国際バカロレア (IB) 入試を開始し、日本国内におけるIB資格取得者の受け入れを行っています。募集要項発表は5月下旬頃、出願期間は7月上旬～中旬頃です。
外国人留学生入試は、海外の中学校及び高等学校出身者が対象です。募集要項発表は6月下旬頃、出願期間は10月中旬～11月上旬頃 (医学部のみ募集要項発表は5月下旬頃、出願期間は7月上旬～中旬頃) です。
帰国生入試、外国人留学生入試は全学部で実施しています。出願資格や必要書類などの詳細は、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページに掲載する募集要項でご確認ください。

2022 / 2023年度 帰国生入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
文学部		若干名	7	23	30	4	12	16	3	10	13
経済学部		20	34	34	68	24	28	52	20	22	42
法学部	法律学科	10	11	11	22	6	8	14	5	7	12
	政治学科	10	12	20	32	8	16	24	6	14	20
商学部		若干名	20	30	50	10	19	29	9	15	24
医学部		若干名	1	4	5	1	3	4	0	1	1
理工学部		若干名	21	13	34	14	10	24	9	5	14
総合政策学部		若干名	32	40	72	—	—	—	17	34	51
環境情報学部		若干名	29	25	54	—	—	—	19	15	34
看護医療学部		若干名	0	4	4	0	4	4	0	4	4
薬学部	薬学科	若干名	0	5	5	—	—	—	0	0	0
	薬科学科	若干名	0	0	0	—	—	—	0	0	0
合計			167	209	376	67	100	167	88	127	215

※法学部の募集人員は、国際バカロレア (IB) 入試の募集人員を含む。
※法学部、総合政策学部、環境情報学部は、2022年度9月入学を含む。
※2022 / 2023年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置として、総合政策学部・環境情報学部で第2次選考を実施せず、最終合格発表のみ行ったため、第1次合格者数は出していない。
※薬学部では第1次選考を行わないため、第1次合格者数は出していない。

2023年度 外国人留学生入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
文学部		若干名	89	108	197	21	18	39	17	16	33
経済学部		20	89	44	133	—	—	—	29	12	41
法学部	法律学科	10	27	25	52	—	—	—	11	9	20
	政治学科	10	33	16	49	—	—	—	14	7	21
商学部		若干名	100	60	160	—	—	—	5	6	11
医学部		若干名	7	3	10	4	1	5	0	0	0
理工学部		若干名	83	35	118	—	—	—	9	7	16
総合政策学部		若干名	72	80	152	17	13	30	16	11	27
環境情報学部		若干名	24	18	42	5	1	6	5	1	6
看護医療学部		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬学部	薬学科	若干名	1	3	4	—	—	—	0	0	0
	薬科学科	若干名	3	1	4	—	—	—	0	0	0
合計			528	393	921	—	—	—	106	69	175

※2023年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置として、商学部・理工学部で第2次選考を実施せず、最終合格発表のみ行ったため、第1次合格者数は出していない。
※経済学部・法学部では書類選考のみ行うため、第1次合格者数は出していない。
※薬学部では第1次選考を行わないため、第1次合格者数は出していない。

2022 / 2023年度 国際バカロレア (IB) 入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
法学部	法律学科	10	0	2	2	0	2	2	0	1	1
	政治学科	10	0	1	1	0	1	1	0	1	1
合計			0	3	3	0	3	3	0	2	2

※募集人員は、帰国生入試の募集人員を含む。
※2022年度9月入学を含む。

帰国生入試
ウェブサイト



国際バカロレア (IB) 入試
ウェブサイト



外国人留学生入試
ウェブサイト



問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学 入学センター 帰国生、国際バカロレア (IB)、外国人留学生入試事務局

TEL 03-5427-1611

E-mail admissions@info.keio.ac.jp

PEARL入試(経済学部)

「PEARL」は4年間一貫して英語で経済学を学ぶ9月入学のプログラムです。定員は約100名。国内外から多様なバックグラウンドの学生を幅広く受け入れます。入学選考はオンライン出願による書類審査のみで、学力判定のためのIB、SAT、もしくはACTの成績、英語能力を測るためのTOEFLまたはIELTSの結果、志望動機や適性を見定めるための志望理由書などを総合的に評価して可否を決定します。面接や独自の筆記試験はありません。2024年9月入学者向けの出願資格、出願書類、入試日程などの情報はウェブサイトでご確認ください。

2022年度 PEARL入試結果

学部	種別	志願者					合格者				
		男女別		国籍別		合計	男女別		国籍別		合計
		男	女	日本	外国		男	女	日本	外国	
経済学部	1期	99	124	120	103	223	48	56	58	46	104
	2期	108	80	81	107	188	40	25	26	39	65
	3期	58	38	39	57	96	21	10	7	24	31

問い合わせ先

慶應義塾大学入学センター PEARL 担当
 [E-mail] pearl_admissions@info.keio.ac.jp

PEARL入試
ウェブサイト



学校推薦型選抜

指定校による推薦入試(法学部・商学部・理工学部・薬学部)

指定校からの学校長推薦に基づく推薦入学制度です。学業以外にも優れた実績を持つ、個性豊かな学生を求めています。例年6月頃に、推薦をお願いする高等学校宛に募集要項などをお送りしています。詳しくは、高等学校の進路指導の先生に確認してください。出願は11月頃です。

2023年度 指定校による推薦入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計
法学部	法律学科	80	19	61	80	19	61	80
	政治学科	80	23	57	80	23	57	80
商学部		200	94	153	247	94	153	247
理工学部		195	102	113	215	102	113	215
薬学部	薬学科	30	8	22	30	8	22	30

塾内進学

慶應義塾では一貫教育によって、多彩な学生を育てています。こうした学生を慶應義塾が設置する高等学校5校から受け入れているのが塾内進学です。全体の2割程度の人数になります。

学園祭

※日程は予定であり変更になる可能性があります。



七夕祭 湘南藤沢キャンパス

7月1日(土)・2日(日)

学生の浴衣姿も鮮やかなSFCの夏の風物詩です。縁日などの地域交流も特徴で、夜は盛大な花火が彩ります。



矢上祭 矢上キャンパス

9月23日(土・祝)・24日(日)

理工学部のキャンパスならではのイベントが多く、科学体験や研究室ツアーを地域の方々と一緒に楽しめます。



芝共葉祭 芝共立キャンパス

10月7日(土)・8日(日)

薬学部生の若さとエネルギーで創り上げる学園祭。アカデミックな催し物や、相談会、実習体験などが行われます。



四谷祭 信濃町キャンパス

11月4日(土)・5日(日)

医学部説明会や研究室見学会の他、医学関連の様々なテーマを取り上げる医学部・看護医療学部らしい学園祭です。

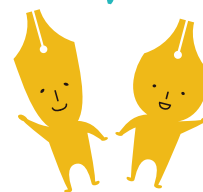


三田祭 三田キャンパス

11月23日(木・祝)～11月26日(日)

「独立自尊」の精神に基づき、塾生による三田祭実行委員会が企画・運営します。充実した学術的企画が特徴の、日本最大級の学園祭です。

キャンパス見学についてはこちら



KEIO NAVI



慶應義塾大学を知っていただくための受験生向け特設サイトです。慶應義塾大学の魅力が分かる様々なコンテンツを見やすくまとめました。

【注目コンテンツ】

- 塾生(在学)や塾員(卒業生)が語る慶應義塾大学の魅力
- 塾生のささやかな日常から学生団体・サークルの活躍までを幅広く紹介
- ちょっとした時間に気楽に読める研究記事を紹介



受験生向けアプリ



- キャンパス見学をサポートする「キャンパスツアー」機能
- 最新の入試情報・イベント情報の配信
- 旬なニュースを毎週お届けするWeekly Magazine(毎週金曜日)
- 受験生の皆さんへのオススメ記事の紹介

ダウンロードはこちら



慶應義塾大学入学センター

TEL 03-5427-1566

mail admissions@info.keio.ac.jp

WEB <https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/>

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
(三田キャンパス北館地下1階)

窓口利用時間 月～金 9:00～11:30、
12:30～16:30(土・日・祝休業)

※開校記念日(4/23)、夏季休業(8/9～8/16)、冬季休業(12/28～1/8)、福澤先生誕生記念日(1/10)は休み。



メールマガジン

(毎週金曜日配信・無料)

入学センターでは、受験生向けのメールマガジンを配信し、幅広い情報をお届けしています。登録は、右のQRコードから。



入試情報や教育研究トピックス

塾生(学生)の声

慶應義塾の豆知識

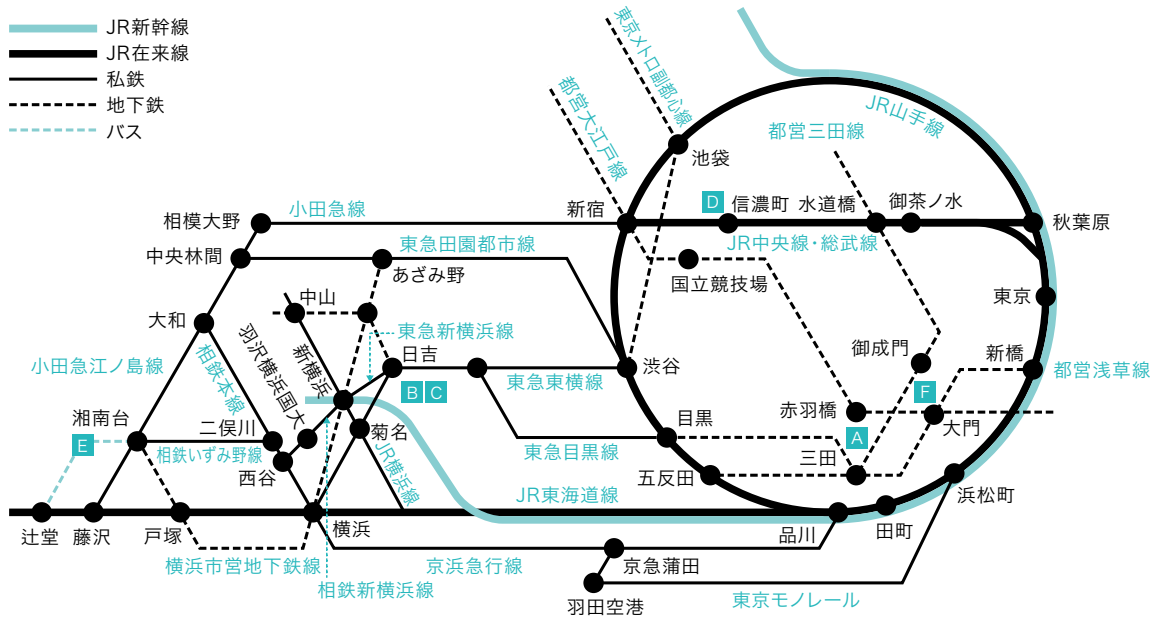
各種イベントのお知らせ

アクセス

2023年3月、相鉄・東急新横浜線開業

日吉↔新横浜が約20分→6分に短縮

三田↔日吉↔湘南台の所要時間短縮・乗換回数減少



※所要時間は目安です。時間には余裕を持っておこしく下さい。

A 三田キャンパス (p.94)

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
 入学センター [TEL 03-5427-1566](tel:03-5427-1566)

- 田町駅(JR山手線/JR京浜東北線) 徒歩8分
 東京～田町=約10分
 品川～田町=約4分
 渋谷～田町=約17分
- 三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩7分
 目黒～三田=約8分
- 赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分
 新宿～赤羽橋=約12分
- ✈ 羽田空港～品川～三田=約20～30分
 羽田空港～浜松町～田町=約30～40分

B 日吉キャンパス (p.96)

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
 日吉キャンパス事務センター運営サービス担当
[TEL 045-566-1000](tel:045-566-1000)

- 日吉駅(東急東横線/東急目黒線/東急新横浜線/
 横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩1分
 渋谷～日吉=約25分(通勤特急または急行約20分)
 横浜～日吉=約20分(通勤特急または急行約15分)
 目黒～日吉=約25分(急行約20分)
 新横浜～日吉=約6分
- ✈ 羽田空港～京急蒲田～横浜～日吉=約55～65分
 羽田空港～浜松町～目黒～日吉=約65～75分

C 矢上キャンパス (p.98)

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1
 理工学部総務課 [TEL 045-566-1454](tel:045-566-1454)

- 日吉駅(東急東横線/東急目黒線/東急新横浜線/
 横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩15分(約1km)
 渋谷～日吉=約25分(通勤特急または急行約20分)
 横浜～日吉=約20分(通勤特急または急行約15分)
 目黒～日吉=約25分(急行約20分)
 新横浜～日吉=約6分
- ✈ 羽田空港～京急蒲田～横浜～日吉=約55～65分
 羽田空港～浜松町～目黒～日吉=約65～75分

D 信濃町キャンパス (p.100)

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
 信濃町キャンパス学生課 [TEL 03-5363-3662](tel:03-5363-3662)

- 信濃町駅(JR総武線) 徒歩1分
 新宿～信濃町=約6分
 東京～御茶ノ水～信濃町=約15分
- 国立競技場駅(都営地下鉄大江戸線) 徒歩5分
 新宿～国立競技場=約4分
- ✈ 羽田空港～浜松町・大門～国立競技場=約45～55分

E 湘南藤沢キャンパス (p.102)

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322
 湘南藤沢事務室アドミッションズ・オフィス [TEL 0466-49-3407](tel:0466-49-3407)
 〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
 湘南藤沢事務室看護医療学部担当 [TEL 0466-49-6200](tel:0466-49-6200)

- 湘南台駅(小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/
 横浜市営地下鉄ブルーライン) 西口よりバス[慶応大学]行き約15分
 横浜～湘南台=約30～40分
- 辻堂駅(JR東海道線) 北口よりバス[慶応大学]行き約25分
 横浜～辻堂=約25分
- ✈ 羽田空港～上大岡～湘南台=約70～75分

F 芝共立キャンパス (p.104)

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30
 芝共立キャンパス学生課 [TEL 03-5400-2488](tel:03-5400-2488)

- 浜松町駅(JR山手線/JR京浜東北線/東京モノレール) 徒歩10分
 東京～浜松町=約6分
 渋谷～浜松町=約20分
- 御成門駅(都営地下鉄三田線) 徒歩2分
 目黒～御成門=約12分
- 大門駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄大江戸線) 徒歩6分
 新宿～大門=約16分
- ✈ 羽田空港～浜松町=約20分

Keio University



慶應義塾大学 ガイドブック 2024 入学センター発行

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

電話：03-5427-1566

メール：admissions@info.keio.ac.jp

ウェブサイト：<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/>

